なりたい人、ファンの人、み〜んなまとめて声優マガジン

主婦の友ヒットシリーズ

声優グラフィ

衝撃デビュー 祝!!

Vol. 1
980yen

◆見て感動!
國府田マリ子
井上喜久子
草尾毅
緒方恵美
檜山修之
野上ゆかな
置鮎龍太郎

◆読んで感激!
藤田淑子
戸田恵子
小山茉美
日髙のり子
久川　綾
岡本麻弥

◆知って満足!
対談●神谷明vs千葉繁
【総力特集】What's声優?青二塾!体験入学etc.
潘恵子の'95年ホロスコープ
ラジオ番組大集合!
ファンクラブガイド

◆コミック・エッセイ
楠桂／大橋薫

NEC

またすこし、美しくなったね。

待望のPCエンジン版!

プリンセスメーカー1

私のお父さんになってください!

横山智佐 出演
オリジナルドラマCD付き
「ハッピーバースディ・ディア・パパ」
(パッケージに同梱)

時は中世、王国を魔王から救った勇者であるあなたはひとりの娘を養女として迎えます。父親として、娘に充分な教育をし、りっぱな女性に育て上げなくてはなりません。娘と暮らすのは10歳から18歳までの8年間。そして最高の夢は、彼女をプリンセスにすること。しかし、人生はそううまくいくとは限りません。
はたしてあなたは夢をかなえることができるでしょうか?

キャラクター・デザイン：赤井孝美
声の出演：横山智佐

PCエンジン スーパーCD-ROM²ソフト キャラクター育成シミュレーション

'95年1月3日(火)発売予定/希望小売価格8,800円(税別)

マイクロキャビン®

SUPER CD-ROM² SYSTEM　HE system

©GAINAX
©MICRO CABIN CORP.

タイトル。CD-ROM標準機。

PC Engine DUO-RX

CD-ROMゲームマシン
標準価格29,800円(税別)

好評発売中!!

マルチメディアのNEC

箱舟は星の海へ。

巨大隕石の衝突まであと8年…
これは、その星の動物たちを救うために
たった二人で戦った少年と少女の物語である。

俺の名はケン。いちおう、主人公。

あたし、リンダ。よろしくネ!!

リンダキューブ

Linda³

STAFF

ゲームデザイン
桝田省治

演出ディレクション
岩崎啓眞

プログラム
長谷川浩

音楽
樹原涼子

キャラデザイン
CANNABIS

CAST

高山みなみ
矢尾一樹
・
神谷明
・
増山江威子
・
青木和代
石井康嗣
辻親八
・
青野武
・
佐久間レイ
内海賢二 /他

PCエンジンスーパーCD-ROM²ソフト サバイバルRPG

来春出航予定/価格未定

©NEC Home Electronics, Ltd. ©MARS ©メディアワークス

SUPER CD-ROM² SYSTEM　HE system

お問い合わせ先は
NECホームエレクトロニクス　パーソナルプロダクト事業部　TEL.03(3454)5111(大代表)

名作320

巻頭スペシャル・インタビュー

國府田マリ子＆井上喜久子 6
天使と女神——語り姫ふたり

草尾毅 LIVE TOUR'94"TAU"IN TOKYO 23

緒方恵美＆檜山修之 番組の仲間って、クラスメートみたいなものです 30

藤田淑子＆小山茉美＆戸田恵子 38
スクリーンの美女を演じる美女たち

PRIVATE TIME INTERVIEW

野上ゆかな 可憐な少女をいろどる多彩な趣味のカレードスコープ 44

置鮎龍太郎 ゲームセンターの騒音の中に爽やかな笑顔がある 48

声優グランプリ・バックアップ・レビュー

小野寺麻理子 52

contents

総力特集　なりたい人に贈る
What's 声優?

対談 神谷明のきみも声優になれる!
ゲスト：千葉繁
FRESH VOICE CHECK! 氷上恭子 104

日高のり子のはいぱあエッセイ
夢 叶うとき イラスト 山口勝平 72

ショート・ショート
Dolphin Dreams 岡本麻弥 イラスト 高田明美 87

久川綾の
撮りまくり写真日記 76

コミック・エッセイ
声優さんいらっしゃい 楠桂 大橋薫 98

1994声優総決算
LIVE&ACTING・CD・BOOK 114

青二塾! 体験入学 55

俳優・声優養成講座ガイド 62

キャスティングからイベントまで、
職業としての声優とは? 66

あの人がパーソナリティ　番組データリスト付き
ラジオ番組大集合! 80
アニマガパラディ、アニキンフリーダムetc.

大好きな声優と直接交流
ファンクラブガイド 金丸淳一ファンクラブetc. 92

こんなところに出ていたぞ!
声優さんを探せ!! 95

最新VOICEゲーム情報 111

'95年総占い 潘恵子のホロスコープ 122

次号予告 126

声優グランプリ

Vol.1 1995年1月10日 発行

COVER

Model
井上喜久子
國府田マリ子
ArtDirection／荻窪裕司
Photography／弘瀬秀樹
Hair&Make-up／清水寛之
Styling／西田麻美

cont

©Opt communications inc. 1994
本誌掲載の記事、写真、イラスト等の無断複写（コピー）、複製（転載）を禁じます。
R本誌からの複写を希望される場合は、日本複写権センター
（☎03・3401・2382）にご連絡ください。

天使と女神
語り姫ふたり

井上喜久子

Kikuko Inoue

あなたは、どこから来たのですか？
あなたの正体は、一体なんなのですか？
あなたの言葉は、私の耳を突き抜けて、心の奥底に響きます。
あなたがひとこと語りかけてくれるだけで、
私の胸は幸せでいっぱいになるのです。
あなたはひょっとしたら、天使ですか？　それとも、女神……？

國府田マリ子

Mariko Kouda

●Photography／HIDEKI HIROSE●Text／HIROYUKI OHNUMA●Hair&Make-up／HIROYUKI SHIMIZU●Styling／ASAMI NISHIDA

先生になるのに挫折して声優さんを目指そうと思ったんです

――井上さんといえば、やっぱり最初に思い出すのは、「お魚の生まれ変わり」っていう話なんですけど……？

井上　それはねえ、最初にそう思ったのは、高校生のときだったんです。家が海のすぐそばだったんで、子供のころからいつも泳ぎに行ってて、泳いでるときの方が呼吸がしやすいっていう感じだったのね。

それで、母なんかにも「泳いでると、故郷に帰ったみたい。どうしてだろう？」なんて言ってたんだけど、高校生のときに、特にどうというきっかけもなしに、ごく自然に「あ、私はお魚の生まれ変わりなんだ」って思ったのね。

生き物って、ほら、もともとは海の中にいたわけで、だからみんな、そういうものを体の中に持ってるんだろうけど、私の場合は、それが記憶としてまだ残っているっていう感じなのかな。もっとも、その分だけ陸上生活が大変なのかもしれないけど（笑）。

そういえば、この前、ビデオの撮影で南の海へ行ったんですけど、そのときも、泳いでいるところをずうっと撮ってて、スタッフの人が「船に上がって休んでください」って言うんだけど、上がりたくないのね。海の中にいる方が楽なんで、船の端につかまったまま「ここで休ませてください」って。

とにかく、ずっと泳いでいられるんです。遠泳で何キロとかいうのとは違うんですけど、ずうっと泳いでいて、疲れたら海の上で仰向けになって、歌なんか歌っちゃうの（笑）。

――井上さんがこの世界に入るきっかけというのは、何だったんですか？

井上　私はねえ、本当は先生になりたかったんです。中学校の先生になりたくて、教育実習までやったんだけど、そこで挫折して……。

中学校3年生のクラスを受け持ったんですけど、私が授業をしているのに、後ろの方ではバドミントンをしている男の子たちがいて。もう、死ぬほど大変だったんですよ。私、先生なのに、毎日、「どうやってズル休みしようか」って、そればかり考えてて（笑）。

それで、「私には、先生はできない」っていうことがわかったんです。ところが、そうなったら、希望する進路っていうのが、なくなっちゃったんですね。なにしろ、子供のころから先生になることしか考えていなかったし。それに、私、事務とか計算とかがすごく苦手だから、普通のOLはできないって思ってたし。とにかく、そういうことで、短大卒業を目前にして、目標のない辛い毎日を送ることになっちゃったのね。

そんなある日、テレビで『アタックNo.1』の再放送を見ていたら、突然、目からウロコが落ちるような思いがして……。というのも、『アタックNo.1』は、子供のころから、もう好きで好きで、何回も再放送を見てたんですけど、大人になってから見たら、また違う感動があって、「子供にこんなに夢を与えられる声優さんの仕事って、なんて素敵なんだろう」って思ったのね。それで、今までは考えてみたこともなかったんだけど、突然、声優さんになりたいって思って……。

でも、どうやってなったらいいか、全然わからないんですよ。そんなとき、たまたまある雑誌を見ていたら、東京アナウンスアカデミーというところの広告が載っていて、声優科って書いてあったんです。それで、「あ、こういうところに入ったら、声優さんになれるのかな？」って思って、すぐに電話して資料を送ってもらったんです。

だけど、両親にしてみたら、たまらないですよね。やっと短大を卒業して、社会人になってくれると思っていたのに、また違う学校に通いたいって言い出したんですから。そこをなんとか拝み倒して、「授業料も自分で払いますから」って言って、ようやく了承してもらったんです。

――じゃ、その学校に通いながら、バイトなんかも……？

井上　しました。そこは週2回コースだったので、学校に通いながらバイトしてました。それにね、ここが私のズルいところかもしれないんだけど、こういう学校に通ったからといって必ず声優さんになれるとは限らないでしょ。私、高校のときからお花を習っていて、お花の師範免状は持ってるんです。それで、お花の先生になるのもいいな、なんて半分は思っていたんだけど、お花の名前が全然覚えられなかったのね。そこで、花屋さんでバイトすることにしたんです。だから、私は声優さんの学校に通っていた1年間、同時に、お花の先生になる修業もしていたという……（笑）。

ところが、花屋さんっていうのは、見た目よりもずっと重労働なんですよ。大きな鉢植えなんかも運ばなきゃならないから、すごい力仕事だし、基本的には水仕事なんで、手はあかぎれだらけ。そのうえ、私、皮膚が弱いものだから、「桜草皮膚炎」っていうのにかかって。これ、名前は可愛いんですけど、症状はすごいんです。もう、指がタラコみたいに腫れ上がっちゃって……。

そんな状態だったから、時折、木の陰でそっと涙を拭くというような毎日だったんですけど、でも、なんか、その当時は、夢を追いかけている人は楽をしちゃいけない、みたいな気がしていたんで、それはそれでとっても充実した日々でしたね。

Profile

井上喜久子
9月25日生まれ。江崎プロダクション所属。
主な作品に、『ああっ女神さまっ』（ベルダンディー）、『らんま½』（天道かすみ）、『ふしぎの海のナディア』（エレクトラ）、『アッセンブル・インサート』（美川美子）、などがある。

子供のころは、いつ斬られてもいいという覚悟で生きてました

――國府田さんは、子供のころ、どんな感じの子だったんですか？

國府田　もう、お山の大将……かな（笑）。というわけじゃないんですけど、「あれやろうよ、これやろうよ」って言うのは、大体私で。まわりがあまり、そういうことを言わない子ばかりだったから。

けっこう田舎だったんで、川とか沼とか行ったり、あと、幽霊森っていうのがあって、これ、本当は人んちの庭なんですけど、そこへ探検に行ったりとか……。ザリガニ釣りなんかもやりましたよ。スルメをエサにして。友達は燻製（くんせい）なんかをエサにしてたんだけど、うちの父親が「燻製はあまり体によくない」っていうものだから、「ザリガニさんに悪いかな」って思って、私だけはスルメをエサにしていたという（笑）。でも、今になって考えてみたら、それってあんまり重大なことじゃなかった……（笑）。

あと、なんかすごくよく覚えているのは、私、姉と弟の3人兄弟なんですけど、そのころ、空き地によく土管が転がっていて、3人でその中に入って、じっとしているのが好きでしたね（笑）。雨の日なんかは、傘さして、3人でじっとしてる……。

それで、ある日、母親になにかでひどく怒られたことがあったんです。「もう家に入れてあげません」って言われて、ドアをバターンって閉められて。母親にしてみれば、すぐに「お母さん、ごめんなさーい」って言ってくると思ってたらしいんですが、私たち3人は「どうしよう」って思ったすぐ後に、「ワーイ、これで家に帰らなくていいんだ」って、例の土管に遊びに行っちゃったんですよ（笑）。親にしてみれば、夜の7時になっても、ちっちゃいのが3人、ちっとも帰ってこないんで、必死に捜し回っていたらしいんです。私たち、そんなこと全然知らないから、しばらくして「お腹（なか）すいたから、帰ろう」って家に帰ってきたら、近所じゅう大騒ぎになっていたという……（笑）。

それと、父も母も歴史が好きだったもので、それこそ赤ちゃんのころから影響を受け、自分でもいろいろと調べたりして。ところが、歴史っていうのは昔のことだから、当たり前といえば当たり前なんですけど、みんな最後には死んじゃうんですよね。それで、「これは大変。人間、いつ死ぬかわからないぞ」っていう気になって、それからは「今日やらなければならないことは、やっておこう」とか、「次の瞬間、後ろから袈裟（けさ）がけに斬られても大丈夫なように生きよう」とか（笑）、ちっちゃいころから本気で考えていたんです。

――そういう國府田さんが、声優さんになろうと思ったきっかけというのは？

國府田　とにかく、そんな感じで歴史が大好きだったので、当然のことながら、大学に行って歴史をやろうと思ってたんですよね。私が目標にしていた大学があって、「私はこの大学に入って、おばあちゃんになるまで研究室にいるんだい！」とか思ってたんですけど、入試に失敗しちゃったんですよ。浪人もしし。

それで、かなり落ち込んで、「どうしようか？」と思い悩んでいるときに、高校時代の友人たちに連れだされて出かけたとき、ふと見た桜があまりに幻想的だったんです。今まで「桜はきれい」という認識しかもっていなかったのに、改めて、「こんなにきれいだったんだ」って感激して、なんか、「私は生まれて初めて、この桜というものを確認したんだ」という気になったんです。なんていうか、そういう瞬間ってあるじゃないですか。

その瞬間に、「なんだ、國府田。まだ、何かできるよ」っていう気持ちになって、とにかく自分にしかできないことをやってみたいって思ったんです。最終的には、「役者になろうかな」って。

うちの両親は、どちらも公務員だったから、もちろん最初は反対したんですけど、「とにかくオーディションだけでも受けさせてほしい」って必死に頼み込んで。両親にしてみれば、戸惑いはあったものの、落ち込んでいた私が、なにかをやりたいって言い出したのはとりあえず嬉（うれ）しいことだったみたいで……。

ところが、私、試験とか、ものすごく緊張するタチで、大学入試もそれで失敗したんです。青二塾のオーディションのときも、もうガチガチに緊張してて、友達に「とにかく行ってきな。がんばってね」って背中をポンってたたかれて。あのときのあったかさ、今でも忘れられないな。そして、なぜか、合格通知がきてしまって。

それから、地獄の養成所の日々が始まったという……（笑）。もう「なんてとこなの！」っていう感じでしたね。もちろん、それは周囲に対してじゃなくて、自分に対してなんですけど。養成所っていうのは、できないことを習いに行ってる場所だから、毎日できないことだらけなわけですよ。でも、それって屈辱じゃないですか。勉強の場合には、勉強すればそれだけ成績が上がるけど、芝居の場合には、なになにをすればうまくなるっていうのがないんですよね。もう、なにがどうなってるのかわからないテンヤワンヤの状態で、毎日、家に帰っては「やめてやる！」って思って、でも、やっぱり次の日には行ってるみたいな、そんな状況が1年間続いてましたね。

Profile

國府田マリ子
9月5日生まれ。青二プロダクション所属。
主な作品に、『ママレード・ボーイ』（光希）、『GS美神』（おキヌ）、『スペース・オズの冒険』（ドロシー）、『忍たま乱太郎』（ユキ）などがある。

自分が歌を作るなんて思ってもみなかった（井上）
とにかく歌を歌うのは好きだったんです（國府田）

――井上さんは、この前発売された自分のアルバムで、全曲、作詞作曲したと聞いたんですが……？

井上　あれはねえ、もう本当に、まさか自分で歌を作ることになるなんて、考えてもみなかったんです。

ただ、詩を書くのは好きで、なんとなくノートに書き溜めたりはしてるんですけど、歌の作詞っていうのは、また別のものでしょ。曲が先にあって、それに詞をつけていくと、字数を合わせているうちに、自分が最初に言いたかったこととだんだん違ってきちゃうんですよね。そうやって、なんとか1番を作っても、2番がまったく思い浮かばなくなっちゃうし。とにかく、心の底から湧き上がってくるものじゃなくなってしまうんですよね。

それで、あのアルバムのときには、最初ディレクターさんに作詞をしてくれって言われたんですけど、なかなかできないんですよ。本当にもう困っちゃって、「どうしよう」って思ったときに、ふと気づいたのは、普段ノートに詩を書いてるときには、メロディもいっしょに浮かんでるってことなんです。自分でも、そんなことすっかり忘れてて、後で読み返すと文字しか残ってないんですけど、書いてるときには確かにそうなんですよ。

「あ、ひょっとして、これって歌？」って思って、試しにテープに吹き込んでみて、ディレクターさんに話したんですが、最初は「歌っていうのは、そんなに簡単なもんじゃないんだから」とか言われて。「でも、とにかく聴いてみてください」って、聴いてもらったら、「なんか変でいい」って（笑）。

だから、歌を作ったっていっても、私のカなんかじゃなくて、本当にスタッフのみなさんのおかげなんです。私が自由に口ずさんだメロディをすばらしくアレンジしてくださって、なんだか夢みたいでした。

とにかく、あのときは、なにをしても歌になるっていう感じだったんです。道を歩いていて、ふと思いついて、木の陰でテープに吹き込んだりもしましたからね（笑）。

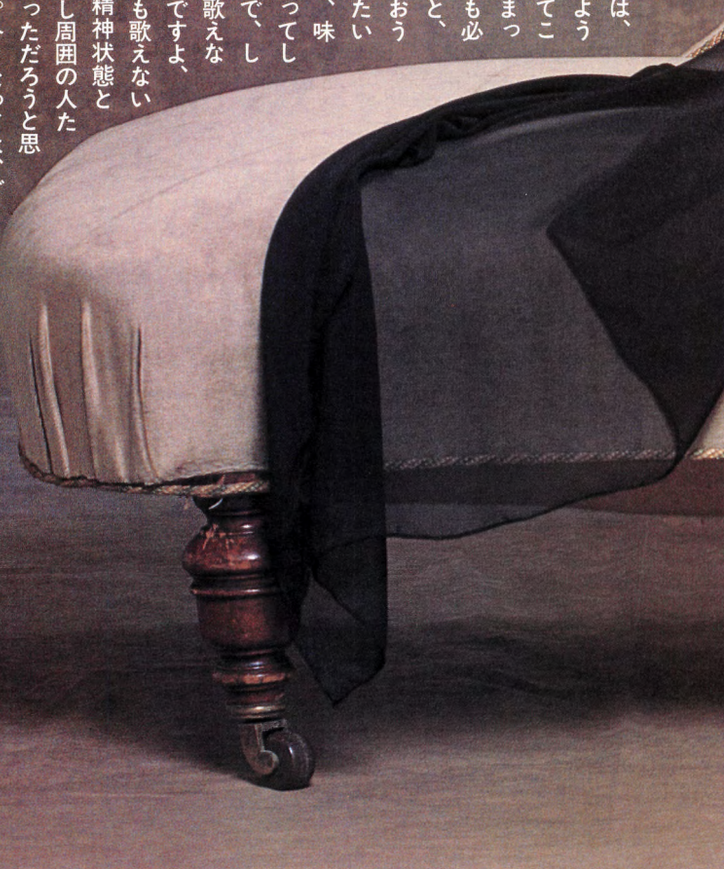
――國府田さんにとって、歌っていうのは、自分の中でどういう位置を占めてるものなんですか？

國府田　私はとにかく、子供のころから歌を歌うのが大好きだったんですよ。お風呂に入って、歌を歌ったまま、2時間も出てこないとか。自分の部屋で、ずっと歌ってるとか。それも、フンフンっていう鼻歌じゃなくて、マジに思いっきり歌うんです。

そういえば、この前おかしかったのは、実家に帰って、いつものように台所でお茶碗を洗いながら歌を歌ってたんですね。そうしたら、近所のおばちゃんがやってきて、「あら、やっぱりマリ子ちゃん、帰ってたのね」って言われたんですよ（笑）。どうやら、私の歌は近所じゅうに鳴り響いていて、とっても有名だったらしい……。

そういうふうに、歌を歌うこと自体はとっても好きで、昔から歌っていたんだけど、うまいとかヘタとか考えたことはなかったんですよ。ところが、仕事として歌うことになったら、そういうわけにはいかないでしょ。いちばん戸惑ったのは、自分で感じているように歌えていないってことに気がついてしまったんです。それでも必死に歌おうとすると、いわゆる「歌を歌おうとしている歌」みたいになってしまって、味もそっけもなくなってしまうんです。それで、しばらくの間、歌が歌えなくなっちゃったんですよ、怖くて。鼻歌さえも歌えない……。そのときの精神状態といったら、さぞかし周囲の人たちが迷惑をこうむっただろうと思うんですけど……。今となっては、どうやって立ち直ったのか、覚えていないんですけど。とにかく、「國府田から歌を取ったら、なにも残らない」って言われてますんで（笑）。

それと、自分のアルバムで何曲か作詞してるんですけど、私、中学生のころから作詞帳っていうのをつけてるんです。音楽部だったんで、曲を作らなきゃならなくて、それでつけ始めたんですけど……。この前すごく嬉しかったのは、私のアルバムの作詞をしてくれたプリンセスプリンセスの富田京子さんが、私と同じ形式の作詞帳を持っていたんです。ふたりで「これってすごい宝物なんですよね」とかお話しして、ちょっと感動!!



そのうえ、プロの人に「いっしょに頑張ろうね」って言ってもらえて嬉しかったですね。

――このグラビアの撮影はいかがでしたか？

國府田　喜久子さんは色っぽくて、きれいだなーって。

井上　マリ子ちゃんだって、すごく可愛くて。なんかいっぱい変身させてもらって、楽しかったですね。マリ子ちゃんは、カツラなんかも被(かぶ)せてもらってたし……。

國府田　あのカツラ、けっこう重かったんで、これはもうキレるしかないかなって感じで、最後は妙にはしゃいでしまいましたけどね（笑）。

井上　撮影が終わった後、カツラをはずして、シバカリくんの頭みたいになったのをみんなに見せに行くという親切心まであって。みんなを笑わせてくれて……。

國府田　アハハ！　カツラを被るまえに、ストッキングのようなものを被るんだけど、それがあまりにも似合ってたんで、思わず見せに行ってしまったという……。でも、喜久子さんも可愛かったんですよ。帽子を被るために前髪を上げたんですけど、それが自分では嫌だったらしくて、目をキュッとつぶったまま、「早く被せてください！」って。その姿が妙に可愛かった。

井上　だって、耐えられないんだもん。前髪上げるのって、勇気いりません？

國府田　私は、おでこ出してるときありますから。

井上　あ、マリ子ちゃんは、

どっちも似合うもんね。いいなあ、そういうの。私はダメなんですよ、前髪上げるのって。

國府田　いえいえ。私の場合、もともとが丸顔なんで、もう諦めただけで……。一時期、前髪を全部上げてたころに、みんなが笑うんですよ、私の顔見て。で、私のオデコってそんなにおかしいのかなって思って、ある人に聞いたら、「いや、きみのオデコは財産だよ」って（笑）。諦めたんです、そのときから。

井上　そういえば、私、つけまつげ初体験だったんだ。

國府田　あ、そう言ってましたよね。

井上　つけまつげをつけたら、まつげが長くなって、もうビックリ……そのまんまですね、感想が……。

（一同大爆笑）

――いちばん大変だった撮影はどれでした？

國府田　ふたりで床に寝て撮った写真があるでしょ。あれ、実はけっこう寒かったんですよ。しかも、カメラさんが私の顔の真上でカメラ構えてて。

井上　私ね、もしカメラが落ちたら、「落ちるよ」って言ってあげようと思ってたの。だって、マリ子ちゃん、ずっと目をつぶってたでしょ。

國府田　みんな、「寝てる、寝てる」って言ってたけど、でも、寝てるわけじゃなかったんですよ。

井上　それと、私たちの上にはライトもあったんだけど、「もし、あれが落ちてきたら」って思って、実は私、目をつぶっている間、ずっとライトを受け止めるためのイメージ・トレーニングをしてたんです（笑）。

安心して甘えられる人です（國府田）
甘えられるのって好きですよ（井上）

國府田　そうだったのか！　私は、喜久子さんの見えない愛に包まれていたんですね。

――ふたりは、声の仕事では、あまりいっしょになったことがないそうですけど、今日みたいに、長い時間いっしょにいてみて、相手のことをどう思いました？

國府田　喜久子さんは、もうイメージ通りの方でした。ホンワカしてて、優しくて、人に気を使う方……。なんか、安心して甘えられちゃうっていう感じ。私、実は、すごい人見知りで、突き放されるのが怖いから、なかなか甘えられないんですけど、喜久子さんにはそういう不安を全然感じなくて、とにかく最初から安心できる人っていう感じでした。

井上　わあ、そう言ってもらえると嬉しいな。私は基本的に年下の子、特に女の子が大好きなんですよ。だから、そういう子に甘えられると嬉しくなっちゃうんです。

國府田　そういえばね、喜久子さんの脚って、細くてきれいなんですよ。私、見ちゃったもんね（笑）。

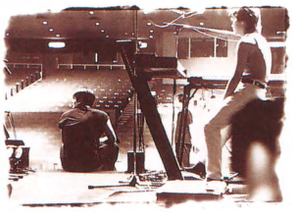
井上　エーッ、そんなことないよ。でも、言われると嬉しい。もっと言って、もっと言って……（笑）。

國府田　だけど、ホント、喜久子さんっていいですよね。時間がホワーっと流れてる感じで。

井上　そうなのかなあ？　私、自分では普通のつもりなんだけど。でも、これってきっと、井上家の普通なんでしょうね。うちの時間が、こういう時間なんですよ。

國府田　あ、そういうのは、あるかもしれない。私も、たまに実家に帰ってると、東京へ戻ってきてから、仕事に復帰するまでにものすごくエネルギーを必要としますもん。

TAKESHI KUSAO LIVE TOUR '94 "TAU" IN TOKYO



緊張しています。
テンションの高い、集中力のある緊張状態。
あれもこれもやらなくてはいけない、
どれも落としてはダメだという
段取りを意識した緊張ですね。
このまま幕が上がらなければ、
こうした状態は気持ちいいんだけど、
そのうちこれがプレッシャーになってくる(笑)。
今日のコンサート会場は、今回のツアーの中でいちばん広いので、
お客さん全員が満足できるように、
〝見せる〟という部分に一層の工夫をしたいですね。
——開演1時間前　草尾毅 談

Photography●TAKAHISA IDE ／ Text●YUKO SUZUKI

TAKESHI KUSAO LIVE TOUR'94 "TAU" IN TOKYO

'94年9月25日午後4時、白煙の中、草尾毅は凛として登場した。

草尾毅の秋は、ライブツアーで始まった。8月に発売されたアルバム『TAU』を中心としたコンサートが、札幌、名古屋、東京、山形、福岡、大阪の6都市で行われたのだ。

9月25日、東京・五反田ゆうぽうと簡易保険ホールに集まった草尾毅のファンの数は、約1500人。どんな気持ちで今回のライブツアーに臨んでいるかを直接本人に聞くため、この東京公演を訪れた。

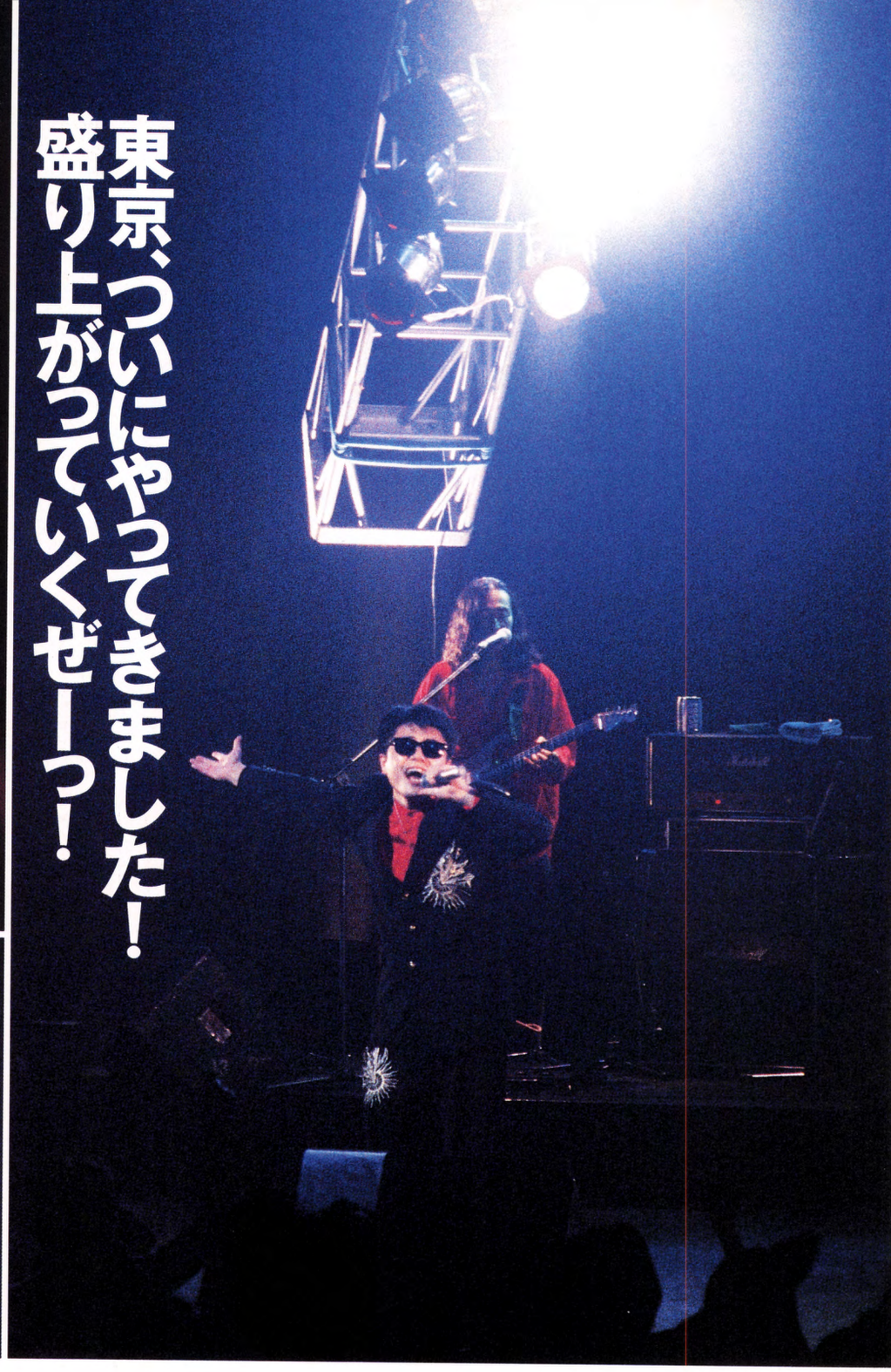
午後1時リハーサルが始まる。会場前にはすでに数十人のファンが、1年ぶりの草尾毅のコンサートを、今や遅しと待ちかまえている。

開演1時間前の午後3時、会場前は長蛇の列。開場と同時に、どっとホールへなだれ込んだ。

そして午後4時ジャスト、草尾毅はついにステージに立つ。ファンは総立ちで出迎えた。

草尾毅PROFILE

11月20日生まれ。血液型B型。青二プロダクション所属。
主な作品は、『SLAM DUNK』(桜木花道)、
『ドラゴンボールZ』(トランクス)など。



東京、ついにやってきました！盛り上がっていくぜーっ！

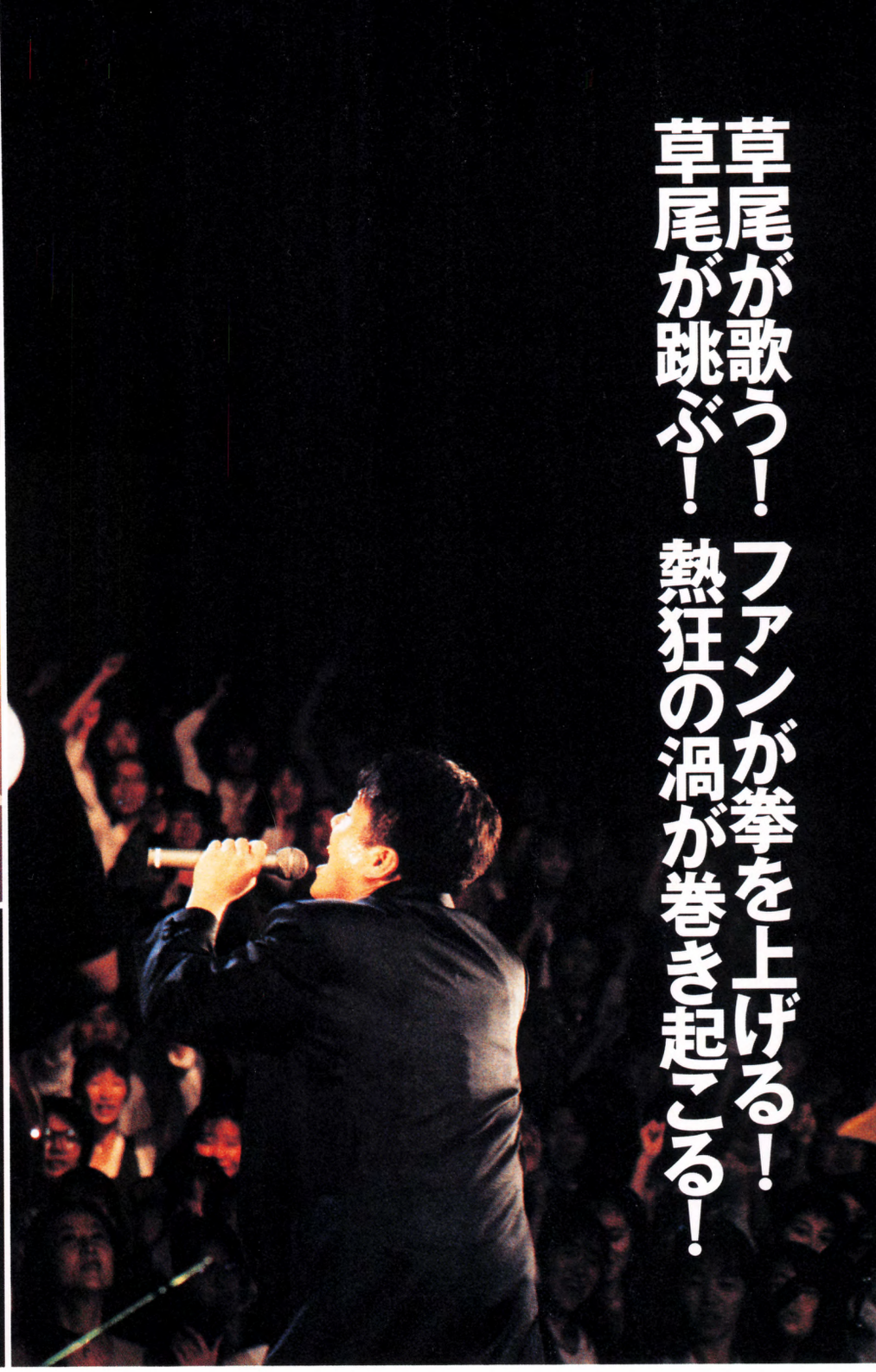
オープニング曲「熱帯夜」に続いて、「STAND & HURRY UP」を歌ったあと、草尾毅はファンへこう呼びかけた。

この日、彼がMCで話したのは、初のメッセージ本『EGO（イーゴ）』と、メインパーソナリティを務めるラジオ番組『草尾毅のTIKids Party R』についての最新情報、そして心情あふれるファンへのメッセージだった。ライブならではの、こうした生の情報やメッセージにファンは熱く反応する。そしてその反応に草尾自身も高揚し、そのときの雰囲気で予定にはなかった言葉がポロリと出てしまう。

さすが声優、1500人の一人ひとりに話しかけるのがうまい。だからファンは、あたかも一対一で草尾と話しているかのように、彼のひと言ひと言に笑い、驚き、歓声を上げる。

しかし、草尾の望みは大きい。彼は今日のMCの出来をこう語る。

草尾　段取りだけを考えて話すと、決まったMCになっておもしろくない。それをどうにか崩しながら、でも取りとめのない話にならないようにしなくてはいけない。そういう点で、今日のMCは「伝えた」だけという感じ。でも言いたいことは全部言えたとは思うんです。メリハリをつけながらも、聞かせる部分では聞かせるという点でまだまだですね。



草尾が歌う！ファンが拳を上げる！草尾が跳ぶ！熱狂の渦が巻き起こる！

TAKESHI KUSAO LIVE TOUR'94 "TAU" IN TOKYO

コンサートに集まったファンは、圧倒的に女の子が多い。しかしその中に交じって、イガグリ頭の男の子たちが、女の子に負けじと拳を力いっぱい振り上げ、頭の上で手拍子をしている。インタビューで草尾毅は、彼ら男子ファンのことをいとおしそうに、こう語った。

草尾　本当にね、嬉しいことにコンサートに来てくれる男子が増えているんですよ。前からアニメファンらしき男子が来てくれてたけど、女子の勢いに圧倒されていた。

それが最近では「女子に負けるもんか」というように(笑)、跳んだりはねたりしている。こういう姿を見ていると、彼らのためにもやり続けないとって思う。

そして、こうした男子ファンも含めて、来てくれるファンはみんな、コンサートで感じたものを、自分なりに消化して次のコンサートに持ってくる。だから前回より今回のほうがより深いもの、心に残るものじゃないといけない。そういう意味でも次のコンサートはさらに大変なんだけど(笑)、でもこういう大変なところにこそ、コンサート活動の魅力があるんだと思いますね。

草尾毅出演のPCエンジンソフト『ロードス島戦記Ⅱ』(ハドソンソフト定価7800円／12月16日発売予定)を3名様にプレゼント／ご希望の方は官製ハガキに郵便番号・住所・氏名・年齢・性別とともに「ロードス島戦記ゲーム希望」と書いて編集部宛に送ってください。締め切りは12月24日。応募多数の場合は抽選。

いちばん大切なのは、ファンのみなさん。みんな、大好きだぜ！

最後の曲は、草尾毅自身が作詞した「水晶のベル」。客席はそれまでの熱狂とは打って変わり、シーンと静まり返った。心地よい余韻の残るエンディングだった。

しかし、これで終わるはずがない。「アンコール！　アンコール！」の大合唱の中、衣装を着替えて、草尾毅が再登場。

アンコール曲は、アルバム・バージョンの「熱帯夜」と「だからOnly You」。ステージ中を走り回って熱唱する。「だからOnly You」では、家庭用ビデオで草尾自身が、客席をステージを撮りまくる。お祭りのような興奮が会場中に満ちる。

そして、午後6時。コンサートは終演した。まだ息の荒い、興奮冷めやらぬ草尾毅に、今日のコンサートについてインタビューした。

――まず、コンサートが無事終わった今の瞬間の気持ちは？

草尾　ちょっと悔しいところが何カ所かあって、それが残念なんだけど……。歌しかり、演奏しかり、見せ方の問題や照明とかいろいろ技術的な部分で、不満じゃないんだけど、なんかしっくりいっていないぞ、というのがちょっとあって。

でも、それを帳消しにするくらい、お客さんがすごくノッてくださっていたみたいで、盛り上がってよかった。

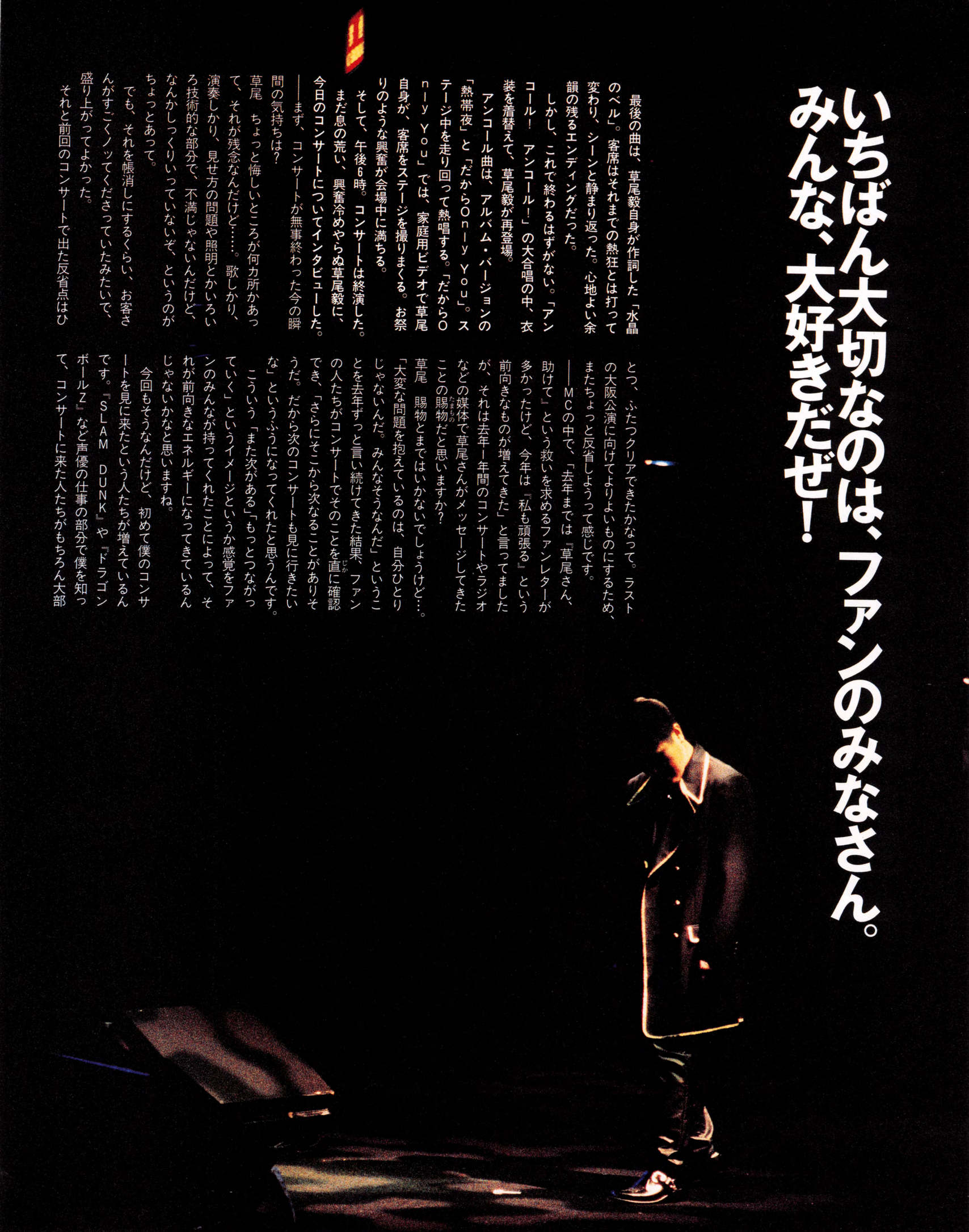
それと前回のコンサートで出た反省点はひとつ、ふたつクリアできたかなって。ラストの大阪公演に向けてよりよいものにするため、またちょっと反省しようって感じです。

――MCの中で、「去年までは『草尾さん、助けて』という救いを求めるファンレターが多かったけど、今年は『私も頑張る』という前向きなものが増えてきた」と言ってましたが、それは去年一年間のコンサートやラジオなどの媒体で草尾さんがメッセージしてきたことの賜物だと思いますか？

草尾　賜物とまではいかないでしょうけど……。「大変な問題を抱えているのは、自分ひとりじゃないんだ。みんなそうなんだ」ということを去年ずっと言い続けてきた結果、ファンの人たちがコンサートでそのことを直に確認でき、「さらにそこから次なることがありそうだ。だから次のコンサートも見に行きたいな」というふうになってくれたと思うんです。

こういう「また次がある」「もっとつながっていく」というイメージというか感覚をファンのみんなが持ってくれたことによって、それが前向きなエネルギーになってきているんじゃないかなと思いますね。

今回もそうなんだけど、初めて僕のコンサートを見に来たという人たちが増えているんです。『SLAM DUNK』や『ドラゴンボールZ』など声優の仕事の部分で僕を知って、コンサートに来た人たちがもちろん大部



分を占めているんでしょうけど、それ以外の部分での非常に新しいファンの形が出てきているんです。昔から来てくれている人たちと新しく来てくれる人たちがうまく融合して、さらなる空間を創り出せたら、もっとすごいエネルギーが生まれるんじゃないかな。

――エンディングに「水晶のベル」という、聞かせる歌を持ってきた狙いは？

草尾　〝アーティスト草尾〟としてのメッセージを最後に持ってきたんです。

「こんな時代に生まれて嫌だと思ってた」などのように、この曲の歌詞に対して、非常にマイナーで暗いイメージを持った人がたくさんいたみたいなんですが、僕の中では明るい歌なんです。

〝こんな時代でも生まれてきたのには必ず意味がある〟という、現在の自分を認めたうえで、明日につなげていこうという詞。

アルバムのタイトル『TAU』には「繰り返し繰り返し続いていく」というニュアンスがあるんだけど、この曲にも「つながっていく」というメッセージを込めているんです。だから「僕のアルバムもまだまだ続くよ」という意味も込めて、アルバムでもこの曲は最後に入れました。

それと同じように、「今日はこの曲でコンサートは終わりだけど、またつながっていくよ。それは次のコンサートであったり、ラジオの番組やアルバムなど、いろいろなものにつながっていくから、頑張ろうぜ」というメッセージを込めたかったので、この曲を最後の曲にしたんです。

――このあとのコンサートの課題は？

草尾　伝え方だと思うんです。自分のメッセージを観客に伝えるということには、いろいろな方法というか段階があると思うんです。その方法をもっと増やすというか、もう少し上の段階にしていかなければって。

今でも伝わっていることはわかるんだけど、ただそれだけ。去年のコンサートはそれでよかったんだけど、今年のコンサートからは伝わったものに対して、お客さんの心に残るものが生まれるように、もっとうまく伝わるようにしたいなあって。

――12月4日に追加公演があるとお聞きしましたが。

草尾　一応は今回のツアーの追加公演という形ですが、中身は変わる予定です。

僕がやっているラジオ番組がこの10月からリニューアルされ、番組名も「R」がついて『草尾毅のTIKids Party R』となるのにあたって、オープニング用の新曲が12月にシングル発売されるんです。

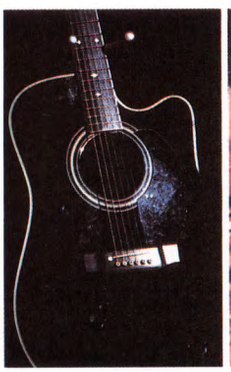
この新曲を中心に、「バックアップチーム（草尾毅ファンクラブ）のファンの子たち、ありがとう。ラジオもがんばりま～す」という、ラジオ色もありのライブコンサートになると思います。この雑誌が出るころには内容も決定されているでしょうけど、今はまだ細かい内容は考え中なんですよ。

――最後に、この雑誌の読者へのメッセージを。

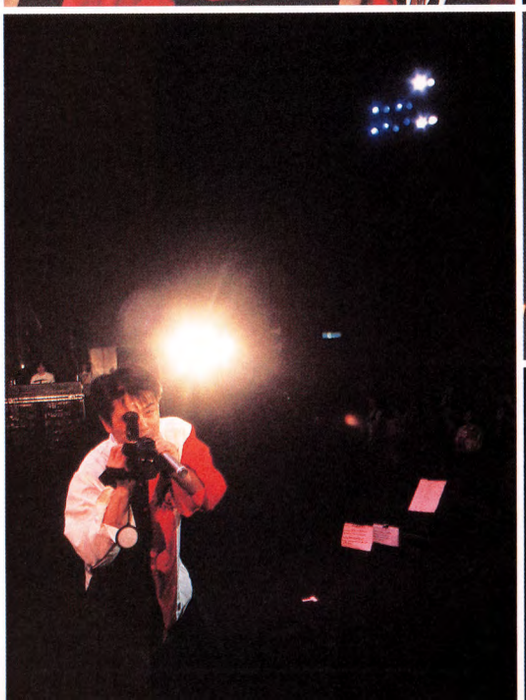
草尾　本業で声優をやっている草尾毅という人間が、去年から本格的にアーティスト活動をやろうということで突っ走ってきて、今年もなんとかひとつ、去年よりいいものができつつあります。これもファンのみなさんのおかげだと思い、嬉しいです。

今後は、より活動領域を広げ、前人未踏の〝声優兼アーティスト〟（笑）としてやっていけたらいいなと思っています。声優の仕事も音楽活動も〝見せる〟とか〝作る〟という部分では非常に似ている。二足のわらじを履くことを日本人はあまり好まないけど、外国ではよくあるじゃないですか。だから、できないことじゃないと思うんです。

この雑誌で初めて草尾を知った方も、前々から知っている方も、〝声優・草尾〟の部分はもちろん、〝アーティスト・草尾〟の部分もよろしくお願いします（笑）。



TAKESHI KUSAO LIVE TOUR'94 "TAU" IN TOKYO



It will all happen in time.

番組の仲間っ、クラスメートみたいなものだす

HIYAMA VS OGATA

――檜山さんと緒方さんは、『幽遊白書』で初めて出会ったということなんですが、毎週顔を合わせていると、家族意識というか仲間意識みたいなものができていきますよね？

檜山　そうですね。やっぱり、家族というよりは、友達という感じかな。近い存在ではありますね。なにしろ、同じ業界にいても、会わない人には2年も3年も会わないことがありますからね。

言ってみれば、クラスメートみたいなものですよ。自分から友達になろうと思って近づいていったわけじゃなくて、最初にこの人たちと1年なら1年いっしょに過ごしますって言われて、そのうちにだんだん親しくなっていくという……。それと同じだと思いますね。

なにしろ、ぼくらの仕事っていうのは、レギュラー番組を勝手に選べるわけじゃないですからね。「この番組は、このメンバーでやりますので、よろしくお願いします」って言われて、1年なら1年、2年なら2年続いていくわけですから……。

緒方　アニメの内容も、けっきょく、幽助、桑原、飛影、蔵馬っていう4人の友情を描いていくような話ですからね。そういう意味で、仲良しになっていくのは当然かなっていう気もしますね。きっと、これが、もっと家族的な話だったら、家族的な関係になっていくんでしょうね。まあ、私は、そういう家族的なアニメってやったことがないんでわかりませんけど……。

檜山　だからって、敵役の役者さんとは仲が悪いって意味じゃないですからね。ときどき、そういうふうに勘違いする人がいますけど(笑)。ただ、幽助役の佐々木望くんとか、蛍子役の天野由梨さん、雪菜役の白鳥由里さんなど、年齢も近い方が多いので、友達づきあいしてるというか、よくご飯を食べに行ったりしてますね。

アフレコが夜だったら、きっと飲みに行ってると思うんですけど、残念ながらこの番組のアフレコは朝から始まるんですよ。さすがに、昼の1時ごろに終わって、飲みには行けませんものね。

――ふたりとも、お酒は強いんですか？

緒方　はあ、まあ、その……。

檜山　いいじゃない、公然の秘密なんだから(笑)。

緒方　ほっといてよ！

檜山　だって、きみ、自分で言ってんだから。自分で答えてたじゃない、アンケートの中で。

緒方　いいじゃない！

檜山　ぼくはけっこう飲む方だと思ってるんですけど、この業界はみなさんお強いですからねえ。その中に交じると、ぼくはどっちかというと早くつぶれちゃう方になっちゃうんですよ。これが、普通の人たち、ぼくの友達連中なんかと飲みに行くと、最後まで飲んでるのはぼくなんですけどね(笑)。

――ところで、初めて会ったときの印象は、どんな感じだったんですか？

檜山　まあ、ぼくの場合には、初対面の相手でも、どんな人なんだろうなあっていうぐらいの気持ちは起こりますけど、必要以上に気にしないんです。仲良く、うまく仕事ができればいいなあ、と思う程度のもので。たとえば、ひとつのパターンとして、ぼくが誰かを嫌いになったとしても、仕事はやっていかなければならないわけですから、相手に対して、どうのこうの思うっていうのは、ぼくは仕事ではあまりしないようにしているんです。

緒方　そうですねえ。檜山くんに関して、やっぱり相棒の役ですから、どんな人かなって最初は気になりましたね。私は、檜山くんのことを知らなかったし、この業界自体が初めてでしたから。

他の共演者の人たちの仕事の内容も、まったく知らなかったし。アニメーションのこととか全然知らなくて、どういうお仕事をしていらっしゃるのか、けっこう勉強しなくちゃならなかったんですよ。でも、そういうことを知らないと、お話もできなくなっちゃうし、話題もなくなっちゃうと思って……。

それで、共演する人たちが決まっていくに従って、「その人たちの主な出演作品ってなんですか？」ってマネージャーに聞いて、なるべくいろいろなビデオを見たり、CDやテープを聴いて、「こういう感じの人かな」って、勉強してから会うようにしていたんですが、檜山くんはビデオとかがあんまりなかったんですよ(笑)。

檜山　ぼくは、その当時まで、あまりレギュラーはやってなかったんですよ。初レギュラーが『幽遊白書』のすぐ前でしたからね。ぼくは業界そのものは長くて、これで5年目か6年目かな。要するにそれまでは「これが檜山だよ」っていうのがなかったんです。

緒方　だから、そのときは檜山くんの作品っていうのがあまりなかったので、よくわからなかったんですよ。他のレギュラーの方はけっこうあったんで、よく見てたんですけど、檜山くんだけはわからなかったので、謎の人だなあ、と……(笑)。

檜山　それを言うなら、きみの方がよっぽど謎や！　だって、この仕事が初めてだったんでしょ。誰に聞いても、いや、そんな人、知らないって言われて。この人は一体誰なんだろうと……(笑)。

Photography●YOUICHI IWASE
Text● HIROYUKI OHNUMA
Stylist ●ASAMI NISHIDA
Hair&Make-up●HIROMI CHINONE

名コンビと呼ばれる者たちがいる。
自分で決めたわけでも、他人に決められたわけでも
ないのに、いつの間にか、いっしょに仕事をしていた。
でも、言われてみれば、そのとおり。相棒の気持ちは、
自分がいちばんよくわかっているのかもしれない。
だから、今日もふたりで、GET SHOOTING!

HIYAMA VS OGATA

自分の受けた役を、まさか女性がやるなんて

——お互い、予備知識もなしに、初めて会ったわけですが、実際に会ってみて、どうでした？

緒方　檜山くんは、初対面でバアーッと喋るというようなタイプじゃないんで、隣に座っていても、ずうっと黙ってるんですよ。で、「なんとかですか？」とか聞いても、「ハア」とか「ハイ」とか無愛想な返事をされるので、最初は「嫌われてるのかしら、もしかして」とか思っちゃったりしたんですけど（笑）。でも、相棒の役なんで、仲良くしなきゃいけないって思って、一生懸命話しかけたりして。

檜山　全然覚えてねえや（笑）。緊張してたのかもしれない、1話目だから。

緒方　あのときは、飛影とは違う役やってたんだよね。で、無愛想にマイクの前に出たら、突然、「アハハハッ！」とか、キレたような役をやり出すから。しかも、声がやたらにデカいんで、それにもびっくりして。ところが、戻ってきてイスに座ると、ガンは飛ばすし、無愛想だし、この人は一体なんだろうなあ、と思いましたね（笑）。

檜山　あのね、これはちょっと、緒方さんの話をする前に、ぼく個人のことになっちゃうけど、ぼくは最初、オーディションは蔵馬で受けてるんですよ。

　それまで、どっちかっていうと、飛影のような目つきの悪い（笑）役ばっかり多かったんで、蔵馬の資料を初めて見せてもらったときに、髪がスーッと長くて、美形だったんで、「オーッ！　ついに、こういう役のオーディションがくるようになったか！」って、すごく嬉しかったんですよ。なにしろ、役者仲間には、「檜山は目つきの悪い役しかできない」とか、酒の肴にされてましたから。

緒方　もともと、目つき悪いもんね。

檜山　うるさいな（笑）。それでね、「ザマーミロ！　おれもこういうオーディションがくるんだ！」って、喜び勇んで出かけていって、しばらくして事務所から「けっこういいところまで残っているらしい」って言ってきたんで、「ひょっとしたら、いけるかもしれない、これは！」って思ってたんですよ。

緒方　へえ、そうなんだ。

檜山　いや、実は、そのときにはもう、飛影の役の方に移ってたのね。ところが、事務所の方は、ぼくがそこまで蔵馬にこだわってるなんて知らないから、そういうふうにはっきり教えてくれなくて、「2次オーディションまで残ってます。2回目のオーディションに行ってください」ってだけ言われたの。で、ぼくはてっきり蔵馬のオーディションだと思って行ったら、渡された資料が違ってて（笑）、オヤ……？

緒方　違うじゃないかって（笑）。

檜山　そう。けっきょく、こういう目じゃん。やっぱり、ぼくはこっちの線かって……（笑）。

　まあ、これはぼく個人のことで、緒方さんには直接関係ないんだけど、逃がした魚は大きかったな、と（笑）。で、その役に決まったのが……。

緒方　私だったんで、怨んでたのね（笑）。

檜山　そうじゃなくて、自分がオーディションを受けた役を女性がやるって決まったのが、なんかショックでしたね。

　だから、緒方さん本人がどうこうというんじゃなくて、「すごいな。一体何者だ？」っていう感じはありましたよ。

緒方　そうですよねえ。中学生ぐらいの男の子なら、あるかもしれませんけど、高校生ですからねえ。

檜山　アニメーションっていうのは、年齢じゃなくて、世界観とか状況観だと思うから、そういう設定とか、そういう状況であれば、小学生を男の声優さんがやってもおかしくないと思うんだけど、男のぼくがオーディションを受けた役を女性がやるというのは、ぼくにとってはものすごく強烈だったの。

緒方　そうかあ。私は、なにもわかってなかったですからね。こういう世界の常識みたいなこと。「あ、そうですか」でおしまいだった……。

　いちばん最初に聞いたときには、宝塚の男役みたいな役って言われたんですよ。「女の子みたいだけど男の子で、髪が長いんだけど男の子で、人間なんだけど妖怪で、人間なんだけどキツネなんだよ」って言われて、「どういう人なんだろう」と思って、全然わかりませんでしたね。

　でも、まあ、私は舞台で男役を何度かやったことがあったので、そういうふうにやればいいのかなって思って、後のことはよくわかりませんでしたね。

HIYAMA VS OGATA

――『幽遊白書』は大変な人気作品で、おふたりともファンレターとかがいっぱいくると思うんですが、こういう人気キャラクターを演じるというのは、どうですか？

檜山　基本的には、あまり変わらないですよ、自分の中ではね。別に、人気のあるキャラクターだから力を入れようとか、そういうのは全然ないんで……。ただ、正直なところ、ぼくたちも商売ですから、自分の商品価値を上げるのには、ある程度役立ってますよね。ぼくにとっては、それ以上でもないし、それ以下でもない。

　自分にくる役は、ぼくにしてみれば、全部均等ですから。それはもう、主人公であろうと、男Bであろうとね。だから、こういうのは、ぼくたち自身より、見てくださっている方が、「あの役のあの人だよね」というふうにひとつの看板としてとらえてくださると嬉しいな、と思いますね。

緒方　私は、さっき言ったような状態だったので、オーディションに受かったときも、あまり状況がわかってなかったのね。原作が、そんなに人

気のあるマンガだとも知らなかったし。

ただ、弟とかが『少年ジャンプ』を読んでたので、受かってから、まわりの人間に「人気のあるマンガなんだ」「人気のある役なんだよ」って言われたんだけど、私自身としては、人気のある役だからどうだ、っていうのは全然なくて、「ああ、そうなんだ」って思ったぐらいでしたね。とにかく、業界の中でも、どうしていいかわからなくて、そっちの方で必死でしたからね。

それに、キャラクターの人気がどうこうっていう反応は、かなり後から返ってきたんですよ。私はそのころ、まったく無名で、どこの事務所に所属しているのかも知られていませんでしたから。ひょっとして、そういうことがあらかじめわかっているような人だったら、放映してすぐに反応がきたのかもしれませんけど、私の場合は所属事務所すらわからないわけですから……。

世間でどう言われていても、私のところには反応が返ってこないんですよ。これが舞台だったら、自分でやったことが、その場でダイレクトに返ってくるんですが、こういう仕事はなにも返ってこないんだなあって思って。

それよりも私にとって重大だったのは、声だけの芝居はごまかしがきかないってことだったんです。たとえば、檜山くんとか千葉さんと比べると、当たり前の話ですが、女性なんで、私の声はやっぱり高いんですよ。

しかも、蔵馬っていうのは、まわりの人を静かに説得しなくちゃならないんですね。内面も、すごく深いし。もう、そういう難しさがあって、そういう部分の掘り下げだけでも大変で……。

だから、そのとき、私が思っていたのは、私の声という素材そのものを鍛えて、素材自体を変えなきゃダメなんだっていうことで、それだけで必死でしたね。まわりのことなんか、なにもわかっていなかったんです。

それで、ふと気がついたら、「あ、人気のある人だったのね」という感じで。なにもわかっていないうちに、そうなっていたというところですね。

――『幽遊白書』以外で、おふたりが共演している作品というのは？

檜山　最近、多いんですよ。単なる偶然なんですけどね。だって、ぼくらの仕事っていうのは、自分で作品を選べるわけじゃないんですから。「今度、あの番組があるから、いっしょに行こうよ」っていうわけにはいかないんで……（笑）。

緒方　そうなんですよね。ファンの人の中には、ときどき、その辺のことを誤解して、「いっしょに仕事ばかりしてる」とか言う人もいるんですけど、別に私たちが選んで仕事できるわけじゃないんですから。

檜山　だから、ごく普通にスタジオに行くじゃないですか。すると「なんでいるんだよ、また！」って。

緒方　こっちも、「ほっといてよ！」って。なんか、行ってみると、たまたまいるっていうパターンが結構多くて……。あ、今度『セーラームーン』いらっしゃるんでしょ？

檜山　いじめないでね。

緒方　いじめる（笑）。要するに、私の仕事が増えてきたんで、重なる回数も増えてきたんでしょうね。

人気のある役だったんとは後から知ったんです

HIYAMA VS OGATA

You're under arrest!!

——今日のグラビア撮影は、いかがでしたか？

檜山　写真の撮影自体が、そんなにないですからね。めったにやれない仕事なんで。ぼくは、自分の中のモットーとして、仕事は楽しくやる、というのがありまして、めったにやれない分だけ、もう、楽しく、楽にやらせてもらいました。まあ、たとえて言えば、年に2、3回しか食えないような中華のフルコースを食うようなもので……。

緒方　なんだ、そのたとえは……（笑）。

檜山　だって、めったにないじゃない（笑）。ならば、それなりの楽しみ方で楽しむだけですよね。

緒方　私も、メイクさんとかスタイリストさんとかがちゃんとついた撮影って、CDのジャケット撮影のときぐらいしか経験がないんですけど、こういう本が出るようになると、もしかしたら、これからもこういう仕事が増えていくかもしれないな、とは思いましたね。

　でも、実は私、写真を撮られるのがものすごく苦手なんですよ。小学校とか中学校のとき、写真を撮られると魂を抜かれると思ってて、本当に抜かれるような気がして（笑）、「写真を撮るよ」って言われると、必死に逃げてたんですよ。だから、クラスの記念写真とか見ると、いかにも嫌そうに、端っこの方で横向いて写ってたりしますよ（笑）。

　今回の撮影はシチュエーションが特殊だったので、最初はちょっと戸惑ったんですが、スタッフの人とお話をして納得してからは楽しくなりました。すみませんねえ、お待たせしちゃって……。

NOBUYUKI HIYAMA
檜山修之
昭和42年8月25日生まれ。アーツビジョン所属。
主な作品に、『勇者特急マイトガイン』（舞人）、『幽☆遊☆白書』（飛影）、『銀河戦国群雄伝ライ』（ライ）、『ドラゴンリーグ』（ヒプロ）などがある。

モデルガン協力●New MGC　☎03-3832-0017

子供のころ、写真を撮られるのが大嫌いだった

檜山　いえいえ。

緒方　でも、デートのときだって、女性はお化粧に時間がかかりますもんね。仕方ないですよね。

檜山　そういうときは、5分ですませろって言っちゃうもん(笑)。

緒方　このわがまま者が！(笑)

――じゃあ、ふたりいっしょの撮影の方が、緒方さんにとっては、気が楽だったということかな？

緒方　そりゃあ、知らない人と組まされるよりは、その、ねえ……。

檜山　なんだよ。えらく、遠回しな言い方じゃないか。

緒方　いや、ほら、檜山くんのファンの女の子とかいるから、気を使っているわけですよ、言い回しに。そうじゃなくても、最近、そういう見方をする人がいないわけじゃないし……。

檜山　でも、遠回しな言い方をすると、かえってなんだか、怪しく聞こえるよ。

緒方　そうなんですよねえ。檜山くんのいいところは、そういう言い方を絶対にしないところで……。「むかつくぜ！」とか、はっきり言い切ってしまえる人って、特に仕事関係では、そんなに多くないですからね。

普通は、言葉を柔らかくして、オブラートに包んで、必要なことも隠してたりするんですけど、檜山くんは、とにかくオープンな人で、ときにはグサッときたりもするんだけど、腹蔵なく喋ってるっていうのが、わかるんですよね。お腹にたまって、どうのこうのというのではないので、そういう意味では安心し てつき合える人なんです。

檜山　いやあ、とにかく、ぼく、ストレスのたまらない人なんですよ。

緒方　ほんとに、そうなんですよ。私が「ストレスたまった」って言って、相談しても、「そうか、そうか」って聞いてはくれるんだけど、「でも、ぼくにはわからん」って(笑)。そういう強い部分は、見習わなくちゃいけないなあ、と思うんですけど……。

MEGUMI OGATA
緒方恵美
6月6日生まれ。青二プロダクション所属。
主な作品に、『幽☆遊☆白書』(蔵馬)、『ツヨシしっかりしなさい』(シズオ)、『美少女戦士セーラームーンS』(セーラーウラヌス)、『ヤマトタケル』(ロカ)などがある。

スクリーンの美女を演じる美女たち

藤田淑子 *ToShiko Fujita*

小山茉美 *Mami Koyama*

戸田恵子 *Keiko Toda*

私たちの仕事は、フィルムに息を吹き込むこと。

3人の美女は、さりげなくそう言う。

だが、それがどんなに難しいことか、この3人こそが

いちばんよくわかっているに違いない。

そして、そういう難しい仕事をひたすらに続け、

スクリーンの美女を演じ続けてきた3人だからこそ、

本人たちもまた、こんなにも魅力的なのかもしれない。

● *Photography*／*GAKUJI MASUDA* ● *Text*／*HIROYUKI OHNUMA* ● *Hair & Make-up*／*HIROMI CHINONE* ● *Styling*／*MINA WATANABE*

――みなさんは、アニメの人気キャラクターはもちろんですが、有名な女優の吹き替えもたくさんやってらっしゃいますよね。そういうとき、特にその女優を意識するというようなことはあるんでしょうか？

藤田　私は今、『マーフィー』っていう番組でキャンディス・バーゲンをずっとやってますけど、私にとって問題なのは自分が演じているのがキャンディス・バーゲンだっていうことではなく、彼女がどんな演技をしてるかっていうことですね。

　つまり大事なのは、その作品の中で、その人がどんな役柄にトライしてるかってことなんです。だって、その人も普段の生活は役柄とは全然違うわけでしょう。彼女は彼女なりに毎回違うキャラクター（役柄）に挑戦してるわけだから、こちらが勝手にイメージを決めつけたりはしないようにしてるんです。

大事なのは、作品の中における役柄のほうなんです

小山　そうですねえ。そういう意味ではアニメのキャラクターを演じるのと、そんなに変わりませんね。

　ただ、技術的にはかなり違いますよ。洋画の場合には原音を耳で聞きながら、台本を見ながら、画面を見ながら、相手のセリフを聞きながらって、かなり聖徳太子ふうになってしまいますからね（笑）。

　原音を聞きながら喋（しゃべ）るっていうのは慣れるまではけっこう大変なんですよ。原音のほうが気になってしまって。ただ、慣れてくると信号音にしか聞こえませんからね。この声が聞こえている間に自分が喋ればいいんだって。

　むしろ、ちゃんと意識して聞いていなければならないのは、ほかの方たちのセリフですよね。私たちの仕事は、日本語でどういう芝居をするかっていうことなんですから。だから私なんかはやっぱり、原音よりはほかの方たちのセリフのほうに意識がいっちゃいますね。

――テレビの洋画を見ていて、いつも感心するのは英語を喋っているはずなのに、よくもまあ、こんなにピッタリ合うもんだなあということなんですが（笑）。

小山　それはね、ブレスの位置をうまく合わせるとか、そういうのはあるんですけど。ただ、本当に困っちゃうのは、日本語と英語とでは、文法が逆なんですよ。

　英語では主語がきて、すぐ動詞がきて、それから目的語がくるでしょ。でも、日本語は違うんです。だから、たとえば「そこのコップ取って」っていうときに、セリフとアクションが合わないことがあるんですよ。

　そういうタイミングはすごく難しい。対話のタイミングとか、アクションと言葉のタイミングとかね。

藤田　アクションとセリフが合わないっていうのは辛いわねえ。役者さんが表現している、ちょうどその場所に、そのセリフが入っていないっていうことがあるものね。

　それと、ブレスの位置とか、日本語としてはどうしてもここで切ったらおかしいっていうところで切らざるを得なかったり。でも、それに関しては頑張っても、どうにもならないことですからねえ。

　もっとも日本語の芝居として、相手役の役者さんが喋っている芝居をこちらが壊さないようにして、あまり違和感がないようにさえすれば、見ている人にはそんなに気にならないのかもしれませんけどね。

小山　気にならない、ということでいけば、やっぱり「あの外人さん、日本語うまいな」と言われるくらいにマッチさせられるのが理想ですよね。

藤田　そうですねえ。だから、どういうふうに吹き替えるかっていうのも作品によるんだと思います。なるべく向こうの芝居を壊さないようにつくっていく場合もあるし、作品によっては、自分のほうに近づけていく場合もありますよね。喜劇なんか特にそうなんでしょうけど、日本人にわかりやすくするためには、多少デフォルメ（変形）したほうがいいっていうケースもありますからね。

――みなさんは、お仕事のときも含めて洋画をたくさんご覧になると思うんですが、そういうときって、どんな気分なんですか？　やっぱり自分が演じたことのある役者さんは気になるとか？

藤田　私はもう、作品そのものを楽しんで見ているだけですね。

この役はくるかもしれないと思うと、必ずくるんです

小山　私はねえ、自分がこういうお仕事をしていて、こんなこと言っちゃいけないのかもしれないんですけど、自分が本当に好きな作品っていうのは、誰にもアテて欲しくないですね（笑）。ましてや、自分がアテるなんてことになったら、本当に困っちゃう。

戸田　あ、わかる、その気持ち！　私はときどき、映画館で映画見てて「この役はくるかもしれないなあ」って思うことありますよ。「やりたい」っていうんじゃなくて「くるかもしれない……」。ショートカットで、活動的で、銃をバンバン撃ってる、なんていうのを見ると……。

小山　私にくるかなあ、って……（笑）。

戸田　やっぱり、自分についてくるイメージみたいなものってあるでしょ。私自身は、本当はしっとりした女の人もやりたいんだけど、そういう役って絶対にこない。だから「くるかな」なんてうっかり思っちゃったものは本

当にくるし、「私にはこないだろうな」と思ったものは絶対にこない（笑）。

小山　そういうのってあるよね。

戸田　でも、茉美ちゃんはオールラウンドでしょ。私は、色っぽいのってないからね、本当に。

小山　そうお？　私も、そんなに色っぽいのってないよ。気の強い女は多いけど（笑）。

戸田　それは、みんな、そうでしょ。

（一同大爆笑）

小山　確かに、3人ともそうだよね。

戸田　大体、アメリカ映画の主役になるような女優さんって、ヤワな人いないよね。

藤田　日本の昼メロみたいにイジメられてグスグス泣いて、それでも耐えてるなんていうような人は、向こうの主役にはいないものね。みんな、どんなときでもビシッとしてるっていう感じで……。

洋画はあくまでも人間のやっていることなんです

――先ほど洋画でもアニメでも、そんなに変わらないというお話がありましたが、役づくりの上では、多少違うんでしょうか？

藤田　私は全然分けてませんね。洋画と一口に言っても、時には喜劇もやってるし、すごいトップポい女もやってるし。毎回、トライの仕方が違うわけで、アニメも同じですよ。子供をやったり、母親をやったり。それぞれでトライしているわけですから、気持ちのうえで特別に変わるとか、そういうのはありませんね。

　ただ、違うとすれば、アニメは描いてある絵に息を吹き込んでいく仕事なんですが、洋画の場合には、もう演じている役者さんがいるっていうことなんです。私たちが台本を読んで勝手にイメージを膨らませてやるわけにはいかないんですよ。

戸田　向こうは、何カ月もかけて演技しているわけですからねえ。

藤田　そう。だから、できるだけ向こうの人の芝居を壊さないように、とは思いますね。でも、これはすごく大変なことなんですよ。余分なものをくっつけてもいけないわけだから……。

小山　そうですねえ。私もアニメと洋画は基本的に同じだと思うけど、違うのは洋画はあくまでも人間がやってることなんです↘よ。質感のある人間がやってることだから、比較的入りやすいんですよね。向こうに私が乗り移っちゃうか、向こうを私に乗り移らせちゃえばいいんだから。

　ところが、アニメは人間が作った人工のものですからね。やっぱり人間の生理じゃないんです。違うのは、そこだけかな……？

　あと、物理的っていうか、作業的に違う↖ものは多少ありますけど根本の部分は同じですよね。

藤田　私はねえ、技術的なことで言えば、最初のころはアニメだと全然追いつかなかったんですよ。アニメとほとんど同時ぐらいに洋画のお仕事も始めたんだけど、耳から聞いてアテる作業のほうがスムーズにできたんです。アニメは、とにかく口が合わなくて、その当時いた事務所にも「アニメの仕事は断ってください」って言ってたほどで……。

　今は養成所とかあって新人の子でも、みんなアテるの上手なんですよ。なんで、こんなに上手なのかと思うぐらい。新人の子が「こ、ダブりますか？」とか「息、入れますか？」とか、平気で言いますから（笑）。私には、そんな余裕なんか全然なくて、現場に行って、できる人たちばっかりの中で青くなりましたからね。

　これが洋画の場合だと、まず人間がいて、その人が息をしているっていうのを、耳で聞くことができるんですよね。だから、そのころは「洋画だったら、なんか好きになれるかもしれない」って感じで……。

　でもアニメも慣れてくれば技術的なことですから、それはカバーできるんですよね。役者としては5歳の役も70歳の役も、それこそアンパンの役もできるわけで、それを考えると楽しいですよね。

このキャラクターは、こんなこと言わない！

藤田　そうよね。私、ときどきね、自分のやっているこのキャラクターは、こんなこと言わないっていうの、あるわよ。もう、この子についてなら、ライターさんよりも私に聞いてっていう感じで（笑）。

　たとえば、『キテレツ大百科』だったら「キテレツは目上の人に対して、こんな言い方はしない」みたいな。その役に入っていっちゃうと、そこまでわかってくるのよね。

　確かに、アニメだと口を合わせるのが大変だけど、洋画の場合には耳からも聞かなきゃいけないし、でも、舞台に立ったら体も動かさなきゃいけないわけでしょ。それぞれに技術的な違い、技術的な大変さっていうのはあるわけで、役づくりとしては同じなのよね。

　でも、さっきのグリコ（戸田恵子さんのこと）の話みたいに技術がなければ役づくりなんて言っていられなくなるわけだから、それを両立させるっていうのは難しいわよねえ。

見てて面白い映画ほどやるほうは大変なんです

――自分の好きな映画を吹き替えるお仕事がきた場合には、やっぱり嬉しいものなんでしょうか？

戸田　そりゃ、好きな作品をやれるときは嬉しいですよね。

小山　好きっていうか、いい映画ね。いい映画をやれるのは嬉しいんだけど、見る側にとってのいい映画、面白い映画って、やるほうはとっても大変なんですよ。

　テレビを見てて、面白くて「アハハ」って笑うような映画になればなるほど、現場での私たちの作業は大変なものになるんです。

戸田　カブり、カブり、とか（笑）。

小山　そう、そう。

藤田　でも、あれよね、自分で見てて「いいなあ」と思った映画を、自分でアテてるんだけど「この映画のよさは、日本語に訳したら出ない。日本人がやっても出ない。こんなはずじゃなかった」って思うことはあるわよね。逆に、自分ではちっとも面白いと思わなかった映画を、後で自分でアテたのをテレビで見たら「なんだ、けっこういいじゃない」って思うこともあるし……。

小山　けっして、仕事に差をつけるっていうわけじゃないんだけど、やっぱり、いい映画に当たったときっていうのは、みんな入れ込みますよね。

藤田　だからね、演じて楽しい作品と、見て楽しい作品っていうのは別だと思うのね。私はスパイものが大好きだけど、それを見てて「これ、アテたい」とかっていう発想にはならないもの。

小山　トコちゃん（藤田淑子さんのこと）、スパイものが好きなんだ。オカルトは？

Mami Koyama

1月17日生まれ。青二プロダクション所属。
主な作品に『Dr.スランプアラレちゃん』（則巻アラレ）、『聖闘士星矢』（シャイナ）、『ミンキーモモ』（モモ）などがある。吹き替えは、キム・ベイシンガー、シェリル・ラッド、モーガン・フェアチャイルドなどがある。

怖いシーンはダメなので、見ずにやってしまいました

藤田　それは、全然ダメ。

戸田　私も、オカルトは絶対ダメ！

小山　そうか。私は見るのは好きだけど、やるのは嫌なの。最初から最後まで「キャー、キャー」叫び続けなきゃいけないから、疲れるんだもん。

（一同大爆笑）

戸田　私、オカルトって本当にダメなんだけど、でも、やっぱり仕事だからその役柄がくることもあるわけですよ。前にやった仕事で、目をグサってやられるシーンがあって、原音が入ってないんだけど「アッ！」っていう声を入れてくださいって言われたのね。だから、当然、画面を見なきゃいけないんだけど、どうしても見たくなくて、隣にいた役者さんに「すみません、肩叩いて

Keiko Toda

9月12日生まれ。青二プロダクション所属。
主な作品に『それいけ！アンパンマン』（アンパンマン）、『ゲゲゲの鬼太郎』（鬼太郎）、『機動戦士ガンダム』（マルチダ・アジャン）などがある。吹き替えは、ジュリア・ロバーツ、ジェニファー・ビールスなどがある。

ください」って（笑）。

あと、カンフーものも嫌ですね。「キャー、キャー、フー、フー」言わなきゃいけないから。それも、ちゃんと手数に合わせなきゃいけないんで、疲れるんですよ。

小山　それとさ、吹き替えて絶対に生理的に合わない女優さんっていない？「私は、ここで、このセリフを言いたいのに！」とか、「この人、変な間を入れる」とか。

戸田　「なんでそこで、そんな芝居かしら」とかね。でも、それでもやらなきゃいけないんだから、辛いわよね。そういうときには、日本語の芝居のほうに力を入れることになっちゃって……。すべてがうまく嚙み合ってくれればいいんだけれど、なかなかそうはいかないわよね。

自分の年齢にあった役柄が演じられるようになりたい

小山　ねえ、みんなにちょっと聞きたいんだけど、アテてみたい女優さんっている？　私はねえ、シャーリー・マックレーンをやってみたいっていうのが夢だったの。でも、声質も違うし、年齢も違うから絶対に無理なんだけどね。

戸田　その吹き替えの仕事自体が、まずないでしょ。

小山　古い作品は、みんな字幕になっちゃってるね。

戸田　昔は、誰々なら誰々みたいな、持ち役っていうのがあったけど、今は、アメリカの映画界そのものが、ひとりのスターで何本も作品を作るっていう感じじゃなくなってるから、こっちでも、そういうのがなくなってきちゃったでしょ。それに、テレビ局とかビデオとかでも吹き替えが違うし。

藤田　だから、私が思うのはね、一人の女優さんをずっと演じるとか、そういうんじゃなくて、たとえば、シャーリー・マックレーンでも若いころからずっと役者さんをやってて、今でも、おばあさん役とかでトライし続けてるわけでしょ。それと同じようにアテる側もね、ちゃんと年をとっていけるか、トライし続けていけるかっていうのは、とっても大事なことだと思うの。

やっぱり私も、60歳になったら60歳の役をやりたいし、そういうふうにちゃんと年齢を重ねていきたいわよね。だって「40歳の時のシャーリー・マックレーンはトコに頼んだけど、50歳になったら、もう無理だな」って言われたら、これは辛いわよね。「年は同じようにとってるんだけど、おまえさんの演技はそこで止まってるんだよ」って言われてることなんだもん。こんなショックなことはないわよね。だから、誰々をずっとやりたいとかじゃないんだけど、向こうの頑張っている女優さんと同じように頑張っていきたいな。

Toshiko Fujita

4月5日生まれ。青二プロダクション所属。
主な作品に『キテレツ大百科』（英一）、『ドラゴンクエスト　ダイの大冒険』（ダイ）などがある。吹き替えは、ジェーン・フォンダ、キャスリン・ターナー、キャンディス・バーゲン、ゴールディー・ホーンなどの女優がいる。

撮影協力●レストラン木かげ茶屋（横浜市緑区）☎045-911-1337　商品協力●ウィッカーロッキング（横浜市緑区）☎045-911-7042

PRIVATE TIME INTERVIEW

野上ゆかな

可憐な少女を彩る多彩な趣味のカレードスコープ

バイオリン、フルート、ピアノ。野上ゆかなは、さまざまな楽器を弾きこなす。それだけではない。ときにはコンピュータを自在に操り、ときには料理に熱中する。広く、浅く、気に入ったら深く。彼女にとって、自分の周囲にあるものは、すべて興味の対象なのだ。ひょっとしたら彼女は、趣味を旅する吟遊詩人なのかもしれない。

Photography●HIDEKI HIROSE
Hair & Make-up●HIROMI CHINONE
Stylist●MASAYO NORO

マックは音楽がやりたくて始めたんです

――聞くところによると、野上さんは趣味がいっぱいあるということなんですが？

野上　多趣味というか、趣味がないんだか、全部が趣味なんだか……(笑)。決まったことをやってるっていうのがないんですよね。いつも、なにか違うことをしてる。

実を言うと、最大の趣味は、お風呂に入ることなんですよ。暇さえあれば、お風呂に入ってる。でも、さすがに、それはねえ……。

(一同大爆笑)

で、あと、やってることといえば、マック(マッキントッシュのコンピュータ)かな、というんで、その写真にしてもらったんですけどね。マックは、購入して1年ぐらいなんですよ。まだ、楽しい時期ですからね。

もともとは、マックを使って、音楽をやりたかったんです。初めて歌の収録をしにスタジオに行ったときに、最近は、みんな音をつくるのはコンピュータの打ち込みでしょう。アレンジャーさんとか、マニピュレーターさんとかが、同じようなコンピュータを持って、カチカチやっているのが、カッコいいなあ、私もやりたいなあ、と思って。

昔から、作曲とかはやりたいなって、ずっと思ってたんですよ。ピアノはやってたんで、シンセサイザーを1台だけ持ってたんです。でも、これで曲を書いても、両手で弾ける分しかないでしょ。ひとりで自由にやれるのはいいんだけど、寂しいですよね。

ところが、マックがあれば、アンサンブルが聞けるんですよ。ちゃんと形になる。それに、カッコいいし(笑)。購入に当たっては、さっき言ったレコーディングのときに、スタッフの方たちに「私、マックを買おうと思うんで、教えてください」って言ってあったんで、いろいろと教えてもらいました。

だから、最初は音楽をやれればいいやっていうつもりだったんですけど、そのうちに、ゲームはやるわ、絵は描くわ、というふうになっていって、そうすると、「色がない！　メモリが足りない！　遅い！」とかって、どんどんはまっていっちゃったんですよ。

もう、こうなると、プリンタもスキャナもモデムも、みんな買いたくて。お金がいくらあっても足りない……(笑)。

――それと、もうひとつ、今回はバイオリンの写真も撮りましたけど、楽器もいろいろやってらっしゃるとか？

野上　ピアノのような鍵盤ものは、子供のころからやってました。フルートは中学生ぐらいからかな。今でも持ってはいるんですけど、たまに音を出すぐらいですね。バイオリンはやめてから2、3年経つんですよ。楽器を実家に置いてきてしまったんで、全然触ってもいないんです。だから、今日、久しぶりに持ったら、なんか、さまにならなかったですね。筋肉の使い方が違うんですよ。普段とは違う筋肉を使うから、実は撮影している間ずっと「あれ？　こんなにきつかったかな？」って思ってたんですけど。

あと、うちにあったのはお琴ですね。私は、「サクラ、サクラ」ぐらいしか弾けませんけど。とにかく、うちは、ピアノがあったりとか、楽器がいっぱい置いてあったんですよ。

――今回は写真を撮りませんでしたけど、野上さんはお料理も得意だとか？

野上　作るのが好きなんです。いや、食べるのも好きなんですけど、自分で作ると「あ、できた！」で満足しちゃうんですよね。だから、人の作ったものを食べるのは好きなんです。でも、人に作ってあげるのも好きで、自分が作ったものを、人がおいしそうに食べてくれるのを見るのが大好きなんです。ガツガツ食べてくれると、「ああ、よかった」って思って。

もう有名な話なのかもしれませんけど、私

のデビュー作の最終話のアフレコのときに、シュークリームを作って、持っていったんです。ちっちゃめのやつなんですけど、三十数個。シュークリームって、意外に難しいんですよ。子供のころには、けっこう失敗しましたからね。うまく膨らまなかったり、とか。アップルパイの生地ほどは難しくないですけど（笑）。

あと、一時期はうどんに凝ってましたね。うどんを食べるのが大好きで、「どこかにおいしいうどんはないのか？　だったら、自分で作ってやる！」っていう感じで、うどん粉を買ってきて、こね始めたんです（笑）。

最初は、加減とかが全然わからないので、適当に粉にお湯を混ぜて、塩を混ぜて、こねてみるという……。初めのころは、失敗続きでしたね。ただのスイトンみたいになってしまうんですよ。「こねた意味があるのか」みたいな感じで。

何回か作っているうちに、だんだんうどんらしくなってくるんですけど、最初は自分で切っておきながら、「短冊みたいだ」と思いましたからね。うどんはこねるのも大変なんですけど、切るのも大変なんですよ。うまく切らないと、切り口がつぶれちゃって、「お寿司を切ったら、つぶれちゃった」状態になるんです。

もう1年以上作ってないんですけど、最後に作ったやつはおいしかったですよ。うどんは、実家じゃないと作れないんですよ。狭いところでは、作業ができないんで。それと、次の日は筋肉痛になるので、次の日になにも予定がない日じゃないと無理なんです（笑）。

――本当にいろんなことをやってらっしゃいますけど、これからやってみたいことはありますか？

野上　実をいうと、高校生のときからずっと取りたかったのが小型船舶の免許なんですよ。あれは、けっこうすぐに取れるみたいなんで、ぜひともやりたいですね。それと、スキューバの免許も欲しいし……。

一時期、真剣に考えたのは、パイロットになりたいっていうことだったんです。アメリカへ行けば、そんなに難しくなくライセンスが取れるというので、本気で行こうかと思っていたぐらい。だから、『青空少女隊』のイベントで自衛隊の基地に行って、ジェット機のコクピットに座らせてもらったときは、本当に嬉しかったですよ。

あと、今、凝ってるのは、水の飲み歩きですかね（笑）。もともと、地域限定のものが好きで、その町内でしか売ってないようなお菓子とかジュースを探して歩くのが好きだったんですよ。それが、最近はミネラルウォーターを飲むようになって、水もそれぞれに味が違うっていうことがわかってきたんです。

私、どうやら「ききウーロン茶」ができるらしいんですよ（笑）。飲んだだけで、メーカーが当てられるんです。ウーロン茶は、発売されたころからずっと飲んでいたんですけど、それが最近はミネラルウォーターに替わったんですね。まだ、こっちのほうは、ボルビックとエビアンの違いぐらいしかわからないんだけど、ちょっとこれを深めていって、「ききウーロン茶」ができるようになりたいですね（笑）。

野上ゆかな
1月6日生まれ　アーツビジョン所属
代表作：『モルダイバー』（大宇宙未来）
『青空少女隊』（下連雀よう子）
『超音戦士ボーグマン2』（イライザ）
『アドヴァンスト　ヴァリアブル・ジオ』（武内優香）

PROFILE

撮影協力……ピンクス（東京都渋谷区神宮前4-25-10　☎03-3497-1517）チェックシャツ：11,800円、モヘアベスト：7,800円、スカート：12,000円、ボーダーカーディガン：9,800円／O.F.Sセルロイド（東京都渋谷区神宮前1-11-6ラフォーレ原宿4F　☎03-3470-4621）スカート：6,800円、ビーズの指輪：各600円、シルバーの指輪：2,800円／デビュイ（東京都渋谷区宇田川町28-6 ワンオーナイン6F　☎03-3477-6870）ミニチュア：2,800円、トレー：3,800円、カラフェ：800円、グラス：550円、洋書：2,070円、テーブルマット：250円

PRIVATE TIME INTERVIEW

置鮎龍太郎

ゲームセンターの騒音の中に爽やかな笑顔がある

『サイバーフォーミュラ』のハイネル、『アイアンリーガー』のマッハウィンディ。置鮎龍太郎が演じるのは、独特のスタイルを持ち合わせた男性ヒーローばかりだ。そして、彼自身もまた、自分の演じるキャラクターに負けぬほどの好青年である。そんな彼が、今日はひととき、忙しい仕事を忘れて、ゲームに打ち興じる。

Photography●HIDEKI HIROSE
Styling●MASAYO NORO

格闘ゲームは、弱いんだけど好きなんですよ

――今日は、ゲームセンターというか、アミューズメント・パークでの撮影なんですが、置鮎さんはゲームがお好きなんですか？

置鮎　ええ、格闘ゲームが好きなんですよ。それで、「ゲームセンターでの撮影はどうですか？」って言ったんです。

　それに、『カイザー・ナックル』というゲームの声をやってるんで、それがあったらいいなあと思ってたんですけど、残念ながらなかったですね。最近、ゲーム関係の仕事もけっこう増えてきたんですよ。声の入る時間が長くなったせいか、ゲームセンターなんか行っても、ときどき知っている方の声が聞こえてきて「おお！」とか思いますよね（笑）。

　格闘ゲームは、好きなんだけど、でも、弱いですよ。家でも、ゲームはやりますけど、新しい機種はソフトが出てないので、ゲームセンターへ行くことも多いですね。

――それじゃあ、ゲームセンターへ行く以外に、暇なときって何してますか？

置鮎　ひたすら寝てます（笑）。あとは、散歩したりとか。うちの近所にリサイクル・ショップが何軒かあるので、そこにブラーっと入ってみたりとか。こういうお店は、面白いんですよ。置き場所に困って手放したんだろうなと思うようなデカいものがあって。「なんだ、これ。うちには置けないけど、欲しいな」って思ったりして……（笑）。

――置鮎さんは、青二塾大阪校を卒業して声優になったそうですが、子供のころからアニメはお好きだったんですか？

置鮎　ぼくの子供のころは、アニメの再放送をいっぱいやっていたんですよ。だから、『コンバトラーV』とか『ボルテスV』とか、みんな再放送で見ましたね。合体ロボットものが大好きだったんです。

　で、昔のロボットアニメの主役って、みんな熱血タイプじゃないですか。ぼくがやっている『アイアンリーガー』のマッハウィンディって、そういうキャラクターに近いですよね。だから、本当はマッハウィンディは主役じゃないんだけど、自分の中では、昔のそういう作品のそういう位置にいるキャラクターなんだと思って、やっているんです。その意味では、マッハウィンディはとっても好きなキャラクターですね。

――子供のころから、アニメがお好きだったんなら、この業界に入って「あ、あの人だ！」と思うようなことはありません？

置鮎　ありますね、それは（笑）。子供のころだから、役者さんの名前までは知らなかったんですけど、作品を思い出して、「あ、あのキャラクターって、この人だったんだ」って思うことはありますよ。

　特に、昔の作品って、インパクトの強いものが多かったでしょ。ぼくが今やっている作品を、今の子供たちが大きくなっても覚えていてくれるかなあって、ときどき考えちゃいますね。もちろん、そうなってくれたら、すごく嬉しいんですけど。

――これからやってみたい役とか、やってみたい仕事とか、ありますか？

置鮎　変な役がやりたいですね、二枚目じゃなくて。もちろん、二枚目もまだ極めるところまではいってませんから、やりたくないというわけじゃないんですけど、それとは別に、変な役もどんどんやりたい。変な役をやって、見ている人を面白おかしくさせられたら楽しいですよね。

あと、実はぼく、主役をほとんどやったことがないんですよ。だから、1回ぐらいはテレビの主役をやってみたいですよね。まあ、そんなチャンスはあまりないでしょうけど、機会があればぜひともやりたいですね。

とにかく、この仕事って続けていくだけで、大変だと思うんですよ。『サイバーフォーミュラ』が終わった年は、レギュラーが全然なくて、「おれ、このまま終わっちゃうのかな？終わりたくないけど、終わっちゃうのかな？」って思ってましたから。そのころは、「オーディションだけでも受けたい」って思うんだけど、そのオーディションもなかったりして。とっても不安な時期でしたね。

それに比べると、今年は春から始まったレギュラーの仕事がやたらにあって、すごく恵まれてますよね。もっとも、その分だけ、来年の春が不安なんですけど……（笑）。

――声の仕事以外に、たとえば顔出しの仕事とか、歌とかはどうですか？

置鮎　顔出しは苦手なんですよ。今日の撮影も、すごく緊張したんですから（笑）。ただ、顔出しというのとはちょっと違うんですけど、舞台で芝居をやってみたいと思いますね。ぼく、青二塾には通っていたんですが、お芝居って全然したことがないんですよ。でも、ほかの役者さんがやってて、チラシをもらって見に行ったりすると「面白そうだな、やっぱり」って思うんです。

やってないから怖いっていうのもあるんですけどね。でも、スタジオで、そういうことを言ってると「怖いっていってても、1回やるとはまるんだよ。足洗えなくなるよ」って、言われるんです。ほとんどの人が、そういうお芝居の世界からきてますからね。

歌は、今でも緊張しますねえ。アフレコの仕事だと、たとえばほかの役者さんとのかけ合いで、バーッとテンションが上がっていくということがあるんですが、歌は最後までひとりですからね。よけい緊張するんです。

もっとも、アフレコの仕事だって、マイクの前で震えなくなったの、最近ですからね。いまだに、自分の出番が迫ってくると、心臓がドキドキしますもん（笑）。

置鮎龍太郎
11月17日生まれ　青二プロダクション所属
代表作：『SLAM DUNK』（三井寿）
『ママレード・ボーイ』（松浦遊）
『疾風！アイアンリーガー』（マッハウインディ）
『新世紀GPXサイバーフォーミュラ』（フランツ・ハイネル）

PROFILE

撮影協力……キャノンボールシティ（東京都町田市鶴間587　☎0427-99-6800）営業時間AM11：00～PM10：00（年中無休）※金・祝前日はPM11：00まで／ABCマート渋谷店（東京都渋谷区神南1-20-17川津ビル1、2F　☎03-3477-0602）ウインドブレーカー：9,800円、キャップ：2,900円、パンツ：4,800円、スニーカー：14,800円／Birth of the cool（東京都渋谷区恵比寿西2-5-4　2F　☎03-3462-1907）パーカー：9,900円、ベルト：1,500円

REVIEW

小野寺麻理子

声優グランプリ・バックアップ・レビュー

Photography●*YOUICHI IWASE*
Text●*HIROYUKI OHNUMA*
Hair & Make-up●*HIROMI CHINONE*
Styling●*ASAMI NISHIDA*

――グラビアの撮影は、どうでした?

小野寺　もう、すっごい緊張して……。実は、昨日、緊張のせいだと思うんですけど、全然眠れなくて、5時ぐらいまで寝られなかったんです。あんまり眠れないものだから、夜中の3時半ぐらいに、近くの公園まで散歩に行ったりして……(笑)。

　こういう本格的な、スタジオでちゃんと撮ってもらうみたいな、撮影は初めてなんですよ。だから、一応、雑誌とか見て、ポーズの研究とかも少しはしてきたんですけどね。そうしておかないと、もう棒立ちになっちゃいそうで……。

　でも、緊張しましたけど、すごく楽しかったです。アニメーションの仕事とは、また別の楽しさがありますね。それに、メイクさんとかスタイリストさんがノセてくれるので、自分でもだんだんその気になってきて、とっても、入りやすかったです。

　それに、今日はコンタクトもしてなかったし。私、すごい近眼なんですよ。だから、みんなの顔が見えなかったので、かえってそれが良かったのかな(笑)。

――そもそも、声優さんになろうと思ったきっかけというのは、なんだったんですか?

小野寺　私が中学生ぐらいのときかな?『機動戦士ガンダム』から始まったアニメブームがあったでしょ。私、『ガンダム』が大好きだったんです。今でも好きで、ときどきビデオを見ては、そのたびに泣いてますけど

母は私がこういうことをするのに反対で、今でも許してくれないんです

(笑)。

そのときに初めて、声優っていう職業があることを知ったんですよね。それで、「いいなあ、こういう仕事」って思って、憧れてたんですけど、でも、そのころは、自分がなりたいとか、なろうとかは全然思ってなかったんです。

それが、高校3年の卒業も間近のころに、友達が「大阪にも、青二塾大阪校っていうのがあるんだよ」って教えてくれたんです。私、大阪に住んでいて、そういう学校みたいなものは東京にしかないと思っていたんですよね。で、その友達に「1カ月後にオーディションがあるよ」って言われて、「これはひょっとしたら、私を呼んでるんじゃないか?」って、自分で勝手に勘違いしちゃったんですけど(笑)。

なんか、運命的な出合いみたいなものを感じて、「受けてみようか」って思って、受けたら受かっちゃったんですよ。で、そこで2年間勉強して、東京行きのオーディションにもなんとか受かって、今に至るという……。

――大阪から東京へ出てくるときは、どんな気分でした?

小野寺　すごく寂しかったですね。実は、母とすごいケンカをして出てきちゃったんですよ。今、父といっしょに住んでるんですけど、父は4年ぐらい前から東京に単身赴任していたんです。だから、そこへ強引に転がりこんだという……(笑)。母は私がこういうことをするのに絶対反対で、東京に出てくるにあたっては、連日連夜ケンカしてました。そのとき初めて、母の涙も見ましたからね。それまで、一度も泣いたところなんか見たことなかったのに。東京に出てくるときも、「お母さん、行ってくるね。頑張ってくるね」って言っても、母はなんにも言ってくれなくて……。

だから、新幹線にひとりで乗って、東京に着いたときには、妙に寂しい気持ちでしたね。それに、大阪にいたときには学生だったのに、東京へきてからは、一応社会人ですからね。最初のころは、激しいホームシックにかかって、大阪の友達に電話したりとかしてたんですけど、今はもう、だいぶ慣れました。

でも、母はまだ認めてくれてないみたいですね。我が家では、私の話は禁句らしいんですよ。だから、私の仕事なんかも見てくれてないと思うんですけど、そういうプレッシャーがあるから頑張れるというか、かえって、「やらなきゃ!」っていう気になりますよね。

――自分で実際に、アニメーションの声の仕事をしてみて、どうでした?

小野寺　もう、大変でしたよ。この仕事につくまでは、単に見てるだけの側でしたから、そんな大変さなんて全然わからなくて、「あ、この声優さんはうまいなあ」なんて、生意気にも批評しちゃったりしてたんですけど……。

いざ、自分が作る側に回ってみると、思ってたのと全然違うんですよ。アフレコのときって、まず最初に絵を全部通して見ますよね。台本を見ながら、それに合わせていこうとするんだけど、もう早くてついていけないんです。ところが、まわりの人たちはみんなベテランですから、最初からちゃんとアテていくんですね。私は、もうわかんなくて、ただオロオロするばっかりで……。初めての仕事は劇場版の『ろくでなしブルース』だったんですけど、映画だということもあって、長い時間をかけて録ったので、よけいに大変でしたね。でも、とってもいい勉強になりました。

今はまだ、この仕事を楽しむっていうより、必死っていう感じなんですけど、だんだん楽しさがわかってきたような気もします。これから、もうちょっとゆとりがでてきたら、アテることだけに引っ張られないで、自分の演技を出していきたいですね。

REVIEW

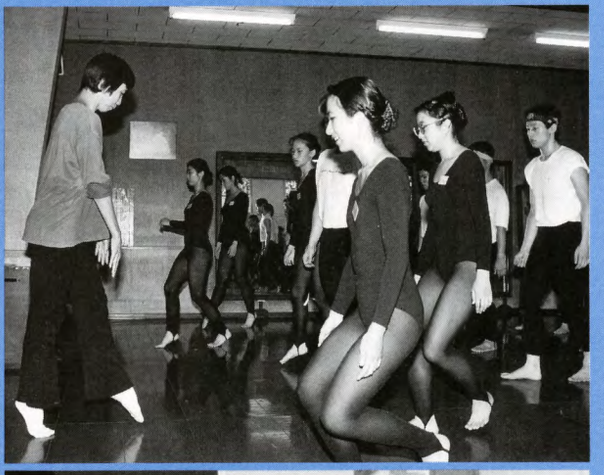
PROFILE
2月22日生まれ。青二プロダクション所属。
青二塾大阪校第九期卒。
主な作品に、『メタルファイターMIKU』(ナナ)『ママレード・ボーイ』などがある。

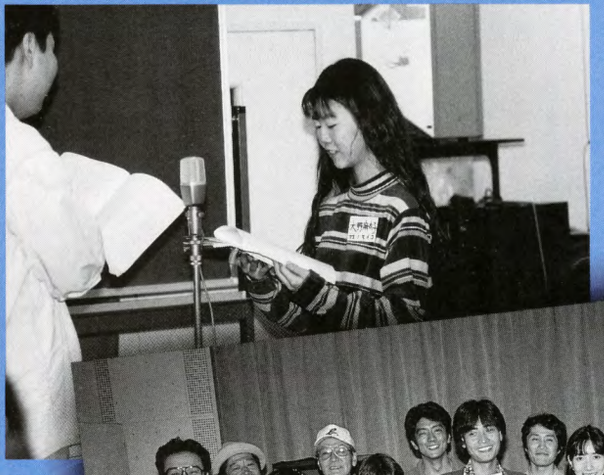
衣装協力●ナルミヤインターナショナル(b・クラブ、イルドブルー)☎03・03-3404-2261

▶総力特集……なりたい人に贈る!

What's声優?

俳優養成所からスタジオまで





声優という仕事は、ここ数年で急速に注目度が高まりつつある。こうした現象は、十数年前にもあったのだが、最近の状況には過去の現象とは明らかに異なる要素がある。それは、単に声優に対する憧れだけでなく、自らその道を歩もうと志す人間が増えているということだ。そこで、声優を目指すキミに、声優を目指す段階から実際の仕事の状況までを立体的に取材したこの特集を贈る。キミが選ぼうとする道の彼方が、きっと見えるぞ!

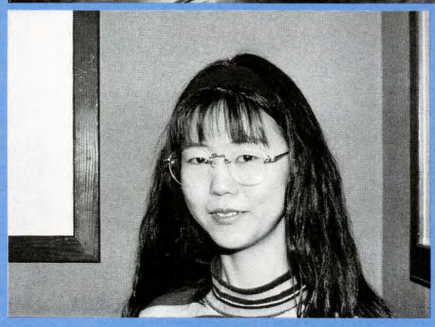
- 青二塾!体験入学
- 俳優・声優養成講座ガイド
- 職業としての声優とは?

青二塾！体験入学

俳優になるための第一歩!!

声優を目指す者にとって、そのための養成講座は、夢の実現への第一関門でもある。そこではどんな人が、どんな夢を抱き、どんな授業を受けているのだろうか？

↑初日の授業、演技１で授業の最後に大野さんが交じって演技を実習。演技未経験の大野さんだが、「どんな演技をするのかは、前もってわかるはず」と、厳しい指摘も飛んだ



←体験入学してもらう大野さんは、基本的に塾生たちと同格に扱ってもらった。実際に講師の先生方の指導も受けたのだ

芝居や歌などの心得が全くない者にとって、声優を目指すための第一歩は、各種の養成機関ということになると思う。しかし、ここで発声や演技の基礎などを学ぶ……と漠然とした感覚で理解はしていても、実際にどんな授業が行われているのかということは、入学してみるまではわからないのが実情ではないだろうか。

単に授業の風景だけでなく、今回は、演技経験のない人に、声優を目指している塾生たちに交じって実際に授業を経験してもらった。そのスケープゴートではなくて、栄誉ある体験入学者は、音大に通う大野麻衣子さんという18歳の女の子である。もちろん彼女は、演技の経験はゼロだ。

大野さんの体験入学をお願いしたのは、青二プロダクション付属の俳優養成所として知られている青二塾である。青二塾は、東京と大阪に教室を持ち、昭和57年の設立以来、数多くの俳優を誕生させている。その授業の特色は、アニメのアフレコの授業というような声優の仕事と直接結びつくようなカリキュラムがないことだ。これは、青二塾の目的が、「プロの俳優として活躍できる人材の育成」ということにあるからだ。もともと声優は、俳優としての仕事の中の一ジャンルとして派生したものということもあるが、青二塾が俳優養成所である最大の理由は、「ブーム」という言葉に代表される一過性の興味からではなく、将来にかけても役者として成長し、自立していってもらいたいという、生徒たちへの強烈な願い……あるいは要求からといえるだろう。

そんなわけで、青二塾のカリキュラムは、ことのほか厳しいものになっている。教育期間は、1年。これが長いのか短いのかという判断は難しいが、取材にうかがった9月下旬は、演技１の授業を例にとると、すでに演技の基礎は終わって、生徒たちは台本を渡され、通し稽古という実践的な授業を行っている時期であった。ちょうど教育期間の半ばである。さらに半年後には、卒業公演という、大きな区切りが待っている。

なお、体験入学レポートは、上段が曜日ごとのカリキュラムの解説になっているが、青二塾ではクラスがA、Bの2クラス分けになっており、掲載のものは、今回取材させていただいたAクラスの時間割である。

↑洋舞の授業中。授業内容は多彩で濃密だ

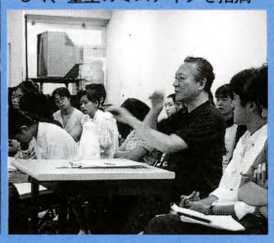
月曜 演技１

時に厳しい叱声も飛ぶ、演技者としての基礎を学び、磨く授業

肉体と声は物理的鍛練で鍛えることができても、人間の心だけは、こうすればいいという鍛練の方法がない。役者の資質として重要な、役の心を読み、表現する能力だけは、教えられて身につくものではなく、自分自身で気づき、磨くしかない。演技1の授業は、テクニックを学ぶのではなく、実際に芝居の台本を手にし、そこから役の心を

←ほかの塾生たちが見つめる中での通し稽古。見つめる方も真剣だ

↓講師の中村先生。指導は時に厳しく、塾生のミステイクを指摘

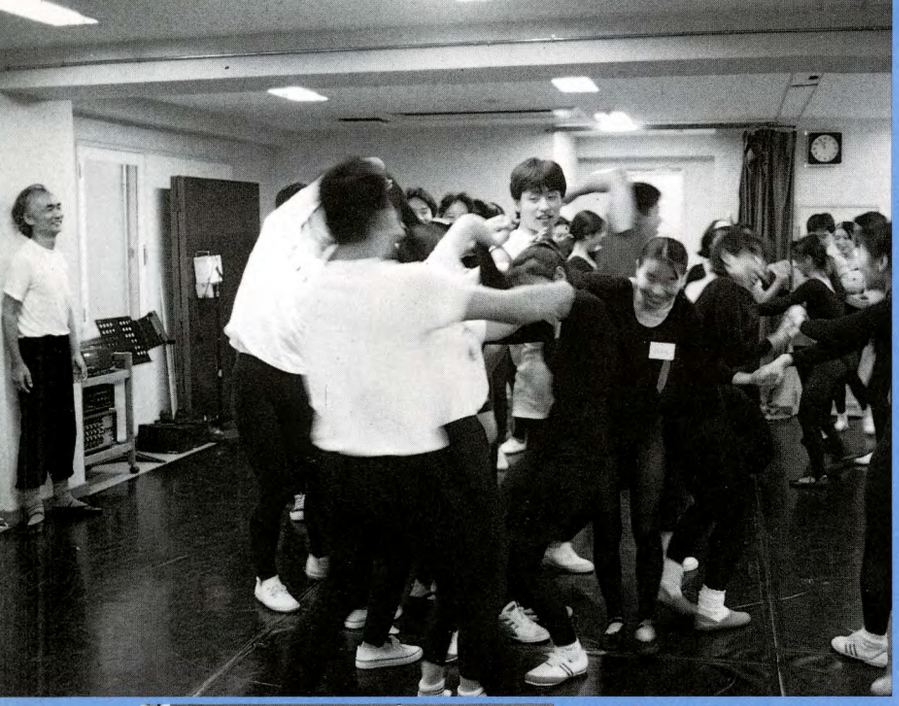


「俳優を目指すということ」

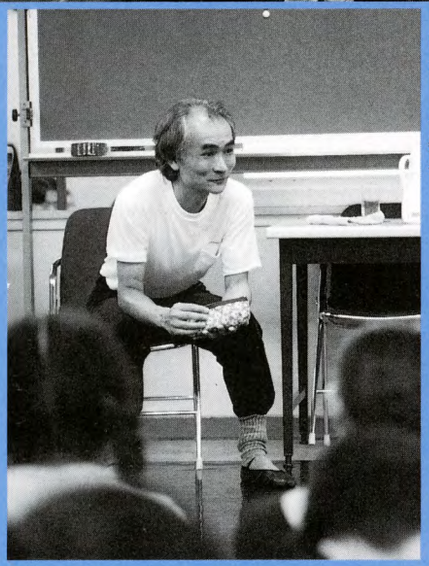
青二塾の入塾定員は60名なのだが、昨今の声優への関心の高さを反映してか、今期は予想を上回る入塾希望者が集まり、けっきょく70名余りが入塾す

水曜ゼミナール

多彩な講師が、ジャンルにとらわれない柔軟な授業を行う



↑塾生全員が手のひらを合わせてひとつの輪になる。体の柔軟な動きを試す運動だ。これだけ絡まると、元の輪の形に戻るのは大変



←この日の講師は、パントマイマーとして、数々の舞台に立っている清水きよしさん。観察力と、表現することの大切さを講義する

ゼミナールには、専任の講師はいない。この授業は、俳優として、より広範な知識や経験を得ることを目的にした授業で、各方面から講師を招き、ジャンルにとらわれない柔軟な授業が特色になっている。

今回の取材では、パントマイマーの清水きよしさんが講師となって、パントマイムの基礎のひとつである「体を動かす」ところから、自分の周囲にある風景や物、音などを感じ、それを自分自身の感性で表現してみる、という内容の授業を行った。青二塾出身の俳優が講演を行ったりすることもあり、授業内容は非常に多彩だ。

掴み、演技するという実践的な授業で演技を学ぶ。

講師の中村哮夫さんは、『王様と私』『ラ・マンチャの男』などのミュージカルをはじめ、数多くのジャンルの芝居の演出を手掛けるベテラン演出家だ。生徒に対する指導も、時に冗談（皮肉？）を交えながら、厳しい目で生徒の演技をチェックしていく。同じ失敗を繰り返すときには、容赦なくカミナリが落ちる。

←演じたあとの批評を聞く塾生たち。もちろん、指摘された問題点は自分で直す。残る教育期間は半年。そろそろ焦りも？

ることになったそうだ。取材させてもらったAクラスは、塾生数が37名。うち女子が26名を占めている。

大野さんの体験入学初日は、演技1の授業である。この日は、4月から教材として勉強してきた芝居の通し稽古の日だった。ある一家……一族の辛苦と幸福で彩られた歴史を、45分前後という時間で描く。一族の数代にわたる物語なので登場人物は多いのだが、たとえば一家の主にあたる役は、ひとりの塾生が若年から老年まで、次の代にわたっても演じる。感情表現だけでなく、時代の変化、年齢的な変化まで、非常に多くの演技要素が盛り込まれている。

講師の中村さんは「この芝居は、単純なだけに、演じる人の素性がすべて現れるんです。実は、プロがやっても難しい、意地悪な芝居なんですが、それだけに力がつく」と語る。実際、塾生はかなり悪戦苦闘している様子だ。

通し稽古は、クラスを5グループに分けて交代で行われ、ひとつのグループが終わるごとに、塾生ひとりひとりに評価が下される。この時期は、すでに演技の基礎から注意するという段階ではないため、評価は悪い点の指摘のみで、それをどうやって改善するかという部分に関するアドバイスは与えられない。

ひとつのグループの演技中、ほかの塾生たちは、ある者は自分の役に入って出演に備え、ある者は仲間の演技を注視し、あるいは襲いくる睡魔と闘い……と、その様子はさまざまだ。だが、教室の中には、張り詰めた空気が漂い、大野さんも初めて経験する雰囲気にかなり緊張したようだ。

体験入学にあたっては、大野さんもほかの塾生と同じに扱うという前提になっている。初日ではあるが、この日の稽古の最後に、塾生たちに交じって（部分的だが）演技を実習した。

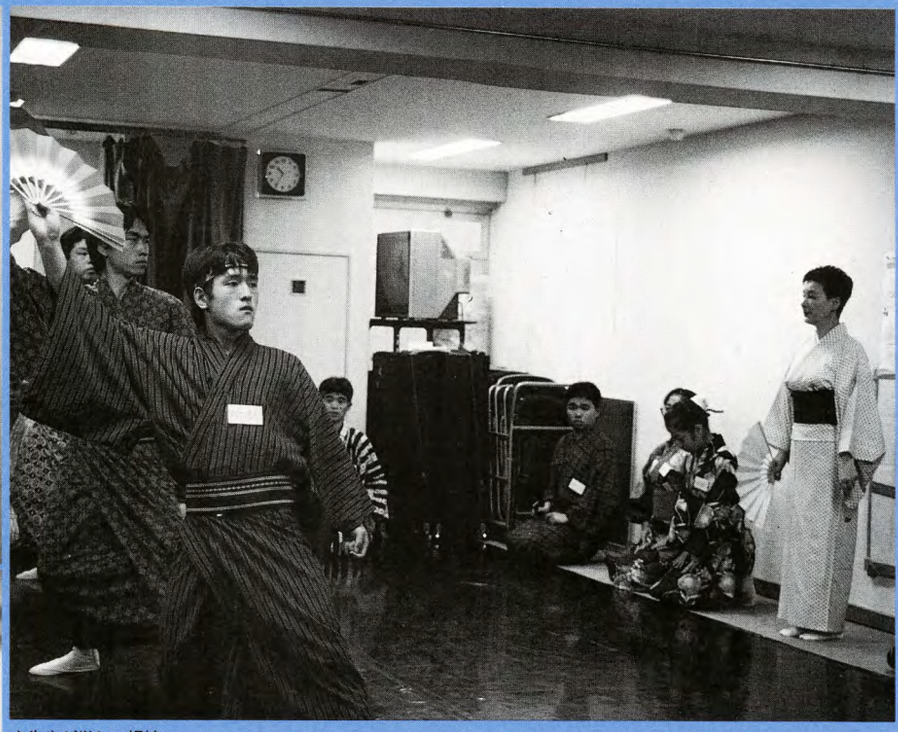
台本は前もって読んでいるものの、なにしろ素人である。演じたのは、年齢的にも近い女の子の役だったが、ぶっつけ本番で芝居に入るタイミングが掴めず、中村先生の叱声も飛んだ。

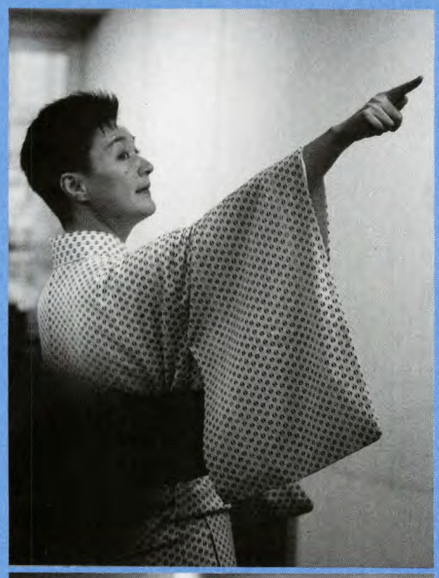
←中村先生に直接指導を受ける大野さん

↓カメラマンの出した音を元に、マイムで表現

木曜日舞

心身ともに〝背筋〟が伸びる、厳しさの中に俳優の基礎要素があふれる授業





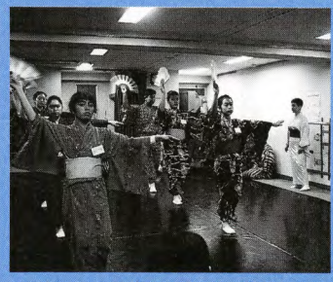
↑先生が厳しい視線を送る中での緊張感あふれる稽古。この日は、踊りの通し稽古が行われた

↖自ら振り付けを示してみせる深水雪広先生。その動きを見る塾生の目も真剣だ

←日舞は、ピシっと背筋が伸びる授業。精神の鍛練という要素もある？

昭和60年に深水美智雪（朝丘雪路）さんによって創設された深水流の深水雪広さんが講師。深水流は、ロックのリズムに乗せて基礎舞踊を学ぶなど、従来の日舞には見られないような、古典に基づいたダイナミックな動きが特徴だ。しかし、その授業は厳しい。塾生の、大野さんへのアドバイスの言葉を借りるなら「どんなことがあっても絶対に口元を緩めたらダメ。注意されたら、はい……と答える。笑ったりしたら教室から出されてしまう」という、まさに真剣勝負。

セリフを伴わない全身の演技を学びながら、表現力やリズム感などを学ぶ授業は、その緊張感が素晴らしい。



↑日舞という言葉から受ける一般的なイメージとは違う、激しい動きだ。踊りで息が切れているようだと、役者として舞台に立ったときにも苦労する。体力も役者の資質？

塾生たちは、どんな思いを抱いて青二塾に集まってきたのだろうか。俳優（あるいは声優）になりたい……という目的は同じでも、そうした思いに至るプロセスはそれぞれに違う。

「舞台でお芝居をやりたかったけれど、背が低いと主役はなかなかもらえない。だから、声と演技力で主役が摑める声優の道を考えた」という塾生がいる。さまざまな理由から、舞台を断念し、声優を目指す人は、けっして少なくない。青二塾の第12期生で、現在アニメで大活躍している緒方恵美さんも、腰を痛めて舞台の役者を断念し、それでも芝居をやりたいという思いを声優という道にかけたひとりなのである。

冗談交じりに「目立ちたかった」と語る者もいる。もしかしたらほかに人に言えない理由があるのかも知れないが、目立ちたいと思う意思そのものは、立派に俳優を目指す原動力になるのではないだろうか。自分を架空のドラマの主人公に仕立てあげ、それを他人に見せる。もちろん、どこかに自分の芝居で見る者を感動させたいという野心もあるだろう。そういう自己顕示欲的な、あるいは自己露出の欲求というのは、役者の本能かもしれない。だから目立ちたかったから……という理由は、けっして不真面目ではないのである。ただし、こういう真剣な思いを1年間持続するのは難しいようだ。

↑扇子の使い方を塾生から教わる大野さん。いろいろな面で支えてもらった

↑教室の清掃も塾生の役目である

青二塾に限らないと思うが、授業のスケジュールは楽なものではない。Aクラスを例にとると、授業の休みは日曜と火曜である。なんだ、週に2日も休みがあるんじゃないか……と思うだろうが、青二塾の授業は、アルバイトしながら勉強するには、相当に厳しい時間割なのだそうだ。

第8期生の久川綾さんは、自身が塾生だった当時をこう語る。

「私のように、地方から出てきてひとり暮らしをしている塾生にとっては、大変でしたね。授業をきちんと受けられなければなんにもならないし、授業だけでなく、自分が練習する時間も必要だったから、アルバイトをする余裕は、あまりなかった。貧乏しました」

Aクラスでも、ひとり暮らしの塾生の多くは「生活はキツいです」と言う。なかには、役者の道にかけるため、授業料や生活費を準備して入ってきた塾生もいる。そういう生活面の困難を克服するものは、やはり俳優や声優になりたいという熱い思いなのだろう。

金曜
ボイス・トレーニング

歌える俳優・声優を目指して、最大の武器である声を磨く授業

↑ピアノを弾く羽染先生。ていねいに、声の個性を引き出してゆく授業である

←音大で、歌の経験はある大野さん。塾生に交じってコーラスに参加した

↙塾生は、声域を基準にパートごとにグループ分けされ、練習する

↓ミュージカルのような、体の動きをも取り込んだ練習もする

講師の羽染光男さんは、数多くのオペラやコンサートに出演。現在は、クラシックとポピュラーの両分野で、ボイス・トレーナーとして後進の指導にあたっている。塾生たちも、その後進のひとりなのだ。

各自が持っている固有の声を生かすため、自分に合った発声を身につけることが大切……という方針のもとに、発声や歌唱力を身につける。声は自分を表現するための最大の武器であるわけだから、この授業の中で自分の声の魅力を引き出し、磨くことはとても大切だ。歌手としても活躍している声優さんたちも、ここで声を磨いたのである。

初日、演技1を終えての大野さんは「予想よりも厳しいところだと思ったけれど、初めてお芝居をやって、楽しいと思ったときもあった」という感想を語った。塾生にも、たとえば学校の学芸会で芝居をやり、その感激が忘れられずに俳優の道を目指したという声がある。先ほど紹介した緒方恵美さんも、きっかけは小学生のころの学芸会だという。俳優養成所というところは、そんな純粋な夢がエネルギーになって、人を動かしているところなのだ。

しかし現実は、夢だけでは俳優になれない厳しさも持っている。塾生たちの中にも、入塾から半年を経過して、迷いや戸惑いがあるという。

「試験に受かって塾に入れると決まったときには、自分もこれでやっていけるんじゃないかと思った。今でも、役者になりたいという気持ちは強いけれど、生半可な気持ちでは続けられないな、という厳しさも感じている」と、少し弱気な声もある。塾に入ってきた当初は、自分と他人を見比べて、「俺のほうが勝ってる」と思うことで自信を維持してきた人も、半年後の現在は、「人の芝居を見て、焦りを感じることもあります。でも、けっきょくは自分でどうにかするしかないし、自分で選んだ道だから、頑張るしかないです」と言う。

↑先生から、歌うパートの指導を受ける大野さん

俳優であり、この青二塾の塾長である北川米彦さんは、塾生たちの現在をこう語る。

「今のこの段階では、ただセリフを読んでいるだけです。もっと勉強をしなくてはいけない。それには本をたくさん読むことです。微細に読み込んでいけば、解釈の仕方が何通りもあることに気づきますよ。それを自分の解釈で演じてみるといい。間違えてもいいから自分の答えでやれと、他人を気にして真似することだけはするなと言っているんです。本当の表現力を身につけるのは、まだまだこれからです。セリフを読むだけでなくて、対話することができれば、半分以上は芝居ができているということですよ。たとえば、役者がもうひとりの役者の肩をポンと叩く。叩かれたほうは、そこで『何だ』と答える。『さっきから呼んでたよ』『いや、考え事をしていて気づかなかった』『それはどんなことだい』というふうに、対話することで芝居はどんどん生きていくものなんですよ。今はまだ、書かれたものを読んでいるだけなんです。まだ学ぶことは山ほどあります」

↑授業の合間の休憩時間に、ついあくび

金曜 洋舞

〈イメージから体の動きを導き出す、体と心の「柔軟さ」の授業〉

モダン・ダンスの授業は、俳優を目指して養成所の門をくぐる人たちにとって、おそらく初めて経験するジャンルの教育ではないだろうか。しかし、ダンスは、体の柔軟さという物理的な要素以外に、作品のテーマやイメージを読み、それを体の動きで表現するという感性の柔軟さも大切。演技という部分では、とても類似点が多いのだ。

旗野恵美さんと、妹の由記子さん。基礎レッスンは主に由記子さんのほうが受け持っている。体の動きが固くては、自分が表現したいイメージを具現することができないということで、授業冒頭の準備運動から、ひとりひとりに細かな指導を与えていく。

↑リズム感も役者の資質だけれど……ううっ、きつい！

↑洋舞は体の柔軟さも大切。学校で体育をさぼった人には厳しい？

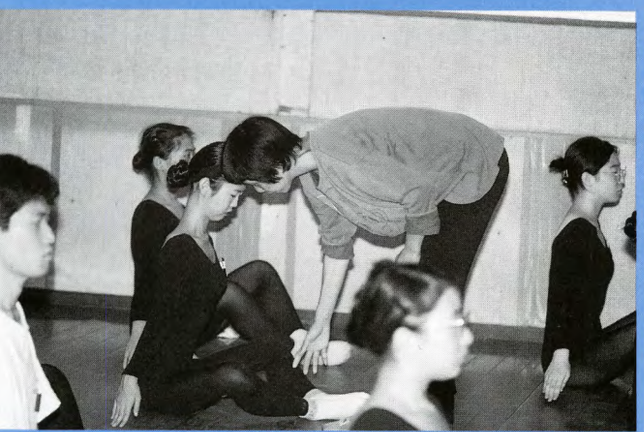
↑ダンスは、ほとんどの塾生にとって未知の領域。しかし、半年もするとリズム感にも慣れてくるという。先生から細かい指導を受ける

↑洋舞の講師、旗野由記子さん

塾の1年はまだまだ入り口？

大野さんの青二塾体験入学は、1週間分のカリキュラムを駆け足で体験していった。これで俳優を目指すというプロセスのすべてが見えたわけではないが、俳優、あるいは声優を目指す人々が青二塾でどんな日々を送っているのか、その一部は垣間見えたようだ。

「月曜の授業は、自分の中で脚本を見て出来上がっている言い方とか、みんなが同じ役を演じたのを見て同じようにやろうと思っても、実際には全然体が動かなくて。セリフを覚えたつもりでも、本番で言えなくなったり、反省すればキリがないです。真剣にやったつもりでも、先生にはまだ甘いと言われて……。役者で生きていきたいという感情がないだけ、ほかのみんなと比べてどうしても甘くなってしまったんですね。いちばん厳しかったのは、木曜の日舞です。動きのいけないところを最初から厳しく注意されて、精神面できつかったです。でも、それでも優しいほうだとみんなに言われたんですよ。着物もみんなに着せてもらって、おじぎの仕方も教えてもらいました。



↑久しぶりにレオタードを着た、という大野さん。体の柔らかさは合格？

でも、腕時計を外すのを忘れていて、みんなといっしょに叱られてしまいました。当日の朝7時くらいに井の頭公園でみんなが通し稽古をしているのにまぜてもらって、自分の稽古が終わった人から基本の動きとか、教えてもらいました。みんな毎日井の頭公園で練習しているみたいで。全体の中で、日舞は着付けから練習までほんとうにきつかったです。

1週間通って、自分が音大に通うということに対して持っている考え方が甘いな、と思いました。塾に来ている人は、みんなではないかもしれないけれど、強い目的意識を持っていて、後がないことを知っていると思う。実は、自分の声には自信があったんです。声優さんっていうのは声の芝居だから大丈夫かなと思っていたんだけれど、とんでもない思い込みだったと分かりました。ひとりよがりな自信や思い込みでは、やっていくのはつらいことなんですね」

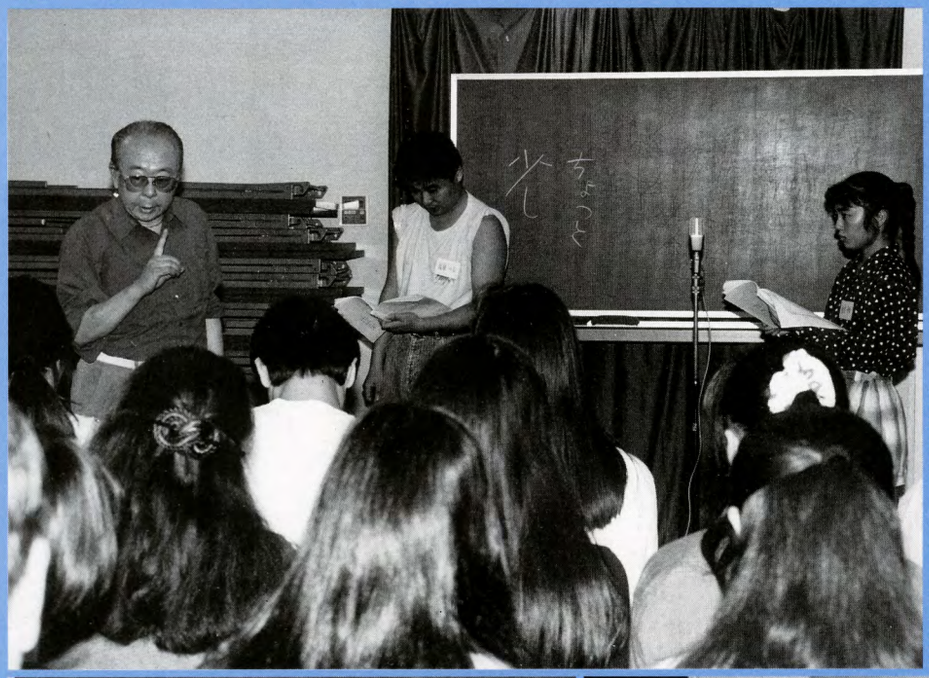
自分はやれるのではないか、という裏づけのない自信は、

↑「ほんとうに手取り足取り教えてもらいました」と大野さん

土曜 演技2

脚本を読み解き、役の心を知る。マイクの前の真剣勝負

↑台本を読み解くことの大切さを教える鈴木先生。現代国語を真面目に勉強しておかないと苦労するぞ

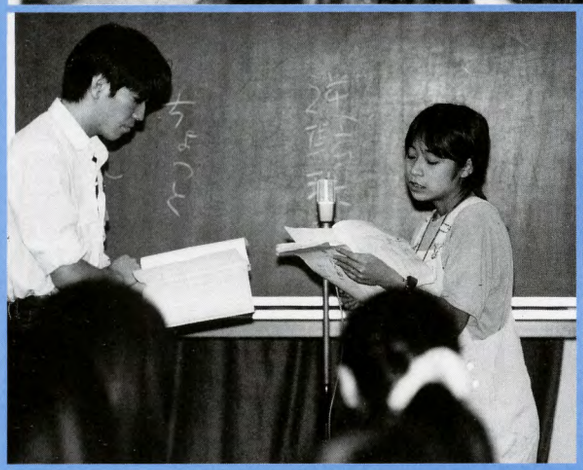


←言葉だけでキャラクターの心理を伝えることは、面白く、また難しい。台本を読解する力も、役づくりのため欠かせない

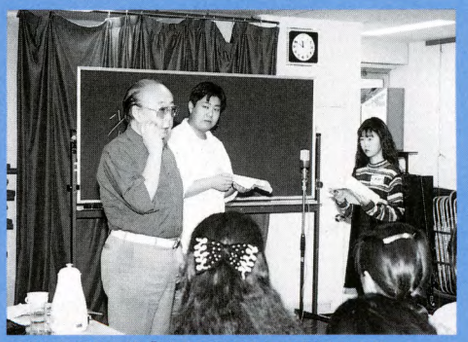
講師の鈴木久尋さんは、文化放送在職中に芸術祭受賞14回、数多くのドラマ脚本や小説を手掛けている。青二塾卒業公演の脚本も、毎回鈴木さんの執筆である。

↙演技2の授業は、自分の声質や声量を認識する機会でもある。声優という仕事に、最も近い授業だ

←授業は、実際のラジオ番組収録のプロセスに沿って実習。演技にも力が入る



取材にうかがったときの授業では、実際に脚本を読んで役をつくり、マイクの前で演技するという授業が行われていた。俳優にとって最も大切な、自分が演じるキャラクターの心理を脚本から読み取り、表現するという要素を集中的に学ぶ授業だ。授業のスタイルは、声優という仕事のイメージに近いかもしれないが、もちろん、アフレコの練習をするわけではない。



↑ラジオドラマは「役の心理で話すのが難しいです」

ほとんどの場合、授業を受ける過程で崩れ去ってしまうと、塾長の北川さんは語る。俳優を目指すという道は、そこから先が勝負なのだ。俳優になりたいという強い意志力と努力で困難に立ち向かい、克服して夢を現実にした人も少なくないのである。だが3月の青二塾卒業公演は、ゴールではなく、俳優の世界への、入り口だという。そのあとに控える青二プロのオーディションを受け、合格してジュニア所属になれる者はわずかだが、北川さんは言う。

「俳優を目指すことの本当の苦労は、やっとそこから始まるんです」

青二塾入塾案内

●塾生入塾案内

教育内容 単なる演技技術者としての俳優ではなく、豊かな人間性を持つ個性の発見と育成のため、個性を尊重し、独創性を伸ばす教育を行ないます。(自己表現を課題とする。ダンス・日舞・発声等の基礎教育を厳密に行なう)

塾生募集 塾生募集は毎年1回。1月初旬に受付開始し3月の中旬締め切り、入塾試験を行ないます

教育期間 教育期間は1年間。4月に開講し翌年3月の卒業公演をもって修了します。
受講日……1週5日　午前10時～午後5時

入塾資格 1. 高校卒業以上。(但し、満18歳未満の者は両親又はそれに準ずる保護者の同意書を必要とする)
2. 定められた講座を受講可能なもの。
3. 定められた受講料を納入可能なもの。
4. 定められた試験に合格したもの。

入塾出願 入塾希望者は定められた応募書類に記入の上、受験料と共に提出する。

試験課目 1. 面接
2. 朗読(テキストは当日お渡しします)
3. パントマイム……自由課題(1分以内)いわゆるゼスチャーゲームではありません。もちろん音声を使ってはいけません。表現したい事をあなたの体で素直に表現してくれれば良いのです。
4. 簡単な筆記試験

入塾手続 合格者は入塾手続き書類に記入の上、定められた納入金を納入することにより入塾を認める。※納入金については、いかなる理由があっても返還致しません。

納入金 800,000円 ……1年間総額・教材費等を含む
(参考金額) (他に日舞用の浴衣・帯、バレー用のタイツ等は別になります)
定員 60名 (30名・2クラス)
特典 卒業後青二塾の卒業者を対象とした青二プロダクションのオーディションを受けることができます。オーディションに合格した者はジュニアとして青二プロダクションに所属できます。(この特典は塾生だけのものです)

●日曜生入塾案内

塾生と同じく毎年1回。1月初旬に受付を開始し3月中旬締め切り、書類審査・面接により選考します。

教育期間 教育期間は1か年間とする。受講日……毎週日曜日　午前10時30分～午後5時

入塾資格 1. 義務教育修了者。(但し、満18歳未満の者は両親又はそれに準ずる保護者の同意書を必要とする)
2. 定められた講座を受講可能なもの。
3. 定められた受講料を納入可能なもの。
4. 定められた審査に合格したもの。

入塾出願 入塾希望者は定められた応募書類に記入の上、審査料と共に提出する。

審査 一次／書類審査　二次／面接

入塾手続 合格者は、入塾手続き書類に記入の上、定められた納入金を納入することにより入塾を認める。※納入金については、いかなる理由があっても返還致しません。

納入金 340,000円 ……1年間総額・教材費等を含む
定員 60名 (30名・2クラス)

●問い合わせ　東京校／0422-21-7893・大阪校／06-306-4060

俳優・声優養成講座ガイド

声優さんにはどうしたらなれるの？ と日夜お悩みのあなた、お待たせしました！ 編集部がおすすめする養成所ガイドここに発表!!

アーツビジョン付属 日本ナレーション演技研究所

△設立目的▽「演技力を備えたナレーター、語り手」と「高い演技力を備えた俳優」の育成を目的とし、さらに、声優・ナレーターを基本にマルチ的に幅広く対応できる演技者・アーティストの育成を目的として設立。

△講座内容▽正しい発音、発声、イントネーションで、正しい日本語を話す。より均整のとれた肉体をつくる。といった俳優修業の過程で遭遇する訓練だけにとどまらず、人間形成や社会生活を営むバランス感覚を育成する。

＊授業は週1回。1回3時間。

＊平日のレッスンは午後6時から。また土・日のクラスもあるため、働きながら、学びながらレッスンが受けられる。

△養成期間▽①基礎科（初級クラス）→②本科（中級クラス）→③ゼミ・研修科（上級クラス）の3段階に分かれている。

※基礎科は声優となる基礎レッスンを、本科は表現力を開発する訓練を中心に行う。

＊ゼミ・研修科クラスは、アーツビジョンスタッフとの交流の場を持ち、実力ある人はマスコミ（TV、ラジオ局）セールスの対象となる。

△入所資格▽15歳以上の男女。

△講師▽徳丸完、西村知道、鈴木れい子、沢木郁也、松田咲實、ほか。

△募集▽入所審査はいつでも受けられる（フレックス入所制）。随時入所でき、合流可能なカリキュラム体制がとられている。

△受験手続▽規定の入所申込書に必要事項を記入のうえ、写真を貼付し、事務局まで送付。

△受験料▽なし。

△試験内容▽面接、簡単な演技。

△学費▽面接合格後、事務局まで入所金と年間受講料を指定期日までに納入する。

入所金：10万円。

受講料：20万円（4回分割払い可）。

※なお、地理的に通学が困難な人のために、ビデオ「基礎演技入門」をリリース。通信販売を行っている（1万円・申込制）。

△連絡先▽

事務所：〒151 東京都渋谷区代々木2－23－1 ニュースステートメナー993号

☎03（3372）5671

アーツビジョン内事務局：〒151 東京都渋谷区代々木1－14－11 ㈱アーツビジョン内

☎03（3375）0481

※案内書・入所申込書は80円切手5枚同封のうえ、事務所まで申し込むこと。

▲肉体訓練（体操）も俳優修業の重要な要素

代々木アニメーション学院

△講座内容▽最大手のアニメーション関係の新人育成専門学校。声優タレント科を設置しているのは東京校（原宿スタジオ）、大阪校、名古屋校、福岡校、仙台校、札幌校。声優科の総指揮者である、三ツ矢雄二を中心に現役声優、一流プロデューサー、演出家たちが独自のカリキュラムで授業を展開していく。基礎では、発声、アクセント、イントネーション、滑舌、外郎売り、歌唱などをマスターする。また、応用として、DJフリートーク実習やアナウンス実習、MC実習、ラジオ・ドラマ実習、アニメ・アテレコ実習、洋画・アテレコ実習を行う。そのほかに実用に添った、ゼミナールも行う。大きな特徴としては、授業の一環としてデモテープ（タレントプロモーション用のボイスサンプルテープ）の制作を行う。これによってオーディション合格率も上昇。全日制で、週5日。1日、約3時間程度のレッスン。

△養成期間▽1年間。

＊卒業後、100％の就職指導を目指し、養成所、プロダクションへの推薦、斡旋あり。

△入所資格▽①義務教育修了者以上の者。②外国において、12年以上の学校教育を修了し、かつ日本語を理解できる者。③その他、前記と同等の学力があると認められる者。④心身ともに健康で、他に伝染或いは影響を及ぼす疾患や障害のない者。⑤以上の条件を満たす者であれば、年齢、性別不問。

＊ただし、入学には保護者、保証人の許諾が必要。

△講師▽天野まり、内海賢二、太田克己、冨永みーな、松野太紀、三ツ矢雄二、矢尾一樹、山口勝平、（特別講師含む）ほか。

△募集▽年1回。（願書受け付けは7月ごろ）

△受験手続▽規定の願書に必要事項を記入のうえ、写真を貼付。加えて身上書と誓約書。以上を揃えて、後述の住所に郵送するか、声優タレント科設置校に直接持参するのも可。

△受験料▽なし。

△試験内容▽特に試験はなく、書類審査のみ。

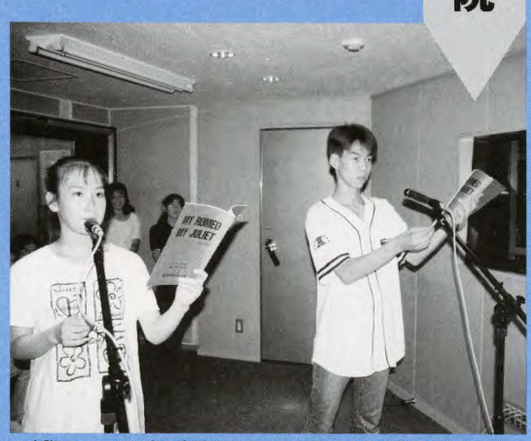
△学費▽入学手続金＝2万円、入学金＝18万円、年間授業料＝36万円、年間設備費＝14万円 入学時納入金合計＝70万円（消費税は必要ありません）。入学後の諸経費は、年間実習機材費などで、合計20万円を納入。

＊納入は指定の銀行口座に振り込む。また、入学者の都合で、入学をとりやめる場合、すでに納入済みの学費の返済は一切行われない。

△連絡先▽

〒151 東京都渋谷区代々木1－57－3

☎03（3378）8999



▲実際にアテレコする実習もあります。気分はもう声優さん？

81プロデュース演技研究所

△講座内容▽予科・基礎科では、発音、発声、声楽、演技などを徹底的に学ぶ。研究科では、演劇論、スタジオ実習、肉体訓練などを本格的に学ぶ。以上3科を総称し、〝本科〟と呼ぶ。
他に週1度の日曜コースがあり、発声、発音、台詞演習の基礎を学ぶ。また、遠隔地、学生のための、通信教育コースもあり、教材用テープとテキストで勉強し、練習用テープによる添削講座を行っている。
△養成期間▽①予科→②基礎科→③研究科。各1年間。日曜コース、通信教育コースも1年間。
＊ただし、日曜コースは1年間の授業終了後、本人の希望で本科への編入も可能。
＊本科教育課程をすべて終了し、演技研究所を卒業した者のみ、81プロデュース ジュニア所属オーディションを受けることができる。
△入所資格▽本科：高卒以上。
日曜コース：中学生以上〜30才くらい。
通信教育コース：特になし。
△講師▽辻村真人、鈴木清信、中尾隆聖、浅井淑子、山田悦司、大門康彦、野沢雅子、向井真理子、ほか
△募集▽年1回。2月ごろ。
＊ただし、通信教育コースのみ随時。
△受験手続▽規定の申込用紙に必要事項を記入し、写真を添付して、後述の住所まで郵送のこと。
△受験料▽本科、日曜コースは各1万円。左記の口座まで振り込むこと。
振込先：さくら銀行 不動前出張所
口座番号：普通預金 3044608
名義：㈲ハーフ エイチ・ピー
△試験内容▽面接・実技（朗読、台詞）
＊通信教育コースは特に試験はない。
△学費▽本科：入所金＝8万円＋年間授業料＝38万4千円。
日曜コース：入所金＝8万円＋年間授業料＝15万円＋テキスト代＝3千円。
通信教育コース：11万8千円（テキスト代・送料含む）

△連絡先▽
〒153 東京都目黒区下目黒3−7−2
小西ビル6F
☎03（3492）0921
＊詳しい資料を請求される方は80円切手10枚同封のうえ、右記住所まで申し込むこと。

勝田声優学院

△講座内容▽基礎科は、学院長・勝田久が独自のシステムで発音、発声、アクセント、調音からエモーション、朗読、演技、演技話法（台詞）、フリートーク、そしてアテレコ演技、CMまで、声優になるための基礎を徹底的に指導。研究科においては、発音、発声から演技にいたるまでを、より深い角度で掘り下げて指導していく。
△養成期間▽基礎科（4月生は1年間。9月生は7カ月）→研究科（1年間）。各クラスとも週1回（月4〜5回）。ただし、夏季休暇、冬季休暇あり。基礎科課程、1回2時間30分。また、選択科目として声楽・ジャズダンスのクラスもある。
※選抜された者が、基礎科から研究科へ進級できる。
＊他に2年間の基礎科課程、研究科課程を終了した者には、担当講師陣によるゼミナールも開講される。また、卒業後、選抜された者は、プロダクション アーツビジョンに新人登録される。
△入所資格▽4月生は、15〜25歳の健康な男女。9月生は17〜25歳の健康な男女。
＊ただし、高校生は学校と両立させることが条件で、高校進学予定の中学生は受験可能だが、中学卒業のみの者、高校中退者は受験不可。
＊高校生の場合両親（父親か母親）の許諾が必要。（事情がある場合は、そのつど申し出ること）
△講師▽勝田久、野沢雅子、肝付兼太、川久保潔、水鳥鐵夫、本田保則、中野寛次、鈴木勝美、合渡恵子、松下美由紀、園山愛子、山本真裕、ほか。
△募集▽年2回。3月に4月生を募集。9月生に関しては、5月末に詳細を決定する。
△受験手続▽80円切手10枚を後述の住所まで郵送し、入学案内をとり寄せて下さい。入学案内の中に規定の申込用紙が入っています。
△受験料▽1万円（小為替には何も記入しない）
△試験内容▽面接を主とし、簡単な朗読、台詞。筆記テストもあり。
△学費▽入学金（3年間在籍可）＝15万円＋授業料（前期6カ月分）＝10万2千円 合計＝25万2千円を入学時に一括納入。
＊後期6カ月分は9月末日までに納入。（後期のみ2カ月ずつの分納可。2カ月＝3万4千円）

△連絡先▽
〒171 東京都豊島区高田3−13−7
☎03（3988）2588

東映アカデミー

△設立目的▽アニメ界の老舗・東映動画と提携し、「いい声優」を目指す人は、俳優としても十分な活躍ができる人……をモットーに36年間の伝統と実績をもつ実践教育スクールを目的に設立されている。前身は東映演技研修所。
△講座内容▽声優コースは、本科と水曜コース・土曜コース・日曜コースがある。本科では、基礎演技実習、基礎発声、映像演技実習、アテレコ実習、舞踏、声楽、殺陣の授業があり、週3日、各3時間の授業。水曜コース・土曜コース・日曜コースは、基礎演技実習、アテレコ実習の授業がある。
＊アニメのスタジオのマイクで放送される番組に実際に声を吹き込む「出演」授業もある。
＊成績優秀な研修生は養成期間中でもテレビや映画、舞台など出演できる。
△養成期間▽各コースともに1年間。
＊優秀な研修生は卒業後、東映アカデミータレント部に所属できる。
△入所資格▽本科は15〜30歳の男女。水曜コース・土曜日コース・日曜日コースは中学生以上。
＊ただし、未成年者の場合、保護者の許可が必要。
△講師▽平山亨、折田至、掘長文、梶間俊一、蔦林淳望、宮本貞子、石井せつ子、ほか。
△募集▽年2回。（春・秋）
△受験手続▽規定の申込用紙に必要事項を記載し、写真を貼付し、専用の応募用封筒で申し込むこと。
△受験料▽特になし。
△試験内容▽面接。
△学費▽本科：入学金＝25万円＋施設教材費＝10万円＋授業料（1カ月分）＝2万円 入学時納入金＝37万円
水曜コース・土曜コース・日曜コース：入学金＝15万円＋授業料（1カ月分）＝1万5千円 入学時納入金＝16万5千円
＊納入された学費は理由のいかんを問わず返金しない。あらかじめご了承ください。
＊学費はすべて消費税別の金額です。

△連絡先▽
〒178 東京都練馬区東大泉2−34−5 東映東京撮影所内
TEL03（3921）8886
＊詳しい応募要項を希望する者は、住所、氏名、年令を明記した封筒に80円切手を10枚入れて、右記住所まで申し込むこと。

The 声優塾

△講座内容▽基礎科には、飯塚昭三と野島昭生を主任講師にした2クラスがあり、歌やダンス、発声といった基礎トレーニングに加え、一般的知識、礼儀作法なども広く講義。
＊月・水・金曜日の午後6時から3時間（飯塚班）。火・木・土の午後6時から3時間（野島班）。
△養成期間▽①基礎科→②2年目コース（専科）。各コースとも1年。基礎科から専科への進級は希望者を中心に選抜。
△入所資格▽15歳以上の男女
＊ただし、18歳未満の受講希望者は、保護者の了承が必要。
△講師▽飯塚昭三、野島昭生、若本規夫、辻谷耕史、玉川紗己子、渕崎ゆり子、ほか。
△募集▽年1回。3月ごろ。
△受験手続▽郵便為替で受験料と規定の申込用紙に必要事項を記入し後述の連絡先まで郵送。
△受験料▽5千円。
△試験内容▽面接、簡単な朗読。
△学費▽入塾費＝10万円。
受講料＝4万円（月額）。

△連絡先▽
㈱シグマ倶楽部：〒107　東京都港区赤坂7－9－5　赤坂Qビル303号
☎03（3589）3674

俳協ボイスアクターズスタジオ

△講座内容▽俳協所属の現役の声優が講師として、基礎からレッスン。6カ月の研修の後、俳協所属のオーディションを行う。A～Cの各クラスがあり、授業内容は共通で、時間帯のみ異なる。（各週1回。1回3時間）
△養成期間▽6カ月
△入所資格▽15歳以上の健康な男女。
△講師▽中村正、平松広和、寺島幹夫。（専任講師）
△募集▽年2回。（各第1次、第2次募集と期間内に2回募集を行う）
△受験手続▽専用の申し込み用紙に必要事項を記入のうえ、受験料を添えて、郵送または持参。
△受験料▽5千円。
△試験内容▽台詞・朗読・面接。
△学費▽20万円。（6カ月分の学費および教材費）

△連絡先▽
〒161　東京都新宿区上落合1－17－9
☎03（3950）5705

バオバブ学園

△講座内容▽基礎科・専科と分かれている。基礎科は、専門教育を受けられなかった人のために設けられ、基礎発声、発音、アクセント、基礎演技（感情表現、台詞実習）、俳優としての知識などを学ぶ。授業は、毎週日曜、1回2時間。所定の時間を履修した者は、専科に進級することもできる。
専科では、経験者を対象として、基礎発声、基礎演技、肉体訓練、声楽、舞台実習（2公演を予定）、ダンスを学ぶ。授業は、毎週月・木で、1回3時間。
△養成期間▽基礎科・専科、各1年。
＊専科在籍者で、成績優秀な者は就学中でも、番組などのオーディションへ推薦される。
△入所資格▽基礎科＝16歳以上の男女で、学歴・経験は不問。
専科＝18歳以上の男女で、高校卒業程度の学歴を有し、演劇経験1年以上を有する者。
△講師▽瀬良辰彦、清水マリ、城山知馨夫、谷本和子、中沢みどり。
△募集▽年1回。2月ごろ。
△受験手続▽市販の履歴書に必要事項を記入し、3カ月以内に撮影した写真、1枚を添える。
△受験料▽5千円（前年度例）
△試験内容▽基礎科＝面接（実技など）。
専科＝筆記、面接（実技など）。
△学費▽基礎科：入所金＝10万円、月謝＝1万5千円。
専科：入所金＝15万円、月謝＝2万円　このほかに、専科所属生徒は、公演積立金として月額5千円（年額＝6万円）を支払う。
＊金額はすべて前年度のものです。

△連絡先▽
〒169　東京都新宿区西早稲田3－31－5　ワセダハイツカスガ内
☎03（3207）9199
＊詳しい資料が必要な場合は500円分の郵便小為替を同封のうえ、右記住所まで申し込むこと。

専門学校東京アナウンス学院

△講座内容▽東京都認可の専門学校。選択履修制になっており、進級・卒業に必要な単位数を修得して進級していく。4月入学の昼間部と10月入学の夜間部がある。1年次は必修で演技基礎、学園行事があり、選択でダンスレッスン、声楽、アーティキュレーション、声優総論などがある。2年次はアニメ・洋画の吹き替えによる作品制作、舞台発表がある。また、各選択科目の上級編を学ぶ。このほかに1、2年次共通の選択授業で、DJ、日本舞踊、殺陣（たて）などがあり、中国やヨーロッパでの海外公演も実施している。
△養成期間▽2年間。
＊オーディション講座があり、在学中デビューも多い。
△入所資格▽高卒以上の者。もしくは、それと同等の資格を有する者。
△講師▽伊藤弘一、竹村拓、仲村秀生、西村智博、原田一夫、水鳥鐵夫、村越伊知郎、ほか
△募集▽推薦入学制（学校推薦と自己推薦）と一般入学制がある。10月から3月まで各月ごとの受け付け期間と入学試験がある。
△受験手続▽規定の志願票に必要事項を記入し、各々に必要な書類をすべてまとめ、入学相談室まで、郵送か直接提出する。
△受験料▽2万円。所定の振込み用紙で、銀行振り込みを行う。
△試験内容▽面接。一般入学試験には、朗読などの簡単な実技がある。
△学費▽初年度納入金の合計は、125万7千500円。そのうちの93万100円を前納する。

〈連絡先〉
〒644　東京都中野区弥生町1－38－3　入学相談室
☎0120（343）261
＊入学制度によって、手続きや資格などが、各各異なるので、興味のある人は、詳しい資料などの請求を右記まで、問い合せることを勧める。

(What's声優?)

大平透声優ゼミナール

△講座内容▽現役ベテラン声優・大平透が、「声優」＝「マルチタレント」を基本理念として、独自に考えた育成法で指導する。基礎一般として、呼吸法、発声、アクセント、アーティキュレーション、演劇概論、リトミックなど。実習としては、演技、朗読、台詞、ラジオドラマ、DJなど。実演として、TVドラマ、ナレーション、洋画及びアニメ吹き替え、レポーター、インタビュー、司会、番組制作、TVCM、演劇活動などを、通常授業で行い、このほかに合宿或いは遠征による実戦演習課目などがある。基礎科（約6カ月・週2回）を経て本科（約5カ月・週1回）に進む。いずれも授業は夕方より行われる。

△養成期間▽基礎科・本科で約1年。その後専攻科に進むが、特に進級試験はなく日ごろからの成績が進級の判断基準になる。

＊専攻科終了後、成績優秀者はオオヴァスに所属し、プロ活動ができる。

△入所資格▽中卒以上の言語系障害なき健康な男女、経験・年齢は不問。

△講師▽大平透、藤熊淳、山口竹彦、新井洋子。（専任講師）

△募集▽年1回。1月ごろから（19期生・4月入学）。

△受験手続▽規定の入学願書に必要事項を記入のうえ、後述の住所まで郵送すること。

△受験料▽なし。

△試験内容▽特になし。

△学費▽入学金＝15万円（教材費・実習費を含む）＋授業料（基礎科）＝12万円＋授業料（本科）＝12万円／年間合計39万円（これに消費税が3%加算されます）。専攻科進学時には年間授業料24万円＋消費税。

＊入学金・授業料は、原則として一括納入。場合によっては分納（ローン）も可能。

△連絡先▽

〒553　大阪府大阪市福島区福島5－8－17　アートビル3F

☎06（453）7788

江崎プロダクション付属俳優養成所

△講座内容▽新人タレント「研究生」は、より良きプロの声優を目指すために、演技研究を週2回、1回2時間30分、経験豊かな現役プロのガイダンスによって、専門的な訓練を受ける。

その内容は、1日は、録音現場のスタジオを使い、実際に現場で使われたのと同じ素材を使ってのアテレコ実習（アニメ、洋画吹き替え）。残りの1日は、戯曲、朗読の基礎練習。

△養成期間▽2年間。ただし、1年目に進級試験あり。

＊研修期間中でも、アニメ、洋画吹き替え、ナレーションなどに出演するチャンスがある。

＊2年間の研修期間終了後に、オーディションを行い、その結果、江崎プロダクション所属タレントになることができる。

△入所資格▽専門学校、劇団などで、1年以上、またはそれと同程度の基礎訓練を受けた27歳までの男女。

△講師▽北村弘一、納谷六朗、谷育子。

△募集▽年1回。

△受験手続▽規定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、受験料を添え、後述の住所まで郵送すること。

△受験料▽5千円。（現金書留か郵便小為替にて送付すること）

△試験内容▽面接、朗読、台詞。

△学費▽入所金＝10万円（＋消費税・3千円）1カ月の授業料（教材費など含む）＝2万円（＋消費税・600円）。

＊ただし授業料は、3カ月ごとに前納のこと。入学時払い込み合計金額＝16万4千800円。以降、3カ月ごとに6万千800円を納入する。

△連絡先▽

〒160　東京都新宿区南元町3番地若越ビル4F

☎03（3357）0336

＊詳しい募集要項が必要な方は、封筒の表に自分の住所・氏名を明記したものを1枚と80円切手、10枚を同封して右記住所まで申し込むこと。

東京アニメーター学院

△講座内容▽現役で活躍しているベテラン声優によるレッスンと、独自のカリキュラムで発声、発音のボイストレーニング、ナレーション、演技話法、アテレコ実技などの基礎教育を実施。本科は2カ年で、専科は1カ年となっている。いずれも全日制で、週5日。1日3～4時間の授業。

△養成期間▽本科は2年。専科は1年。

＊卒業時、優秀な生徒は、声優プロダクションなどに新人登録できる制度もある。

△入所資格▽①義務教育を修了した人。②外国人は、その国において学校教育12年以上の課程を修了した人。③心身ともに健康な人（医療機関、医師の発行する健康診断書が必要）。④いずれも男女、年齢、学歴、職歴は問いません。

△講師▽肝付兼太、野沢雅子、山口勝平、水島裕、白石冬美、増岡弘、キートン山田、ほか

△募集▽年1回。4月。

△受験手続▽出願書類（入学願書、身上書、適性テスト、写真2枚・3cm×3cm、健康診断書）に必要事項を記入のうえ、後述の住所まで郵送、または持参。

△受験料▽特になし。

△試験内容▽書類審査、適性試験（必要に応じて面接）。

△学費▽本科、専科いずれも、入学申込金＝3万円＋入学金＝15万円＋年間授業料＝36万円＋年間設備費＝6万円　入学時納入金＝60万円

このほかに、年間諸経費として、実習費＝8万円　教材費＝5万円＋維持費（冷暖房費、光熱費）＝2万円　年間合計75万円となる。

＊ただし、年間諸経費は、入学時に一括で払うことも可能。

△連絡先▽

〒101　東京都千代田区三崎町3－4－9

☎03（5276）1511

＊詳しい資料・応募書類が必要な場合は、切手250円分を同封のうえ、右記住所まで申し込むこと。

養成所選びのポイント

ここで養成所選びのポイントについて少し考えてみましょう。

今まで紹介した養成所ひとつひとつをとってもカリキュラムや1週間の授業日数、修了年数など、実にさまざまなところがあります。養成所選びの一番のポイントはとにかく自分の目で確かめてみる、すべてこれに尽きます。各養成所ともに、見学日や体験入学の日があるはずです。そういった機会を最大限に利用して自分の目で見て、聞いて、実際に体験することが、なんといっても大切です。Aさんにはよい養成所であっても、Bさんには向いていない、ということが必ずあります。養成所にも〝ウマが合う〟といったことがあるのです。自分と相性の合う養成所をみつけてください。ただし、必ず見学する前に養成所に連絡を入れましょう。いきなり行っては先方の迷惑になります。

また、見学に行ったときに、そこで学んでいる人に直接インタビューしてみるのもよいでしょう。学校案内を穴があくほど読むより、実際にそこで勉強している人の話が、何よりもいちばん確かです。知らない人に話を聞く、ということは、かなり勇気のいることですが、これも俳優修業の第一歩だと思って、勇気をだして挑戦してみよう。

最後にもうひとつ。自分の目で見、聞き、確かめ、ここだ！　と養成所を決めたら、その養成所を信じ、講師の先生を信じて、ひたすら一生懸命がんばってみてください。よくいろいろな養成所を単に渡り歩く人（なかにはそれを自慢する人もいる、困ったもんだ……）がいますが、ひとつの所に長く留まり、そこでじっくり勉強することが大切なのです。〝辛抱〟〝忍耐〟、なんて古くさいや、と思うかもしれませんが、案外、それが声優になるための近道だったりするのです。憧れやカッコだけではよい声優にはなれません。

これを読んでるあなた、次のスターは君かも？　思い立ったら、早速行動開始だ！

キャスティングからイベントまで（職業としての声優とは？）

声優の仕事は、非常に裾野の広いものになっている。アニメとゲームの場合を例に、キャスティングからイベントまでを検証してみよう。

俳優養成所などの養成機関を卒業し、プロダクションの所属になっても、それがすなわち声優としてデビューを飾れるという意味にはならない。前出の青二塾の場合を例にとってみよう。

青二塾の卒業公演の後、塾生たちは青二プロダクションのオーディションを受けることができる。ここで目に留まることができれば、晴れてジュニアの所属として声優予備軍に仲間入りすることができるのだ。

なぜ予備軍なのか。それは、この段階ではまだなんの仕事も与えられないからだ。ジュニア所属が仕事を得ることができるのは、アニメ作品などのオーディションを受け、それに合格して役をつかみとった場合である。

プロダクションでは、所属タレントの声を収録したサンプル（最近ではCDで収録しているプロダクションも多い）を用意している。アニメやその他の映像作品のキャスティングを担当するスタッフが、その声のデータを検討して配役を決める場合もあるが、そこで選ばれるのは実力がわかっている俳優か、所属プロダクションが特に推薦する俳優に決まることがほとんどで、全くの新人が直接名指しを受けることなど滅多にないのだ。

声優予備軍にとって、オーディションに参加して役をつかみとることが、声優として生きていくための第一歩になる。できる限り多くの作品に出演して自分の力を認めてもらい、努力と結果を積み重ねて、俳優としての力量や魅力を認めてもらうのである。青二塾のジュニア所属の場合も、自主的に勉強会を開いて俳優としての自分を磨きながら、オーディションのチャンスに備える者が多いそうだ。

青二塾体験入学レポートの最後の、北川塾長の言葉にもあったように、実は、養成機関を卒業し、声優として仕事を得られるようになるまでの「予備軍」の時代が声優を目指すものにとって最も試練の時かもしれない。

「ジュニアの所属になるということは、オーディションを受けるチャンスがもらえるようになったというだけなんです。仕事がなければ、アルバイトをする時間はいくらでもありますから、塾生だったときよりは生活の心配は少ないですが、ほんとうに大変になるのは、オーディションを受けて、小さな仕事をもらい始めてからなんです。声優になりたくてこの世界に入ったから、もちろん仕事が優先になるんですけど、そうなると今度はアルバイトができなくなり始めて。悪循環なんですよね。私自身も、そういう時期があって、塾生だったころとは違った意味でつらかった」

これは、久川綾さんがジュニア所属時代を語ってくれたものだ。もしかすると、自分が夢に描いていた声優像と、自分が現実に経験している声優業とのギャップがいちばん大きいのがこの時期かもしれない。だが、この苦しさを乗り越えなければ、演技のプロとして認めてもらうことができないのも事実なのである。

さて、オーディションなどを経て、ある程度の役をもらえる目処が立てば、予備軍状態は卒業ということになる。ここからが、職業としての声優の、ほんとうの勝負の始まりだ。

声優の仕事……と聞いてどんな内容を頭に描くだろうか。アニメや映画のアフレコ？　なるほど。声優の仕事は、実に多岐にわたり、さまざまなジャンルをまたいで広がっている。アニメ、映画のキャラクターを演じる。テレビ番組やコマーシャル・フィルムのナレーション。ラジオ番組。お芝居。歌やライブコンサート。イベント出演。最近飛躍的に声優のニーズが増えているものに、ゲームのキャラクターを演じる……というものもある。

どうだろうか。ひとくちに声優の仕事といっても、これだけのジャンルにわたっているのだ。そして、それぞれの仕事で、プロとしての力量を要求される。テレビやビデオで、プロの声優の演技やナレーションを聞き、「アニメ好きだし、これくらいの演技ならちょっと練習すればできる」というような向こう見ずな自信で声優になろうとしているなら、そしてそのままの気持ちであり続けるなら、それはアマチュア以外の何者にもなりえないだろう。

プロの仕事とは、そんなになまやさしい気持ちでこなせるものではない。いや、もしかすると、結果的にスタッフからOKが出て、なんとなくこなせてしまう事はあるだろうが、それでは精神的にアマチュアを脱皮したとはいえないのではないだろうか。

プロの声優、俳優とは、要求される仕事に対して、自分の全能力をぶつけ

↓『イクセリオン』の出演者たち。スタジオは、職場であると同時に演技者としての自分をアピールする場所だ

（What's声優?）

て応えることができる者のことをいう。とはいっても、どんな場合にも百パーセントを出し続けるのは、とても難しいことだ。制作側の要求を受け止められる柔軟さと、演技者としての精神のテンションを維持し続けるだけの力を持てるかどうか。それがプロとアマチュアの境目なのではないだろうか。

では、実際に現役のプロたちは、どのように仕事に取り組んでいるのだろうか。ここから先は、ふたつのケースについて、紹介していきたいと思う。

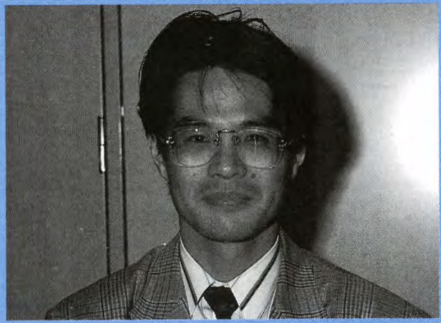
ひとつは、たぶん読者にも馴染み（なじ）深いと思われるアニメーションの場合。

そしてもうひとつは、ゲームの仕事を取り上げてみた。今回、あえてゲームを取り上げたのには理由がある。

ゲームの世界は、家庭用ゲーム機の性能が数年単位で飛躍的に向上した結果、ゲームの中に実写の映像やアニメーションを取り込み、その映像に声優、あるいは役者が声を入れたソフトが発売されるようになった。特に、'94年末に各社から発売される、いわゆる次世代マシンと呼ばれるハードウエアは、より多くのデータを高速で処理する能力を持ち、それに対応するソフトウエアも、膨大な映像データを収録することが可能になった。

ここ数年、ゲームの世界でもアニメと連動した企画の作品が増加し、この分野での声優の活躍が目だっている。だが詳細に見ていくと、ゲームとアニメは、感覚的には極めて近い映像エンターテイメントである半面、制作面ではかなり異なった要素をもっているのである。そしてそれは、声優という職業に要求される、大きな要素が何かを教えてくれるようにも思われる。『イクセリオン』と『リンダ3（キューブ）』。ふたつの作品に携わったスタッフとキャストの言葉から、それを見つけてほしい。

アニメ　（『イクセリオン』の場合）



←監督の平野俊弘さん。脚本やキャラクターデザインなども自ら手掛けている。この作品では、制作やキャスティングの面で、理想的な環境で取り組むことができたと語る

←８１プロデュースの中野徹さんは、キャスティングに関する作業全般をサポートした

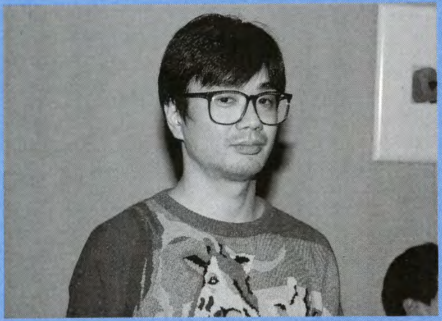
声優を目指す人たちが、「声優の仕事とは？」と聞かれて真っ先に思い浮かべるのがアニメのアフレコではないだろうか。

アニメーションの制作スタッフによって作られた完成フィルム（場合によっては半完成とか未完成の場合もあるが）に合わせ、演技をする。そこで声優に要求されるのは、ひとくちで言うと「制作スタッフが意図する、キャラクターのイメージの具現化」なのだ。

『戦少女（イクサー・ガール） イクセリオン』は、過去に、前身となるシリーズ作品やCDドラマなどが作られているが、それらの作品に登場するキャラクターのイメージは、すべて監督である平野俊弘さんによって作られたものである。

「僕の場合は、キャラクターも自分で作っているので、聞こえない声のイメージを頭の中で響かせながら設定を作っています。オーディションでは、そのイメージに沿った形で声優さんを選びます。最初の作品である『イクサー1』から2作目の『イクサー3』に替わるときに、主人公の渚役も代えようということになって、50人くらいのテープの中から選んだのが白鳥由里さんだったんです。実は彼女は、これがデビューということで、なにやら恐ろしいことをしてしまったと思ったんですが。アニメの後のCDドラマでも、彼女にやってもらって。今回の主人公の甲斐渚は、また別人なんですが、僕の頭の中で渚という女の子の声のイメー

ゲーム　（『リンダ3（キューブ）』の場合）



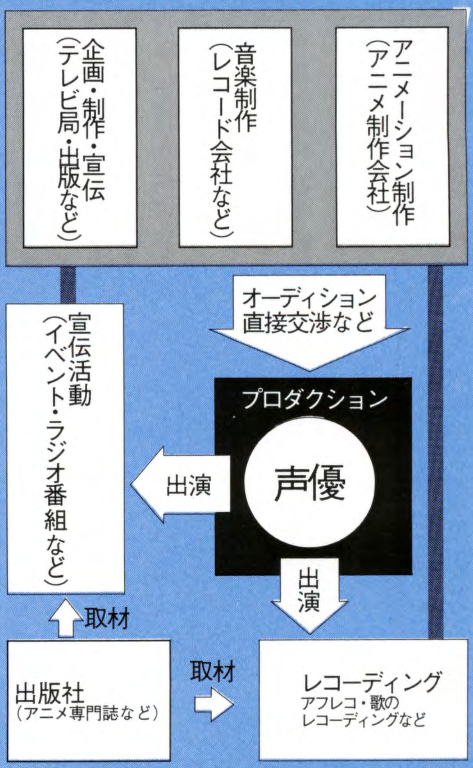
←脚本、監督を担当した桝田省司さん。「気に入った声優さんは、いろいろな役をやらせてその人の可能性を試してみたくなる」と語る

←動画部分を監修するひろたたけしさん。アニメ作品での経験を生かし、桝田さんがフォローしきれない部分のキャスティングをアドバイスした

ゲームは、アニメの場合とは違った状況でレコーディングを行うことも少なくない。アニメのように最初から最後まで動画で構成されるものではなく、声優が声をアテてる場面は、物語全体の一部分である。また、ゲームは、それ自体が完成した作品ではなく、ユーザーが介在することで作品が完成する、インタラクティブ性を持っていることも独特だ。

『リンダ3（キューブ）』の場合は、物語的にも難しい役が多く、テクニックがある人をキャスティングしたという。プロデューサーの松本有史さんは、「自分の声を幾通りにも使い分けられる人ばかり選びました。ゲームの場合は、絵がない難しさもあるでしょうが、逆に絵にとらわれないだけ、声優さんが自分のタイミングやテンションで演じることができると思うんです」と語る。

今回のレコーディングは、動画や静止画が全くない状態で行われた。声優が役づくりの参考にできるものは、台本を別にするとキャラクターのデザイン設定と、監督からの場面説明だけなのだ。『リンダ3（キューブ）』の場合、完全なオリジナル作品なので、原作のマンガやアニメも存在しない。声優にとって、難しい状況で演技を要求されているようにも見えるが、脚本、監督を担当した桝田省司さんは、そんな難しさを、逆に、声優の演技者としてのパワーを引き出す環境としてとらえているようだ。



声優さんたちにとっての、「プロ」の意識とは？　さまざまな思いが集まって、演技は光を放つ！

ジとして固まっていたので、あえて変更はしませんでした。河合可愛役の天野由梨さんも同様です。冬馬由美さんと西村ちなみさんは、今回新登場のキャラクターということもあってオーディションで選びました。冬馬さんは、僕のイメージの中に冬馬さんの声のイメージがあったので、それを確認するという意味合いが強かったんですが、西村さんに関しては、別の人を想像していたんです。西村さんがオーディションですごく良かったので、納得のうえで決定しました」

こうしたキャスティングの際には、特定のプロダクションにすべてを任せることは少なく、複数のプロダクションを交えてオーディションを実施したり、出演交渉をサポートしたりするスタッフが活躍するのである。『イクセリオン』で、キャスティングを担当した81プロデュースの中野徹さんは、自身の役割をこう説明する。

「いちばん大きな役割は、監督が思っているキャストに対するイメージをどうサポートするかだと思います。最初からこの人、と決まっている場合は別にして、ゼロから生み出すものに関しては、監督のイメージを正確に把握して、それに近い人をブッキングして、オーディションします。こちらがピックアップした人を勧める場合もありますが、基準はあくまで監督、あるいは決定権のある人のイメージや要望ですね。いろいろな事務所からサンプルテープをもらって、いつも聴くようにしています。聴くときの心理状態で、声の聴こえ方やイメージが変わる場合もあるので、一度ではなく、何回か聴くこともありますね。選んだ声優さんが、監督の納得するいい結果を出してくれたときは、最高に嬉しいものなんですよ」

声優にとって、オーディションはすでに仕事の始まりなのだ。そこでの演技は、制作スタッフにとって、作品の一部なのである。西村ちなみさんのように、監督の予想外の演技力やイメージを見せて、役をつかみとる場合もあるのだ。

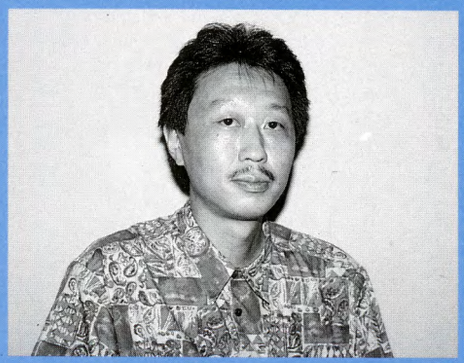
『イクセリオン』には、デビュー半年という文字通りの新人から、ベテランまで、経験の量という点では、実に幅広い声優が集まった。その中から、主人公4人の女の子たちと、イクセルというロボット（バリエーションを含めて4体）を演じた5人の声優に、声優という仕事への思いや、プロとしての意識について質問してみた。

4人の女の子の中で、中心的な存在である甲斐渚役の白鳥由里さんは、平野監督の話の中にもあったように、ビデオアニメの『冒険！イクサー3』の霞渚役でデビューした。『イクセリオン』には特別な縁があるともいえる。

「ずっと続いている作品ではなくて、間が何年かあいて作られている作品なので、シリーズを並べていくと、私の成長の記録がわかる、という感じになると思います。そういう意味では、これからも続いていってほしい作品ですね。渚という役は、デビューしたときの役ですし、今回の甲斐渚は、そのときの渚とは別の女の子なんですが、とても気に入っている役です。嫌いな役というのはないですね。やらせてもらった位置づけですね。それが『リンダ3（キューブ）』の魅力だと思います。難しい点は、声優さんごとにバラバラに収録するので、演じる場面のテンションに声優さんを誘導することでしょうか。アニメのことはよく知らなくて。声優さんに対する固定観念がないので、面白い役をあげてしまいがちなんです。以前、矢尾一樹さんにオカマの役をやってもらったら、ファンの方にカミソリを送られましたよ。本人は面白がってやってくれたんですけどね。普段はやらないような役をふってみて、それをどう演じてみせてくれるだろうか、というのが、僕の楽しみなんですよ」

絵を作成する作業が声の後になるというのは、ゲーム独特のプロセスだ。作画監修のひろたたけしさんは、アニメの脚本や監督も手掛けているが、ゲームの場合は、これからが制作の本番である。「発売は3月なので、これから作画作業で大変です。ゲームの場合は、すべてが完成するまで出来上がりがわからない。アニメとは正反対ですよ」

未知の領域の演技、困難な中での最高の演技に挑戦することも、演技者の快感だ！



←メディアワークスのゲーム事業部プロデューサー、松本有史さん。収録された声の演技を動画・作画のスタッフに手渡してひとつの作品にまとめていく、これからの作業が大変……と語る

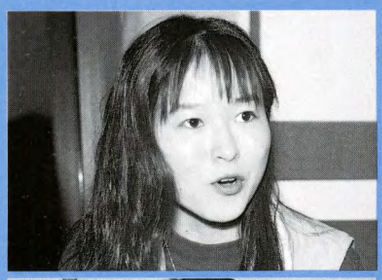
「今回キャスティングした声優さんとは、ほとんどの人と以前仕事をしています。そのときに、今回はこんな役だったけれど、この次はこういう役をやってもらおう……というのをストックしているんです。『リンダ3（キューブ）』のときも、原稿を書いているときに、この人はこの役で、ということを考えながら書いていた。そういう意味では、意図したとおりにキャスティングできたと思います。声優さんには、絵がないところで演技をしてもらったわけですが、逆に、絵が後からつけられるだけ、演技に合った絵がつけられるから、作品としてはぴったり決まったものができるんです。絵は、声優の声の演技をさらにパワーアップするという『リンダ3（キューブ）』の登場人物たちは、非常に複雑な人間関係や、心理状態を持っている。アニメやラジオドラマでも、登場人物の複雑な心理を録音台本などから読み取り、演じていくのは、声優にとっても難しいことなのだそうだ。ゲームの場合、特にこの『リンダ3（キューブ）』の場合は、演じる場面が物語という名の大海に浮かぶ無人島のように点在する。監督の桝田さんは、「僕が持っている台本には全部メモが入っていて、声優さんが演じる場面の状況をつかみやすいように、場面と場面を繋（つな）ぐための情報を与えながらやってもらいました」と、作業の様子を語る。

アニメのアフレコとは、情報量も収録のスタイルも全く違う『リンダ3（キューブ）』。プロの声優たちは、どのように自分の最高の演技を引き出し、スタッフの要求に応えていったのだろうか。

矢尾一樹さんは、ケンとネクという、全く性格の異なる双子のキャラクターを演じている。

「キャラ表がまったくなかったので、どうすればいいのかと悩みましたね。収録はケンのほうが先で、キャラクタ

(What's声優?)



←甲斐渚役の白鳥由里さん（左）。椎名なみ役の冬馬由美さん（中）。イクセルとそのバリエーションの4役を演じた野沢雅子さん（右）

↙飯島きいろ役の西村ちなみさん（左）。河合可愛役の天野由梨さん（右）は、白鳥さんとともに、CDドラマ以来のシリーズ出演だ。

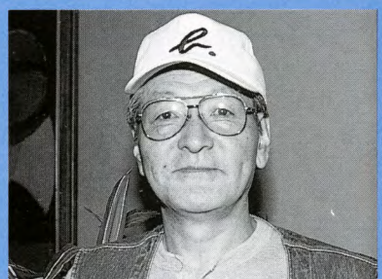
役は、分け隔てなくほとんど気に入っています。オーディションで決まった役に対しても、この役ができるのは私しかいないんだ……と、自信を持って演じようと心がけています」

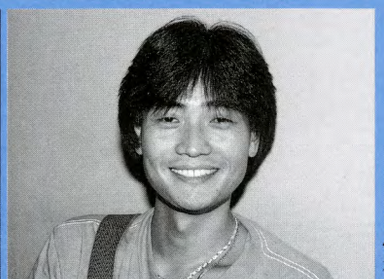
与えられた役に対する取り組み方は、人によってさまざまだが、どんな小さな役であっても、真剣に取り組む姿勢が大切……というのは、今回話をうかがった出演者全員の共通した意識だ。それは同時に、声優を目指している人たちに対するメッセージと考えてもいいだろう。河合可愛役の天野由梨さんは、プロの声優を、こういう言葉で語ってくれた。

「なんとなく演じてしまうのだったら、誰にでもできると思うんです。プロの声優は、みんな個性があるし、なんとなく演じてもサマになるけれど、私自身は、自分は何のためにこの仕事をし、何を大切に思っているのかを常に考えながら、一本一本の作品に取り組んでいます。悪役だとしても、表面だけをつくるのではなく、役に愛情を持ちながら、役の気持ちになって演じています。演じているときは、悪の心になって役になりきる、というのが愛情だと思うんですね。セリフが少ないから簡単に流しちゃう、なんていう考え方の人は、プロの声優にはいないと思います。私も安易なやり方は好きじゃないし、仕事を積み重ねていっても、けっして安易な気持ちで役に取り組むということはしたくないですね」

作品に出演することで、声優は演技という形で自分の力や魅力を主張する。カタい言い方をするならば、アフレコの現場は、声優にとって、自分とは異質の個性を持つ他の演技者との闘いと調和の場ではないだろうか。そしてそこから、プロ声優は何かを吸収し、蓄積し、自分の演技の糧にしていくのである。椎名なみ役の冬馬由美さんは、仕事に対する厳しい認識をこう語る。

「始まるということは、いつか終わりが来るということです。出演している作品が終わるまでに、その作品から何かを得て、次のアプローチにしなければ、それで終わりなんです。会社の入社試験と違って、受かったからといって、ある程度の将来が約束されるわけじゃないのが、声優の仕事だと思いますね。素敵な作品をもらえたら、それは嬉しいです。でも、その作品が当たったかどうかは、自分を紹介するときの看板なんですけど、別の作品で全く違う役をやったときに、『○○と同じですね』と言われたら、ダメですよね。それを要求された場合は別ですし、系統的に役の種類を分類することはできると思うけれど、○○みたいな感じだったね……と言われたら、あ、努力が足りなかった……と反省するんじゃないかと思いますね」




←天才外科医、エモリ役の青野武さん（左）。ヒロイン、リンダ役の高山みなみさん（中）。双子の兄弟、ケンとネクを演じた矢尾一樹さん（右）。役を知るための材料が限られた中で、最高の演技を見せて（聴かせて）、桝田監督をうならせた

ーの性格の説明のときに、粗雑だけれどナイーブな少年だという説明を受けて、そのナイーブ……というところが頭に引っ掛かっていたもので、少しナイーブに演じ過ぎたかな、と。後から演じたネクとのギャップが大き過ぎるんじゃないかと思ったんですけど、スタッフからは、音的には演技にコントラストがあったほうがいいということで、OKをもらいました。双子でこれだけ性格が違うキャラクターというのは、初めてです。だけど、これだけ差があると、やっていて楽しいですよ」

ネクは、狂気を秘めた、感情の起伏が激しい役である。それは、矢尾さん自身も初めて演じる、今まで演じてきたキャラクターからも突出した個性だったそうだ。

「ネクには、爆発的に表に出る、狂気じみた部分があるんですよ。そういう役って、実はやってみたい分野だったんですよ。ここ数年、『バスタード！』のダーク・シュナイダーみたいに、ヒーローなんだけれど非人間的な役が増えてきて、役をつくる……というか、役にのめり込む楽しさがあるんですよ。僕自身は短気なほうなんだけれど、普通の状態からいきなりプッツンと切れてしまうことはない。だから、狂気とか極端な怒りの感情まで一気にテンションを高める芝居というのは、自分にとって未経験である分だけ、やりがいがあるんです。セリフ回しに、これが正解！……というものがない。いっちゃった人というのは、何をするのか分からないじゃないですか。想像を超えてしまっている。演じているときは、役になりきって、自分も切れた精神状態になっているわけだから。常識を超えた高揚感なんですよ。残念なのは、最初の戸惑いから、だんだん役者心をくすぐられて、もっと入り込みたい、というところで出番が終わってしまったことでしょうか。ちょっと心残りですね」

声優をこれだけやる気にさせてしまったのだから、桝田さんたちのキャスティングの目論見は大成功だったのではないだろうか。

声優にとって、新たな領域の発見があったと同時に、実は、桝田さんにとっても、今回の作品の収録では発見があったという。そのことを紹介する前に、主人公のケンと絡む、リンダ役の高山みなみさんの感想を紹介しよう。

「リンダは、芯の強い女の子です。男勝りで、でも、可愛いところは可愛い。男の子に甘えたり、女の子らしいところもある。あまりこういう役はやったことないけれど、演じていて面白い女の子でした。こういう形の、絵がない状態での演技というのは、想像力をより必要とするのではないかと思います。アニメーションだと、絵でキャラクターの位置関係や場面の状況が把握できるけど、絵がないとそれを自分で考えなくてはいけない。話す相手が遠いか近いかで、声の強弱が変わるし、演じているキャラクターの表情で、話し方の強調するところが変わったりするわけですから、自分の頭の中に場面をつくりながら演じなくてはいけない。そういう意味では、ラジオドラマに近い感じなのかな。ゲームのキャラクターを演じるときは、ゲームを楽しむプレイヤーをドキドキさせるような芝居が面白いと思いますね。自分と作品の向こうにいる人に何を感じさせるか、自分の演技を聴いた人がどう感じるだろ

今回、4人のキャラクターをひとりで演じ分けているのが、野沢雅子さんだ。野沢さんといえば、『ドラゴンボール』シリーズで、ひとりで3役を演じているが、『イクセリオン』では、イクセルとそのバリエーション3体を演じてひとり4役と、記録を更新した。

「主役の4人は美女ぞろいでしょ。私はその女の子たちにくっつく役で、とても楽しいんです。イクセルの役はCDドラマでもやっているんだけれど、顔を見るのは初めて。愛着のある、可愛らしいロボットなのね」

野沢さんは、声優として数多くの作品に出演してきたベテランだが、それだけに、声優という仕事に対する自分自身の姿勢には、厳しいものがある。

「スタジオに一歩入ったら、体の調子が悪くても、そんなことは個人的なことで、いちばんいい状態で入ったように演技するのがプロだと思うんですよ。プロとして、スタッフの要求に応えるということは、よく役を把握することだと思います。自分がよく似たような役を演じるとしても、役には必ず違いはあるし、その微妙なところを出すのがプロだと思いますね。逆に、努力を認めてもらったときは、とても嬉しい。役をもらうときに、この役は野沢さんでしか出来ないから……と言われるのは、最高の気分です。私は、いつも新鮮な気持ちで、新人のつもりで役に挑戦しようと思っています。自分の身の回りのものや人間を好奇心を持って観察し、些細なことにも疑問を持って、真剣に考える。子供って、小さな石にも興味を持って、一生懸命それが何か知ろうとするでしょう。そういう子供のような気持ちで、常に目を輝かせていることが、役者にとって大切なことじゃないかしら」

これから声優を目指そうという人にとって、野沢さんの言葉は良きアドバイスになるのではないだろうか。

今年4月まで、声優を目指して勉強中……という立場だったのが、飯島きいろ役の西村ちなみさんだ。今回特集に登場していただいた声優さんたちの中で、おそらく最も読者に近いポジションにある西村さんは、声優としての自分をこう語ってくれた。

「私自身、声優を目指している人たちに近い立場だと思います。初めてのアフレコのときは、緊張して自分しか見えていなくて。仕事を続けているうちに、やっと自分の周りの人たちも見えてきて、そのときに、この仕事にかけているんだという気迫のようなものを感じて、圧倒されました。演技に入ってセリフを話し始めたときに、自分の姿と比較して打ち込み方が違うんだと感じて、圧倒されると同時に、がんばらなくっちゃ、とも思いました。私の取り組み方は、まだまだ薄っぺらなんだなと思うこともあるけれど、でも、これからそれを埋めていくことが、プロになるうかということを考えながらやっているつもりです。でも、後で完成した作品を見た時、自分の芝居を見て、下手くそだぁ～と思ってしまうこともないことはないです（笑）」

高山さんは、作品の中で歌も3曲歌っている。この歌を聞いていて、桝田さんは、次の作品でも、高山さんを起用したいという思いを抱いたそうだ。

「おそらく普段歌わないような、ラブソングとか子守歌を歌ってもらったんです。これがいいんですよ。こういう線もいいな、ということで、僕はこれからしばらく高山さんを使い続けると思いますよ」

演技が生んだ結果が、また新たな出演のチャンスを生み出す……という、これは典型的な例ではないだろうか。作品に触れたファンはもちろんのこと、制作スタッフをも惹きつけることは、声優を職業として考える場合、どれほど大きな要素であるかが分かるだろう。プロの声優は、演技という最高の商品を売り込む営業マンでもあるのだ。

ベテランの声優は、たとえれば経験を積み、生存競争を生き抜いてきたやり手の営業マン、というところだろうか。それは、顧客である制作スタッフの要求に応えてきた、実績の証でもある。そうしたベテラン声優のひとり、青野武さんは、エモリという、屈折した心理を持つ中年の男を演じている。

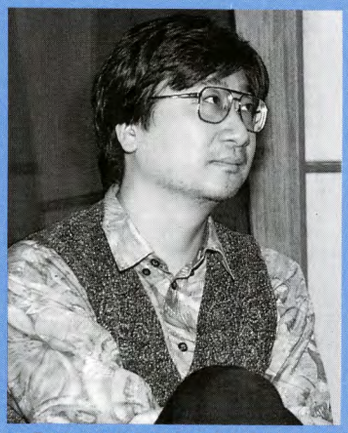
「キャラクターの設定だけはもらっているけれど、それだけではどういう人間か、すぐにはピンとこないですね。出来上がって、絵が入ってみないと、自分の芝居がどんな画面になっているかも分からないんですね。そういう意味では、ラジオドラマみたいなところもあるのかな。この場面はこういう気持ちでやってくれ、と言われて、役者それぞれに表現の仕方はあるけれど、あとは自分の中に蓄積してきたものの中から、要求にあったものを引き出して演技していくということではないで

作品ガイド

平野俊弘監督、ライフワークの最新作！

『イクセリオン』は、9年前に発売されたビデオオリジナル作品『戦え！イクサー1』以来、マンガや続編のビデオ作品が発表、発売されている、平野俊弘監督にとってはライフワーク的なシリーズの、これは最新作である。

物語のバックグラウンドは、『イクサー1』で描かれた、謎の機械生命体〈ビッグゴールド〉とアンドロイド戦士〈イクサー1〉の激戦後の世界を用いているが、あえてシリーズ続編とは扱わず、独立した作品という位置づけで制作されている。戦いの背景



↑「イクセル役はぜひ野沢さんで、という願いがかなったので、喜びのあまり3体もバリエーションを足してしまった」と語る平野監督。脚本・絵コンテからすべて自分で手掛けるのは『戦え！イクサー1』以来なのだそうだ

作品ガイド

シナリオ、システムとも従来の常識を凌駕！

『リンダ3』は、銀河のどこかにある植民惑星ネオケニアを舞台に、惑星の滅亡までに惑星上に生息する動物を集め、脱出するというシミュレーションRPGだ。ゲームの進行には8年というタイムリミットがあり、舞台である惑星上では時間の経過によって季節や天候が変化し、収集する動物の生態系に影響が出るほか、収集した動物の内容によってゲームのエンディングが変わるマルチエンディングも採用している。また、この作品にはまったく異なったストーリーで3本のシナリオが収録されており、惑星

↑自分の未経験領域の役をやれて楽しかったと語る矢尾さん。帰り際に桝田監督から「また面白い役をまわすよ」と声がかかった

→矢尾さんと高山さんに、アフレコ風景の演技をつける内海賢二さん（左）

(What's声優?)

イベントは、作品を締めくくる最後の「出演」

スタジオでの収録作業が終わると、演技者としての声優の仕事は一段落ということになる。だが、これで作品に関わる仕事が全部終わったかというと、そうではないのだ。ビデオアニメなどでは、セールスプロモーションの一環として開催されるイベントへの出演を要請されることも少なくない。

アニメファンにとっては、イベントは自分が応援している声優を間近に見ることができるチャンスであり、同時に、興味を持っている作品の情報を知る貴重な機会でもある。そんなわけで、アニメファンのイベントへの関心はとても高く、ある出版社では、ファンのためにイベント主体の会を主宰しているほど重視されている。

出演者である声優も、イベント出演を「ファンの声をじかに聞く貴重な機会」と考えている人が多い。イベントでは、たとえばメーカーが売りたい商品である作品の上映が行われることが多く、自分の主演作をファンに見てもらい、その反応をリアルタイムで見ることができる機会は、イベント以外にはないのである。

ただし、イベント出演は楽なことばかりではない。地方でのイベントでは、早朝に東京を出発し、帰りは夜遅くになることも少なくない。まして、その前後の日にアフレコでも入っていようものなら、しんどいことこのうえないのだ。それでもプロの声優がイベントに積極的なのは、やはり「観客との接点」という、舞台の芝居に似た、皮膚感覚の感動を、声優自身も楽しむことができるからではないだろうか。

プロの声優にとって、演技に対するスタッフからの評価はとても嬉しいものだが、同時に、観客であるファンからの評価も、それと同じくらいに嬉しいものなのである。役者にとって、演技のフィナーレは観客からの拍手とともにあるものなのだから。

→『おいら宇宙の探鉱夫』のイベント
↓『青空少女隊』のキャストは、航空自衛隊浜松基地祭に出演

ということだと思います。新人は、思いきりの良さで、自分の全部を出してぶつかっていくしかないし、オーディションも、なんでもやっちゃえ、ダメでもともとという気持ちで受けています。声優の世界での自分のポジションというものはまだ固まっていないし、まだ発展途上のいちばん下のほうだから、勉強することはいっぱいありますね」

ほかの声優が話すセリフひとつも勉強、という西村さん。半年前までの養成所時代はどんな思いを抱いて声優を目指していたのだろうか。声優を目指す人へのメッセージとして、答えてもらった。

「苦しいからやめたいと思ったことは一度もないけれど、早く実際に役を演じたいと焦ったことは多いですね。声優という仕事は、続けていく覚悟と努力次第で、一生続いていくものだと思います。多少の失敗や、オーディションに落ちることは、マイナスにはならないから。私も、最初の役をもらうまで、10回連続でオーディションに落ちてしまったし、自分を信じて努力を続けることが、きっといつかは実ると思います」

や、難しい人物関係を設定し、解説することは一切せず、キャラクターの魅力やアクションシーンの迫力を全面に押し出した、アニメならではの「動画の楽しさ」を主張する作品だ。

STAFF
監督・脚本・絵コンテ
平野俊弘
キャラクターデザイン
平野俊弘・荒木秀樹・西井正典
メカデザイン
森木靖泰・橋本敬史

CAST
甲斐　渚ー白鳥由里
椎名なみー冬馬由美
河合可愛ー天野由梨
飯島さいろー西村ちなみ
イクセルー野沢雅子
クロスー平松晶子
カオスー堀川　亮
●ケイエスエスより、第1巻、1月27日発売予定（ビデオ・LD同時）。全2巻

↑主人公の甲斐渚は、ロボットのイクセルを鎧のように全身にまとい、イクセリオンになる

しょうか。役者としては難しいですよ、こういうゲームの仕事はね。ただ、こういう新しいジャンルの仕事というのは、難しい半面刺激にもなりますよ。ほかのキャラクターとの会話のやりとりがなくて、ひとりのキャラクターの出番だけをまとめて録るとかね。僕は舞台もやっているし、声の仕事も、アニメもやればラジオもやっていて、でも、基本は演技者なんですよ。だから、こういう特殊な仕事でも、監督が要求するものに対して最高の演技を見せたいと思うわけです。困難だから、演技者の力の見せ所なんです。求められた以上のものを演じてみせることができて、今の芝居は良かった、と言われるのが役者としていちばんうれしい瞬間ですね。言われたことを表現できなければ、どんなベテランでもそれでおしまいです。たとえ好きなタイプの役であっても、演じるときは必死です。また、それだけ一生懸命やっているから、評価されたときの喜びがあるし、次の仕事にもつながっていくのだと思います」

声優に対する期待という燃料に、最高の演技を目指す熱意が火をつけて、『リンダ3（キューブ）』は完成に向け動いている。

崩壊のカウントダウンが進むなかで展開する、重厚な心理ドラマを楽しむことができる。さまざまな新機軸を盛り込んだゲームシステムに、高い物語性をドッキングさせた注目作だ。

STAFF
ゲームデザインー桝田省司
演出ディレクターー岩崎敬員
メインプログラムー長谷川浩
作画監修ーひろたたけし

CAST
リンダー高山みなみ
ケン（ネク）ー矢尾一樹
ヒュームー神谷　明
アンー増山江威子
ミームー青木和代
ドクター・エモリー青野　武
サチコー佐久間レイ
ベン隊長ー内海賢二
カマー補佐官ー北沢　洋
●NECホームエレクトロニクスより、'95年春発売予定。スーパーCD-ROM2

↑RPGとしても、魅力的なゲームだ。画面は開発中のもの

©NEC Home Electronics,Ltd.、メディアワークス、MARS　©1994平野俊弘事務所／ケイエスエス

日高のり子のはいぱあエッセイ

夢叶うとき

このエッセイのタイトルは、のんちゃんのラジオのリスナーから公募し、彼女自身が選んだもの。元気いっぱいの、のんちゃんのドリーミング・エッセイ、スタートです!!

VOL.1

イラスト／山口勝平

さて、とうとう始まってしまいました、このコーナー。何からお話すれば良いのやら…。デビューして14年、業界の〝どらばーゆ〟と言われるほど、いろいろな活動をしてきた私。お話ししたい事はたくさんありますが、まず第1回目の今日は、つい最近作業が終わったばかりの私のアルバム、『Breath of air』。この制作過程について、聞いて頂こうと思います。

今年はどんなアルバムを出そうか、スタッフと相談する前に一人で考えてみました。ここ数年、自然食やらハーブやらに凝っていた私は、アロマテラピーとの出会いも含め生活のほとんどが、ナチュラル志向に走っていました。それまで、ことCDに関しては、自分にはどんな曲が合っているか、どんな曲をやってみたいかなどの希望って、そんなに自分の中から湧いてくるアイディアはなかったのですが、今回は違ったんですねー。

心地よさのつまったものにしたい！　大好きなハーブオイルの香りを入れたい！　生の楽器の音をたくさん入れたい！　風を感じられるような写真を付けたい！　と、たくさんの〝私！　こうしたい!!〟が生まれてきたんです。これが自分でも驚くくらい、次々と頭に浮かんできたのです。きっかけは、アロマテラピーとの出会いかな。アロマテラピーとは、さまざまな植物からとった、100%Pureなオイルを使った芳香療法のこと。植物を蒸留させたりすると水と油に分かれます。その油の方に、植物の凝縮された香りが含まれていて、さまざまな効能が得られるんです。ちなみに私は、お風呂に入れたりして使用しています。ストレス解消にはもってこいなの。自分がすごく好きなものを、私のアルバムを聞いてくれる人みんなに知って欲しい！　そして、みんなにも元気になってもらいたい！

そんなアルバムが作れたらいいなと思ったんです。

まずはそういう私の想いをレコード会社の担当ディレクターに話しました。私の担当は何と誕生日が私と1日違いで同じ歳の女性、望月さん。私は彼女の事を愛をこめて〝もっちー〟と呼んでいます。「のんちゃん、いいよ。うん、面白い面白い」。香りをジャケットに封入したいと話した時の、彼女の第一声でした。それから私は、心地よさをアルバムコンセプトにしたい事、音は基本的に生音を重視して、コーラスをたくさん入れたい事、1曲はLiveのオリジナルメンバーで歌と演奏を同時にレコーディングしたい事、ジャケット写真もナチュラルな感じで、ブックレ

ットにスナップ的な写真をたくさん使いたい事などを話しました。そのときです。プロデューサーの小林さんが「そんなに日高さん自身やりたい事がたくさんあるなら、セルフプロデュースしたらいいじゃないですか。ねえ、そうしましょうよ」。こうして、日高の'94年度のアルバムは、日高初のセルフプロデュース作品となる事に決まったのです。WAO!!

そして2カ月後の8月。私はLiveのリハーサルのため池尻大橋のスタジオに入っていました。そこで、ジャケットのデザインをしてくれるスタッフとの第1回打ち合わせ。香りと音と写真で心地良さを追求したいと、また新たな気持ちで伝えるのです。イメージを的確に伝えるために、ハーブオイルや最近気に入っている洋服も持参しました。言葉で頭の中にあるイメージを人に伝えるのって、難しいですものね。見てもらったり、香りを感じてもらったほうが間違いない…と私は思ったのですが、普通は洋服まで見せたりしないのかな。良くわかりませんが。余談ですが、私はこのリハーサルスタジオの駐車場で、ある有名人と遭遇してしまいました。うれしかったんだな、これが。誰だと思う？　ムフフ、あのね、織田裕二さん♡キャーッ。私、ドラマ『振り返れば奴がいる』以来大ファンで、良く物マネしてたんだ、ラジオで。本人を前にして、握手してほしいなとか、一緒に写真撮ってもらいたいなとか、もう寸前まで出かかったけれど、言えませんでした。結構シャイです、私。でもね駐車場の隅で、本人に聞こえないくらい隅っこで、一言だけ言ってしまいました。「わざとなんだよ、それがさ」。聞こえたらどうしようというドキドキと、ちょっとだけ聞いてほしいような気持ちと入り交じって、モーレツに興奮したなぁ真夜中だったけど。そして織田さんは、ベンツに乗り込み闇の彼方へ吸い込まれていかれました。この出来事が、疲れた私の身体を奮い立たせる一本のドリンク剤となった事は、言うまでもありません。(『振り返れば奴がいる』をご覧になったことがない方、わからない話してごめんなさい。でもビデオで見てみて、面白いから)

Liveも最終日を迎え、大阪からの戻り日の8月22日。この日が初めての曲を作ってくださる方との打ち合わせ日。お相手は杉真理さん。場所は虎ノ門の喫茶店、少し約束の時間より早く着いた私は、杉さんに伝えたい事を、ひとつずつ頭の中で整理していました。

もちろんハーブオイルは今日も持ってきています。旅先でもリラクゼーションのために使っていたので、準備は万端。約束の時間、いよいよ杉さんと会える。過去に2回、14年前に1回と3年前に1回会った事があるのですが、果たして覚えていらっしゃるでしょうか？　Liveで回っている間は、GパンにTシャツの私ですが、今日はよそ行きの白いワンピース姿。やっぱり第一印象は大切ですもんね。ちゃんと用意して旅に出たの、偉いでしょ？　そうこうしているうちに杉さん到着。「どうも、前にLive来てくれたし、ラジオ番組でも会ってるんだよね。ご無沙汰してます」と杉さん。覚えててくれた…良かったぁの私。

席に着いた杉さんは、にんじんとハチミツの入ったジュースを注文され、それを見た自然派の私は、もしかしたら私と同じ趣味趣向をお持ちかもと、共通点を見つけたようでホッとしたりして。そしてここでも、音と香りと写真で心地良さを追求したいと、いちからお話しし、オイルの香りまでかいで頂き、「充分理解致しました、頑張らせて頂きます」なーんてお言葉まで頂戴して、日高はいたく感激したのでした。作家の方々との打ち合わせは万事この調子で進んでいきました。

そして9月14日雨、あれほど天気になってと祈ったにもかかわらず雨になってしまった午前7時、私と一行はジャケット写真撮影のため、朝霧高原へと出発しました。マイクロバスで、スタイリスト、ヘア&メイク、カメラマンetc…総勢11人の大所帯です。目的地に着くにつれ、雲の切れ間から差し込む光が見え隠れし、私はこの時ほどうれしかった事はありません。晴れてほしいというクルーの願いが天に通じたかのようでした。小島に渡った私を、ボートから撮影するカメラマンの野口さんとアシスタントのゴンちゃん、そしてデザイナーの島田さんに、船頭をかって出てくれたドライバーさん、空も入れたいということで、無理な体勢で私を見つめる姿が、何とも愛しい瞬間でございました。無事に1日目が終了し、宿泊は山のペンション。私とマネージャーのバーバラともっちーが同じ部屋でした。本当は一人部屋を勧められた私でしたが、今回のアルバムで作詞をするとLiveで宣言したこともあって、もっちーと詞の打ち合わせをするため、そういう部屋割りをお願いしたのです。良かったですよ、打ち合わせして。アルバムの中に私が作詞した「明日の空・僕たちの空」という歌がありますが、デモテープで頂いたこの曲は男声がオクター

◀11月21日に発売されたアルバム『Breath of air』
(メルダック　MECP-30024　¥3,000

ブ下で歌っていたため、私は暗い歌と感違いしてド暗い歌詞をつけかけていたのです。もっちーに言われるまで気づかなかった、「のんちゃん、これって明るい歌だと思うわよ。オクターブ上で歌えばホラ」。あー!! まさに明るかった危ない危ない。

さぁいよいよ音作りの始まりです。9月17日、オケ録り初日。打ち合わせで暖めたものが、今まさに形づけられていくのです。1つずつ音が重ねられていく作業は、ジグソーパズルのようです。人の声が幾重にも重ねられて生まれるハーモニーの素晴らしさは、雲の上を歩いたらこんな感じかしらと思われる、天上の気分です。そして、そのオケにメロディーに乗せた言葉が流れていく。言葉の美しさを改めて感じる瞬間です。でもね、私が上手く歌えないと全てアウト、×0＝0。オケ録りの間は楽しいうれしいだけで過ぎていきますが、ヴォーカルダビングは私が一番ナーバスになってしまう時、だって今までつみ重ねてきたものが、と思うと責任感じてしまうじゃないですか。あっても誤解しないでくださいね。私のレコーディングスタッフは、ディレクターのもっちーを始め、エンジニアのつむつむも、アシスタントの根本くんもとっても優しいから。良いものを作ろうという精神から生まれる、愛のムチ「のんちゃん、もう1回頑張ってみよう」「のんちゃんさん(つむつむは私の事をこう呼ぶ)もう1回やりませんか?」という妥協を許さない要求に、うれし涙がちょちょ切れる時もありますが、私のためを想って言ってくれてるそのハートが、とてもうれしくてありがたくて、大切にしたいと心から思うのです。

10月6日に全てのヴォーカル録りが終了し、トラックダウンといわれる音のバランスをとって最高の形にする作業のあと、14日のマスタリングを最後に全工程の終了となります。もう、私のアルバムの音はCDをプレスする工場に運ばれていきました。皆様のお手元に届く時には、私が20種類のハーブオイルの中から選び、プロに調香してもらった、アルバムをイメージする香りも付いています。全てを語れたとは言えないかもしれませんが、アルバムを手に取って頂いた時、もう一度この話を思い出してもらえたら、とてもうれしいです。私を囲むスタッフのこと、わかって頂けましたか? みんな、気のいい奴ばかりです。

スタッフと私の心がいっぱいつまった『Breath of air』きっとみんなの心を暖かくしてくれるはずです。聞いてもらえたらうれしいな…♡

久川綾の撮りまくり写真日記

声優さんに、カメラで日常のひとコマを気の向くままにスナップしてもらったら、そこにはいったいどんな世界が映し出されるんだろう……ね、ちょっと興味あるでしょ？　というわけで、久川綾さんがカメラを携えて撮りまくった10日間の記録を一挙公開！　久川さんの感動を、キミも共有してみてくれ！

大阪イベント！

↑ログハウスが集まった、トムソンビレッジ

↑ログハウスのベランダで撮影準備中のスタッフのみなさん

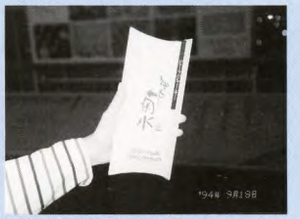
↑箱の「籤」という字、見えるかな。抽選箱を古い字で書いてあるのが面白くて、カメラを渡して撮ってもらいました

→これは一体なんでしょう？　答え『メタルファイターMIKU』のプロテクターです

↑石動拓也役の三木眞一郎くんのおしゃれへのこだわり。アクセサリーがすごい！

↑雨と寒さ。上着なしでは辛いよ〜

→井上喜久子ちゃんが持っているのは、私お勧めの焼肉屋さん自家製のタレ。ワインの空き瓶に入れてくれるんです



↑新大阪駅の中でしか買えないビーフジャーキーはお勧め

↑撮影中は、スタッフが大きなビニールシートを張ってくれました。ありがとう

←緞帳（どんちょう）が上がるまでの緊張感は、こういうものを見て和らげます

9月18日(日)

ビデオアニメ『青空少女隊』のイベントで、大阪に行ってきました。ちなみに私の役は羽田みゆきという航空自衛官、つまりパイロットです。イベントは、アフレコとはまた違った緊張感があって、何度出演してもドキドキします。でも、地方に行くとおいしい食べ物に出合えるし、ファンのみんなにも会えるのが楽しみですね。

9月20日(火)

前日の19日の夜に、北海道に向けて出発。ホテルにチェックインしたのは、夜の11時でした。そして20日は、朝6時に起きて1日がスタート

北海道ロケ！

大豊作！

↑毒キノコ？　でも、見事なスタイルでしょ

イチオシだよ！

↑チョコレートは大好きです。現在のお気に入りはこれ。２箱くらいペロっと食べちゃいます

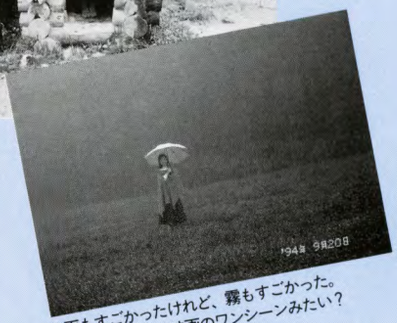
↑鳥沼公園の中で撮影。緑が鮮やかで、とてもいい画面が撮影できました

↑雨で足元が滑ったり、ロケはけっこう大変……

←ロケにお借りしたお宅の犬です。人見知りするのか、犬小屋から出てきてくれませんでした

→私のために用意してくれた撮影用の長靴と、帽子です。なぜか可愛らしくて……

↑鳥沼公園の中の泉です。あまりの美しさに感動しました



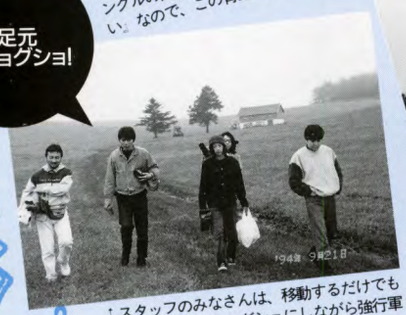
↑雨もすごかったけれど、霧もすごかった。でも、なんとなく映画のワンシーンみたい？

晴れだぁ〜！

→ロケの最後になって、晴れ間が！　今回撮影した写真をジャケットにするシングルの曲名が「青い空を抱きしめたい」なので、この青空には感激でした

↑真ん中は、私のＣＤのジャケットを全部お願いしているカメラマンの谷さんです

足元グショグショ！



↑スタッフのみなさんは、移動するだけでも大変。足元をグショグショにしながら強行軍

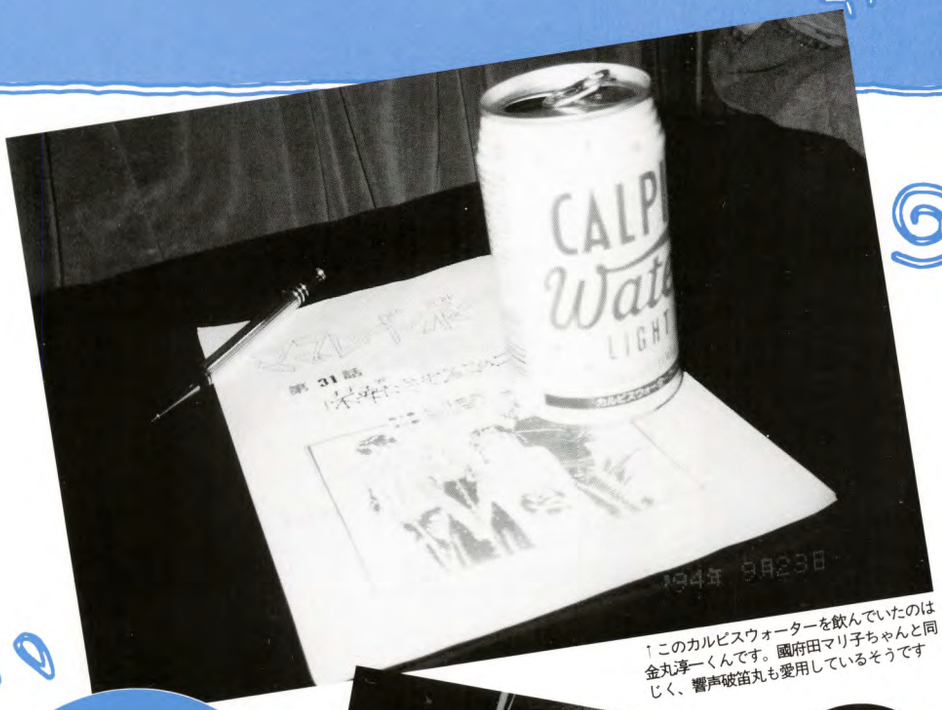
9月21日(水)

北海道の朝晩は、とても冷え込みます。東京よりも、10度くらい気温が低いんです。寒かった〜。

ロケ場所の富良野周辺は、テレビドラマ『北の国から』の舞台になった場所で、あちこちに案内の掲示板が立っていました。終始雨の中でのロケでしたが、撮影の最後のほうで、太陽が顔を見せてくれて、大感激！　ハードなスケジュールだったけれど、北海道の広大さと自然を実感しました。

（4時間しか寝てない）。

私にとって生まれて初めての北海道行きは、セカンドアルバムとシングルのジャケット写真、そしてプロモーションビデオの撮影のためです。とても楽しみにしていたんだけど、お天気は最悪の雨！　悲しい……。



↑このカルピスウォーターを飲んでいたのは金丸淳一くんです。國府田マリ子ちゃんと同じく、響声破笛丸も愛用しているそうです

↑私のイメージを奈落の底に突き落とした、文化放送の青木ディレクターです

ラジオ番組ってすごい!!

テーマは「飲みもの」です!

↑なぜか ママレード・ボーイ はお菓子の差し入れが多いのです。食べ切れない……

↑「水っぽくてすっきりしたものが好き」という石田彰くんは、十六茶。私がちゃんと自分で撮っているという証拠写真も撮られた!

私がちゃんと撮っているという証拠を撮られた!!

↑この人が番組のパーソナリティ、ナイス下ネタガイのMAGUMIさんだ。カメラを向けたら、ナイスなポーズをつけてくれました

9月22日(木)

この日は夕方から『MAGUMIとAYAのGステーション×××』というラジオ番組の収録です。生番組ですが、今回は特別。スタートは午後7時くらいからで、収録には4時間ほどかかりました。この日のゲストは、外国からのお客様で、「キング・オブ・ハーツ」という新結成のバンドの方がふたり。私とパーソナリティのMAGUMIさん、それに通訳の方も加わって、スタジオの金魚鉢のなかは、いつもよりとっても狭かったのでした。

9月23日(金)

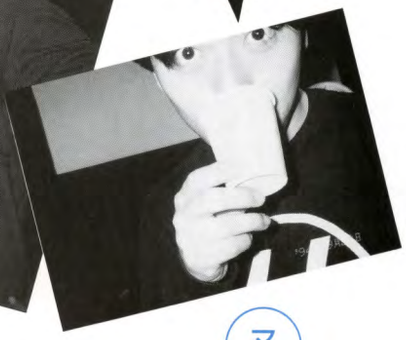
テレビアニメ『ママレード・ボーイ』のアフレコです。いっしょに仕事をしているみんなは、アフレコのときに、どんなもので喉を潤(うるお)しているのかな……ということをテーマに、飲みもののウォッチングをさせてもら

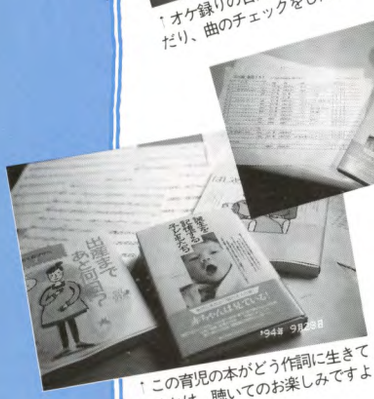
セカンドアルバムは作詞もしました

↑オケ録りの合間にジャケットの写真を選んだり、曲のチェックをしたりします

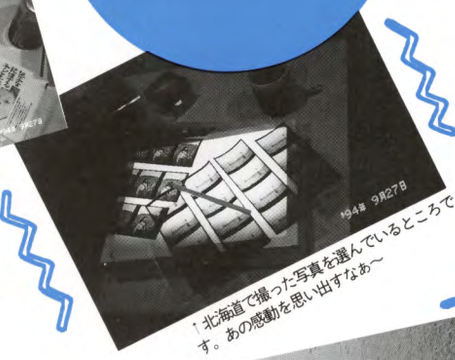
←思いっきりパフォーマンスしてくれたのは田中一成くん。飲んでいるのはウーロン茶です

あ!





↑この育児の本がどう作詞に生きているかは、聴いてのお楽しみですよ



↑北海道で撮った写真を選んでいるところです。あの感動を思い出すなぁ〜

マリ子ちゃんの手

←國府田マリ子ちゃんが愛飲しているのは、響声破笛丸という漢方の薬湯です

ココにカメラの手

↑國府田マリ子ちゃんと金丸淳一くんに攻撃されているのは、オッキーこと置鮎龍太郎くん。麦茶を飲んでます

あくまでも作詞の資料ですっ!

こんにちは I am ピースケ!!

←私が飼っている、文鳥のピースケです。VAPの私の歌のプロジェクト（プロモーションビデオ、アルバム、ライブ、パンフレット）に全面協力しているので、応援してネ!

9月27日(火)

今度のセカンドアルバムのラストナンバーは、私が作詞しました。そのために本を買って読みました。育児関係の本だけれど、あくまでも参考ですよ! この日は、深夜にかけてシングルのオケ録りと、その合間を見てジャケットの写真を選んだりしました。

今回の企画で写真をたくさん撮ってみて、なんとなく写真にハマっちゃいそうです。機会があれば、また撮りまくってみたいな。

いました。

國府田マリ子ちゃんは響声破笛丸という漢方薬を溶かした薬湯。ウーロン茶などのお茶系も多くて、みんなさっぱりしたものが好みみたいです。ちなみに私は、カフェ・オ・レを飲んでました。

撮影に協力してくださったみなさん、ありがとうございました／久川　綾

番組データリスト付き

あの人がパーソナリティ

ラジオ番組大集合！

声優の皆さんは、とにかく声で勝負する。声の仕事の中には、ラジオのパーソナリティも含まれるのだ。そこで、見てみるとあるある、大勢の声優さんが、いろいろな番組で大活躍！その一部を紹介するぞ!!

初の公録にリスナーも大興奮!!

▼

パーソナリティ
緑川光&永島由子

アニメ&コミック電波ジャック
アニマガパラディ

文化放送　1134kHz　(金)26：00〜26：30
東海ラジオ　1332kHz　(木)22：00〜22：30

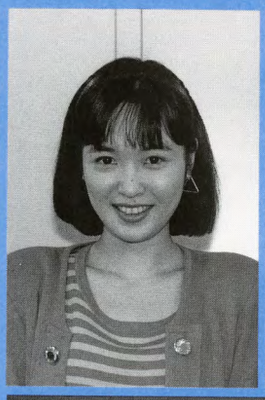
今年4月に始まった『アニマガパラディ』は、『スラムダンク』や『蒼き伝説シュート!』で大人気の緑川光さんと、『ママレード・ボーイ』や『覇王大系リューナイト』で注目された永島由子さんのふたりがパーソナリティを務めるアニメとコミックを中心とした情報バラエティ番組だ。文化放送でのオンエアは午前2時からという遅い開始時間にもかかわらず、小学生から社会人まで幅広いリスナーがいるという。

番組が始まってから半年たった感想を緑川さんは「楽しいんですけど、まだ、時間の制限や語り口調で難しいと感じることが多い」、永島さんは「緑川さんにおしゃべり下手をフォローしてもらっています。いろいろなゲストに会ったり、リスナーからのハガキを読むのは大好き」と語る。おふたりが共通して楽しみにしているのは、やはりリスナーからのハガキ。その理由を緑川さんは次のように語ってくれた。

「ラジオはアニメとちがってリスナーの反応って早いでしょ。それが面白くって。もともとファンの方からのお手紙を読むのは好きなんですよ」

だからなのか、いつも山とくるハガキには必ず全部目を通すようにしている。

そのうえで、〝マンスリードラマシリーズ〟という人気コミックスを原作にしたドラマ部分以外の内容は、おふたりの提案でその日の放送内容が変わっていくのだ。特に積極的なのは、緑川さんなのだという。

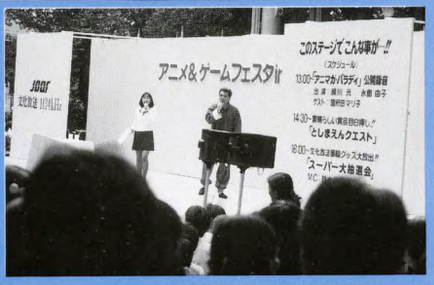


◀この番組のパーソナリティは、緑川さん（右）と永島さん（左）。おふたりとも大人気の声優だ

▼公録の第2部にゲストで来ていたのは、『GS美神』や『ダーティペア』で人気の國府田マリ子さんだった

アニメ&ゲームフェスタinと

▲公録第1部のゲストいずみひろの先生は、『電撃アイドル戦隊ガオレンジャー』の原作者だ



▶会場いっぱいのリスナーに、緑川さんも永島さんも感動していた。「次は東海地区か、地方でやりたい」とおふたりだけでなく、スタッフの方たちも思ったみたいだ。楽しみだね

▶リスナーからの「國府田さんと永島さんは、仲がいいのですか？」との質問に答えて、仲の良さを見せつけるおふたりに緑川さんもビックリ

現在のところ、リスナーのおすすめコミックスのあらすじを、名セリフ入りで紹介する〝コミックダイジェスト1分間勝負!!〟、リスナーの希望のセリフを希望のキャラクターの声で、おふたりが演じてくれる〝言ってほしいコーナー〟、新しいアニメのアイディアを募集する〝アニメレボリューション〟の3コーナーが人気だとか。

「実は1回もやってないコーナーまであるんですよ(笑)。とにかく、新しいことはとりあえずやってみるというのがこの番組のいいところ。何事もやってみないと始まりませんものね。だから、リスナーの皆さん、もっとハガキください!」と緑川さん。

さて、お話をうかがったこの日は番組初の公開録音の日。天気予報ではあまり良い天気ではなかったというのに、集まった人の数は会場からあふれんばかり。その熱気のせいか、天気は崩れるどころか一時は眩しいほどの青空まで出てしまった。

去る10月2日(日)午後1時、東京・豊島園遊園地の名物メリーゴーラウンド〝カルーセルエルドラド〟前で、公開録音は始まった。

いつもはおふたりで言う番組タイトルを、会場に集まったリスナーもいっしょにコール。こうして、公録は最初からノリノリでスタートした。

アニメのキャラクターの声を交えてのリスナーとの生の交流や、ゲームで盛り上がり、ゲストのいずみひろの先生と國府田マリ子さんが登場したときには、会場の熱気は最高潮に達していた。このため、収録が終わっても、なかなか立ち去りがたいといった感じのリスナーを多数見かけた。

そこで、この公録の感想もうかがった。

「この公録は急に決まったんですよ。だから、リスナーがどのくらい来てくれるか不安だったんです。思ってた以上に来てくれていて、うれしかったです。今度は東海方面でもやりたいですね」と言うのは緑川さん。そして永島さんも、「緊張したけど楽しかったです。色々な地方でもやってみたいですね」とうれしい興奮状態といったところ。

今後のことについても、おふたりに意気込みを語ってもらった。

「いつも一生懸命にやっています。これからも、もっとリスナーに近づけるように努力していきますので、聞き続けてくださいね。僕自身、常に進歩し続けていきたいと思っていますので、応援してくださいね」と、緑川さんは力を込める。そして永島さんは、「とにかく、頑張ってますので、温かく見守っていてください。私自身は、いろいろなジャンルにも挑戦したいと思っていますので、応援してくださいね」と語り、おふたりともますます張り切っている姿が印象的だった。

半年という節目を迎え、ますます面白くなりそうなこの番組、これまでも毎週聴いていたというリスナーも、まだ聴いたことのないひとも、おふたりの活躍に注目してほしい。

さて、『アニマガパラディ』の特徴である〝マンスリードラマシリーズ〟は、今まで、いくつもの作品をドラマ化してきたが、その作品を列記してみると、『バトルガール藍』『卒業』『ドラゴン騎士団』等、バラエティに富んでいる。いずれも大好評で、未放送分をプラスしたCDもアニメイトフィルムから発売され、大人気だという。

ちなみに、現在(公録時)放送中のドラマは、『ミステリーDX』(角川書店)で人気連載中の鳥羽笙子、富樫ゆいか原作の『悪魔と踊れ』。声の出演は、アレク牧師に速水奨、使い魔サシャに金丸淳一、筆頭女官ベラ様に小山茉美、他。

もちろんこちらも放送終了後、1話プラスして、12月25日にはCDが発売されることになっている。

さらに、そのドラマに関係したゲスト、つまり原作者や出演者などはもちろんのこと、その他のアニメ、コミック関係のゲストを次々と迎える予定なので、こちらもお楽しみに!!

また、放送を聴きたくても聴けないという地域の人には、番組収録のカセットをアニメショップのアニメイトで、無料レンタルサービスを実施している。詳しいことは、アニメイト札幌、仙台、高崎、関西アニメイト各店または、☎03-3972-1033まで。

▶公録開始10分前ごろの舞台裏。おふたりともスタッフとの打ち合わせに真剣

▲パーソナリティの山口さん（右上）、岡本さん（左）、大沼さん（右下）。山口さんと岡本さんは、まるで幼なじみのように元気いっぱいおしゃべりをして、それを大沼さんが見守っている感じ。なんとも楽しいトリオなのだ

▼スタジオにお邪魔した。すると3人とも明るく、温かく迎えいれてくれた。この雰囲気が電波を通しても伝わるのだ。人気の理由が分かる

▼パーソナリティ
山口勝平、岡本麻弥
&大沼弘幸

アニキンフリーダム

東海ラジオ 1332kHz（土）25：30〜26：00

ゲストもリスナーも素顔で交流!!

2年前にアニメの情報番組『アニメキングダム』としてスタートしたこの番組も、今年の4月にはリニューアルして、タイトルも『アニキンフリーダム』に変わり、新たなスタートを切った。

パーソナリティは、『レッドバロン』や『らんま1/2』で大人気の山口勝平さんと、『サイレントメビウス』やテレビのドラマなどでも活躍中の岡本麻弥さん、そしてこの番組の構成作家であり、小説家でもある大沼弘幸さんの3人。番組の中では、〝勝平〟〝マヤちゃん〟〝キング〟と呼び合い、3人はグループ名をTENMUSとつけて、グループの歌まであるのだ。

放送時間が日曜日の夜12時からだったというのに、小学生から社会人まで幅広いリスナーの支持があったこの番組、10月からは放送時間が土曜日の深夜1時30分からに変わり、翌日の事を考えてオンタイムで聴けなかった人も安心しているのではないだろうか。

大沼さんによると番組のコンセプトは、「素顔での交歓の場。要するに、放課後のノリなんですよ」という。

実際、その言葉のとおり、3人のおしゃべりには構えたところが少しもなく、温かく楽しく、時には勢いあまって暴走することも……。

「ひと言で言うならアットホームで、ハートウォームで、ジェットコースターで、いかがわしい番組なんですよ（笑）」

と言うのは岡本さん。聴いたことのない人はどういう意味かと不思議に思うかもしれないが、一度でも聴いた事がある人には、なるほどと思える言葉なのである（本当に!!）。

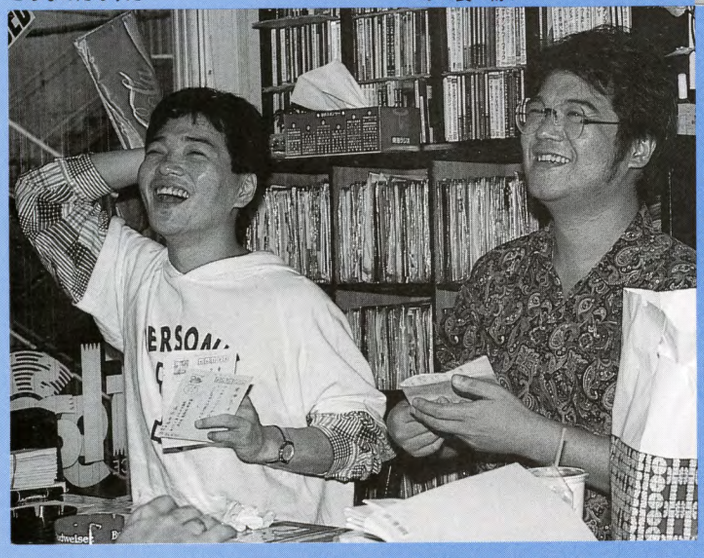
「それにしても、この2年間いろいろあったよね。僕もだいぶ成長しました」

と過去をふり返ってくれた山口さんによると、これまでに、声優仲間、マンガ家、作家など、いろいろなゲストがこの番組

▲この日は人気アニメーターの菊池通隆さん（左）も番組に参加。彼はもうすっかりリスナーにもお馴染みの準レギュラーなのだ。この日は、自らリスナーへのプレゼントを持参しておられた

▶打ち合わせのテーブルにはリスナーからの手紙が山とあるのはもちろん、なぜか食べ物や飲み物もいつもあるのだという。この日も、何種類かの食べ物が……

▼打ち合わせの間も、笑い声が絶えることがなかった。いつでもどんなときでも、ユーモアを忘れないのが、TENMUSのいいところなのだそうだ



を訪ねており、なかには、スタジオトロン（『サイレントメビウス』の総監督・菊池通隆さんが主宰するオフィスで、この番組のスポンサーでもある）のように番組制作そのモノにまで参加してくれたところもあるのだという。ちなみに菊池さんは、現在も準レギュラーとしてコーナーを持っているのだ。

そのへんのところをディレクターの井原隆幸さんにうかがうと、

「この番組は基本的に来る者は拒まず、去る者は追わずなんです。ですから、これからもいろいろなゲストが登場すると思いますよ」

との返事。いざとなったら、スタジオの外へ出かけて取材することもいとわないこのゲストコーナー〝キングのお部屋〟は、この番組の目玉コーナーのひとつなのだ。

取材にうかがったこの日も、菊池さんがスタジオ入りして、打ち合わせのときから楽しい笑い声があふれていた。

このほかのコーナーも少し紹介すると、まず身近な事をなんでもかんでも順位をつけてしまおうという〝なんでもカウント・ダウン〟とか、山口さんと岡本さんの実力が遺憾なく発揮される〝ショート・ドラマ・シアター〟など、盛りだくさんな内容なのだ。

「とにかく一度聴いてみてください。聴いていただくと、この番組の楽しさはわかると思いますよ」

と山口さんは胸を張る。

「そうそう、でもこれを聴くと人生が変わるかもしれない」

と笑う岡本さん。そして、

「普通の番組は、コーナーがきちんと分けてあって、それぞれのコーナーにお便りを出せばいいんですが、うちの番組はまともなコーナーらしきものがひとつもないんですよ。だから、聴き始めたばかりの人はかなり戸惑うかもしれませんが、要は自分で書きたいことを書いて、どんどん出してくれればいいんです。慣れたリスナーになると、自分で勝手にコーナー名を作って出してきますからね（笑）。やったもん勝ちというか、積極姿勢が大事というか、そういう自由さがうちの番組の魅力なんだと思います」

と話してくださった大沼さん。

とにかく、3人の人柄がそのまま反映されたような、楽しくて温かい番組なのだ。

東海ラジオ一局だけで放送しているため、聴けない地方の方も多いのではないだろうか。そんな人には、耳寄りな情報がある。角川書店から、この番組のカセットとCD、そしてビデオが発売されているのだ。

簡単に内容を紹介すると、カセットのほうは全部で3巻発売されていて、TENMUSの3人の楽しいトークと、大沼さんの書き下ろしによるオリジナル・ドラマが収録されている。CDは、カセットテープに収録されていた歌のリニューアル・バージョン＋新作の歌を中心にした、音楽重視の構成だ。

ビデオは、'93年の冬に名古屋で行われたイベントのドキュメンタリーともいうべきもので、イベントの内容はもちろん、そこへいたるまでの3人の素顔も紹介されている。

「書き下ろしのドラマ等も収録されているので、放送が聴けない人だけでなく、実際の放送を聴いている人でも、まだカセットテープやビデオの事を知らなかった人は、聴いてみてください。内容が濃くて、おすすめです」

とは、ディレクターの井原さんの弁。確かに一聴、一見の価値がある。

なお、これらのカセットテープやCD、ビデオに興味のある人は、

〒461-03　東海ラジオ
アニキンフリーダム

宛てに、「案内書を送ってください」というハガキを出せば、案内書を送ってもらえる。

最後に大沼さんからひと言。

「以前から聴いていてくれてるリスナーは知っていると思いますが、『アニメキングダム』から『アニキンフリーダム』に変わったころなど、今までにこの番組は何度か終了のピンチを迎えています。でも、そのたびに、リスナーのみんなが、心強い励ましを送ってくれるので、いろいろなところにお願いして番組を続けているんです。おかげさまで、たくさんの方々のご好意と、番組スタッフの半ばヤケクソパワー（これが当番組の原動力！）で、リスナーと一心同体の楽しい番組を作らせてもらっています。応援してくれる人たちと私ら3人の安定生活のため（笑）に、『アニキンフリーダム』ではいつでもスポンサーを募集しています。この番組に興味をもたれた企業の方やラジオ番組のスポンサーをやってみたいという方、ご連絡をお待ちしております」

番　組　デ　ー　タ　リ　ス　ト

【富沢美智恵】

東京一の日常会話
SUNTORY SATURDAY WAITING BAR
TOKYO FM　80.0MHz　(土)17:00〜17:55
AIR-G'　80.4MHz　(土)17:00〜17:55
FM秋田　82.8MHz　(土)17:00〜17:55
FM岩手　76.1MHz　(土)17:00〜17:55
FM山形　80.4MHz　(土)17:00〜17:55
FM仙台　77.1MHz　(土)17:00〜17:55
FM新潟　77.5MHz　(土)17:00〜17:55
FMとやま　82.7MHz　(土)17:00〜17:55
FM石川　80.5MHz　(土)17:00〜17:55
FM福井　76.1MHz　(土)17:00〜17:55
K-MIX　79.2MHz　(土)17:00〜17:55
FM AICHI　80.7MHz　(土)18:00〜18:55
FM大阪　85.1MHz　(土)17:00〜17:55
FM山陰　77.4MHz　(土)18:00〜18:55
広島FM　78.2MHz　(土)17:00〜17:55
FM山口　79.2MHz　(土)17:00〜17:55
FM徳島　80.7MHz　(土)17:00〜17:55
FM愛媛　79.7MHz　(土)18:00〜18:55
FM香川　78.6MHz　(土)17:00〜17:55
FM高知　81.6MHz　(土)17:00〜17:55
FM福岡　80.7MHz　(土)17:00〜17:55
FM大分　88.0MHz　(土)17:00〜17:55
FM長崎　79.5MHz　(土)18:00〜18:55
FM佐賀　77.9MHz　(土)17:00〜17:55
FM中九州　77.4MHz　(土)18:00〜18:55
FM宮崎　83.2MHz　(土)17:00〜17:55
FM鹿児島　79.8MHz　(土)17:00〜17:55
FM沖縄　87.3MHz　(土)17:00〜17:55
FM青森　80.0MHz　(土)19:00〜19:55
レディオ・ベリー　76.4MHz　(土)17:00〜17:55
FM長野　79.7MHz　(土)17:00〜17:55
FM三重　78.9MHz　(土)17:00〜17:55

【冨永みーな】

日野ミッドナイトグラフィティ
走れ！　歌謡曲　サンデースペシャル
文化放送　1134kHz　(土)27:00〜29:00
北日本放送　738kHz　(土)27:00〜29:00
東海ラジオ　1332kHz　(土)27:00〜29:00
ラジオ大阪　1314kHz　(土)27:00〜29:00
中国放送　1350kHz　(土)27:00〜29:00

【冨永みーな&松野太紀】

週刊アニメ・グランプリ
FM新潟　77.5MHz　(土)11:30〜11:55

【仲須友香】

トーヨーボー　フレッシュアップサウンド
TOKYO FM　80.0MHz　(土)11:30〜11:55

【小森まなみ&ミンキーヤス】

MamiのRADIかるコミュニケーション
東海ラジオ　1332kHz　(日)21:30〜22:00
STVラジオ　1440kHz　(日)25:00〜25:30
九州朝日放送　1413kHz　(日)24:35〜25:05
ラジオ大阪　1314kHz　(日)21:30〜22:00

【小山茉美】

Earth Conscious Dream
FM秋田　82.8MHz　(月〜金)24:55〜25:00
FM岩手　76.1MHz　(月〜金)24:55〜25:00
TOKYO FM　80.0MHz　(月〜金)24:55〜25:00
FMとやま　82.7MHz　(月〜金)24:55〜25:00
K-MIX　79.2MHz　(月〜金)24:55〜25:00
FM山陰　77.4MHz　(月〜金)24:55〜25:00
広島FM　78.2MHz　(月〜金)24:55〜25:00
FM香川　78.6MHz　(月〜金)24:55〜25:00

【桜井　智】

桜井智のスターポシェット
ミニFM(日比谷シャンテ)　(木)17:00〜18:00

【菅原正志】

Dear Field
J-WAVE　81.3MHz　(土)8:30〜10:35

【龍田直樹】

一発逆転大放送！　サンデーSUPERキンキン
(DJは愛川欽也)
文化放送　1134kHz　(日)10:00〜17:45

【玉川紗己子】

ネピア　サウンドウォーク
FM大阪　85.1MHz　(月〜金)11:00〜11:50
FM AICHI　80.7MHz　(月〜金)11:15〜11:35

【TARAKO】

幼稚園戦記まだら(仮)
文化放送　1134kHz　(日)21:00〜21:30
95年1月から放送予定

【千葉　繁】

広井王子のマルチ天国
文化放送　1134kHz　(日)19:30〜20:00

【寺瀬めぐみ】

日野ミッドナイトグラフィティ　走れ！歌謡曲
文化放送　1134kHz　(金)27:00〜29:00
北日本放送　738kHz　(金)27:00〜29:00
東海ラジオ　1332kHz　(金)27:00〜29:00
ラジオ大阪　1314kHz　(金)27:00〜29:00
中国放送　1350kHz　(金)27:00〜29:00

【井上和彦】

RADIO THEATRE
〜サウンド・ムービー・コレクション〜
FM秋田　82.8MHz　(日)19:00〜19:55
FM群馬　86.3MHz　(日)19:00〜19:55
FM山陰　77.4MHz　(日)19:00〜19:55
FM山口　79.2MHz　(日)19:00〜19:55
FM徳島　80.7MHz　(日)19:00〜19:55
FM香川　78.6MHz　(日)19:00〜19:55
FM宮崎　83.2MHz　(日)19:00〜19:55
FM長野　79.7MHz　(日)19:00〜19:55
FM山形　80.4MHz　(日)19:00〜19:55
レディオ・ベリー　76.4MHz　(日)19:00〜19:55

【遠藤　武】

SOUL CITY
FM岩手　76.1MHz　(土)21:00〜21:55
FM三重　78.9MHz　(土)21:00〜21:55
FM山口　79.2MHz　(土)21:00〜21:55
FM山陰　77.4MHz　(土)21:00〜21:55
レディオ・ベリー　76.4MHz　(土)21:00〜21:55

【銀河万丈】

アクアファンタジア　〜水惑星に愛をこめて〜
FM新潟　77.5MHz　(日)9:00〜9:55
FM三重　78.9MHz　(日)9:00〜9:55
FM大分　88.0MHz　(日)7:00〜7:30
FM沖縄　87.3MHz　(日)9:00〜9:55

【草尾　毅&稲垣玲伊子】

草尾毅のTkids Party R
東海ラジオ　1332kHz　(木)24:00〜25:00

【國府田マリ子】

國府田マリ子のGAME MUSEUM
ラジオ大阪　1314kHz　(日)22:00〜22:30
宮崎放送　936kHz　(火)24:00〜24:30
九州朝日放送　1413kHz　(土)22:30〜23:00
中国放送　1350kHz　(日)20:00〜20:30
ツインビーPARADISE2
文化放送　1134kHz　(日)20:30〜21:00
東海ラジオ　1332kHz　(月)22:00〜22:30
静岡放送　1404kHz　(水)22:00〜22:30
山陽放送　1494kHz　(日)21:30〜22:00
新潟放送　1116kHz　(日)23:00〜23:30

【小森まなみ】

POPNパジャマ
東北放送　1260kHz　(土)24:05〜24:35

【その他のアニメ関連番組】

アニメマインド(DJは平野　賢)
大分放送　1098kHz　(月～金)22:45～23:00
アニメランド(DJは前田晶子、富樫吉樹)
宮崎放送　936kHz　(木)22:10～23:00
OH!　マイ・アニメ
栃木放送　1530kHz　(日)21:40～22:00
かおりのHello！　アニポップ
(DJは本間かおり、ミンキーヤス)
東海ラジオ　1332kHz　(日)24:30～25:00
新アニメでGO! GO!(DJは　野吉洋)
南日本放送　1107kHz　(月～金)22:00～22:30
青春ラジメニア(DJは岩崎和夫、南かおり)
AM KOBE　558kHz　(金)24:00～26:00
痛快！アニメジオ
和歌山放送　1431kHz　(金)23:30～24:00
熱血電波倶楽部
AM KOBE　558kHz　(日)22:30～22:45
電撃アワー　極道くん漫遊記外伝
大分放送　1098KHz　(土)24:00～24:30
ラジオドラマ『聖刻覇伝～ラシュオーンの嵐～』
文化放送　1134KHz　(金)25:30～26:00
新潟放送　1116KHz　(日)23:30～24:00
東海ラジオ　1332KHz　(日)22:30～23:00
ラジオ大阪　1314KHz　(日)22:30～23:00
ラジオ沖縄　783KHz　(土)21:00～21:30
ラジオドラマ『ロードス島戦記～風と炎の魔神～』
文化放送　1134KHz　(金)25:00～25:30
ラジオ大阪　1314KHz　(土)24:00～24:30

【水島　裕允】

サンデープレイボーイ
TOKYO FM　80.0MHz　(日)6:00～10:00

【水谷優子】

水谷優子のアニメ探偵団？
秋田放送　936kHz　(土)23:30～23:55
岩手放送　684kHz　(日)24:30～25:00
山形放送　918kHz　(日)17:25～17:40
山陰放送　900kHz　(火)22:00～22:30
中国放送　1350kHz　(日)21:00～21:30
西日本放送　1449kHz　(日)9:30～10:00
高知放送　900kHz　(日)17:05～18:00

【水谷優子&あかほりさとる】

まんがの森シアター
あかほりさとる　のわぁんちゃって　SAY YOU/
文化放送　1134KHz　(日)20:00～20:30

【三石琴乃】

三石琴乃　部活しよッ！
東海ラジオ　1332kHz　(土)22:30～23:00
KBS京都　1143kHz　(木)24:00～24:30
電撃大賞　クリス・クロス
文化放送　1134kHz　(日)21:00～21:30

【三石琴乃&相原誠吾】

流星野郎のゲーム業界ウラ情報
AM KOBE　558kHz　(金)22:30～23:00
ラジオ日本　1422kHz　(土)24:30～25:00

【皆口裕子】

電撃パラダイス
～ゲーム・ミュージック・カウントダウン～
TOKYO FM　80.0MHz　(日)25:00～25:30

【緑川光&永島由子】

アニメ&コミック電波ジャック　アニマガパラディ
文化放送　1134kHz　(金)26:00～26:30
東海ラジオ　1332kHz　(木)22:00～22:30

【山口勝平、岡本麻弥&大沼弘幸】

アニキンフリーダム
東海ラジオ　1332kHz　(土)25:30～26:00

【山寺宏一】

山寺宏一のGAP SYSTEM
東海ラジオ　1332kHz　(土)23:00～23:30
はいばあナイト
KBS京都　1143kHz　(月)22:00～24:00

【山寺宏一&井上みよ】

JAPAN RENTAL LEAGUE HOT30
bay FM　78.0MHz　(金)23:00～25:00

【山寺宏一&高木理恵】

TOKYO BAYLINE 7300
(DJネーム／バズーカ山寺)
bay FM　78.0MHz　(水)16:00～18:48

【中田譲治】

ミュージックフライト
FM長野　79.7MHz　(土)20:30～20:55
FM沖縄　87.3MHz　(土)12:30～12:55

【新山志保】

ワンダフル・キッス(DJは松本ともこ、小林　賢)
テレマルシェのコーナー
TOKYO FM　80.0MHz　(月～金)12:00～12:50

【野沢那智】

野沢那智のそれ行けマイカー
秋田放送　936kHz　(月～金)9:00～9:05
野沢那智のさわやかカーライフ
山口放送　765kHz　(月～金)16:40～16:45
西日本放送　1449kHz　(月～金)16:50～16:55
おはようセイフティドライブ
熊本放送　1197kHz　(月～土)8:50～8:55

【野沢雅子】

野沢雅子の秘密の鍵穴
山形放送　918kHz　(月～金)12:20～12:30

【日高のり子】

日高のり子のはいばーナイト
KBS京都　1143kHz　(金)22:00～24:00

【日高のり子&坂井一正】

サタステブレイク
FM長野　79.7MHz　(土)18:00～20:00

【日高のり子&長谷川のび太】

ノンコとのび太のアニメ・スクランブル
文化放送　1134kHz　(金)24:30～25:00
ラジオ大阪　1314kHz　(土)24:30～25:00
山口放送　765KHz　(日)19:00～19:30
大分放送　1098KHz　(土)24:30～25:00
ラジオ沖縄　783KHz　(日)19:30～20:00

【林原めぐみ】

めぐみのHeartful Station
AM KOBE　558kHz　(金)23:00～24:00
めぐみのTokyo Boogie Night
TBSラジオ　954kHz　(土)25:30～26:00
東海ラジオ　1332kHz　(日)23:30～24:00
KBS京都　1143kHz　(木)24:30～25:00
FM岩手　76.1MHz　(金)20:00～20:30

【林原めぐみ&佐竹雅昭】

佐竹雅昭の覇王塾
文化放送　1134kHz　(金)24:00～24:30

【久川　綾】

久川綾のパジャマナイト
RKB毎日放送　1278kHz　(日)24:40～24:50

【久川　綾&MAGUMI】

MAGUMIと綾のGステーションXXX
文化放送　1134kHz　(金)26:30～27:00

【古谷　徹】

ダイヤモンド　スーパーステーション
ハマラジ　84.7MHz　(日)22:00～23:00

平成7年4月
福岡校・仙台校・札幌校
「声優タレント科」開講！

協賛：代々木アニメーション学院

ミュージカル
赤ずきんチャチャ

10月15日(土)
チケット前売り
開始

テレビで人気「赤ずきんチャチャ」の
ドキドキワクワクのミュージカルに、
全国の中・高生の皆さんを
370名ご招待!!

●ご招待日
12月17日(土) 13:00～

■演出：三ツ矢雄二
■台本・作詩：織田ゆり子
■音楽：佐橋俊彦
■お問い合わせ：
代々木アニメーション学院
原宿スタジオ☎(03)3470-1105

平成7年4月生願書受付中

銀座8丁目
博品館劇場
(JR・地下鉄新橋駅徒歩5分)

91.65% 設備と機能と講師がちがう。
実績校です。
(数字は、本学院全校・全科の平成6年3月卒業生の平均就職・デビュー率です)

© 彩花みん／集英社・テレビ東京・NAS

全校・全科の入学生は、希望者全員が格安で学院専用寮に入れるので、効率学習・高率就職を実現できます。

上京(又は他地域)就職者は卒業後も各々就職地域にある学院専用寮に格安居住できます。

アニメーター科(動画、原画、作監技能 キャラクターデザイン)	2年	アニメ・AVオペレーター科(アニメ撮影、VTR撮影 編集、SE・ME音響技術)	2年
コミック・劇画プロ養成科(コミック作家デビュー、キャラクターデザイン、作家アシスタント、原案・原作者)	1年	声優タレント科(アテレコ、DJ、アナウンス、舞台・映像演技)	1年
仕上げアート科(トレース、彩色、エアブラシ 色彩設計、コンピュータ彩色)	1年	コンピュータ・アニメ・ゲーム科(2D・3Dアニメ プログラミング ゲームデザイン、ゲームサウンド)	2年
アニメ制作科(シナリオ、絵コンテ 演出、制作、編集)	1年	SFX特撮科(スペシャルメイク、スペシャルエフェクト、ミニチュア、操演、マットペインティング)	2年
背景美術科(アニメ背景、背景設定 エアブラシ、美監技能)	1年	ビジュアル・イラスト科(スーパーリアリズム、カートゥーン、カマシーン、テクニカル、ファッション、メルヘン、タブロー)	2年
		ジュニア・ノベルズ科(小説作法、作家デビュー コピーライター、出版技術)	1年

アニメ&コミック、CGゲーム、出版、映像、声優教育

ビジュアルアート・カレッジ
代々木アニメーション学院®

社団法人 日本映画テレビ技術協会員　財団法人 日本視聴覚教育協会員　社団法人 日本漫画家協会員

入学案内書セット 無料進呈

無料 一日体験入学
無料参加 学院説明会

特典 特待生・学習援助金　無料自由選択講座
著作料(出演料)配当
※一般寮・アパート紹介、新聞奨学生・入学ローン・銀行ローン有。希望者に資料送呈。

体験入学 説明会 日程

無料一日体験入学日程

東京校	八王子校	大阪校	名古屋校
11月13日(日)	11月13日(日)	11月23日(祝)	11月20日(日)
12月4日(日)	12月4日(日)	12月25日(日)	12月18日(日)
1月15日(日)	1月15日(日)	1月22日(日)	1月22日(日)
福岡校	**仙台校**	**ひがし校**	**札幌校**
12月23日(祝)	11月6日(日)	11月27日(日)	12月11日(日)
2月5日(日)	1月29日(日)	1月16日(祝)	2月19日(日)
	3月5日(日)	2月26日(日)	3月26日(日)

全国縦断学院説明会日程

旭川市	盛岡市	郡山市	新潟市	長野市
———	11月13日(日)	11月27日(日)	———	———
宇都宮市	**千葉市**	**静岡市**	**京都市**	**和歌山市**
11月27日(日)	———	———	———	———
広島市	**岡山市**	**高松市**	**宮崎市**	**鹿児島市**
———	11月13日(日)	———	12月4日(日)	———
松山市	●東京校声優科の体験入学は原宿校にて行ないます。●ご父兄様や先生・お友達とのご参加も歓迎致します。			
12月4日(日)				

(案内書・無料体験の申込み)
ハガキに、①住所②氏名(フリガナ)③TEL④年齢⑤学年(職業)⑥希望学科⑦「案内書」又は「体験」と明記して下記へ。

お問い合わせ 〒151 東京都渋谷区代々木1-20-3-N-11
フリーダイヤル 0120-149-581 意欲一杯(イヨク イッパイ)

■東京(本部)校 ■東京ひがし校 ■大阪校 ■名古屋校 ■福岡校 ■仙台校 ■札幌校 ■原宿声優スタジオ ■八王子特撮ステージ

無料オーディション(全国開催決定)
新人声優・才能発見!!
札幌地区 11/23(祝) 福岡地区 平成7年2月開催決定

デビュー・プロダクション所属96%(声優タレント科平均)の代アニが
参加料・デビュー費用は一切無料でプロへ最短距離。
お申し込みは下記へ
〒151東京都渋谷区神宮前1-19-8-N-11　代々木アニメーション学院
☎(03)3470-1105 原宿声優スタジオ

Dolphin Dreams

岡本麻弥◎イラスト／高田明美

2月3日生まれ。主な作品は、『ブッシュベイビー』のジャッキー、『サイレントメビウス』の彩弧由貴、『無責任艦長タイラー』のハルミ、『メイプルタウン物語』のパティなど。東海ラジオ『アニキンフリーダム』のパーソナリティとしても活躍している。

岡本麻弥の自由な心が見た夢は、不思議な不思議な別世界

天使の羽根

小さい頃、私は、夜寝る前に歯を磨くのは〝夢の中の人〟に逢うためのエチケットなんだと理解していた。それ程、私にとって「夢の世界」とは、現実味のある、生活の一部だったのです。そして、それは今でも……。

それは黄昏、黄金色の光溢れるほんの刹那。

小学校からの帰り路、ひとしきり遊びまわって帰宅した私は、洗面所へ手を洗いに行きました。買い物なのか、母と妹はどうやら家にはいないようです。

とても陽が沈んでゆくのだとは思えない程、窓の外は眩しく光り輝き、そして、とっても静かでした。

私が石鹸のついた手をギュッと握り、それからゆっくりとその蕾を開いて双眼鏡の形を作ると、そこには虹色の膜が張られていました。優しくフーッと息を吹きかけると、ふわりと向こうの端からしゃぼん玉が生まれます。

こうして、いくつもいくつもしゃぼん玉を創るのが、当時の私のお気に入りの遊びのひとつだったのです。自分の心を空に飛ばしているみたいな、そんな感じがしました。

ぷうっとまんまるのしゃぼん玉は、大小さまざまな大きさがあり、油分が不思議な色彩を放つ……。はっきりとした透明な輪郭が浮かんだと思うと、それらは風と戯れて自由に舞い踊り、やがては色も失われて陽炎のように空に溶けて無くなってしまう……。いつでもちょっぴり切ない気持ちがしゃぼん玉にはあるのです。

さて、消えてゆくしゃぼん玉と競争しながら洗面所いっぱいにしゃぼん玉を飛ばした私は満足して、開いた窓からスイスイと空へ吸い込まれてゆく彼らを横目に、掌の泡を流しにかかりました。

と、その時、窓の外からたくさんの子供たちの笑い声が聞こえてくるではありませんか。笑い、さざめき、時折莫迦みたいに大きな喚声が響いてきます。

「誰だろう……近所の子じゃないな。あんなにたくさん、何で私ん家の前で遊んでんだろ」

私は、そのちびちゃんたちが何をしているのかちょっと興味をひかれて、まだ背が小さかったので、トイレの便座の上によじのぼって窓の外を眺めました。

すると、そこには……!!

何と、何十人もの小さな天使たちがふよふよと宙を泳いでいるではありませんか!!

「あー!!」

びっくりして大声をあげた私の声に驚いて、天使たちが一斉にこちらを振り返りました。(教会でもらったカードにそっくりだ……)

私は声も出せずに、ぼんやりとしたまま、満ちている光と、天使と、一面に舞い漂う羽毛を見つめていました。

「きみもこっちにおいでよ」

我に返ると、一人の天使が私の方へトコトコとやって来て、ニコリと笑いかけています。

「一緒に翔ぼう」

どうやって外に出たのか、気がつくと私は、天使たちの中に、口を開けて突っ立っていました。

「……何をしているの?」

ようやく声を出すと、先刻私に笑いかけた天使が、

「何って? 翔ぶ練習に決まってるじゃないか。そんな事も判んないの?」

愛らしい顔に似合わずちょっと生意気です。

「翔ぶ……練習?」

「そうだよ。僕たち天使だって、翔ぶ練習をしなけりゃ当然上手には翔べないんだ。まず羽根を使って、バランス良く翔ぶ。それができるようになったら、次には羽根なしで空を翔ぶんだ。そうなれば、もう一人前だよ。僕はもう羽根を取っても翔べるようになったから、良かったらきみに僕の羽根をあげるよ」

と言って彼は、真っ白くてフワフワした一番いの〝天使の羽根〟を私の背中に着けてくれました。

何だかドキドキする……何度も空を翔ぶ夢は見たけれど、いよいよ本当に翔べるんだ! それも天使のように!!

まばゆいばかりの光の中で、天使たちと空翔ぶ練習!!——私は深く息を吸い込むと、思いっきり地面を蹴り上げました!……ふよ、ふよ……。

「やった!」

ドスン。

うわあー、やった、やったぁ!! ほんの少しだったけど、確かに空を翔んだぞ!!

ちょっぴり痛かったお尻をさすって、もう一度トライしようとしたその時、

「何やってんの?」

と、冷たい一声。見ると、あの天使くんが腰に手をあてて偉そうに立っています。

「何って? 翔ぶ練習でしょ」

天使くんの意地悪な言い方にカチンときた私は、立ち上がりながら、そのおちびちゃん(彼にはもう羽根がないので、ただの白い衣のおちびちゃんにしか見えない)にくってかかりました。

「何言ってんの? 初心者の天使はホラ、まずああやって電線にとまれるようにならなくちゃいけないんだ。翔ぶのは、それがちゃんとできてからさ」

天使くんの指差す方向を見上げると、何と何人もの天使が、ぐらぐらとバランスを保とうとしながら電線にとまっているではありませんか。

「え……? まだ翔べないの? 翔んじゃいけないの?」

弱々しく尋ねる私に、力強く頷き、

「あとは彼らに教えてもらえばいいよ。僕はもう完璧だ。もう行くから、頑張ってね」

と言い残して、天使くんは本当に上手に光の中へと翔び去って行ってしまいました。

仕方なく、惨めな気持ちで電柱をよじのぼり、電線に腰かける私……。これは、かなり難しい！　でも、何でこんなことしなくちゃいけないんだろう……。

——こうして私は、輝く光の中を翔びまわる天使を目の前に、雀さながらの格好で電線にとまるハメになったのです。

綺麗な天使の羽根を背中につけて……。

血染めのキューピー人形

熱の出た日によく見る夢があります。それは何故かフィルムに焼きつけたように、一晩に何度も何度も繰り返し「上映」されるのです。

——色の無い世界。モノトーンの景色の中を、走る、走る、走る……。冷たい木枯しが頬を突き刺し、髪をさらう。気も狂わんばかりに回転する脚。額を伝わる冷たい汗。

……奴らが追いついてくる……。

私は慣れた路に足を取られながら、最初の角を目指す。あそこを曲がりさえすれば、知り合いの薬局がある。誰かがいれば、匿ってくれるはずだ。あと少し、あと少しで曲がり角……!!

パーン！

後ろに拳銃の音を聞きながら、スルリとうまく角を曲がりきる。今だ！　店に走り込むと、ガランとした店内に異常な程大人数の店員だけが、ズラリとショーケースの後ろに並んでいる。いつもならピンクやら黄色やら色とりどりの薬が棚やショーケースの中に所狭しと詰まっているのに、どうしたことか店じゅうの棚もショーケースもガランドウだ。

空のショーケースを前にコの字形にズラリと並んだ店員たちは、みな奇妙な程の笑顔を浮かべて立っている。

「いらっしゃいませ！」

逃げ込むには好都合だったが、開け放しのドアのおかげで、店内は外と同じく寒々としていた。乾いた風が吹き抜け、カラコロと枯葉さえも床で音を立てている。

「お願い、助けて！　追われているの!!」

咽から絞り出した声で私が頼むと、良く知った店員さんが、この状況とは不釣合ともいえる営業的な声で答えた。

「ショーケースの裏に隠れるといいですよ。他に隠れられる所はありませんから」

ニコニコと営業笑いを顔に貼りつけた店員たちと空っぽのショーケースとの間に急いで潜り込むと、私は息をひそめた。

が、何故だか外の景色が良く見えるのだ。ガラスのショーケースは、薬たちをお腹に詰めていないために、私を隠すにはどうやら透明すぎて向いていないようだった。

（これでは見つかってしまう……）

焦る私の心臓は、全速力で走ったためか恐怖のためか、ドキドキと激しく脈を打っている。まるでアップテンポのメトロノームだ。

「——いらっしゃいませー！」

店員たちの大合唱で迎えられた黒装束の男たちは、もちろん客ではなかった。荒々しく革靴の底を鳴らして、彼らは棚を倒し、レジスターを乗り越えて、さっそく私を探しにかかった。不思議な事に、誰もこのスケスケの隠れ処に身を寄せている私に気づかないようすなのだ。

「裏ですわ。鍵も開いていますから、そこからお逃げになったらどうかしら？　ここじゃ狭すぎて、きっともう一分とたたないうちに貴女は見つかってしまうでしょうからね」

優しげだが無機質な声が頭の上から囁いた。

綺麗な脚を辿ってゆくと、化粧品会社の美容部員のお姉さんだった。私に冗談を言う時に見せるいつものウィットにとんだ表情はなく、かわりにマネキンの笑みを浮かべていた。

「ありがとう」

私は何となく、ディズニーランドかなんか

の人形館に迷い込んだみたいな気分になりながら、チャンスを窺って裏口のドアへと体当たりした。

ビュウ、と風が逃げ場を見つけて店内に吹き込むのを感じた。走る、走る、走る……！錆びついた螺旋階段に飛び移り、果てしなく伸びているかに思えるその段差を、ひとつずつ駆け昇ってゆく。

その時、ふと自分の左手に一枚の紙切れが握られているのに気づいた。

「待てー！」

すぐ真下から、無数の足音と叫び声が響く。奴らが狙っているのは、この紙切れだ！　私は、この紙に書かれているものが何なのか確かめる暇もなく、彼らから逃れるために、とにかく手すりから下へと飛び降りた。

ふわり、と着地すると、彼らの怒鳴り声を遠くに、私はまた走り出す。風は相変わらず冷たく身体に打ちつけてくる。すぐにまた彼らに追いつかれるに違いない。

私は、すぐ右手側にある路地を曲がった。——と、この白黒の世界の中に、突如色彩を持つ空間が現われた！　民家の二階屋の上に、色のついたタイル張りの浴室の断面がむき出しで乗っかっていたのだ!!

水色のタイルに水色の浴槽、棚の上に黄色い洗剤の箱、そして……。そして、バスタブの中には、ナイフを突き立てられ真っ赤な血に染まったキューピー人形が……!!

毒々しいその赤い血は、外のモノクロ世界にもはみ出して染まっていた。まるで新聞紙の上に間違ってケチャップを落としたかのように。それは雑に。子供が描いた絵のように。

突然の色彩出現は、強烈な印象を植えつける。不気味な光景に恐怖心を覚えたが、私にはどうすることもできなかった。ただ走り続けるしかないのだ。

いつの間にか元来た路と同じ路を走っている私に、奴らの足音が迫って来た。私は、走る、走る、走る……。左手の紙の事など忘れて、走る、走る、走る……。永遠に続く追っかけっこを、走る、走る、走る……。慣れた路に足を取られながら、最初の角を目指す。あそこを曲がりさえすれば、知り合いの薬局がある。誰かいれば、匿ってくれるはずだ。あと少し、あと少しで曲がり角……！

後ろから、パーンという拳銃の音が、聞こえた。

トランプ戦争

私は、坂道が大好き。だって、坂の下から頂上を見上げると、そこにはもう道の続きはなくて、ただ青い空だけがポッカリと広がっているんだもの。きっと、あの道の続きは透明になって宙に溶け込み、そのまま空高くまで続いているんだ……って、いつもそんな事を想像して坂道を上って行くの。

——ある日、いつものように透明な道の行き着く先のことなんかを考えて、坂道を歩いていました。残念ながら、坂のてっぺんに着いたところで、そこから空にフワリと歩いて行ける訳もなく、きっと道はいつものように平坦に続き、そのまま真っ直ぐ行けば幼なじみの友達の家へと辿り着くはずです。

私は坂の上に着くまで空の方を見上げ、なるべく地面の方を見ないようにして歩いて行きました。想像の中では、これから私はこの坂道に続いて、そのまま透明な空への階段を上る予定だったからです。もしかしたら、いつかはそんなことも私の身に起こるんじゃないかしら……と莫迦なことを一人考えてウキウキしていたのです。

でも、やっぱり頂上に着いてみると、その後の一歩は空を虚しく踏みはずし、私は空へと昇ることを今日も許されなかったのでした。半ばガッカリしながらも、当然よね、とばかりに現実に帰る準備をしました。ゆっくりと視線を地上へと戻したのです。

――！　すると……目の前には青い青い海が広がっていたのです！　本来あるはずの建物も、友達の家も、塀の上の野良猫も、みんな消えてなくなってしまいました。そのかわりに、波頭に光の粒を転がしながら、のんびりと大きな〝海〟が横たわっているのです。

「……」

何で？　夢から覚めきらなかったのかと訳が判らなくなって、私はその場にボンヤリと立ちつくしてしまいました。

更に驚くべきことに、この海の真上に、タロット・カードの顔をした絵の太陽がひっかかっているではないですか！

「タロット・カードに出てくる太陽だ!!　すごい、すごいすごーい！」

私は〝びっくり〟を通り越して、感激のあまり、とうとう大声で叫び出しました。何てアンティークで、何てメルヒェンなんでしょう……。私が、太陽の顔を細かく見てやろうと想った、その時です。

ドボーン。

やにわに当の太陽さんが、思いっきり海へと飛び込んだのです！　ジュウ、という海水蒸発の音にひき続き、勢いよく飛び散った水飛沫たちが、次々と月になり、星になり、そのまま空に居座ってしまったのです。お月様も星々も、やっぱりタロット・カードの顔をしていました。

そして、西の空から真っ白い大きな鳥が一羽、碧い大きな布の端をくわえて、こちらへ翔んで来ました。羽音が響き渡り、はばたきは海上に幾つもの小さな波を作ります。やがて彼は、お弁当箱をハンカチで包む要領で、空をすっぽりと布で覆って、東の空へ羽音と共に消え去って行きました。

「夜の……帳だ……」

その名の通り〝夜の帳〟を運ぶ鳥がいるなんて、私はちっとも知りませんでした。

「初めて、夜に変わる瞬間を明確に見ちゃった。……夕方とか逢魔が時ってのの立場は一

体どうなるんだろう?……」

相も変わらず莫迦な事を真剣に考えている私は、本当に呑気者です。とにかく、お月様たちは上機嫌らしく、絵のくせしてピカピカと輝いていました。

「さてと、どうにかしなくちゃね。夜だし、家に帰らなくちゃ」

と言っても、さしあたってなす術もなく、私はゆっくりとあたりを見渡すことにしました。ふむ。良く見ると、今来た道が海の脇を通って、ほんのりと続いているではありませんか。

「とりあえず行ってみよう」

私はこの、どこともしれない暗闇に居続ける勇気よりも、何があるか見当もつかないけれど、とにかく前に進む勇気の方を選ぶことにしました。

オレンジ色にぼんやり浮かぶ道を、私はさっそく歩き始めました。今にも消え入りそうな道を頼りにどのくらい歩いたでしょうか、前方にチラチラとやわらかな灯りが見えてきました。

お家だ! お家がある——急いで行ってみると、そこには道を挟んで左右に小さなお城が建ち並んでいました。どちらも普通のお家くらいの大きさしかありません。

驚いたことに、良く見るとそのお城では、それぞれトランプの兵隊が身を乗り出して、弓矢や大砲を撃ち合っているではありませんか! 右側にスペード国、左側にハート国。恐らく世界で一番小さな戦争でしょう。

このまま進めば、間違いなくこの争いに巻き込まれてしまいます。私が今きた道を振り返ると……そこにはもう道はなく、ただ暗闇が広がっているだけです。参ったな。前に進むしかないようです。

「ねえ!」

思いきって大声で彼らに呼びかけてみると、スペード軍からイライラした声が返って来ました。

「うるさいぞ! 戦いの邪魔だ。小娘はさっさとどこかへ行け!!」

……ちょっと待ってよ。私はただ「ねえ」って二文字言っただけよ!「ね」と「え」よ、ねとえ!! 何て心の狭い人でしょう。まるでラッシュアワーの電車の中みたいだわ! 何で善良な私が〝小娘〟扱いされなきゃなんない訳? 第一、どっか行けっつったって、どこへ行きゃあいいのよ、教えてよ!!

と、ブツクサと心の中で文句を言って、私は一瞬のうちにハート国の味方をすることに心を決めました。この戦いを止めなくちゃ、向こう側へはどうやったって進めそうにはないからです。何とかして、ハート国の人を説得して、このケンカをやめてもらって、前に進まなくちゃ。

ひょいひょいひょい、と壁を登って(私は木登りやら何やらが実はすごく得意なのです)バルコニーへ侵入成功!

ヒュン。一息つく間もなく矢が肩先をかすめます。

「ちょ、ちょっと、みんなやめて、やめて下さーい! 何だか知らないけど、もう一度話し合いましょーう!!」

パスン。

あ……無防備に叫んでいた私のお腹に、スペード軍の矢が当たりました。ただ道を通りたかっただけなのに、私は何の関係もない争いに巻き込まれて、その理由も知らないうちに死んでしまうのでしょうか……? 受験が終われば、楽しい楽しい高校生活も送れるはずなのに……。トランプたちの中で死んじゃうなんて!!

眩暈を起こして、その場に座り込むと、ハートの戦士が寄って来て、

「大丈夫ですか? 暇だったら、司令塔に登って僕たちの指揮を取って下さいませんか? 人手が足りないもので……」

と、私に手を差し出して起こしてくれました。恐る恐る見てみると、そこにはいつものプクリと膨らんだおなじみのお腹が元気いっぱいの姿で在りました。

「僕らの戦いは、決して誰も傷つけることはできないんですよ」

と、ハートの戦士。意味が判らないまま、まあ、とりあえず「安全な戦争なんだ」と納得して、私は言われた通り、司令塔へと登って行きました。

一体彼らは、何が原因で、何のために戦っているのでしょうか。指揮を取る傍ら、隙を見て何人かの兵士に理由を尋ねてみたものの、彼らからはハッキリした答えはもらえませんでした。何やら、その時々で理由は違うようなのです。ことあるごとに、この戦いは始められ、そして、いつの間にか中断し、また別の理由で始まる。終わりなき戦い……。しかも、勝利や敗北はなく、人を傷つけることもない。と、まあ、まとめるとこういう事らしいのです。

ちっとも納得いかないまま、それでも私が戦い続けていると、

「コケコッコー」

突然に朝の声が響き渡りました。

すると、今まであんなに必死に戦っていたトランプたちは、まるで何ごともなかったかのように、次々と城の中へと消えて行ってしまうではありませんか。

あっという間の出来事に、私がポカンと空を見上げると、何時間か前に東の空へと消えて行った白い鳥が、今度は碧い布をめくりながら(何故かニワトリ声で鳴いて)西の空へと消えて行きました。

月と星は、びっくりしたように海に飛び込み、その飛沫がまたあのタロット・カードの太陽になって、空に燦然と輝いたのです。

そしてその時……、私にはあの坂道がまっすぐに空へと続いているのが、お城ごしにはっきりと見えたのです!!

イルカの夢

そこは、碧い碧い海の底。あるいは、深い深い宇宙の果て。心も身体もリラックスさせて、自由に宙を泳ぎまわる……。

私は、一匹のイルカだ。自由で、無垢で、幸せな一匹のイルカ。身体を伸ばしてスイスイと泳ぐ。何て気持ちが良いのだろう。悩みも哀しみもすべて身体から溶け出して、何て身軽なんだろう!!

私は〝生きる〟ことを泳ぐ、夢見ることを〝生きる〟一匹のイルカだ。夢の始まりはゆるやかに、夢の終わりは鮮やかに。あちらとこちらを往き来する、私は一匹のイルカだ。

心の扉を開いて、今宵もイルカの夢を夢見ましょう……。

大好きな声優と直接交流

ファンクラブガイド

大好きな声優さんとは誰だって直接会ってみたいと思うし、お話ができたらとも思う。声優さんのほうでも、ファンの声を直接聞きたいと思っている人が大勢いる。だからこそのオフィシャル・ファンクラブをここで大紹介!! 具体的な活動例を金丸淳一さんのファンクラブで見てみよう。

▲この号で紹介していた新潟イベントでのスナップ。なんと、上越新幹線に乗ったのはこのときが初めてだったそうだ

金丸淳一 オフィシャル・ファンクラブ PALETTE

〒160 東京都新宿区新宿1−32−12
中野ビル303 同人舎内
PALETTE事務局

僕はきっかけ、主役は会員全員!!

『新世紀GPXサイバーフォーミュラ』の風見ハヤト役で大人気の金丸淳一さんのファンクラブができたのは、今から約2年前。ちょうどテレビで『サイバー』が放映された直後だ。かなり熱心なファンが、金丸さん所属のプロダクションに連絡をしてきたのが最初だったそうだ。

最近では、所属プロダクションが主宰してできるファンクラブもたくさんあるようだけど（いわゆるアイドルタレントのファンクラブには多い）、ファンが働きかけてできたオフィシャル・ファンクラブで、ちゃんと活動を続けているところは、そう多くはないみたいだ。

ここ「PALETTE」は、そんな数少ないファンクラブのひとつだ。

さて実際にどんな活動をしているのかというと、主なものをあげると、年4回会報の発行、独自の交流会の開催、オリジナルグッズの製作等がある。

ここで今年の8月に発行された会報を少し紹介しておくと、B5判24ページのオフセット印刷の小冊子で、各種イベントの報告と、金丸さん自身の直筆のメッセージなどが載っている。イベントの報告の仕方もひと通りではなく、たとえばコンサートなら時間の経過を追って細かく紹介されており、「1時30分、公会堂前集合。すでに会場の前の広場には多くの観客の列ができ、この日のイベントの人気の高さがうかがえた」といった具合。また、金丸さん自身がレポートするというスタイルのイベント報告のコーナーもある。ここでイベントの様子を紹介するために使われている写真も、ただ掲載してあるだけでなく、金丸さん自身の手書きのコメントが添えられていたりするのだ。

もちろん、受け取ったファンにとっていちばんうれしいのは、直筆メッセージではないだろうか。この号のほぼ真ん中16〜17ページに、イルカのワンポイントイラストが入った用紙で掲載されているのだ。読んでみると、まるで金丸さんが自分に手紙をくれたかのような文体で、語りかけてくれている。ときには仲間として、ときには兄貴のように、その文章には彼の人柄がにじみ出ていて、読んでいて実に心地よいのだ。

また、独自の交流会というのは、お茶会やバーベキュー大会などのこと。今年は、金丸さん自身が忙しかったせいもあって、思うように開催できずにいるとはいうが、それでも目下計画中

なのだとか。積極的に、こうした交流会の準備を手伝ったファンは、きっとただ与えられるのを待っているだけのファンより、何倍も思い出が大きくなるのだろう。大変だと言いながらも、楽しそうにスタッフを続けている人を見るにつけ、感心させられてしまう。グッズに関しては、そう頻繁に作っているわけではないそうだが、オリジナルのテレホンカードがなかなか評判が良かったようだ。ほかにも、アイデアはいろいろと、常に皆で考えている最中。次はどんなグッズの案が飛び出すか、スタッフや金丸さんも楽しみにしているのだ。

最後に、金丸さんが『PALETTE』にかける想いを寄せてくれたのでここに紹介しよう。

「『絶対に金丸さんのファンクラブをつくりたいんです!』と、情熱いっぱいで僕のオフィスにコンタクトしてきてくれた現会長の藤田氏。全国に孤立した状態で応援してくれているファンの方々同士がなんとか交流できるようにしていただけるならば、という僕の希望で始まった『PALETTE』です。ここではひとりひとりが責任者。そして『僕』がきっかけでみんなあったかい友達になることが目的。みんなの鮮やかな色を仲よく絵皿（パレット）に並べよう! これがキーワードなんだ。入会条件は、自分自身が好きで、前向きな明るいヤツ。そしてついでに僕のことが好きなら、なお言うことなし! 僕自身、エッセイ執筆や写真撮影を得意とするので、国内・国外を旅したときのフォトエッセイや日常のスケッチを会報誌に提供したり、オリジナルテレカなどのグッズ作成、また、某所でのびのびアウトドア満喫のバーベキュー大会等をこれからも実施する予定です。目下計画中なのは、お茶会&僕の洋服や愛用品をオークションやバザールスタイルでメンバーだけが入手! という僕のFCならではのイベント実施、また遠方のファンにも参加できる『電話DEデート』なども考えています。まだまだ発展途上だけど、だからこそおもしろい!

『……バカ笑いをしてくれる仲間には愛がある』僕のモットーです。男女・年齢なんかゼンゼーン平気! 待ってるってば、君のこと!」

自分の意見をしっかり持って、しかも他人の言葉にも耳を傾けてくれる温かい金丸さんならではのファンクラブ活動であることが、きっとわかってもらえたと思うぞ。興味を持った人は、随時問い合わせ大歓迎だというから、事務局に80円切手を貼った返信用封筒を同封のうえ、ファンクラブの資料を請求してください!!

〈金丸淳一プロフィール〉

●同人舎プロダクション所属
●山梨県出身
●10月27日生まれ、さそり座
●血液型／A型
●デビュー作品／『ハイスクール! 奇面組』頼金鳥雄役
●主な出演作品／『ゲッターロボ號』由自役、『新世紀GPXサイバーフォーミュラ』風見ハヤト役、『大草原の小さな天使ブッシュベイビー』アンドルー役、『ママレード・ボーイ』須王銀太役、ほか

▶今年8月に発行された「PALETTE」の会報の表紙。使ってある写真は、「サイバーバスツアー」のときのスナップだそうだ

▲新潟のイベントにて。こうしたファンとの触れあいが、金丸さんはたまらなくうれしいのだという

▲なんとこれが、2年前の第1回お茶会。今より少し丸顔の金丸さんを中心に……

▲会報では、イベントのリハーサルからレポートしていた!

ファンクラブリスト

※入会方法、会費等詳しいことは各ファンクラブへ直接お問い合わせください。

●井上喜久子
Urban Fish
〒160 東京都新宿区四谷郵便局留
年4回会報発行
オリジナルグッズの販売
バースデーカード・年賀状の送付

●岩田光央
遊牧民NOMADE・FC
(旧タイゾー倶楽部)
☎ 03-3368-7408
隔月で会報発行
タイゾー倶楽部公演チケットの優先予約
劇団メンバーとの交流会開催

●緒方恵美
RED ANGEL
〒244 神奈川県横浜市戸塚郵便局留
毎月情報ペーパー発行

●折笠 愛
折笠愛ファンクラブ
〒171 東京都豊島区南池袋郵便局留
会報発行
イベント開催

●かないみか
みかぴいくらぶ
〒182 東京都調布市上石原1-48-15
ノーブルヒルズ201 SMP内
2カ月に1回会報発行
年2回ファンの集い
オリジナルグッズの販売
コンサートチケット等の優先予約

●菊池正美
モモンガクラブ
〒150 東京都渋谷区渋谷1-20-24-506
㈱トルバドール音楽事務所内
会報発行

●草尾 毅
TAKESHI BACK UP TEAM
〒106 東京都港区南麻布1-10-4
㈱ユーメックス内
会報発行

●草地章江
ふみえまにあ
〒150 東京都渋谷区神宮前2-29-1
神宮前センチュリーマンション207
㈱マイティハウス内
月1回会報発行
イベント開催

●桜井 智
桜井智後援会
〒164 東京都中野区本町3-26-36
窪田ビル3F
㈱エルスタッフプロモーション
会報発行
イベント開催

●塩沢兼人
DREAMING
〒214 神奈川県川崎市多摩区長沢4-16-14 小山香織方
会報発行

●柴本浩行
ケンちゃんクラブ
〒341 埼玉県三郷市彦成4-1-14-104
会報発行

●高乃 麗
CHEAP THRILL
〒271 千葉県松戸市高塚新田518-6-6-306 高橋方
会報発行
年2回会誌発行
年賀状の送付

●高山みなみ&牧野良樹
ES COLLECTION
〒153 東京都目黒区下目黒3-7-2
小西ビル6F
㈱81プロデュース内
月1回情報ペーパー発行
バースデーカード・クリスマスカード等の送付
オリジナルグッズの販売

●田中真弓
田中真弓カンパニー
〒151 東京都渋谷区笹塚1-54-3
パラシオン笹塚601
㈲NABEYA内
年4回会報発行
バースデーカードの送付
お茶会開催

●TARAKO
TARAKKO GANG
〒150 東京都渋谷区渋谷1-20-24-506
㈱トルバドール音楽事務所内
ライブ・グッズ販売会のお知らせ
年2回ツアー(サマー&スキー)

●冨永みーな
M・マーブル
〒102 東京都千代田区九段北1-4-5
九段ニューセントラル4F
㈱大橋巨泉事務所内
毎月25日に情報誌を発行

●中村大樹
ビタミンD
〒153 東京都目黒区下目黒3-7-2
小西ビル6F
㈱81プロデュース内
年4回会報発行
ファンの集い開催
ライブ・芝居等の優先予約
留守電インフォメーション

●西村智博
Oh!M団
〒156 東京都世田谷区千歳郵便局留
会報発行

●林 延年
WINNERS
〒161 東京都新宿区中落合3-16-4
新宿中落合郵便局留
会報発行

●速水 奨
SHOW UP
〒166 東京都杉並区和田3-54-10
クリスタル東高円寺205
会報発行
ミニ通信発行
ティーパーティ開催
テレホンサービス(☎03-5378-3905)

●久川 綾
VOICE TO AYA
〒577 大阪府東大阪市布施郵便局留
会報発行

●日高のり子
MEGA BABE
〒150 東京都渋谷区道玄坂1-15-3
プリメーラ道玄坂228
㈱河野プロモーション内
☎03-3462-5040
月1回会報発行
オリジナルグッズの販売
イベント・コンサート等の優待

●古川登志夫
TFC
〒169 東京都新宿区北新宿3-28-16
劇団青杜内
会誌TOPIO NEWS発行
インサークル・イベント・ライブの開催

●堀川 亮
堀川亮ファンクラブ
〒160-04 東京都新宿区西新宿2-1-1
新宿三井ビル内郵便局留
会報発行

●松井菜桜子
菜桜子とフルーツポンチ事務局
〒041 北海道函館市富岡町1-49-17
年3回新聞発行
年1回小冊子発行
誕生日に菜桜子グッズプレゼント

●緑川 光
緑川光オフィシャルFC
〒329-02 栃木県小山市間々田郵便局私書箱8号
2カ月に1回会報発行
バースデープレゼント送付
イベント開催

●皆口裕子
皆口裕子友の会
〒107 東京都港区南青山2-11-14
㈱青二プロダクション内
会報発行

●森川智之
HEAVEN'S DOOR
〒161 東京都新宿区下落合1-14-9
新宿下落合駅前郵便局留
☎03-3950-2391
会報・最新ニュースペーパー発行
ライブの開催
オリジナルグッズの販売
グリーティングカードの送付
FC・TEL通信

●山寺宏一
Y'S club
〒182 東京都調布市上石原1-48-15
ノーブルヒルズ201 SMP内
☎0424-87-9449
2カ月に1回会報発行
年2回ファンの集い
オリジナルグッズの販売
コンサートチケット等の優先予約

こんなところに出ていたぞ！

声優さんを探せ!!

アニメのアフレコだけじゃない！
洋画の吹き替えだけじゃない！
声優の活躍の場はどんどん広がっている

声優の意外な活躍の場を紹介する
こんなところに出ていたぞ！
今回はコマーシャルの世界を取り上げる

▲コロナ　ファンヒーターのコマーシャルの小野寺麻理子さん。いうまでもなくいちばん左だ。今シーズンしか見られない可能性大

僕たちにとって、いちばん身近な声優の仕事といえば、アニメーション作品のアフレコや、洋画の吹き替えなどだろう。アニメのアフレコは、声で演じる役者としての第一の活躍の場といっていい。また洋画の吹き替えは、外国の役者の雰囲気を損なわないように、日本語で演じなければならない。これも筆頭にあげられるべきステージだ。

このほかにも、各種ナレーションやラジオ番組のパーソナリティという仕事も存在する。だが、もっと僕たちの身近なところでも、声優たちは活躍しているのだ。

そう。テーマパークやコンビニエンス・ストア、ファーストフードの店先。そしてブラウン管の向こうから聞こえてくるおしゃべりは、僕たちの愛してやまない声優たちのもうひとつの活躍の場だ。

普通なら気が付くことのない、もうひとつのフィールドで、声優たちはしっかり活躍しているのだ。そこは明らかに「声のプロフェッショナル」としての、声優の活躍の場だ。

「こんなところに出ていたぞ！」の第一弾では、アニメ以外ではいちばん身近なテレビコマーシャルを取り上げてみたい。意外な人が活躍しているのを君は知っているだろうか？

▲出光のガソリン、スーパーゼアスのナレーションは、小杉十郎太さんが担当している

15秒を彩る声優のナレーション

テレビでオンエアされるコマーシャルは、スポンサーが自社の商品を売るためなどの目的のために放送される。15秒間という短い時間に、視聴者に印象づけるために、画面の効果はもちろんのこと、音楽やナレーションに

も十分に気が配られる。

そんなコマーシャルのナレーションは、人気のある芸能人や有名人がすることもあるが、声といえば我らが声優たちの独壇場だ。

この場合のナレーションは、商品名やキャッチコピーを読み上げることが多い。ゲームファンなら「ファイアーエムブレム　紋章の謎」(任天堂　スーパーファミコンソフト)というナレーションを聞いたことがあるだろう。このナレーションをしているのは、『コブラ』の野沢那智さんだ。

このコマーシャルを見た人は、商品の名前がこびりついているのではないだろうか？よく通る響きの美しい声で『ファイアーエムブレム　紋章の謎』といわれると、宣伝されている商品の内容とあいまって記憶に深く刻まれてしまう。

このようにコマーシャルのナレーションは印象に残ることが必要だ。なんといっても15秒のコマーシャルの場合、音が出るのは13・5秒しかないのだ。この短い時間に印象づけるには、コマーシャルの内容にあった画面と、音楽・効果音、そしてナレーションが必要になってくる。そこで声の演技のプロフェッショナル、声優の出番というわけになる。

▲ファイアーエムブレム　紋章の謎（任天堂　スーパーファミコンソフト）。出演：祐木奈江。ナレーションは野沢那智さん

ゲームソフトのCMはたくさんの声優が出演

『ファイアーエムブレム』のほかにも声優がナレーションをしているCMは多い。『スーパーマリオランド3』のワリオは、声を聞けばすぐに分かるとおり大塚周夫さん。大塚さんは『うしおととら』のとらのようなコミカルな役のほかに、『機動戦士ガンダム0083』のエイパー・シナプスや『美味しんぼ』の海原雄山のような役までこなす。ワリオのようなキャラクターをやらせたら、右に出るものはいないという感じだ。

ゲーム関係でいうと、任天堂の（任天堂ばっかりで失礼）「スーパーファミコンソフトスーパーメトロイド　サムス緊急発進編」には、青野武さんや戸谷公次さんが、声の出演をしている。青野さんは『ロードス島戦記』のバグナード役や洋画『バック・トゥ・ザ・フューチャー』のドク・ブラウン役でおなじみ。NHK教育テレビにも出演しているが、ここではちょっと置いておくことにする。戸谷さんも『機動戦士ガンダム0083』のアルファ・A・ベイト役などでご存じだろう。

ゲーム関係のコマーシャルには、声優がけっこう出演しているので、声優ウォッチャーは要注目といったところだ。

▲スーパーメトロイド（任天堂　スーパーファミコンソフト）。ナレーションは青野武さん、戸谷公次さんほか

食品関係のCMにもたくさんの声優が！

食品関係のコマーシャルにも声優はナレーションで出演している。まずは飲み物編。

「ポッカ　暴暴茶」は、ジャッキー・チェン出演で話題を呼んだ彼自身が商品企画にタッチしたという缶入りのお茶だ。この「暴暴茶」のナレーションは、石丸博也さん。往年のファンには『マジンガーZ』の兜 甲児役といえば、ピン！　とくるだろう。

さらに洋画ファンにはリー・マービン、ジェームス・コバーン。アニメファンには『ルパン三世』の次元大介役でおなじみの小林清志さんは「UCC上島珈琲　メジャー」のナレーションをしている。小林さんはこのほかにも数え切れないくらいのコマーシャルのナレーションを担当している。一日テレビを見ていれば、必ず聞くことができるほどだ。

『らんま1/2の』響　良牙役やそのほかたくさんの役だけでなく、ラジオ・パーソナリティとしても活躍の山寺宏一さんは、「伊藤園　お〜いお茶」(海外旅行編)のナレーションをしているのだ。

▲スーパーマリオランド3（任天堂　ゲームボーイソフト）。ナレーションは大塚周夫、丸尾知子、田中一成の皆さん

「アストリアスティックコーヒー」(片岡物産アストリア簡単編)は、郷里大輔さんのナレーション。『機動警察パトレイバー』の山崎ひろみ役でおなじみの郷里さん。ファンなら、アストリアスティックコーヒーを飲みながらパトレイバーを見るのもいいだろう。

渋い男を演じさせたらこの人。『風の大陸』のボイス役の屋良有作さんは、お酒の「ホワイトホース」(ユナイテッド・ディスティラーズ・ジャパン　ホワイトホース8年　昇進編)に出演。確かに、屋良さんの声は洋酒の世界にぴったりだ。

お菓子編は、タレントの松雪泰子さんが画面に出演している「グリコ　シリアルポッキー　緑の箱編」のナレーションは目黒祐一さん。『聖闘士星矢』の邪武や『南国少年パプワくん』のサービスのような役までこなす目黒さん。シリアルポッキーのナレーションが目黒さんだとは気づかない人も多かったのでは？

小杉十郎太さんは「出光石油　出光スーパーゼアス」や「エプソン販売　MJカラープリンタ」のナレーションなどに活躍。『アーシアン』や『宇宙の騎士テッカマンブレード』

▲お〜いお茶（伊藤園　缶飲料）。出演：鶴田真由、宮永里佐、都木涼子。ナレーションは山寺宏一さん

などでおなじみの小杉さん。テッカマンランスのエネルギーはスーパーゼアスなのか？と想像するのもファンならではの楽しみだ。

意外に少ない？女性声優の活躍

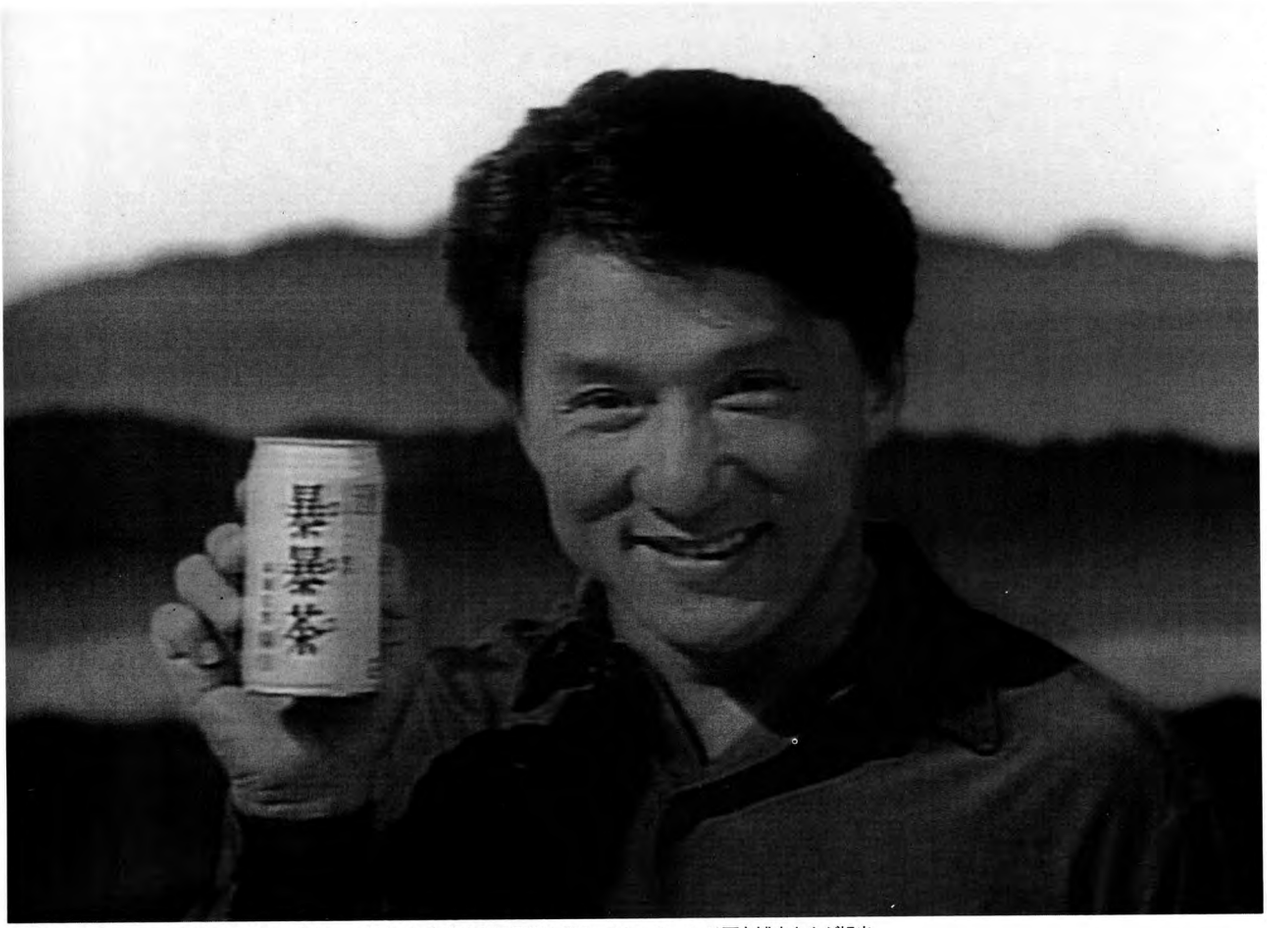
女性声優が少ないとお嘆きの貴兄に、とっておきの情報を送ろう。関西地区の人しか見ることができないが「関西セルラー電話」の自転車編というコマーシャル。

「携帯電話は全国で話せるものを選んでください」というナレーションを聞いた人は、誰がしゃべっているか分かっただろうか。『魔獣戦士ルナ・バルガー』『マップス』に出演している皆口裕子さんがナレーターだ。コマーシャルとしても、一世を風靡したミュージシャンの吉田拓郎が出演していることで、注目を集めた作品だ。

声優が声だけでなく、姿も登場しているコマーシャルはないのか⁉　というわがままなファンのために、このコマーシャルを紹介しよう。石油ファンヒーターのコロナが、今シーズンに放送しているコマーシャルには、本誌52ページのカラーページにも登場している、小野寺麻理子さんが出演の必見作！

ファンヒーターなど季節商品のコマーシャルは、シーズンが終わってしまうと放送されることはない。残された時間は短い。どうしても見たい人は、テレビにかじりつくべし。

ここで紹介したほかにも広川太一郎さんや滝口順平さん、納屋五朗さん、麻上洋子さんなど、たくさんの声優がテレビコマーシャルのナレーションをしている。声優ファンなら、アニメ以外の声優の仕事にも目を向けてほしい。きっと声優という仕事の幅の広さを理解できるはずだから。



▲ジャッキー・チェン自ら商品企画に参加し、CMにも出演する暴暴茶のCM。ナレーションは石丸博也さんが担当

▲関西セルラー電話（携帯電話）。ナレーションは皆口祐子さん。出演はなんと、ニューミュージック界の大御所、吉田拓郎だ！

こんなところに出ていたぞ！読者の君の熱い投稿を熱烈大募集

今回の「こんなところに出ていたぞ！」は、テレビコマーシャルのナレーションに注目したが、声優の活躍の場はここだけに限らない。

スーパーやコンビニエンス・ストアのアナウンス、テーマパークのアトラクションへの出演などなど。声優の活躍はどんどん広がっている。

そこで君たちからの情報を大募集！

僕の地元の○○という遊園地には○○さんが出演しているアトラクションがある！　とか、○○さんが出演しているCMがある！　といった感じで、君が見つけた声優さんの仕事をどんどん報告してほしい。ちょっと自信がないんだけどというような未確認情報でもOKだ。

お便りだけでなく、写真、ビデオテープなども送ってくれるととっても嬉しいぞ。貴重な情報を送ってくれた君には、きっと編集長からBIGなプレゼントがあるはずだ（推測）。

情報のあて先は

〒101 東京都千代田区神田駿河台1-6 御茶の水スクエアA館1F ㈱オプトコミュニケーションズ
声優グランプリ編集部
「こんなところに出ていたぞ！」係まで

コミック・エッセイ

★マンガ家から声優へ――愛(!?)のメッセージ！　今回は楠 桂先生と大橋 薫先生の創刊記念豪華2本立てダ…!!

BY 楠 桂

ＣＤやビデオをけっこう
だしてるおかげで楠は
声優さんとお会いする機会が
多々ありまして…
印象深い方々を
ピックアップしてみましたっ

矢尾一樹さん(八神裕司役)
「八神くんの家庭の事情」

某誌で対談もしたし
楠のCDでデュエットまで
しちゃいましたね♡

でも矢尾さんとの初めての出会いは
アニメではなく(深夜)テレビドラマなのでした
悪役だったけど
一番かっこよかった
(一番長身だし)

わーっ
女の子が
おそわれてるっ

おやめなさーい

神谷　明さん(四日市明役)「八神くん～」

伝説的な売れっ子なのに　少しも
そゆとこみせないのが魅力なの
小娘の楠によく話しかけて
くれたやさしいおじさま♡

関　俊彦さん(中小田井一平役)
「ぶちかまし眠り姫」

この方ともデュエットしちゃいました
なんてばちあたりな楠!!
(たか)剣道二段の二枚目さんで
歌の上手な方でした

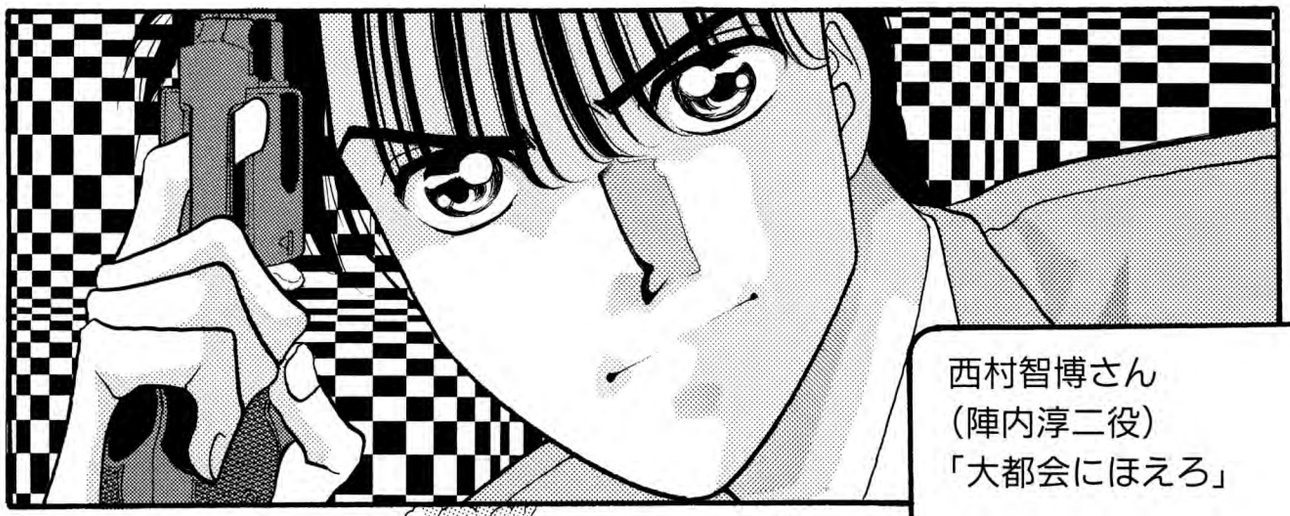
佐々木　望くん
(八百井刺激役)
「八神くんの〜」

年齢不詳の美少年
よくパチンコ屋で未成年とまちがわれて
怒られるそーです

川村万梨阿さん
(五十里真幸役)
「八神くんの〜」
ともかく美人!!

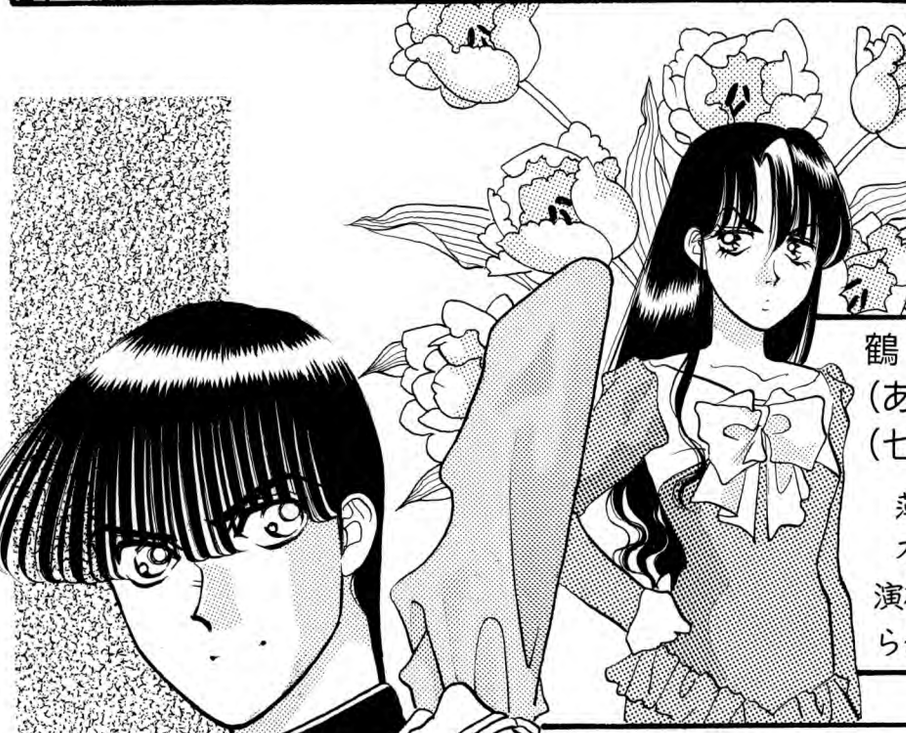
本多知恵子さん
(八神野美役
奥村佳奈子役)
「八神くんの〜」
「あくまでラブコメ」

とってもかわいい小柄な方
橘の中では もう野美さんの
イメージです



西村智博さん
(陣内淳二役)
「大都会にほえろ」

Hな歌詞をかかせたら
右にでる者はいませんっ!!
一緒にライブまで
ぶちかましちゃいましたっ



鶴　ひろみさん
(あや役)「妖魔」
(七瀬密子役)「八神くん〜」

薄幸の美少女から
不倫OLまでやってしまわれて
演技力のはばをみせつけ
られたベテランの方

草尾　毅さん(鬼切丸の少年)
「鬼切丸」より

とっても楽しい方でした♡
鬼切丸は今の楠のいち押し作品なので
みなさまどうぞ　単行本ともども
ビデオ、CD　よろしくお願いいたします♡

今まで関わったすべての声優のみなさまへ
楠作品のキャラクターに声を与えて下さって
どうもありがとうございます

どうも
はじめまして
大橋　薫です

声優さんには
あまりくわしくない私が
こんなとこに
登場してよいものやら

おど　おど

シリアスや
ギャグや
Hなのや
ホラー
描りてます。

美化度
20％

一応イメージアルバムなどで
お世話になったのですが

オカルトのバージン
検察側の証人とか

レコーディングには
立ちあわなかったので
どなたとも
お会いしたことなくて

矢尾さん
西村さんなら
お見かけしたことが…

矢尾

横のレコーディングについていったとき
デュエットしてたの

あんまり
アニメも
見なくて

でも 洋画の吹きかえは
やっぱり声優さん
チェックします

美化度
120％

すっかりその声が
イメージの
キャラクターに
なったりして

ロッキー
ラッキーちゃん
玄田さん

面白いですよね

クリント・イーストウッド
山田さん

許されざる者

ビデオだけではなく
最近はドラマも
あなどれない！

目がはなせない
WOWOWの
「メルローズプレイス」

英語版よりも
イメージぴったりで
面白い！

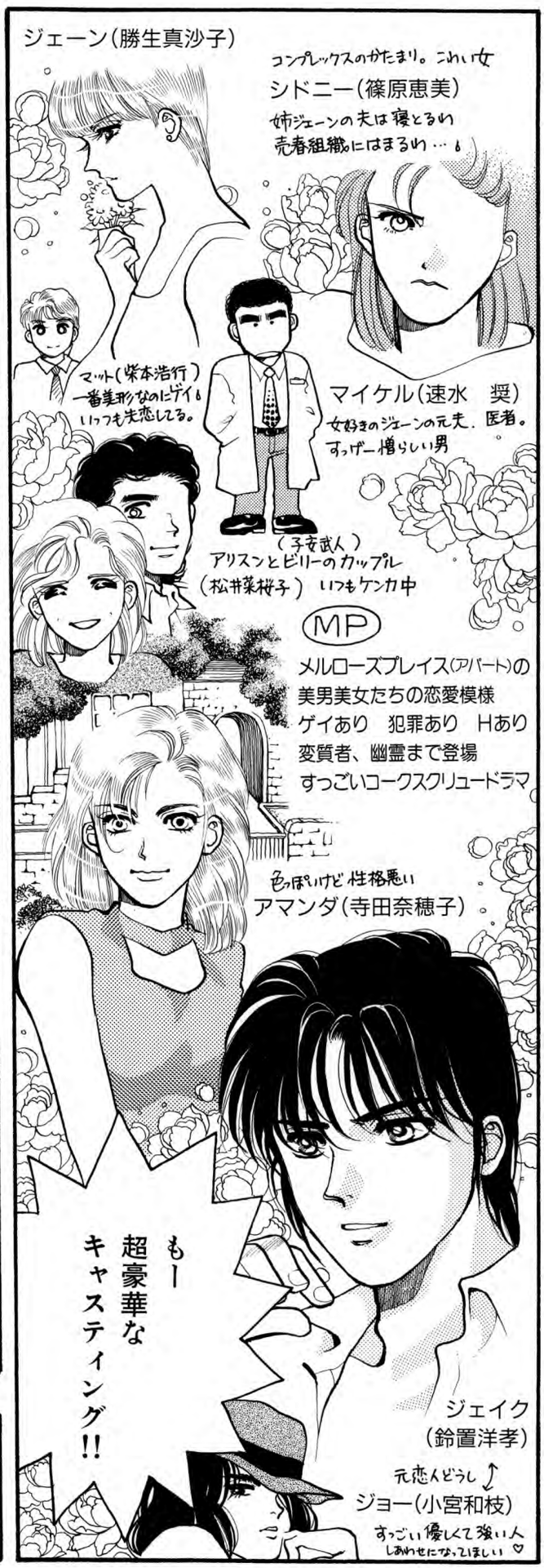
WOWOW
加入してない方には
チンプンカンプン。
ごめんなさい。

もー 全員美形だけど
いろんなタイプがいて
声優さんの見事な
吹きかえにほれぼれ♡
声だけで
なんとなく
性格わかっちゃう
アニメとは
違った感じ…
さりげない
演技というか

吹きかえ版は
声優さんによって
選んでしまう私
英語字幕版に
しとこっと
アニメは絵で
選んじゃうけどね

あとは
ゲーム関係なのでしょうか…
カブキ伝
面白かったです
声優さん たくさん
起用してあって
いーかげん。
声優さんでない方が
交ざっていると特に
声優さんのすごさがわかる…
まきせりほちゃんごめん
山口勝平さん
速水奨さん
塩屋翼さん
他総勢31人
唯一クリアしたゲーム

3×3EYES
も なかなか
最近忙しくて
ゲームしてない
けど


ジェーン(勝生真沙子)
コンプレックスのかたまり。こわい女
シドニー(篠原恵美)
姉ジェーンの夫は寝とるわ
売春組織にはまるわ…。
マット(柴本浩行)
一番美形なのにゲイ。
いつも失恋してる。
マイケル(速水 奨)
女好きのジェーンの元夫。医者。
すっげー憎らしい男
(子安武人)
アリスンとビリーのカップル
(松井菜桜子) いつもケンカ中
MP
メルローズプレイス(アパート)の
美男美女たちの恋愛模様
ゲイあり 犯罪あり Hあり
変質者、幽霊まで登場
すっごいコークスクリュードラマ
色っぽいけど性格悪い
アマンダ(寺田奈穂子)
もー
超豪華な
キャスティング!!
ジェイク
(鈴置洋孝)
元恋人どうし
ジョー(小宮和枝)
すっごい優しくて強い人
しあわせになってほしい♡

歌で活躍なさってる
声優さんももちろん
たくさんいらっしゃって

林原めぐみさんの
CD何枚か
持ってます

写真集もついてて
超豪華

本当にアイドル
歌手のよう…

ひょっとしたら
この本にも水着グラビアとか
載ってたりして…

→ゴメン!!　この号には載っていません。次号以降に期待してもいいかな!?(編集部)

でも ただのアイドルとは
ちがうのは 実力もちゃんと
備わっているとこでしょう

かわいい女の子を
演じることも
妖艶な美女を
演じることもできるなんて
ちょっとすごいですよね

多重人格みたい

今まで
裏方の地味な世界と
されてきた 声優界も
どんどん表舞台に
登場してきて
とりのこされるのは
漫画業界だけでしょうか……
ぜひとも一緒にひっぱって
いってほしいもの…

ペコ

声優グランプリという
立派な本も創刊されたことですし
これからも どんどん
頑張っていただきたいです
はい

The End

対談

神谷明のきみも声優になれる！

テレビアニメ『幽遊白書』の桑原一真役で活躍中の千葉繁さんに、『きみも声優になれる』の著者、声優界のベテラン神谷明と新人声優氷上恭子が聞く。アニメキャラクターたちに、血を通わせ生命を吹き込む声優の秘密とは何か？　どうしたら声優になれるのか？　声優になりたいキミたちのすべてに捧げる。二人のベテラン声優による、新人氷上恭子の「フレッシュボイス・チェック」のページも要注目だ！

千葉繁
SHIGERU CHIBA

熊本県出身。劇団フジ、東芸出身のベテラン声優。81プロデュース所属。脚本、音響、演出などもこなし、マルチな才能を発揮している。現在、アニメ『ツヨシしっかりしなさい』（渡辺司役）、『幽遊白書』（桑原一真役）、『X-MEN』（ビースト役）『ラッキーマン』（努力マン）などで活躍。特技／アクション、殺陣。

神谷明
AKIRA KAMIYA

劇団テアトルエコーを経て声優の世界へ。青二プロダクション所属。主な出演作品に、『うる星やつら』（面堂終太郎）、『キン肉マン』（キン肉マン）、『北斗の拳』（ケンシロウ）、『シティーハンター』（冴羽獠）など。著書に『みんな声優になりたかった』『きみも声優になれる』（ともに発売主婦の友社、発行オプトコミュニケーションズ）

友だちのオーディションの付き添いがキッカケ

神谷　それではまず、千葉さんがこの仕事を始めるようになったきっかけからお話を聞きたいんですが。

千葉　きっかけはね、僕は中学卒業してすぐ、田舎がイヤでね、ボストンバッグ一個持ってほとんど家出同然で飛び出してきたんですよ。

神谷　ということは、15か16歳。

千葉　そう、詰襟着て角刈りの。それで、ちょうどそのころ、いしだあゆみさんの「ブルーライト横浜」という歌が流行っていたのね。「街の灯がとてもきれいね横浜〜」という。で、そうだ横浜だ、行くんだったら横浜だなと思って。とにかく港が好きだったんでね。熊本から22時間の夜行列車にゆられて。そうやってこっちに出てきて、とにかく生活がありますから、いろいろ探したら日立の横浜工場があったんです。もともと僕、無線とかやってましたから「これはいいや」と思って、そこに入ってしばらくはカラーテレビの修理とか調整とか、そういう仕事をやってたんですよ。で、寮に入ってたんですが、そこに鹿児島から出てきた友達がいてね、なにをとち狂ったのか「歌手になりたい」っていい出して。「養成所のオーディションが渋谷である、いっしょに付いてきてくれよ」っていうんですね。で、「いや、自分がやりたいんなら自分で行きな」といってやったら、「なにしろ東京は生き馬の目を抜くところだから、頼む」とかなんとかいって。

神谷　なに、怖いから付いてきてくれって？　ハハハ。

千葉　それで「いいよ、じゃあ、付いていってあげるよ」ってことになって。行ってみたら、審査員が成田三樹夫さんだとか、千葉真一さんだとか、あと東千代之介さん、三條美紀さんとかけっこう古い方が。

神谷　そうそうたるメンバーですね。

千葉　そう、「ウオー、テレビに出てるのと同じだ」って。そういう世界ね。で、友達の受けているオーディションを、僕、脇で見てたんです。そうしたら、たまたま成田三樹夫さんが「キミ、何やってるんだ」っていうから、「イヤ、僕、付き添いで来たんです」というと、「せっかく来たんだからキミも受けな」って。

神谷　なんだよな——。

千葉　それでまあ、受けてみたら、僕が受かってそいつが落っこちた。東京宝映タレント養成所、松平健さんは僕の後輩になるんですけれどもね。だから、きっかけとしては、そういうちょっとした間違いで。

神谷　偶然もいいところだね。

千葉　うん。けっきょく、その友達のほうは、僕をそこへ引っ張っていって、なんだか用がすんだみたいな感じで鹿児島へ帰っちゃった。

神谷　で、養成所に入って、最初どんなことをやってたの。

千葉　普通の養成所でしたから、まあ一通り。市谷にスタジオがあったんです。あと、水道橋、八重洲口にもあった。けっこう大きな養成所だったんですが、月謝が無料だった。ところが三カ月ぐらいして、あるとき養成所の友達が「月謝がたいへんでさー」っていっているんで、「え、オマエら月謝があるの」ってびっくりして聞くと、「あるよ、あるに決まってるじゃん」と。それで、養成所の所長のところへ行って「やつらは金取られてるのに、俺は全然取られてないのは、これは差別じゃないか」といったら「キミは特待生だから」って。それ聞いたら、なんか「冗談じゃない」って気がしてきて、さっさと辞めちゃった。

氷上　エーッ。

神谷　つまり自分だけ、特待生という立場に甘んじていることに我慢ができなかったわけ？

千葉　というか、1回のオーディションくらいでね、人の才能がわかってたまるか、ついでに試験受けたら通ったようなやつを「特待生」にされちゃあ困るじゃないかという。

神谷　生真面目というかなんというか。

千葉　それで、しばらく悶々としてた。でも、養成所で授業受けてたりしてたとき、「あ、この世界はなにか面白そうだな」というのが、多少芽生えてきてたんでしょうね。そのころ、たまたま部屋でテレビを見てたら杉良太郎さん主演の『大江戸捜査網』というのをやってた。で、ちょうど週刊誌でその番組のスタントマンを募集してたんです。それ見て、「スタントマンもいいかもしれない」って思った。養成所で台本読んで能書きたれてるよりはね、撮影所に入って実際にキャメラの前に立ってやってみたほうがいいだろうと。それとね、僕もともと体操やってて、体操部のキャプテン、「宙返りのシゲちゃん」っていわれてたくらい宙返りはすごかったですから、TV見てて「あの宙返りは、どうもヘタだな」と思ったのね。

神谷　ああ、そうなんだ。

千葉　それで僕の場合、すごく腹筋が強いんで、バク転やると普通の体操の選手の2、3倍スピードがついちゃうんですよね。昔、杉良太郎さんと毎日曜日、いっしょにフジテレビのリハーサル室で立ち回りの稽古をしてて、杉さんから「ここで千葉、バク転して向こうへ下がって構える」という指示を与えられて、「ハイ、わかりました」っていった瞬間、たまたま疲れてたのか、後ろを確認せずにバーッとバク転を始めちゃったことがあって。「危ない！」って女の人の声が聞こえたかと思ったら、真後ろの壁に、回転した状態で脳天をゴーンとぶつけた……。

神谷　なんと危ない。

千葉　それからね、奥多摩に吊り橋があるんですよ。40メートルくらいの長い吊り橋。吊り橋って、ちょっと歩いただけでも左右に揺れるでしょ。その吊り橋の上から、下を見ると、80メートルほども底のほうに細い川がチョロチョロ流れていて、まわりはみんな岩なんです。で、そこで『ミラーマン』っていう番組のロケ。僕は顔中靴墨塗ってね、真っ黒い宇宙人なんですけどね、それが吊り橋の上でミラーマンと戦うわけですよ。で、監督が「バク転切れ」っていうんですよ、「そら、ポン、ポン、ポンって3回な」とかって。

神谷　ハア、ずいぶん簡単にいってくれるじゃない。

千葉　そのころは監督っていったらも

スタントマンの仕事を色々やったんだってね

対談

神谷明の

きみも声優になれる！

新劇の役者がチャホヤされるの見て、劇団に

う、神様に等しい人じゃないですか。だから「わかりました」とかいってやりましたけど。いま考えると、角度を一度間違えていたら、80メートル下ですからね……。ところが、そのオンエア見たらひどいんですよ。普通そういう高いところでやるのは、俯瞰で撮るとか仰角に撮るとかして、まず高さを見せておいてやるんですが、監督、フィックスで撮ってやがる。平面だから、高さが出てなくて、面白くもなんともない。

氷上　もったいない――。

神谷　命がけのシーンを。

千葉　命がけですよ。生傷絶えなかったですね、そのころ。多摩川の川原なんかで立ち回りのシーンを撮るってときもね、主役の人が刀を三本持ってるんですよ。竹みつと鉄芯と本身。で、その人が本番で何を取るか、皆、ビクビクして見ているんですが、「ウワッ、本身取った！」っていうと、みんなパーッと散って、その辺に落ちてる「マガジン」とか「サンデー」とかの雑誌をとにかく腹のところに詰め込むわけです。切られたらヤバイですから。切られたって、ひとこと「オマエがヘタだから」で、すんじゃう世界でしたから、当時は。

神谷　怖いな――。

千葉　刀振るたびに、目の前の葦がスパって切れますから。だから、立ち回りでも「刀の先が自分より後ろにくるように担いじゃいけない」という鉄則があるんですが。あるとき、水の中に入って立ち回りをやってて、下がぬかるんでいたせいで前の人がグラッとなって。で、体勢を立て直そうとした瞬間、真後ろにいた僕の目に刀の先がグサッときた。そのまま最後まで立ち回りをやって、カットがかかるとすぐメイクさんが飛んできて「大丈夫ですか！」っていうんだけど、顔のこっち側が熱いんです。見たら、もう真っ赤。

氷上　ウワァ――。

千葉　こんなきれいなメイク、普通じゃできねえだろうな、なんて思った。それで、救急病院に運ばれて、洗浄してみたら、たまたま眼球がテコみたいになって、刀の先がツルンとそれていた。「キミは運がいいね」なんて医者にいわれながら、3針縫って、翌日には「月光仮面ショー」に出ました。

神谷　よかったよね、失明しなくて。

千葉　だけど、仮面かぶって「サタン、てめえら！」とかやってると汗かくんですよ。すると、縫ってあるところがパカッと開いちゃう。で「すみません、ガムテープください」っていって、開いたところにそいつをバッと貼って続きをやった。

神谷　そのスタントの仕事をいろいろやってて、その後は？

千葉　たまたま文学座の俳優さんが時代劇のゲストで来たんです。見ると、その人、刀をサーベルみたいにぶら下げてて、ズルズルっと地面を引きずってる。まあ、刀の差し方を知らないわけですが、そんなことも知らない俳優さんにプロデューサーから監督からみんなペコペコしてるわけですよ。「そうか、新劇の俳優ってチャホヤされるものなんだ」って思って、「よし、俺も新劇に入ろう」と。

神谷　動機がけっこう不純だったりして。

千葉　それで東芸に入って、ずっと舞台やってましたね。

神谷　でも、それまでの映画やテレビの仕事と舞台とでは、全然違ってたでしょう？

千葉　それはもう、スタントマンはあくまで陰の仕事に徹しないといけない。新劇に入るとそうじゃなくて、自分がそのある人物を作り上げないといけないという雰囲気が当然あるわけですよね。そういう世界なんですが、いきなりチェーホフ持ってこられた日には、まず漢字が読めない。業界用語がまたわからなくて、「笑って笑って」っていわれて「アッハッハッ」て笑ったら、「何やってんだ、バカヤロー」って怒鳴られた。「笑って」といわれたら、その辺にあるものをどかせって意味だったわけ。

神谷　とんかちのことは「ナグリ」っていったりね、殴るから。

千葉　それから、新劇の場合、度胸つけるためにいろんなことをやらされるんですよ。高田馬場のビッグボックスの前で大立ち回りをやったり。

神谷　それは芝居で？

千葉　そう、稽古場で立ち回りをつけといて、ふたつのグループが接触したというような設定、シーンを再現する。それでびっくりして見ている人たちが、実際にどんな反応をするのか観察したり。で、先輩たちに教えられたのは、「とにかく、能書きじゃなくて、まず自分の体で覚えろ」ってこと。いい役者になるためにどうしたらいいんだろうみたいなことを、みんな競争で考えていましたね。

神谷　劇団って、いい意味での競争があるよね。

千葉　ところがあるターニングポイントにきて、自分の演技が全然信じられなくなっちゃって。「ヨーイ、スタート」でホントに指一本上げられない状態。「これはダメだ」というので、裸になろうと思ったんですよ。精神のカンフル剤として。それで、日活ロマンポルノの監督さんに直談判して、最初にやった仕事が『トルコ一一〇番悶絶くらげ』。

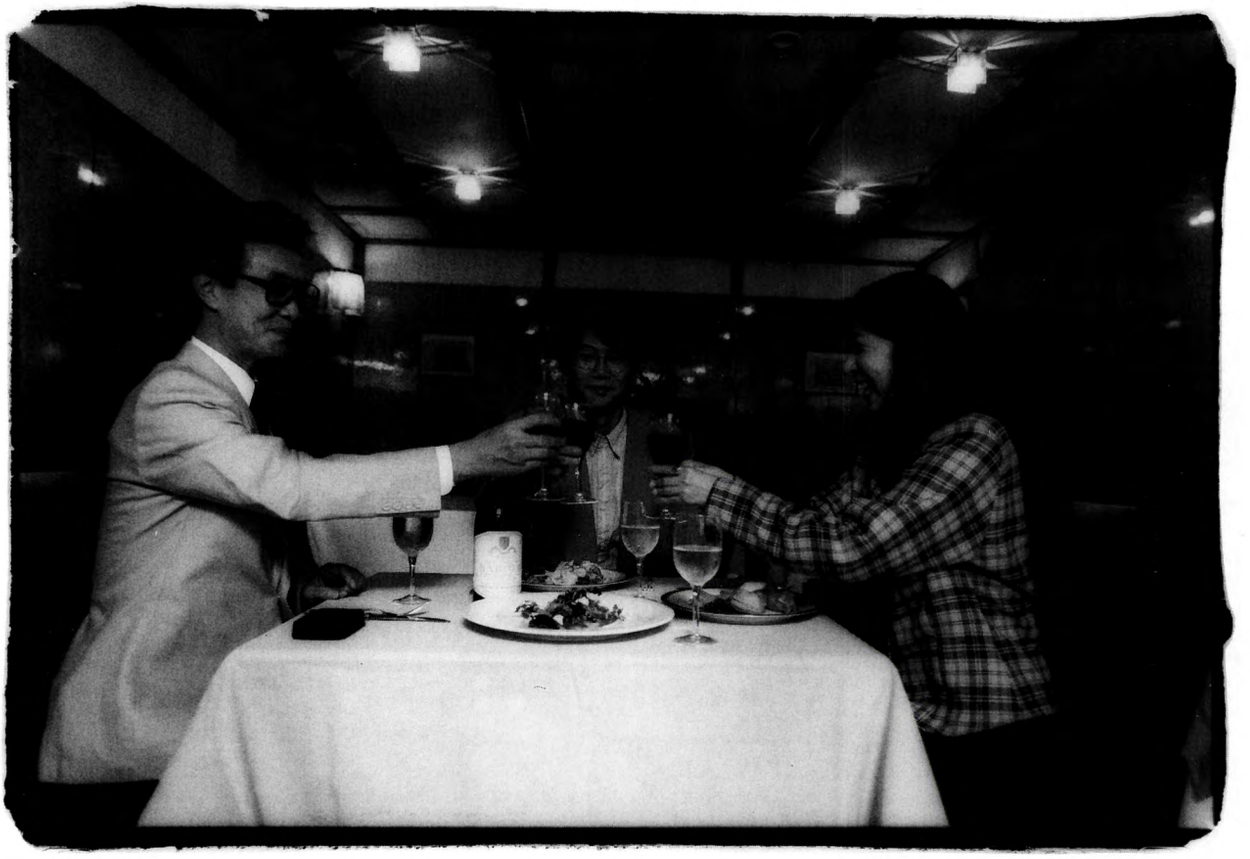
神谷　すごいタイトルだ――。

千葉　それで最初に共演させてもらったのが片桐夕子さん。ポルノの女優さんって、世間から見ると、まあいろいろいわれるわけですけれど、みんな菩薩のように優しいんですよ。撮影の準備やっているあいだ裸で待ってるのはけっこう寒いんですが、すると片桐さんが「千葉ちゃん、こっちおいで」っていって、抱いてくれた。もちろん片桐さんも裸で、ほんとに温くてね。「もうちょっとだからね」とかいって、すごくやさしい。その女優さんたちといっしょにいるうちに、自分がこれまで本や何かを読んで知識として身につけようとしていたものは「違う」という気がしてきて。というのは、皆、裸になっているでしょ。自分を飾るすべがないんです、何も。僕にしたって、前張りつけてほとんどカマキリのような姿が、映画の画面にドーンと映るわけでしょ。ホント、田舎に帰れませんよ

劇団って、いい意味での競争があっていいよね

対談

神谷明の



きみも声優になれる！

アニメの最初が『ドカベン』の山岡と球審役で

ね。そうすると、もう自分を出すことしかないわけです。それまでは「なんで俺がこんな仕事やんなきゃいけないんだ」ってこだわりがけっこうあったんですけど、「待てよ、俳優っていうのは最初からそういうものなんじゃないの」と気がついて。自分の我からスタートしたこだわりはちょっと違うぞ、俳優というパーツは純粋のパーツになればいいんだ、と。それからですね、何をやるんでも大きく変わったのは。

神谷　こういう話聞いていると、千葉ちゃんが僕らの業界に入ってきて、それまでのいわゆる「枠のなか」の人と違うっていうのがよくわかるね。いちばん最初『ドカベン』でごいっしょしたんだけど、それが千葉ちゃんのアニメーションのデビュー。

千葉　そう、初めてやらせていただいたアニメの仕事。

神谷　で、そのときにキャプテンの山岡と球審を千葉ちゃんがやって、その球審がすごい！「ストライク」のいい方が、「あ、切れてるな」と思うくらいの迫力。それもね、テストからそうなの。「なんてやつが入ってきたんだろう」と、衝撃的だった。それで、次が『うる星やつら』のメガネ。原作のなかではほとんど取るに足らない役なのに、千葉ちゃんがやるとそのキャラクターが生きてくる。アニメーションだからといって絵空事にせずに、自分の中で非常にリアルな感覚を持ってやってるからなんだろうけれど。

千葉　たしか、生徒Aだよね、あの役は。

神谷　そう、それがね、ラムの取り巻きのメインになってしまう。それだけの役に、千葉ちゃんが育てちゃったんだよね。

千葉　でも、『うる星やつら』のころって、ホント何か皆そうでしたよね。神谷さんのやっていた面堂終太郎も、すごく切れてましたよね。皆、すごくいい状態で内側に向かっていた。

神谷　それぞれが、お互いにすごく刺激受けてるわけよ。それはキャストだけじゃなくて、後ろの金魚鉢にいるディレクターもそうだし、絵を描いている連中もそう。たとえば千葉ちゃんがね、ある芝居をするでしょ。そうすると本屋さん――脚本家がそれに挑戦してくる。で、今度、絵よりもすごい大きな芝居をすると、アニメーターもそれに負けない絵を描いてくるの。これはね、やっぱりパワーのある、人気の出る作品っていうのはこうなんだなと、あらためて思ったね。

千葉　僕なんか神谷さんの印象っていったら、けっこう貴公子とかね。それが、いきなりタコしょって面堂終太郎だもの、もうホントにブチ切れているもいいところだからね。

神谷　それをいうなら、千葉ちゃんはいつもスクリーンに向かっていちばん右側のマイク使ってて、僕はあるとき「どうしてなの」って真面目に聞いた。そうしたら「芝居をやっていると毛細血管がブチブチ切れるんだ。くらっとするから右手をこう、突けるところじゃないとまずい」って千葉ちゃん、答えたじゃない。僕はいまでもそれ信じてるんだけど、何か自分の命と引き換えに芝居をしてるという……。

千葉　ハハハ……。

神谷　僕らはある程度慣れてきちゃうと、手を抜くというのじゃないけど、タイミングとか芝居の呼吸を自分でつかむためにスッとテンションを下げることがあるわけ。で、本番でウワーッと上げてくるんだけど、千葉さんはそうじゃない。最初から本気でやる。こういう人、ほかに知りません。

千葉　それはね、僕、スタッフ志向がけっこう強くて、自分でスタジオドラマ作ってミキシングやったりしてたんですけど、そうするとマイクの前に立ってAというテンション、Bのテンション、Cのテンションと毎回変えられるとミキサーが狂っちゃうんですね。だから、少なくとも「一発目は僕はこのテンションでいきます」ということをミキサーさんに伝えてあげなきゃいけない、と。それがまずあって、もうひとつは僕の師匠、水沢摩耶さんという、普段舞台をなさっている女優さんですが、この人が「オマエね、中途半端な仕事してきたら、私許さないよ」と。この大事な大事な師匠からいまでも、「なんだよオマエ、このあいだの芝居は」なんて、よく電話かかってくるんですよ。だからまあ、役者の根本となる精神にまず釘をバシッと刺してくれた師匠というのは、いまだにありがたいと思っていますよ。

神谷　いままでそうやっていろんな役をこなし、役者としてやってきて、では千葉ちゃんがこれからやってみたいことというと？

千葉　僕、もともと映画が非常に好きで。自分でシナリオ書いて、演出やって、16ミリの映画を撮ったりしてるんですが、映画を編集してるときなんかホント楽しいですよ。「役者、ここ切ってほしくないだろうな」ってところを、「ほら、切るぞ切るぞ」なんていながら、ブチって切ったりして。そういうのをもうちょっと広げて、何かバカバカしいものを作って遊んでみたいなと思うんですよ。

神谷　うん、千葉ちゃんみたいに「遊び」といえる余裕を持ってできるといいな。

千葉　楽しんで、遊んで、開放して集中する。楽しんでなければ集中できないですよね。

僕、この地球にあと7000～8000日しかいないと思うんですよ。みんな普段、電話の終わりに「じゃあ、明日ね」って約束したりするけれど、その明日にしたってホントにくるかどうかはわからない。寝ている間に2000年たってたってわかんないですよ、たぶん。「ああ、よく寝た」なんてね。誰でも、自分は明日の朝起きると思い込んでるけど、起きないかもしれないんだってことを考えると、いましかないわけです。いま、この瞬間しか。だからこれからの人生、非常に貴重な遠足、子供の砂場遊びみたいな時間だと思うんですが、そのなかでとにかくいま、この時を一生懸命やる。いま死んでもいいってくらい。そういった気持でいつもやっていけたらな、と思っています。

『うる星やつら』ではスゴい刺激しあってたよね

FRESH VOICE CHECK !

氷上恭子

KYOKO HIKAMI

兵庫県出身。園田学園女子短期大学幼児科卒業後、東京アナウンス学院放送声優科卒。江崎プロダクション所属。1995年期待の若手声優。主な出演作品にアニメ『コボちゃん』(白川役・アキラ役)、外画『新フェーム』(ミシェル役)、『真夜中の天使』(リンダ役)。

神谷　さてさて、いっしょに千葉ちゃんの話を聞いてきたわけだけど、こういう先輩を見て氷上、どう思う?

氷上　素晴らしいです!

千葉　イヤイヤ困っちゃうな、そういうことといわれると。殴らないからちゃんといってごらん。

氷上　どうしても私はいま、自分の目の前のことにとらわれてしまって。それで「イヤだイヤだ」と思ったりしてしまいますけど、千葉さんのお話うかがったら、「ああ、そうか」と。もっと楽しんでやればいいんだと。

神谷　氷上はいつごろから声優になろうと思ったの?

氷上　声優に興味をもったのは、中学を卒業するころ。演劇部の友達がいて。その友達が「私、声優になりたいの」っていったんです。それで、そうか声優という仕事があるのかと、ふっと興味を持った。

神谷　それがいまにつながってるわけだ。で、勉強としては、どこでどんなことをやったの?

氷上　いちばん最初は、高校に入ったときにすぐ何かやりたくて。それで、たまたまプロジェクトレビューの大阪校が開校したのでそこに……。で、大学受験が近づいて、父親に「もう、いいかげんにやめろ」って大反対されてそこをやめたんです。ところが大学に入ったらやっぱりじっとしてられなくて、東映俳優養成所大阪校に、今度は父にないしょで入りました。反対されると思ったんで。

神谷　あるよね——。

氷上　日曜日、クラブに行くような顔をしてサーッとレッスンに通っていたんですけど、一年コースが終わったころ、短大だったのでちょうど就職活動の時期になって。「短大も行かせてもらったし、20歳にもなるし、もう就職しなくちゃいけないな」と思ったんですけど、やっぱり何か吹っ切れなくって。無茶できるのはこれが最後だと思ったんで、たまたま知っていたアナウンス学院の資料を取り寄せてたんです。で、「東京で就職したい」と父にいったら「なんでわざわざ東京なんだ」っていわれて。私、神戸なんで、大阪にどんな企業も全部そろってますから。それで「芝居がやりたいから、東京で土日のコースとか夜間のコースとか学校に通いながら昼間は働いて……」という話をしたら「アホか!」って怒られた。じゃあ、黙って受けちゃえと思って。

神谷　そうか。すごく行動力あるよな。

氷上　東京のソフトウェアの会社だったんですが、当時バブルがいちばん盛り上がった時期で、いくらでも人を採ってくれたんですよ。電話して試験受けて、内内定を貰っちゃった。父に反対されても東京の会社に私はいく気でいたところに、ちょうど父の海外出張が決まって母も付いていくって。

神谷　都合がいいじゃない。

氷上　で、このままほうっておいたら、わけのわからないことになると思ったのか、「2年間という期限付きでアナウンス学院に行ってよし」という父の許しが出まして。

神谷　なかなか、作戦としては巧妙だよな。それでお勉強して、卒業して、いまは江崎プロダクションにお世話になってるわけだけど、これからね、どういう声優さんになっていきたい?

氷上　まだまだ暗中模索の状態だろうけど、とりあえずいま宣言しておいて。

氷上　あの、やっぱり、うまくなりたい。うまくっていうのは、「誰がやってもいいよ」っていうのから抜けて、役として印象を与えられるような。聞いている人に残るような。ただ、どんな役ができるのかは、いまはまだ自分でわからないんですよ。前にいたところでは「オマエは汚い声だから、ヒロインはできないよ。敵役しかできないよ」っていわれてたんですが、いまは、わりとかわいい普通の女の子の役ばかりいただいていて。

神谷　わからない時期ってあるよね。確かに、いま自分で自分の色は決められないと思うし、それを探している状態かもしれないね。僕なんかも、二枚目の声を自分で持っているなんて思いもよらなかったし。これはやっぱり人に見つけてもらったものなんですよ。逆にいえば、見つけてもらえるように……。たとえばベテランになっても、固定観念、固定イメージだけでとらえられない、そういう可能性を感じてもらえる部分を残しておくというのかな。

千葉　最初から自分のカラーが見えたりしたらね、もう努力する必要ないわけですよね。だから、逆にいえば、わかんないほうがいいと思うのね。

神谷　勉強の仕方もね、やっぱりその人に合った方法ってのがあるわけだから、それを探して無理しないで。無理は絶対よくないから。経済的に許せば、精神的な余裕をもって、のんびりやるといいな。だってこの時期って、すごくあせりがちな時期じゃない。健康もたいせつだし。

氷上　いたって健康です。

千葉　それはいちばんの財産!

神谷　10年後にまたインタビューしようじゃない。この道を頑張ろうと思ったら10年なんてすぐだよね。ね、生き残ってもらわないと困るよ。千葉ちゃんや、氷上なんかと、いい意味で刺激し合ってお仕事やっていきたいなって思うね。

氷上　有り難うございます。

photography●Hiroshi Kawaguchi　Text●Takahiro Ando

最新VOICEゲーム情報

横山智佐の「プリメ1」をレポート!!

声優ファンを自認するキミだったら、もちろんテレビゲームもチェックしてるよね？　そう、ゲームの声をあてている声優さんはいっぱいいるんだ。アニメとは一味違う声が聞ける（かもしれない）最新ゲーム情報だ！

▼マイクに向かう横山智佐さん。ゲームではどんな声を聞かせてくれるのかな？

声優になるエンディングもあればいいのに

プリンセスメーカー1

●PCエンジン／スーパーCD・ROM²ソフト
NECホームエレクトロニクス
1月3日発売　8,800円

パソコンでゲームをする人なら、まず知らない人はいないだろうというぐらい大ヒットしたのが、この『プリンセスメーカー1』だ。知らない人のために、ちょっとだけ説明しておこう。

このゲームは、プレイヤーが10歳の女の子の父親となって、18歳までに立派なお姫様に成長させるというものだ。行儀作法などの勉強もさせなければいけないし、体力も養わせなければならない。ところが厳しくしすぎてグレてしまったとか、体力はついたけど色気がなくなったなど、バランス良く育てるのはなかなか難しい。

育て方しだいで、お姫様どころか女戦士や魔法使い、あるいは農民や踊り子など、迎える運命にはさまざまなパターンがあり、繰り返し何度でも遊べるゲームなのだ。

今回発売になるPCエンジン版では、プレイヤーに育てられる女の子の声を、MSX版に続いて横山智佐さんが演じている。今回の印象やゲームとアニメの仕事の違いなどについてお話をうかがった。

「前にMSX版の『プリンセスメーカー1』をやらせていただいたのは、もう4〜5年ほど前になります。再びやることができて、とても嬉しいです。前回とのいちばん大きな違いは、セリフの長さでした。前はひとつのセリフが8秒以内という制約があったんですが、今回はそれがなかったんです。ゲームのセリフは絵に合わせる必要がなく、自分のペースに近いしゃべり方ができるので、やりやすかったですね。ただし、録音のときに絵がないので、自分でキャラクターに入り込まなければならないとか、絵に助けてもらえないので自分でテンションを上げておかなければならないというところもあります。またアニメでは途中でキャラクターの性格が変わることはないのですが、『プリンセスメーカー1』では元気な声と病気のときの声、優等生（？）と不良の声とを交互に演じなければならないのが大変でした。でも、主人公が迎えるさまざまな将来を、すべてやれたのは楽しかったです。自分の人生とは重ね合わさずに、受け身の気持ちでやったんですが、『声優になる』ってエンディングもあれば面白かったのにって思いますね（笑）」

オーストラリア留学中の横山さんは、この仕事のために一時帰国したとのこと。録音のときには久しぶりの日本語に、つい考えてしまったそうだ。PCエンジンを持っている智佐ファンは、買い忘れることのないように！

▲PCエンジン版『プリンセスメーカー1』の画面写真。女の子の名前はプレイヤーが自由に決めることができる

©GUINAX ©NEC HE ©MICRO CABIN CORP.

戦乱のロードスに平和を取り戻せ！

ロードス島戦記II

Record of Lodoss War

●PCエンジン／スーパーCD・ROM²
ハドソン
12月16日発売予定／7800円

小説やOVAで人気の高い『ロードス島戦記』をゲーム化したものだ。この作品は、もともとテーブルトークRPGとして作られたもので、パソコンでもゲーム化されている。

ここに紹介するのはPCエンジン用のゲームで、タイトルにIIとあるようにPCエンジンでの2作目になる。ゲームのタイプは前作同様、RPG。プレイヤーは主人公となって冒険の仲間を集め、隠された謎を解き、ロードス島に平和をもたらすために戦うのだ。

今度の物語は、パーンたちが戦った英雄戦争が終結して数年の後の世、いまだ内乱の絶えないロードス島にあって唯一平和な国・フレイム王国から始まる。小説を読んでいる人なら、第6〜7巻あたりの話が中心になっているといえば分かるかな。ただし他のエピソードもけっこう取り込んであるし、原作にはないキャラクターが登場するなど、全体としてはオリジナル色が強いように感じる。

砂漠の中にあるフレイムは戦いのない平和な国だが、それゆえに周囲の国々から戦乱を逃れてきた難民が急増し、治安の悪化や物資の不足が深刻な問題になりつつあった。

このままでは不満や不安が増大してフレイムにも争いのタネが起きると感じたカシュー王は、騎士見習いのスパークに近隣の町の視察を命じた。

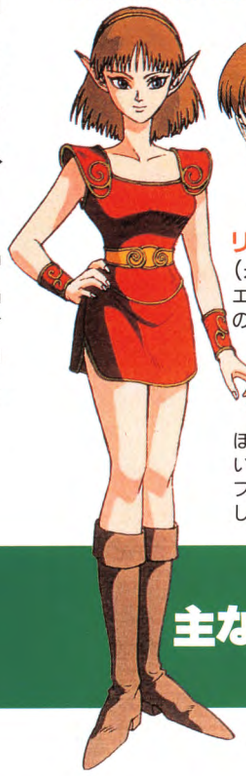
スパークは身分こそ騎士見習いだが、フレイムを構成する二大部族のひとつ「炎の部族」の次期族長候補でもある。若いながらカシュー王の信任も厚い、まっすぐな心の持ち主だ。王から使命を受けたスパークは、難民問題を解決

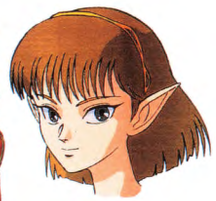
▲主人公スパークのパーティ。左から司祭のグリーバス、魔法使いのアルド・ノーバ、スパーク、ちょっとだけ頭が見えているのがハーフエルフのリーフだ

▲ロードス島の全体マップ。フレイム王国はいちばん上の中央に位置している。歩いて回れば広いぞ

▲前作の主人公パーンのパーティ。左からディードリット、パーン、魔法使いのスレイン、司祭のエト

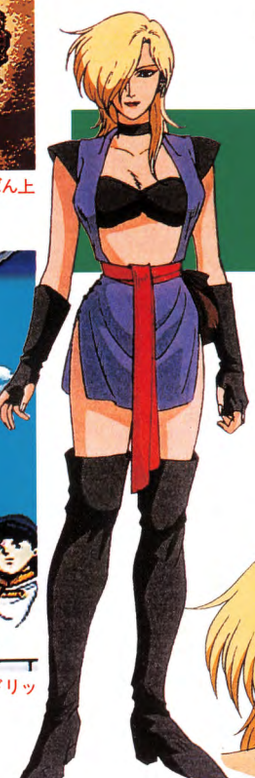
主なキャラクター





リーフ
（永島由子）
エルフの父親と人間の母親の間に生まれたハーフエルフの少女。15歳の若さで傭兵をしているほどの能力を持っているが、人間とエルフの共存を夢見る優しい心の持ち主だ

スパーク
（太田眞一郎）
フレイム王国の騎士見習い。今回の物語の主人公で、フレイム王国を構成する二大部族のひとつである「炎の部族」の次期族長候補でもある



ライナ
（萩森侑子）
以前は女だてらに盗賊をしていたが、現在は足を洗って冒険者ギルドに所属している。ギルドの仲間のあだを討つために、スパークたちと行動をともにする。元盗賊だけあって注意力にたけており、パーティの危機を救うことも少なくない

ディードリット
（冬馬由美）
ロードス島全体を巻き込んだ英雄戦争のときに、パーンとともに戦った精霊使い。帰らずの森を故郷に持つ、誇り高きハイエルフの一族

パーン
（草尾 毅）
英雄戦争のときに、ディードリットたちとともに立ち上がり、争いを引き起こしていた灰色の魔女カーラの野望を砕いて、戦争に終止符を打ったロードス島の英雄

4回は遊ばないともったいない！

聖夜物語

●PCエンジン／スーパーCD・ROM²
ハドソン
1～2月発売予定／価格未定

RPGというと、用意されたシナリオどおりに話が進んでいく、なんだかアニメを見ているようなタイプのゲームが多いのだけど、この『聖夜物語』はちょっと違うぞ。イブの夜、教会の前に子供をおいて去っていくひとりの母親がいた。捨てられた子供が主人公で、この子を拾って育ての親になるのは流浪の剣士、酒場の主人、シスター、老人のいずれかだが、この子が誰に拾われるかで話が大きく違ってしまう。

人間は育つ環境により人格が決まってしまう部分が大きい。剣士に育てられれば剣の得意な戦士に、商人に拾われれば処世術にたけた盗賊に、シスターのもとでは慈悲の心を持つ僧侶に、老人と暮らせば豊富な知識を受け継いで魔法使いになる。リアルだといえるし、なんともドラマチックな設定だ。育ての親となる人の声は田中秀幸さんや辻親八さん、井上喜久子さん、掛川裕彦さんといったベテランの方々が担当している。

主人公の仲間になるキャラクターは4人いるのだが、主人公と同じ職業のものはパーティに入らないので、参加するのは3人だけだ。仲間に入らない場合も、ときどき現れては手助けしてくれたり、ライバル意識を燃やして挑戦してきたりとにぎやかだ。パーティメンバーの声は緑川光さん、かないみかさん、さとうあいさん、速水奨さんというアニメファンにはおなじみの顔ぶれだ。

このほかにも、緒方恵美さんや野上ゆかなさんなどいろんな声優さんが参加して、物語を盛り上げている。またシナリオだけでなく、全体に遊びやすい設計で作られている。ゲームシステムといいキャスティングといい、発売日が待ち遠しい一本だ。

スパークは訪れる先々で、いろいろな人や事件とめぐり合いながら成長していくのだが、やがてロードス島全体を揺るがすような出来事に、まるで渦に引きよせられた木の葉のごとく、事件の中に巻き込まれていく。

パーンやディードリットなど、前回の主役とその仲間たちも引き続き登場するが、今回の主人公は新たに登場する若き騎士見習いスパークと、人間とエルフの混血であるハーフエルフのリーフだ。そのほかにも魔法使いや戦士、盗賊など、パーティに参加してスパークを助けてくれる仲間が登場する。

―作目のキャスティングはアニメとほぼ同じで、主人公のパーンを草尾毅さん、ディードリットを冬馬由美さんなど、全体的に中堅からベテランの人たちが多かったという印象があった。

2作目ではスパークを太田眞一郎さん、リーフを永島由子さんと、これからの活躍が期待される、比較的若手の声優さんを中心にメインキャストが組まれている。

RPGのいちばんの楽しみは、キャラクターになりきってその世界に入り込んじゃうことだ。画面に文字が表示されるだけよりも、ちゃんと声を出して話しかけられるほうが、何倍も入り込めちゃうのは当たり前だよね。これからRPGをやるんだったら、やっぱり声優さんが声をあててるゲームを選びたいね。

『ロードス島戦記』みたいにアニメと同じキャスティングでやってくれれば、イメージがそのままだからさらにグー（死語）だ！

▲人々の生活がすさんでいるので、こういうやからがうろついている。

その他12月、1月発売予定の主なゲーム

タイトル	対応機種	メーカー	値段	発売日
牙狼伝説SPECIAL	メガドライブ	ビクターエンタテインメント	￥8,800	12月下旬
サムライスピリッツ	メガドライブ	ビクターエンタテインメント	￥8,800	12月下旬
大封神伝	メガドライブ	ビクターエンタテインメント	￥8,800	12月未定
卒業II	PCエンジン	リバーヒルソフト	￥8,800	12月23日
マージャンソード プリンセスクエスト外伝	PCエンジン	ナグザット	未定	12月未定
トラベラーズ！～伝説をぶっ飛ばせ～	PCエンジン	ビクターエンタテインメント	未定	12月未定
ガードエンジェルス（仮）	PCエンジン	フジコム	未定	12月未定
愛・超兄貴	PCエンジン	日本コンピュータシステム	未定	12月未定
メタルエンジェル2	PCエンジン	パック・イン・ビデオ	￥8,900	95年1月下旬
レッスンエンジェルス・ダブルインパクト	PCエンジン	NECホームエレクトロニクス	￥7,800	95年1月下旬
MYST	セガサターン	サンソフト	未定	12月未定
クロックワークナイト ～ペパルーチョの大冒険～	セガサターン	セガ	未定	12月未定
真説・夢見館 扉の奥に誰かが…	セガサターン	セガ	未定	12月未定
新・忍伝	セガサターン	セガ	未定	94年未定
バトルヒート	PC-FX	ハドソン	未定	94年未定
チームイノセント	PC-FX	ハドソン	未定	94年未定
卒業II FX	PC-FX	NECホームエレクトロニクス	未定	94年未定
オーバードライブ（仮）	3DO	EAビクター	￥8,800	12月16日
ツイステッド（仮）	3DO	EAビクター	￥8,800	12月16日
VIRTUAL DRAGON WARS EDGE（仮）	3DO	サラ・インターナショナル	￥8,800	12月上旬
シュトラール	3DO	メディアエンターテイメント	￥8,800	12月上旬
眠れぬ夜の小さなお話	3DO	アミューズ	未定	12月未定
ぽのぐらし	3DO	アミューズ	未定	12月未定

ムードが変わったディードです

ディードソフト 冬馬由美

ゲームの『ロードス島戦記』で前回に続いてディードリットをやらせていただきましたが、今回はディードの性格がちょっと変わりました。パーンに対して対等に構えていたディードが、「私だけを愛していて」という感じの、ちょっと女の子女の子したタイプになってます。今回はパーンとディードは主役ではないので、イメージを変えたのでしょう。

録音のときに絵がないという点では、ゲームの仕事はドラマCDとかラジオドラマと比較的似てますね。私はラジオドラマ等が好きなので、ゲームの声も抵抗なくです。そのせいか、CD-ROMでは私が役をいちばん多くやっているそうです（笑）。

©1994 HUDSON SOFT ©グループSNE/角川書店 ©Humming Bird Soft ©MEDIA WORKS

1994 声優総決算

LIVE& ACTING・CD・BOOK

(パーフェクトディスコグラフ)

1994年の声優のすべての活動がわかってしまう、全仕事リストがこれ。このデータを基にして、今年のファン活動をふり返るのもオツなもの。新しくファンになったあの人のすべてを知っちゃおう

FAREWELL　ごとうしのぶ
￥2,400　AP APCM-5031
新キューティーハニー　Vol.I
￥2,800　CO COCC-11513
シンセファンタジー　セーラームーンR
￥2,800　FM FMCC-5020
ブラスファンタジー　セーラームーンR
￥2,800　FM FMCC-5021
TARAKO＆菊池正美の童謡集　どうぶつ編
￥3,000　CR CRCD-2030～1
TARAKO＆菊池正美の童謡集　四季の唄編
￥3,000　CR CRCD-2032～3
クリスタニア　CDシネマ3
￥3,000　VI VICL-483
魔人英雄伝ワタル　ラジメーションCDシネマ4
￥2,800　VI VICL-8096
ブラスファンタジアII　～宮崎アニメ作品集～
￥2,800　TK TKCA-70299
紺碧の艦隊　オリジナルサウンドトラック
￥2,500　TK TKCA-70300

3月

ダーティーペアFLASH　サウンドトラック
￥3,000　VP VPCG-84219
懐かしのTVマンガ主題歌大全集2　アニメ編2
￥2,500　VP VPCG-84221
サイバーフォーミュラ　ZERO音楽集I
￥3,000　DP DPCX-5028
交響詩　Vガンダム
￥3,000　KI KICA-172
楽しいウイロータウン
￥2,200　KI KICA-176
スラムダンク　オリジナルサウンドトラック
￥2,500　ZA ZACL-1011
VIBIT　水谷優子
￥3,000　TY TYCY-5374
蒼き伝説シュート！　オリジナルサウンドトラック
￥2,800　CO COCC-11494
クリスタニアCDシネマ2
￥3,000　VL VLCL-428
魔人英雄伝ワタル　ラジメーションCDシネマ3
￥2,800　VL VICL-8095
プラスチック・リトル　イメージサウンドトラック
￥2,800　SR SRCL-2823
ぼくの地球を守って　サウンドトラック
￥3,000　VI VICL-446
紺碧の艦隊＃3
￥3,000　TK TKCA-70255
リターン・オブ・サイレント・メビウス
￥3,000　SX SXCR-607
ブラスファンタジア～宮崎アニメ作品集～
￥2,800　TK TKCA-70292
A Ha Ha　三石琴乃
￥2,000　PI PICA-1027
戦―少女［イクサーガール］音楽集
￥3,000　TY TYCY-5373
サイバーフォーミュラ　カラオケIV
￥1,800　DP DPCX-5023
サイバーフォーミュラ　カラオケV
￥1,800　DP DPCX-5024
サイバーフォーミュラ　カラオケVI
￥1,800　DP DPCX-5025

2月

Fairy　天野由梨
￥3,000　VP VPCG-84217
radio days2　冨永みーな
￥3,000　VP VPCG-84220
優美なおさかな　井上喜久子
￥3,000　PC PCCG-00247
WINDOWS　篠原恵美
￥3,000　AP APCM-5029
Mornin'After　深見梨加
￥3,000　AP APCM-5030

声優といえばアニメ。アニメといえば、いちばん僕たちに身近な媒体は、CDというパッケージメディアだ。作品のBGM集や、ドラマアルバムはもとより、カラオケなどの企画ものCDまで完全網羅。そしてもちろん、声優のソロアルバムもしっかりチェック。

まだ手に入れていないCDがあったら、このリストを使って、君のコレクションを完璧にしよう！

1月

アポロンアニメ主題歌ベストセレクション
￥3,000　AP APCM-5028
ジャイアントロボ4　サウンドトラック
￥2,800　CO COCC-11413
ポコニャン！　マジカル・へんぽこりんツアー
￥2,800　CO COCC-11493
ポコニャン！　音楽集

1994声優総決算

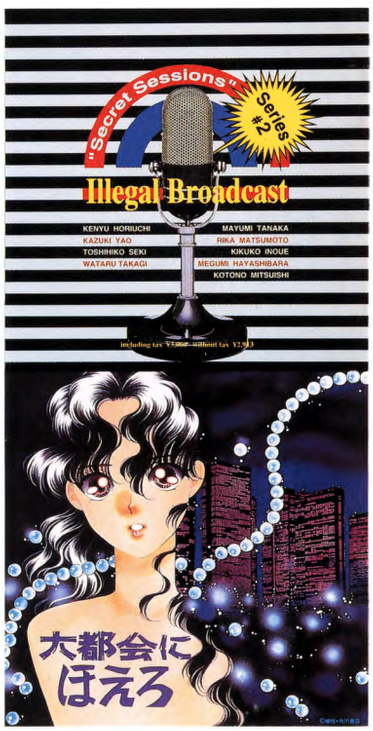
￥2,800　FM FMCC-5022
宇宙の騎士テッカマンブレードII　ネクスト・ジェネレーション
￥2,500　KI KICA-190
赤ずきんチャチャ　聖・まじかるレビューVol.1
￥2,500　KI KICA-191
コンパイラ　音楽美女図鑑
￥2,800　KI KICA-193
MADARA　転生編＃5
￥2,500　PS PSCR-5097
ダーティーペアFLASH　ユリ＆ケイ　天使の休息
￥3,000　VP VPCG-84228
ヤンキー烈風隊　サウンドトラック
￥2,900　WP WPCL-8014
銀河英雄伝説　新たなる戦いの序曲　特別編
￥2,800　KT KTCR-1258
新おしゃれ秘セッション　イリーガル・ブロードキャスト　￥3,000　PI PICA-1033
天地無用！　魎皇鬼　CDスペシャル2
￥3,000　PI PICA-1034
幽遊白書　冥界死闘編　炎の絆　サウンドトラック
￥2,500　TY TYCY-5390

5月

ハミングバード'94夏　トラ・トラ・トラ！
￥2,800　TY TYCY-5391
声優だぁ〜い好き!!　—恋のプロフィール—
￥2,800　MR MRCA-20037
クリスタニア　CDシネマ5
￥3,000　VI VICL-485
ジェノサイバー　サウンドトラックVol.1
￥3,000　AP APCM-5034
銀河戦国群雄伝ライ　サウンドトラック
￥3,000　AP APCM-5035
ファイナルファンタジー　「風の章」「炎の章」サウンドトラック　￥2,800　CO COCC-11741
フォルテ　テレビマンガ大行進
￥2,500　KI KICA-189
宇宙英雄物語　燃える！マイスタージンガー
￥3,000　KI KICA-7009
RHYTHMIX ES CONNEXION
￥2,300　TD TDCT-1029
しましまとらのしまじろう　サウンドトラック
￥2,400　WP WPCL-813
戦—少女［イクサーガール］イクセリオン　第3巻宇宙編　￥2,500　TY TYCY-5372

4月

ドラゴンボールBOX
￥10,000　CO COCC-11547〜51
交響詩　美少女戦士セーラームーンR
￥2,800　CO COCC-11579
デジタル・ドラゴンボール ザ・ワールド
￥2,800　CO COCC-11591
フレンド・スクール・デイズ　折原みと
￥2,800　CO COCC-11590
クリスタニア　サウンドトラックVol.2
￥3,000　VI VICL-518
ぼくの地球を守って　サウンドトラックVol.2
￥3,000　VI VICL-519
勇者警察ジェイデッカー　サウンドトラックVol.2
￥3,000　VI VICL-520
サイレントメビウス　オリジナル・ドラマ・アルバム
￥3,000　SX SCCR-609
KIZUNA—絆—　こだか和麻
￥3,000　TE TCCD-30286
七都市物語　サウンドトラック
￥2,800　SR SRCL-2829
WE LOVE HANNA BARBERA VOL.1
￥2,800　CO COCC-11654
セーラームーンR　愛はエナジー〜乙女の詩集
￥2,800　FM FMCC-5026
劇場版セーラームーンR　ドラマ編
￥2,800　FM FMCC-5027
劇場版　ドラゴンボールZ
￥2,500　FL FLCF-25242
グスコーブドリの伝記　サウンドトラック
￥3,000　TY TYCY-5385
飾らない心のまま　緑川光
￥3,000　TK TKCA-70306
HALF MOOM　緒方恵美
￥3,000　TK TKCA-70342
ああっ　女神さまっ　神のカラオケCD
￥4,800　PC PCCG-00252
幽☆遊☆白書　サウンドトラック2
￥2,500　MR MRCA-20033
テレビアニメ　青春の愛と勇気シリーズ1
￥2,500　CO COCC-11592
テレビアニメ　青春の愛と勇気シリーズ2
￥2,500　CO COCC-11593
テレビアニメ　青春の愛と勇気シリーズ3
￥2,500　CO COCC-11594
テレビアニメ　青春の愛と勇気シリーズ4
￥2,500　CO COCC-11595
テレビアニメ　青春の愛と勇気シリーズ5
￥2,500　CO COCC-11596
セーラームーンR　合唱曲
￥2,800　FM FMCC-5023
ラジオ英雄伝〜青春ラジメニアVS大アニメ博覧会〜
￥3,000　PI PICA-1031
剣勇伝説　YAIBA　サウンドトラックIII
￥3,000　TY TYCY-5388
クリスタニア　CDシネマ4
￥3,000　VI VICL-484
魔人英雄伝ワタル　ラジメーションCDシネマ5
￥2,800　VI VICL-8097
魔人英雄伝ワタル　ラジメーション　サントラ
￥3,000　VI VICL-486
なつきクライシス　サウンドトラック
￥2,800　KI KICA-186
無責任艦長タイラー　ラジオドラマ前編
￥3,800　KI KICA-187〜8
電脳天使コンパイラFX COMPILER WHITE



▶Illegal Broadcast（オムニバス）LDC
◀大都会にほえろ（ドラマ）　シックスティ

▲radio days2（冨永みーな）VAP

▲Tidal Wave（南かおり、吉田古奈美）LDC

¥3,000　FM FMCC-5020
それいけ！あんぱんまん　劇場版サウンドトラック
¥2,800　VP VPCG-84229
―SPHERE―スフィア　林原めぐみ
¥3,000　KI KICS-430
CANON　ごとうしのぶ
¥2,600　AP APCM-5044
ジャングルの王者ターちゃんサウンドトラックVol.2
¥2,800　AP APCM-5046
COTTON COLOR　三石琴乃
¥3,000　PI PICA-1036
平成狸合戦ぽんぽこ　サウンドトラック
¥3,000　TK TKCA-70410
トリックすたあ「くわぁんくわぁん」
¥3,000　AL ALCM-5044
のるかSOULか　大塚明夫＆坂本千夏
¥3,000　AL ALCM-5032
ジェノサイバー　サウンドトラックVol.2
¥3,000　AP APCM-5038
銀河戦国英雄伝ライ　ドラマアルバム
¥3,000　AP APCM-5043
疾風！アイアンリーガー　ボーカルコレクション
¥3,000　AP APCM-5047
万能文化猫娘　宝石箱
¥3,600　KI KICA-203～4
バウンティドッグ　1ST ACT
¥2,500　KI KICA-206
極道くん漫遊記外伝　CDシネマ2
¥3,000　VI VICL-534
覇王大系リューナイト　CDシネマ1
¥2,800　VI VICL-8103
3丁目のタマ　サウンドトラック
¥2,500　SR SRCL-2942
ツヨシしっかりしなさい　サウンドトラック
¥2,800　SR SRCL-2956
新　吸血姫　美夕　西洋神魔編　ドラマアルバム4
¥2,800　PC PCCG-00262
ビデオアニメ　ガッチャマン　サウンドトラック
¥3,000　AP APCM-5041
ママレード・ボーイ　光希のミュージック・モノローグVOL.1　¥3,000　AP APCM-5037
山野さと子　Oldies Collection
¥2,800　CO COCC-11444
新キューティーハニー　ミュージックコレクション Vol.2　¥2,800　CO COCC-11840
魔人英雄伝ワタル3　ヴォーカルコレクション3
¥3,000　VI VICL-517
極道くん漫遊記外伝　CDシネマ1
¥3,000　VI VICL-533
天地無用！　魎皇鬼'
¥2,500　PI PICA-1014
テッカマンブレードII　NEXT GENERATION 2
¥2,500　KI KICA-194
爆れつハンター　ドラマ編#1
¥2,500　KI KICA-201
ドラゴンリーグ　SOUND CUP Second Stage
¥2,500　KI KICA-202
吉岡平WORLD
¥3,000　KI KICA-7010
サイバーフォーミュラ　PICTURELANDII
¥2,500　DP DPCX-5034
さよならがくれたのは…　笠原弘子
¥2,900　WP WPC6-8039
平成狸合戦ぽんぽこ　イメージアルバム
¥3,000　TK TKCA-70399
間の楔　サウンドトラックVol.2
¥3,000　TD TDCA-70399
オーディオ・ドラマ　アーシアン
¥3,000　PI PICA-1037
天地無用！　魎皇鬼CDドラマ編
¥3,000　PI PICA-1040
装甲騎兵ボトムズ　赫奕たる異端　サウンドトラック
¥3,000　TY TYCY-5395

7月

シンセファンタジー　セーラームーンR
¥2,500　FM FMCC-5031
TVアニメ・ヒットソング　カラオケVol.1
¥1,500　NA NACL-1150
TVアニメ・ヒットソング　カラオケVol.2
¥1,500　NA NACL-1151
サイバーフォーミュラ　PICTURELAND I
¥2,500　DP DPCX-5033
恋愛の才能　横山智佐
¥3,000　PI PICA-1035
風のように　冬馬由美
¥2,500　TK TKCA-70308
MINKY MOMO　旅立ちの駅
¥2,800　KI KICA-196
無責任艦長タイラー　MUSIC FILE 6
¥3,800　KI KICA-197～8

6月

世界樹の下で　富沢美智恵
¥2,800　CO COCC-11620
ドラゴンボールZ　ヒット曲集16
¥2,800　CO COCC-11776
美少女戦士セーラームーンS　音楽集
¥2,800　CO COCC-11777
ああっ　女神さまっ　音楽編Vol.2　Super
¥3,000　PC PCCG-00258
naturelle　かないみか
¥3,000　AL ALCA-1003
ラジオマガジン　VOL.1　西村智博
¥2,000　AL ALCA-1004
機動戦士Vガンダム　SCOREIII
¥3,000　KI KICA-175
Bronze cathexis　KOJI NANJO
¥2,000　TY TYCY-5394
真・孔雀王　サウンドトラック
¥2,500　PC PCCG-00260
ライオンキング　サウンドトラック
¥2,800　PC PCCD-00112
ムカムカパラダイス　サウンドアラカルト2

▲EVERYTHING MUST CHANGE　アルファ

▲のるかSOULか　アルファ

▲天地無用！　CDスペシャル　LDC

▲ANASTASIA（白鳥由里）VAP

▲SPHERE（林原めぐみ）キング

1994声優総決算

¥3,000　VI VICL-530

9月

EQUUS　冬馬由美
¥3,000　VP VPCG-84231
東映VアニメBAD BOYS 2　サウンドトラック
¥2,800　CO COCC-11926
BLUE SEED　国土管理室宴会記念号
¥3,000　KI KICA-214
Liaison　速水奨
¥3,000　SR SRCL-2968
ただいま　井上喜久子
¥3,000　PC PCCG-11926
オリジナル版　懐かしのアニメソング大全Vol. 1
¥2,000　TO TOCT-8513
オリジナル版　懐かしのアニメソング大全Vol. 2
¥2,000　TO TOCT-8514
オリジナル版　懐かしのアニメソング大全Vol. 3
¥2,000　TO TOCT-8515
オリジナル版　懐かしのアニメソング大全Vol. 4
¥2,000　TO TOCT-8516
ママレード・ボーイVol. 3　ママレード・ヴォイス
¥3,000　AP APCM-5040
La Venus　深見梨加
¥3,000　AP APCM-5049
STREET　篠原恵美
¥3,000　AP APCM-5050
極道くん漫遊記外伝　サウンドトラック
¥3,000　VI VICL-536
メタルファイターMIKU　サウンドトラック
¥3,000　VI VICL-5050
菊池通隆セレクションアルバム 1
¥2,500　VI VICL-5248
菊池通隆セレクションアルバム 2
¥2,500　VI VICL-5249
覇王大系リューナイト　CDシネマ 2
¥2,800　VI VICL-8104
七つの海のティコ　ミュージックコレクション
¥2,800　FM FMCC-5036
七つの海のティコ　ドラマ編
¥2,800　FM FMCC-5037
東映動画魔法少女アニメ全集
¥5,000　CO COCC-11856〜6
おさかなはあみの中　サウンドトラック
¥3,000　TE TECD-30298
Shiena　椎名へきる
¥2,800　SR SRCL-2939
覇王大系リューナイト　サウンドトラックVOL. 1
¥3,000　VI VICL-523
極道くん漫遊記外伝　CDシネマ 3
¥3,000　VI VICL-535
トップをねらえ！　響続覧
¥7,500　VI VICL-40107〜9
GS美神　極楽大作戦
¥3,000　KI KICA-211
魔物ハンター妖子　Doing My Best
¥3,000　KI KICA-212
爆れつハンター　WhipII
¥2,500　KI KICA-213
ラジオマガジンVol. 2　鈴置洋孝＆岡本麻弥
¥2,000　AL ALCA-5004
EVERYTHING MUST CHANGE　八尾一樹
¥3,000　AL ALCA-5005
TAU　草尾毅
¥3,000　TY TYCY-5396
青空少女隊　ドラマアルバム I
¥4,200　BV BVCH-3105〜6
らんま 1/2　超無差別決戦！　電影対映像　音楽編
¥2,500　KT KTCR-1269
サイバーフォーミュラ　PICTURELANDIII
¥2,500　DP DPCX-5035
幽幻怪社　音楽編
¥3,000　PI PICA-1044
T"IDAL WAVE　南かおり＆吉田古奈美
¥2,500　PI PICA-1046
イ・リ・ア　ZEIRAM THE ANIMATION　サントラ
¥2,800　CO COCC-11851
とってもラッキーマン　ヒット曲集
¥2,800　CO COCC-11854
ファイナルファンタジー　「竜の章」「星の章」
¥2,800　CO COCC-11873
サクスハナの曳航　山本正之
¥2,000　PI PICA-1041
クレヨンしんちゃん　Vol. 2
¥2,900　WP WOC 6 -8046
Hmmm…　小山裕香
¥2,500　TK TKCA-70449
隣のトトロBOX
¥3,900　TK TKCA-70340

8月

七つの海のティコ　ソングコレクション
¥2,500　FM FMCC-5033
劇場版ドラゴンボールZ MUSIC COLLECTION
¥2,800　FM FMCC-5035
サイバーフォーミュラ　ZERO音楽集II
¥3,000　DP DPCX-5024
ANASTASIA　白鳥由里
¥3,000　VP VPCG-84230
レッドバロン　サウンドトラック
¥2,800　VP VPCG-84232
國府田マリ子のRadio Canvas Vol. 1
¥2,800　KI KICA-7643
幽遊白書　ミュージックバトル編VOL. 2
¥3,000　MR MRCA-20042
JoJoの奇妙な冒険　サウンドトラック
¥2,800　MR MRCA-20043
機動武闘伝Gガンダム　GUNDUM FIGHT ROUND 1&2
¥3,900　KI KICA-207〜8
ママレード・ボーイVol. 2　メッセージ　愛する人へ
¥3,000　AP APCM-5039
アニメソングベストコレクション
¥2,800　AP APCM-5051
ドラゴンボールZ　ドラマ編

▲FAIRY（天野由梨）VAP

▲恋愛の才能（横山智佐）LDC

▼あなたがここにいてほしい（玉川紗己子）アルファ

▶トリックすたあ「くわぁんくわぁん」（オムニバス）アルファ

¥7,500　FM FMCC-5045～6
マクロス　プラス　サウンドトラック
¥3,000　VI VICL-570
RIOT イメージアルバム　士貴智志
¥3,000　VI VICL-582
PANDRA DISK-SILENT MOBIUS MEMORIAL BEST
¥3,000　SX SXCR-614
とんでぶーりん　音楽集
¥2,800　CO COCC-11986
青空少女隊　ドラマアルバム3
¥4,200　BV BVCH-3109～10
ディズニー　ブラスコレクション
¥2,500　PC PCCW-00070

11月

誕生～Debut～ドラマティック・コレクションACT.1
¥2,500　SR SRCL-2979
南国少年パプワくん　DX-2
¥3,800　CO COCC-11991～2
WE LOVE HANNA BARBERA Vol.2
¥2,800　CO COCC-12065
ジャンプスーパーアニメ　キャプテン翼
¥3,000　TY TYCY-5404
忍空　サウンドトラック
¥2,800　MR MRCA-20049
めぞん一刻　ベストセレクション
¥2,500　KT KTCR-1304
めぞん一刻　コンプリートミュージックボックス
¥15,000　KT KTCR-9010～17
HEAVEN'S DOOR　森川智之&HEAVEN'S DOOR
¥3,000　VP VPCG-84233
ルパン三世　ミュージックファイルBOX
¥20,600　VP VPCG-84234～43
銀河お嬢様伝説ユナ～ユナの一番長い日
¥3,000　KI KICA-218
OAV　戦一少女［イクサーガール］イクセリオン　サウンドトラック　¥3,000　TY TYCY-5405
幽☆遊☆白書　熱唱編II
¥2,500　TK TKCA-70489
平成狸合戦ぽんぽこ　ドラマアルバム
¥3,800　TK TKCA-70490
こちらポーラースター旅行社です
¥2,800　TO TOCT-8563
逮捕しちゃうぞ　Natsumi file
¥2,000　VI VICL-2137
逮捕しちゃうぞ　Miyuki file
¥2,000　VI VICL-2138
ハミングバード　That's musical
¥2,500　TY TYCY-5398
アーシアン　COMPLETE VOCAL COLLECTION
¥3,000　TY TYCY-5399
チキチキアニメ日本語版主題歌大全集
¥3,600　TO TOCT-8498～9

10月

精霊使い　mega D style　岡崎武士
¥3,200　SR SRCL-3009
誕生　ヴォーカルコレクション
¥2,200　SR SRCL-2978
ジャイアントロボ5　サウンドトラック
¥2,800　CO COCC-11982
アンパンマン　ベスト
¥2,500　VP VPCG-84244
ルパン三世　燃えよ斬鉄剣　サウンドトラック
¥2,500　VP VPCG-84254
Ever Blue～風のかたち～　岡本麻弥
¥3,000　AL ALCA-5013
ヴォイス・アクターズ・パーティー　クリスマス'94
¥3,000　AL AOCA-5014
ダークサイドブルース　サウンドトラック
¥3,000　TY TYCY-5402
テッカマンブレード2　NEVER SAY, NEVER AGAIN
¥2,800　KI KICA-195
爆れつハンター　WhipIII
¥2,500　KI KICA-217
名作アニメ　主題歌大全集
¥2,800　FM FMCC-5038
セーラームーンS　声優アルバム
¥2,800　FM FMCC-5039
エキサイティングブラス　セーラームーン
¥2,800　FM FMCC-5039
ドラゴンボールZ　合唱組曲
¥2,800　FM FMCC-5041
セーラームーンS　合唱組曲
¥2,800　FM FMCC-5024
とっても！ラッキーマン　音楽集
¥2,800　CO COCC-11952
無責任艦長タイラー特別編　MUSIC FILE7
¥3,000　KI KICA-215
バウンティドッグ　2nd ACT
¥2,500　KI KICA-209
あなたがここにいてほしい　玉川紗己子
¥3,000　AP APCA-5009
ラジオマガジンVol.3　二又一成＆島本須美
¥2,000　AP APCA-5010
ミニ・ベスト　横山智佐
¥1,800　ME MECH-18001
ミニ・ベスト　富沢美智恵
¥1,800　ME MECH-18002
鬼切丸　サウンドトラック
¥2,800　MR MRCA-20047
merry fish MUSIC & PHOTO BOOK
¥2,000　PC PCCG-00271
新　吸血姫　美夕　西洋神魔編　ドラマアルバム5
¥2,800　PC PCCG-00272
青空少女隊　ドラマアルバム2
¥4,200　BV BVCH-3107～8
天地無用！　魎皇鬼　音楽編　其の三
¥3,000　PI PICA-1043
アーシアン　オーディオ・ドラマII
¥3,000　PI PICA-1047
ベルサイユのばら　薔薇は美しく散る
¥3,800　KT KTCR-1286
空のあしあと　置鮎龍太郎

◀ラジオ英雄伝（吉田古奈美ほか）　LDC
▲幽幻怪社　音楽編　LDC

▼Fantasy（久川　綾）徳間ジャパン

▼Shiena（椎名へきる）ソニーレコード

1994声優総決算

¥3,000　AP 品番未定
遠藤一美　1st　ミニアルバム
¥2,000　ME MECP-20001
バウンティドッグ　サウンドトラック
¥2,800　KI KICA-210
アーシアン　オーディオドラマIII
¥3,000　PI 品番未定
愛を歌う　草尾毅
¥3,000　TY TYCY-5415
青春の光と影　草尾毅
¥3,000　TY TYCY-5416
高野麗　ソロアルバム
¥3,000　AL ALCA-5025
ラジオマガジンVol.5　小杉十郎太＆松本梨香
¥2,000　AL ALCA-5026

データの見方

CDのデータは次のように並んでいます。
タイトル　アーティスト名　価格（税込み）　メーカー略号　品番。

メーカーの略号は次の通り。

AP／アポロン　CO／コロムビア　VI／ビクターエンタテインメント　SR／ソニーレコード　TK／徳間ジャパン・コミュニケーションズ　SX／シックスティー・ミュージック・ネットワーク　PI／パイオニアLDC　TY／東芝EMI（ユーメックス）　DP／データム・ポリスター　VP／バップ　PC／ポニーキャニオン　FM／フォルテミュージック　CR／クラウン　KI／キング　ZA／ツァイン　FL／フォーライフ　MR／メディア・レモラス　TD／TDKレコード　WP／ワーナーミュージック　TE／テイチク　PS／ポリスター　NA／NECアベニュー　AL／アルファ・ミュージック　TO／東芝EMI　ME／メルダック　BV／BMGビクター　KT／キティ

11月以降のデータは制作工程上の関係で作品タイトルなどが変更されることがあります。

¥3,000　KI KICA-7647
風の贈りもの　島本須美
¥3,000　AL ALCA-5019
Fantasy　久川　綾
¥2,500　TK TKCA-70532
天地無用！　魎皇鬼　ベストアルバム
¥3,000　PI PICA-1049

12月

誕生〜Debut〜ドラマティック・コレクション　ACT.2
¥2,500　SR SRCL-2980
流星皇子TOMMY
¥3,000　SR SRCL-3046
とんでぶーりん　ヒット曲集
¥2,800　CO COCC-12098
BLUE SEED　サウンドトラック
¥3,000　KI KICA-226
うる星やつら　ラムのベストセレクションII
¥2,500　KT 品番未定
うる星やつら　コンプリートミュージックコレクション　¥27,000　KT 品番未定
エンジェル・パイロット　草地章江
¥2,500　TY TYCY-5411
MADRIGAL　笠原弘子
¥3,000　PI PICA-1052
極道くん漫遊記外伝　極道ナイトライブ
¥3,000　VI 品番未定
聖刻覇伝　ラシュオーンの嵐
¥3,000　VI VICL-601
ロードス島戦記　風と炎の魔人
¥3,000　VI VICL-620
クリス・クロス　CDシネマII
¥3,000　VI 品番未定
クリス・クロス　サウンドトラック
価格未定　VI 品番未定
青空少女隊　サウンドトラック
価格未定　BV 品番未定
MARS　音楽集

¥3,500　MR 品番未定
JoJoの奇妙な冒険　サウンドトラック　Vol.3
¥2,800　MR 品番未定
らんま1／2　Doco Second
¥2,000　PC PCCG-00301
Breath of air　日髙のり子
¥3,000　ME MECP-30024
疾風！　アイアンリーガー　音楽＆ヴォーカル集
¥3,000　AP APCM-5053
VOICES　富沢美智恵
¥2,000　CO COCC-11987
異次元童話　宇宙皇子IX〜煉獄編〜
¥2,800　CO COCC-12110
BIG-BOX　美少女戦士セーラームーン
¥2,300　FM FMZX-1
BIG-BOX　ドラゴンボールZ
¥2,300　FM FMZX-2
BIG-BOX　白鳥の湖
¥2,300　FM FMZX-3
BIG-BOX　森は生きている
¥2,300　FM FMZX-4
勇者警察ジェイデッカー　ドラマアルバム
¥3,000　VI VICL-563
姫ちゃんのリボン　CDシネマ2
¥3,000　VI VICL-599
RONDO A・chi—A・chi
¥3,000　VI VICL-607
クリス・クロス　CDシネマI
¥3,000　VI VICL-609
ぼくの地球を守って　サウンドトラック　Vol.3
¥2,500　VI VICL-5260
ラジオマガジンVOL.4　松野太紀＆平松晶子
¥2,000　AL ALCA-5020
赤ずきんチャチャ　Vol.2
¥3,000　KI KICA-216
機動武闘伝Gガンダム　香港編
¥3,000　KI KICA-221
Pure　國府田マリ子

▶COTTON COLOUR（三石琴乃）LDC
◀EQUUS（冬馬由美）VAP
▲HEAVEN'S DOOR（森川智之）VAP

▶RETURN OF THE SILENT MÖBIUS（サウンドトラック）シックスティ

MIX"GIGA"」高山みなみwithESコネクション
(高山みなみ、他)
28日　東京「HEAVENS・DOORライブ」(森川智之)
29日　東京「SOMETHING DEAMS94(夏まつり)」
(冨永みーな、松野太紀、他)
29日～9月8日　東京「はるなつあきふゆ」(高木　均、他)
【9月】
11日　北海道「TAUツアー94」(草尾　毅)
15日　愛知「TAUツアー94」(草尾　毅)
17日　東京「CHIPS LIVE 9」
(古川登志夫、他)
17日～19日　東京「LIVE A COMBINATION」(中尾隆聖、戸田恵子、他)
25日　東京「TAUツアー94」(草尾　毅)
【10月】
1日～2日　東京「笠原弘子コンサート」(笠原弘子)
2日　山形「TAUツアー94」(草尾　毅)
8日　千葉「赤毛のアン」朝倉薫演劇団(桜井智、他)
9日　福岡「TAUツアー94」(草尾　毅)
10日　大阪「TAUツアー94」(草尾　毅)
12日～16日　東京「THE NEWS PADER PART40」(神谷明、他)
12日～17日　東京「笹塚一丁目、雀荘〝大三元〟の素晴らしき憂鬱」劇団七曜日(田中真弓、他)
20日　福岡「九州工大アニメまつり94・國府田マリ子コンサート」(國府田マリ子)
27日～29日　東京「劇団フリーアトム旗揚げ公演～限りなく女を亡くす水面の鏡」劇団フリーアトム(鈴木真仁、他)
28日～29日　大分「94TOUR NICE TO MEET YOU」
スリル&チャンス(渡辺菜生子、他)
29日　横浜「アルプスの少女ハイジとクララ」
朝倉薫演劇団(桜井　智、他)
30日　東京「笠原弘子コンサート」(笠原弘子)
【11月】
2日～3日　大阪「心ある2つの話と機械のいる風景の2つの話」「94TOUR NICE TO MEET YOU」スリル&チャンス(渡辺菜生子、他)
3日　東京「早稲田大学学祭・白鳥由里オンステージ」(白鳥由里)
3日～6日　東京「息子」(納谷六朗、他)
3日～6日　東京「スパイ大作戦」81ドラマティックカンパニー(中尾隆聖、弘中くみ子、関俊彦、中村大樹、柴本浩行、津久井教生、堀本　等、目黒裕一、他)
5日～13日　東京「森からきたカーニバル」(高木　均、他)
8日～13日　大阪「ブラックコメディ」(戸田恵子、他)
12日～21日　東京「阿Q外伝」(大塚明夫、安井邦彦、他)
22日～26日　東京「ザ・ウインズ・オブ・ゴッド」
81ドラマティックカンパニー(小杉十郎太、中尾隆聖、関俊彦、津久井教生、堀本等、安達忍、鈴木明子、他)
【7月】
1日～3日　大阪「ザ・ウインズ・オブ・ゴッド」
81ドラマティックカンパニー(小杉十郎太、他)
4日～10日　東京「男のなかの男」テアトル・エコー
(勝生真沙子、他)
5日～10日　東京「沈まない船」朝倉薫演劇団
(桜井　智、山形ユキオ、他)
11日～14日　東京「恋はコソッと」おっ、べれったカンパニー(田中真弓、竹田えり、柴本浩行、他)
15日～24日　東京「ザ・龍　たひこの夢」劇団急旋回
(冨永みーな、松野太紀、他)
18日～24日　東京「恋はコソッと」おっ、べれったカンパニー(田中真弓、竹田えり、柴本浩行、他)
24日　大阪「FRAGRANCE ACT.2 IN OSAKA」(速水奨)
27日～8月4日　東京「ギヤマンの仮面～第二篇〝月下の嵐〟　完結篇〝宿命の対決〟」劇団21世紀FOX
(山口勝平、他)
28日　静岡「恋はコソッと」おっ、べれったカンパニー(田中真弓、竹田えり、他)
30日～31日　東京「ESコネクションLIVE SF 1994～RHYTHMIX "MAX"」高山みなみwithESコネクション
(高山みなみ、他)
【8月】
13日～14日　東京「和彦&望のプライベートヒーローズ2」
(井上和彦、佐々木望)
16日～28日　東京「ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ」テアトル・エコー(納谷悟朗、他)
20日　大阪「和彦&望のプライベートヒーローズ2」
(井上和彦、佐々木望)
20日　京都「日髙のり子LIVE」(日髙のり子)
21日　名古屋「和彦&望のプライベートヒーローズ2」(井上和彦、佐々木望)
21日　大阪「日髙のり子LIVE」(日髙のり子)
24日　東京「日髙のり子LIVE」(日髙のり子)
24日　東京「ラブレターズ」(戸田恵子、他)
24日～28日　東京「夏の夜の夢」チャボっ子倶楽部
(緒方恵美、桧山修之、天野由梨、平松晶子、高木渉、山崎和佳奈、大谷育江、田中一成、川津泰彦、他)
27日～28日　東京「バーストマンの10年を考える2日間～眉毛～」バーストマン(千葉繁、くじら、豊島まさみ、伊崎寿克、他)
28日　東京「ESコネクションLIVE SF 1994～RHYTH

▼森川智之さんのライブ(8月28日)は迫力満点！

LIVE&ACTING

各アニメで活躍中の声優たちも、アニメ以外の仕事もいろいろしているのはもう知っていると思うけど、ライブや芝居で活躍している人も多い。そこで、今年行われたライブと芝居を紹介しよう!!

【1月】
21日～23日　東京「しゃちほこSTARDUST」俳協
(鈴置洋孝、杉山佳寿子、他)
22日　東京「TOPIO LIVE10」(古川登志夫、他)
【2月】
11日　東京「アイドルカーニバル」(桜井　智、他)
19日　東京「CHIPS LIVE 7」
(古川登志夫、他)
【3月】
16日～21日　東京「Sukoshi Fushigiもの語り・Ⅱ～あたらしき　みどりの日々～」劇団21世紀FOX
(山口勝平、肝付兼太、他)
18日～21日　東京「河の向こうで人が呼ぶ」
劇団あかべら倶楽部(高木　渉、他)
19日～27日　東京「テレスコープ～彷徨篇～」劇団青杜
(古川登志夫、他)
20日　東京「ポケットの中のひみつⅡ」(皆口裕子)
21日～27日　東京「ハートのエースが出てこなぁい！」
アトリエいっぽん木(伊倉一寿、田中真弓、他)
23日～28日　東京「THE DOOR」トリックすたあ
(山寺宏一、かないみか、くじら、他)
26日～27日　名古屋「Sukoshi Fushigiもの語り・Ⅱ～あたらしき　みどりの日々～」劇団21世紀FOX
(山口勝平、肝付兼太、他)
27日　東京「ES　CONNEXION　LIVE～MEETING　on "RHYTHMIX"～」高山みなみwithESコネクション(高山みなみ、他)
29日・31日　東京「SOMETHING DREAMS 94 NEXT GENERATION」
(冨永みーな、金丸淳一、緑川光、笠原弘子、椎名へきる、天野由梨、松本梨香、松野太紀、他)
【4月】
1日～3日　大阪「Sukoshi Fushigiもの語り・Ⅱ～あたらしき　みどりの日々～」劇団21世紀FOX
(山口勝平、肝付兼太、他)
1日～8日　東京「正しい殺し方教えます」
テアトル・エコー(納谷悟朗、他)
6日～9日　東京「Play A Song VOL.2」(柴田秀勝、杉山佳寿子、中友子、江川央生、冨永みーな、松野太紀、他)
13日～17日　東京「黄泉路より炎のごとく」劇舎バーストマン(佐々木誠人、石原慎一、くじら、他)
16日～52日　東京「麗しのキメラ・嘆きのキメラ」
NAGEKI　VERSION(高乃　麗)
22日～25日　東京「天国より高いとこいこうよ」
(TARAKO、他)
【5月】
4日　横浜「LIPPERS　LIVE」(林　延年、田中一成)
15日　東京「ハミング・バード」(玉川紗己子、天野由梨、三石琴乃、草地章江、椎名へきる)
28日　名古屋「ハミング・バード」(玉川紗己子、天野由梨、三石琴乃、草地章江、椎名へきる)
29日　大阪「ハミング・バード」(玉川紗己子、天野由梨、三石琴乃、草地章江、椎名へきる)
【6月】
10日～12日　東京「開け!!ゴマ～」(難波圭一、菅谷勇、松井摩味、大塚端恵、他)

1994 声優総決算

▶古川登志夫さんの主宰する劇団青杜には、常連のファンがたくさんいる。今年の芝居も大好評だった

▲今年で2回目という井上和彦さんと佐々木望さんジョイントイベントは大好評だ

▶チャボっ子倶楽部は人気声優ばかりのグループ。チケットが売り切れても、問い合わせが多くあったそうだ

9日～13日　東京「三月ウサギ」バーストマン（千葉繁、石原慎一、立木文彦、佐々木誠人、くじら、佐々木菜摘、伊崎寿克、豊島まさみ、他）
11日～27日　東京「ミュージカル　魅惑の宵」（岸田智、松本梨香、他）
13日～15日　東京「クレシェンド」（伊藤美紀）
15日　青森「94TOOR NICE TO MEET YOU」スリル＆チャンス（渡辺菜生子、他）
15日～17日　京都「ブラックコメディ」（戸田恵子、他）
17日　青森「94TOOR NICE TO MEET YOU」スリル＆チャンス（渡辺菜生子、他）
19日　青森「94TOOR NICETO MEET YOU」スリル＆チャンス（渡辺菜生子、他）
19日～27日　東京「想稿・銀河鉄道の夜」劇団21世紀FOX（山口勝平、他）
20日　東京「森川智之アルバム記念ライブ」（森川智之）
22日～23日　北海道「94TOUR NICE TO MEET YOU」スリル＆チャンス（渡辺菜生子、他）
23日～30日　東京「怪盗三日月丸」劇団青杜（古川登志夫、他）
28日～12月20日　東京「ブラックコメディ」（戸田恵子、他）

【12月】
2日～4日　名古屋「笠原弘子コンサート」（笠原弘子）
4日　東京「TAUツアー94」（草尾　毅）
4日　東京「菊池正美ライブ」（菊池正美）
4日　東京「TARAKOライブ」（TARAKO）
9日～18日　東京「ザ・弥次喜多Ⅱ」岸野組(岸野幸正、塩屋浩三、藤田淑子、大倉正章、鉄砲塚葉子、林理絵、他）
9日～29日　東京「赤ずきんチャチャ」（桜井　智、冨永みーな、他）
10日　東京「笠原弘子コンサート」（笠原弘子）
11日　東京「ESC LIVE FESTIVAL X　mas Grooves 1994」高山みなみwithESCコネクション（高山みなみ、佐久間レイ、小林優子、他）
18日　東京「インサークル　TOSHIO　フェス」（古川登志夫）
22日　川崎「AYA　クリスマス&ニューイヤー・ライブ from 94 to 95」（久川　綾）
25日　東京「X'mas LIVE '94VOICE」（富沢美智恵）

ルパンに会いたくて
／横山智佐
主婦の友社　1200円　横山智佐が自分の修業時代や、日々思っていることについて書きつづったエッセイ集

『声優シンデレラ』は、なんと声優界初の小説！「声優になりたい女の子が主人公のお話です。最初、声優になるにはという本の話があったとき、自分で書いてみたらと、勧められて、小説を書いてしまいました。去年の暮れに書き始め、4月に出版されました。すべてを事実としてではなく、フィクションとノンフィクションの両方を楽しんでください」とは作家・水谷先生のお言葉。

声優シンデラ／水谷優子
集英社　コバルト文庫　420円。17歳の女子高生、水沢ゆかが主人公。なんと母上は声優界の重鎮という設定

声優シンデレラ～デビュー編～
／水谷優子
集英社　コバルト文庫（12月2日発売）主人公・ゆかがいよいよ声優としてデビュー。ゆかの恋の行方にも注目

声優の活躍の場は、書籍の場にまで広がっている。その昔も、執筆活動を行う声優がいないわけではなかったが、それは「HOW to 声優」ともいうべき本がほとんどだった。だが、最近はエッセイはいうに及ばず、小説なども書かれているのだ。新たに文筆活動にもその才能を発揮する、声優たちの今年の著作を上げてみた。

想像の翼を広げて
／小山茉美
ブラス出版　1200円　豊田有恒や荒俣宏などとのSF対談集

不思議って好きですか?
／小山茉美
ブラス出版　1500円　精神世界などをテーマにした、心のパワーアップ対談集

「夢を現実化する人間の想像力をテーマに、不思議界の達人たちと熱く語りあった、ＰＣＭラジオ番組を書籍化したもの。科学で割り切れない不思議について、自分の身近な出来事として取り入れている人たちとの対談集です」と小山さん。

みんな声優になりたかった
／神谷　明
主婦の友社　1500円　神谷明と25人の声優たちの対談集

きみも声優になれる
／神谷　明
主婦の友社　1300円　声優になるための方法や演技のテクニック等を実践的にアドバイス

'95年総占い

'95年この星座がBest3▼

ホロスコープを見るとき、幸運は木星の角度を見ます。そして障害は土星の角度で調べます。'94年、幸運をもたらす星、木星は蠍座を運行し、蠍座は12年に1度の大幸運期を迎えました。そして'95年、木星は射手座に移り、射手座は12年に1度の大幸運期に突入！　と思いきや、障害の星、土星の悪影響を受け、期待どおりにはならず。'95年幸運星座No.1は、牡羊座と獅子座、No.3が射手座となりそうです（No.2は、ありません）。

潘恵子のホロスコープ

『美少女戦士セーラームーンS』のルナでおなじみ、潘恵子さんが、'95年のあなたの星の運命をズバリ、占います!!

火 星サインの星座

♈ 牡羊座 (3/21~4/19)

●トータル運
幸運の星、木星が好角度で進行していく'95年は、牡羊座にとって6年に1度の幸運期となります。数々の障害、ミスはありながらも〝一等賞〟をとることが、できそうです。2月・5月の上旬、11月の下旬に、大ラッキー・チャンスが到来し、海外での成功運が大!!

●ラブ運
久々に、ストレートな愛を表現できる1年。ハートのボルテージは上がりっぱなし。結婚運あり！

●マネー運
好調です。定収入に加え、臨時収入があります。専門知識を身につけたい人、そのための出費は吉。

●仕事・学業運
持ち前のチャレンジ精神で、難関を突破できるとき。体力は十分なので精神面の強化に努めましょう。

地 星サインの星座

♉ 牡牛座 (4/20~5/20)

●トータル運
穏やかな日々を望む、牡牛座にとっては酷な1年です。'95年は自分の意思とは全く関係のないところで動いてしまいます。たとえば、人の失敗や不幸があなたをラッキーにしたり、大切にしていた友人関係が他人の嫉妬により、崩れたり……。流動運は体力でカバー！

●ラブ運
相思相愛は夢で終わりそうです。'95年に出会う相手とはシークレット・ラブ関係が続き、不安定ぎみ。

●マネー運
月々の収支に大きな変動はなさそうです。しかし、近親者の不幸によって、遺産等が入る暗示あり。

●仕事・学業運
対人関係・パートナーによって大きく左右されます。誠実であれば、バック・アップが得られそう。

風 星サインの星座

♊ 双子座 (5/21~6/21)

●トータル運
'94年は試練の多い年でした。そこで'95年こそ！　と期待してしまいがちですが、'95年も横ばいの運勢です。しかし、木星の影響で対人運が好転するので、希望は捨てないでください。友人の友人がキー・ポイント！　友達の輪が拡大する分だけ、運気も少しずつ上昇しそう。

●ラブ運
相手に上手にリードしてもらいましょう。'95年は受け身の姿勢でいるほうがラッキー。謙虚さが吉。

●マネー運
入ってきたものは必ず出ていく、プラマイ・ゼロの金運です。カードの使用は最小限にしておいて！

●仕事・学業運
引っ越し、転校、転職等、環境が大きく変化しそうです。精神疲労はあるものの、新鮮さでカバー。

水 星サインの星座

♋ 蟹座 (6/22~7/22)

●トータル運
華やかさには欠けますが、安定した1年となります。先へ進むことより、今までやり残してきたことをクリアして、地盤固めに精を出してください。また日々の生活は健康から、ということで、持病、歯科の治療にとても良い時。けっして、宗教等には頼らないこと！

●ラブ運
'94年に比べて、出会いの機会はグーンと減少します。大胆なアプローチ、電撃愛はマイナスに作用。

●マネー運
他力本願傾向にあります。お金は自分で働いて稼ぐもの。人をあてにした分、詐欺・盗難の恐れも。

●仕事・学業運
コツコツ努力をする人には好調な年。多くを望まず、高望みさえしなければ、就職も試験も大丈夫。

PROFILE

◆潘恵子

多数のテレビアニメ、洋画の吹き替え、ナレーションなどでおなじみの潘さんは、実は占星術師としても有名。
各種雑誌のほかに、現在、銀座コアの館内案内に、毎月の運勢を掲載中。
主な出演作品／『サザエさん』『女王陛下のプティ・アンジェ』『トム・ソーヤの冒険』『新竹取物語1000年女王』『機動戦士ガンダム』『愛の若草物語』『聖闘士星矢』『美少女戦士セーラームーンS』(以上テレビアニメ)。『銀河英雄伝説』『帝都物語』(以上OAV)。
著書／『愛情星占い』(角川書店文庫)、『星空の夢』(朝日ソノラマ)。
4月5日生まれの牡羊座。

獅子座 (7/23〜8/22)

●トータル運
霧が晴れたように、目の前がパーッと明るく開かれる一年です。木星の大きなバック・アップを受けて、あなたの才能、実力が120パーセント発揮できそうです。名誉、名声もほしいまま、といったところです。すべて、あなたのやる気と体力にかかっている'95年。

●ラブ運
人気運が絶頂に達します。友情・愛情を一人占め！　しかしプレイ志向に走ると、本命は他人の手に。

●マネー運
トータル運を良くも悪くもしてしまう、マネー運。カードローンが過ぎると、'96年に大きなツケが。

●仕事・学業運
独創性が光ります。学生は芸術方面、社会人は芸能・企画・制作方面に進むと、サクセスチャンス大。

乙女座 (8/23〜9/22)

●トータル運
土星の影響でシビアな年になりそうです。対人運は下降ぎみで、思うように世渡りができません。また、現状維持もままならぬ、辛い日々を送りそうです。ただし、その中で家庭運だけは良好で、家族のいる幸せや家族愛を痛感することでしょう。事故・ケガに注意。

●ラブ運
ゴール・インは目の前……と安心したとたんに、破局！　熱々カップルほど危ない年。新しい出会い凶。

●マネー運
大きな収入は見込めません。また、予定の入金も遅れがち。金運は低迷！　リサイクルで乗り切って。

●仕事・学業運
上司・先生との衝突が激化し、退職・退学を強いられる暗示。謙虚な言動で最悪事態を回避して吉。

天秤座 (9/23〜10/23)

●トータル運
昨年の不調から脱して、楽しみの増える一年となりそうです。体調が今ひとつということもあって、大きな冒険はできませんが、レジャーや習い事から、新しい人間関係や環境が生まれそう。あちこちと忙しく飛び回るより、余裕ある日々を満喫して過ごすとハッピー！

●ラブ運
好調。さまざまなジャンルの人たちと出会えて、恋が芽ばえそう。ハートと知識が潤う一年です。

●マネー運
親しい仲でもお金の貸し借りは凶！　貸したお金は戻ってきません。楽しみに使うお金はメリットに。

●仕事・学業運
本業は安定してきそう。アルバイトや雑用によって、人気運・金運が上昇！　地味でも着実性が大切。

蠍座 (10/24〜11/22)

●トータル運
'94年は華やかな表舞台に立って、ちょっと恥ずかしかった蠍座です。'95年は12年に一度の幸運が去った後の余韻を楽しんでください。豊作の後の稲刈りといったところ。広がるだけ広がった仕事内容と対人関係等を整理して、自分に合ったライフスタイルを生みだそう。

●ラブ運
'94年にひき続き絶好調！　とはいっても、新しい出会いはありません。今の愛を本物にするチャンス。

●マネー運
お金は貯金するか、自分のためにだけ使う蠍座。'94年に儲けた分は'95年中に仲間に還元すると、大吉。

●仕事・学業運
同僚・友人と信頼関係が深まり、仕事・学業は好調に運びます。できれば縁の下の力持ちに徹して吉。

射手座 (11/23〜12/21)

●トータル運
12年に一度の大幸運期到来！　と手放しで喜べない'95年。土星の悪影響を受け、せっかくの大幸運も半減し、波乱万丈の一年となりそうです。射手座は"弓を射る人"からきているので、困難の中でも目標に向かって、突進していくタフな心身が、キー・ポイント。

●ラブ運
トータル運と同様、別れと出会いが交錯しそう。本人同士の意思よりも両家の意思が尊重されそう。

●マネー運
大きく入ってきます。しかし、引っ越しや、冠婚葬祭で、大金はあなたのおサイフを素通りしそう。

●仕事・学業運
'94年の延長のまま頂点を極めたいところですが、障害は多々ありそう。精神力と体力で乗り切って。

山羊座 (12/22〜1/19)

●トータル運
土星を守護星に持つ山羊座はどんな試練をも、自力で乗り越えられる強い運の持ち主といわれてきました。しかし、'94年のトラブルが尾を引き、今年は、その後始末に追われることでしょう。名誉名声欲、物質欲を捨て、精神世界に傾倒することで、心身ともに安定しそう。

●ラブ運
愛されることよりも愛することが大切だと実感！　母親が子を想う無償の愛――これがテーマです。

●マネー運
収入が大幅にダウンするか、あるいは生活の変化から、大出費の暗示！　倹約を美徳と思いましょう。

●仕事・学業運
転職を考えている人、専攻に悩んでいる人は、迷わず福祉関係に進めば、精神面の豊かさを得ます。

水瓶座 (1/20〜2/18)

●トータル運
欲求不満ぎみだった'94年とはうって変わり、私的な欲求がかなりんなりと実現しそうな幸運な年となりそうです。もともと対人運の良い水瓶座ですが、'95年はあなたに素敵なブレーンが生まれ、プライベートな面で大きな助けとなり、目的は必ず達成できることでしょう。

●ラブ運
人に好かれることはあっても、自分の好きな人に愛されにくかった水瓶座！　'95年は相思相愛の暗示。

●マネー運
今までのマイナスをカバーできるほどの増収入がありそう。この先の安定のためにも浪費はやめて吉！

●仕事・学業運
一人よりも2人、2人よりも3人といったように団体で行動するとラッキー！　新目標は開運の鍵。

魚座 (2/19〜3/20)

●トータル運
淡々とした日々に慣れてください。'95年は魚座にいすわった土星の悪影響で前進・発展は望めません。そのうえ、親・上司・教師等から大きなプレッシャーがかかり、にっちもさっちもいきません。もともと体力のない魚座なのでストレスは敵！　気分転換の小旅行が吉。

●ラブ運
トータル運と同様、情熱をそがれた状態で、なかなかハッピーになれません。ひらき直りも大切！

●マネー運
大きな出費は自分の心構えで抑えることは可能！　収入に見合ったお金の使い方がマネー運をUP。

●仕事・学業運
おいしい話、楽して得する話にはけっして乗らないこと。今年はまじめにコツコツ型で信頼を得よう。

PCエンジン版ロードス島戦記廉価版ソフト付き攻略ムック
“ロードス島戦記復活”
■発売中／価格2,980円(税込)

PCエンジン版ロードス島戦記II体験CDロム付き公式設定資料ムック
“ロードス島戦記II体験”
■発売中／価格2,680円(税込) ●お問い合わせは角川書店営業部 03-3817-8529まで

Human
Hudson
そして、再び
伝説がはじまる。
あれから2年。
新たな神話を携えて、
あの名作が蘇る。
スパーク
(声：太田 真一朗)
アルド・ノーバ
(声：風間 信彦)
リーフ
(声：永島 由子)
キャラクターデザイン：出渕 裕
グリーバス
(声：岸野 幸正)
ギャラック
(声：沢木 郁也)
ライナ
(声：萩森 徇子)
ロードス島戦記II
Record of Lodoss War
ファンタジーRPGの醍醐味を凝縮して。名作はさらに研ぎ澄まされる。
RPGの原点を追及した、前作「ロードス島戦記」。生き生きとしたキャラクターと壮大なストーリーで人々を魅了した。そのすべての魅力を継承する期待の新作がついに登場。ストーリーもシステムもさらにパワーアップし、快適なプレイと心地好い感動を約束する。
HUDSON GROUP
HUDSON SOFT®
本社 ハドソン東京 ハドソン大阪
〒062 札幌市豊平区平岸3条5丁目1番18号 ハドソンビル TEL 011-841-4622 FAX 011-821-1854
〒162 東京都新宿区市谷田町3丁目1番1号 ハドソンビル TEL 03-3260-4622 FAX 03-3235-4653
〒542 大阪市中央区東心斎橋1丁目1番10号 大阪料理会館ビル5階 TEL 06-251-4622 FAX 06-251-6244
(ハドソン札幌・ハドソン名古屋・ハドソン福岡)
興奮を先取りする、ハドソンの最新情報ホット・ライン。
テレホンPCランド
■札幌／011-814-9900 ■東京／03-3260-9901 ■名古屋／052-586-9900
■大阪／06-251-9900 ■広島／082-814-9900 ■福岡／092-713-9900

ボクたちが、ずーっとまっていた
声優ビジュアル雑誌、
「声優グランプリ」ついに登場。
「声優グランプリ」は、素晴らしいビジュアルと
熱い、ハートフルなメッセージを、
そして最新の情報をキミたちにおくる雑誌。
この記念すべき第1号を買ってくれた皆さん、
本当にありがとう。
この雑誌にはキミたちの力が必要だ。
キミたちの声援がこの雑誌を創り上げてくれるのだ。
次号発売は'95年5月1日。
表紙、巻頭グラビアとも林原めぐみ。
「声優グランプリ」ならではの林原ワールド
期待していてほしい。
第1号以上にたくさんの声優の
ビジュアルとメッセージを満載。
声優になりたい人のための情報をさらに充実。
声優になりたい、
声優になろうと思っている人にも
耳寄りな情報をお届けできるだろう。
こう、ご期待!

STAFF

編集長	安藤隆啓
副編集長	鈴木誠二
編集	弓家保則
	スタジオ・とき(大野よし美　金井健一)
	徳田直巳(株フィールドワイ)
ライター	鈴木裕子　雨宮淳　山田理恵子
	治田理香　弓家保則
	スタジオ・とき(細田浩　藤原遊志郎)
アドバイザー	吉田隆
	大沼弘幸
デスク	前田恭子
校正	サラスバティ
アートディレクション	荻窪裕司
デザイン	荻窪裕司
	野村道子
	堀水薫
	渡邊美奈
	前田恭子
カメラ	弘瀬秀樹
	岩瀬陽一
	井出貴久
	増田岳二
	下山嘉彦(スタジオTQS)
	細田浩
	菊池智恵
	川口裕司
イラスト	高橋好子
協力	青二プロダクション
	アーツビジョン
	江崎プロダクション
	81プロデュース
	大橋巨泉事務所
	劇団　青杜
	河野プロモーション
	同人舎プロダクション
	集英社

PRESENT!

とじこみの「声優グランプリ」読者アンケートにぜひお答え下さい。
お答えいただいた方の中から「声優グランプリ」特製の
『國府田マリ子&井上喜久子のオリジナルテレカ』を
抽選で計400名の方にさしあげます。
締め切りは'95年1月20日、当日消印有効です。
当選者発表は発送をもってかえさせていただきます。

KOEI

キャラクターデザイン・
イラスト/塩山紀生

最高のスタッフが生んだ、
究極のCDドラマ・三國志。

CDドラマコレクションズ

三國志

史上最大の人間ドラマ「三國志」の世界を、一流のスタッフと
豪華キャストが鮮やかに彩るCDドラマ。
劉備、趙雲、孔明……英傑たち一人一人にスポットを当てた
耳で楽しむ壮大なる歴史ロマン。今、堂々第一部完結!

一 諸葛亮孔明之巻 ～臥龍、天命を識る～ KECH-1027
二 趙雲子龍之巻 ～孤虎、傾月に吼ゆ～ KECH-1028
三 曹操孟徳之巻 ～鳳舞、闇世を貫く～ KECH-1034
四 諸葛亮孔明之巻・II ～飛龍、翠風を招ぶ～ KECH-1035
五 関羽雲長之巻 ～武神、千里を翔る～ KECH-1041
六 周瑜公瑾之巻 ～稀玉、碧水に耀う～ KECH-1042
七 呂布奉先之巻 ～狼将、暁に彷徨う～ KECH-1058
八 劉備玄徳之巻 ～帝星、天漢に煌く～ KECH-1059

ー以上、封入特典(シングルCD)付き 各¥3,300ー

第一部総集編 KECH-1068/9 ¥4,500
～夢の軌跡・桃園の契りから三國鼎立まで～

DX1.結集編・五虎龍鳳之巻 KECH-1043 ¥3,000
DX2.三國志満漢全席スペシャル KECH-1044 ¥2,700
DX3.浪漫編・西暦0200の輪舞曲 KECH-1063 ¥3,000
DX4.三國志満漢全席グレート KECH-1064 ¥2,700

CAST

劉備	古谷 徹	趙雲	草尾 毅
諸葛亮	塩沢兼人	呂布	橋本晃一
関羽	堀 秀行	献帝	佐々木 望
張飛	玄田哲章	糜夫人	久川 綾
孫策	井上和彦	貂蝉	川村万梨阿
孫権	森 功至	張遼	田中秀幸
周瑜	速水 奨	王允	八奈見乗児
曹操	銀河万丈	龐統	古川登志夫
荀彧	難波圭一	馬超	神谷 明

ナレーション……金内吉男／家弓家正 他

CDドラマコレクションズ
三國志DX5 三國志満漢全席 BLACK
好評発売中

三國志をパワー満点の笑いで斬る!
豪華声優陣も大暴走、必聴の一枚。
出演/古谷 徹・塩沢兼人・
速水 奨・古川登志夫 ほか

KECH-1073 ¥2,700

CDカレンダー
三國志めくり Vol.1
好評発売中
●全4巻、Vol.2以降順次発売予定

1日1トラック、毎日楽しめる
カレンダー仕立ての画期的なCD。
おもしろさ爆発、聴きすぎに注意!
出演/堀 秀行・玄田哲章・
草尾 毅・佐々木望 ほか

KECH-1074 ¥2,700

CDドラマコレクションズ
アンジェリーク ～光と闇のサクリア～
好評発売中

光栄初の女の子向けゲームをオリジナルCDドラマ化。
(スーパーファミコン用ソフト「アンジェリーク」より)
出演/結城比呂・岩田光央・
速水 奨・関 俊彦 ほか

イラスト/由羅カイリ

KECH-1060 ¥3,000

販売:ポリグラム株式会社
■価格はすべて税込みです。

株式会社 光栄
〒223 横浜市港北区箕輪町1-23-3

マルチメディアのNEC

NEC

卒業IIFX Neo Generation

【卒業IIFX】
パソコンの超人気ソフトを移植した育成シミュレーション
NECホームエレクトロニクス/同時発売/8,800円(税別)

TEAM INNOCENT

【チームイノセント】
PC-FXの動画能力をフルに生かしたSFアクションアドベンチャー
ハドソン/同時発売/9,800円(税別)

紺碧の艦隊

【紺碧の艦隊】
ベストセラー小説をゲーム化した艦隊戦シミュレーション
NECホームエレクトロニクス/発売日未定/価格未定

1677万色、
秒間30フレームの
フルアニメーション・ゲームマシン。

BATTLE HEAT

【バトルヒート】
全編アニメーションで表現する対戦型格闘アクション
ハドソン/同時発売/8,800円(税別)

※画面はハメコミ合成です。

CD-ROMを知りつくした
NECの結論。

他に先駆けて、5年前からCD-ROMソフトを提供し
続けてきたPCエンジン。その経験から開発されたのが、
32ビット・ゲームマシン『PC-FX』。これからの
CD-ROMゲームに必要な基本性能が、ここにあります。

続々登場PC-FXソフト
●RETURN TO ZORK/アドベンチャー
●ペブルビーチの波濤(仮)/スポーツ●ルナティックドーン(仮)/RPG
●キューティーハニー(仮)/アドベンチャー●麻雀悟空 天竺(仮)/テーブル

近日登場

PC-FX

ピーシー・エフエックス 標準価格 49,800円(税別)

●高性能32ビットRISCプロセッサV810(NEC)搭載●倍速CD-ROMドライブ●7画面ものバックグラウンドや、回転、拡大、縮小、セロファン、フェード等、多彩なゲーム演出を可能にする機能満載●機能拡張用スロットを3つ装備●音楽CD、CD-G、フォトCDの各CDフォーマットに対応

●チームイノセント ©1994 HUDSON SOFT ●バトルヒート ©1994 HUDSON SOFT ●卒業IIFX ©NEC Home Electronics, Ltd. ©HEAD ROOM/TENKY ©1994 RIVERHILL SOFT INC.
●紺碧の艦隊 ©1993 荒巻義雄・徳間書店・徳間ジャパンコミュニケーションズ ©MICRO CABIN CORP. ©NEC Home Electronics, Ltd.

通商産業省選定グッドデザイン商品

ピーシー・エフエックスのお問い合わせ先は NECホームエレクトロニクス パーソナルプロダクト事業部 TEL.03(3454)5111(大代表)

発行/株式会社オプトコミュニケーションズ
発売/株式会社主婦の友社

定価980円(本体951円) 雑誌 64585-74 T1064585740989

©Opt communications inc 1994 Printed in Japan 印刷/凸版印刷株式会社